

令和八年三月

上杉文書調査報告書

― 第三分冊

文書編三―

米沢市教育委員会

編成表

() 内は史料点数

第三分冊 (文書編三)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
伊佐早謙関係 (1517)	編著書 (151)	上杉家記 (90)	清書 (52)	9
		戊辰紀事 (23)	稿本 (38)	12
		伝記 (19)	清書 (11)	14
			稿本 (12)	15
			謙信 (7)	15
			景勝 (3)	16
			鷹山 (9)	16
		米沢文伝 (7)		17
		論考等 (12)		17
	編纂史料集 (136)	編年文書 (63)		18
		奥羽文書纂 (30)		21
		読史堂史料 (20)		23
		読史余纂 (10)		24
		史料 (13)		25
伊佐早謙関係	合綴史料集 (1119)	鶏肋前集 (159)		26
		鶏肋後集 (167)		35
		鶏肋集 (101)		45
		縦軒秘笈 (164)		51
		読史堂叢書 (426)		61
		縦軒雑集 (33)		86
		匯纂 (57)		88
		文書集 (12)		91
	齊憲年譜編纂 (10)			92
		古文書集 (21)		92
		採訪目録 (7)		94
	筆写史料 (46)	中世、江戸前期 (33)		94
		江戸中後期 (10)		96
		幕末維新时期 (3)		97
	暦 (27)			97

第三分冊 (文書編三)

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
典籍 (588)	上杉家 (27)	軍記 (23)		101
	家臣団 (212)	伝記 (4)		102
	編著書 (51)			102
			荇戸善政 (8)	
			年表・参考書 (10)	
			文芸他 (33)	103
	米沢関係 (36)	武門要鑑抄関連 (35)		106
		伝記 (6)		108
		資料集 (5)		108
		系図 (115)		108
		一般 (19)		115
		赤穂事件 (17)		116
	系図 (42)	将軍家 (6)		117
		他大名家等 (14)		118
		系図集 (22)		119
	総記・学問・文学 (11)			120
	仏教 (13)	経典 (4)		121
		縁起・由緒 (3)		121
		伝記 (6)		122

第一項目	第二項目	第三項目	第四項目	ページ
典籍	歴史 (65)			122
	政治・法制・経済 (27)			126
	教育 (7)			128
	暦 (5)			128
	芸術・諸芸 (25)			128
		茶道 (18)		130
		鷹書 (4)		130
		諸芸 (3)		130
	武学・武術 (44)			132
		兵学 (30)		130
		武器 (14)		132
	琉球 (5)			133
	漢籍 (4)			133
	一枚刷 (52)			133
	近代活版本 (13)			136

第三分冊 (文書編三)

諸家文書 (885)	第一項目	色部家 (64)	第二項目	文書 (62)	第三項目	網憲 (28)	第四項目	139	ページ
		毛利安田家 (124)		冊子類 (2)		吉憲 (16)		143	
				歴代藩主書状 (122)		宗憲 (7)		145	
						宗房 (10)		146	
						重定 (16)		147	
						鷹山 (10)		148	
						治広 (19)		149	
						齊定 (8)		150	
						齊憲 (8)		150	
				その他 (2)				151	
		齊藤家 (155)		冊子類 (8)				151	
				状物 (65)				152	
				維新書簡集 (82)				156	
		武家 (53)		冊子 (9)				163	
				状物 (44)				163	
		武芸書 (65)		剣術・弓術 (6)				166	
				兵学・砲術 (4)				167	
				馬術 (31)				167	
				馬医術 (24)				169	

諸家文書	第一項目	岩間家 (151)	第二項目	証文等 (120)	第三項目	表題無し (25)	第四項目	170	ページ
				献金受領書 (31)		古証文 (55)		172	
		町方 (21)				参考断片 (10)		191	
		村方 (34)				諸名家真蹟集帖 (22)		190	
				米沢藩領 (12)		古筆題 (47)		187	
				屋代郷等 (22)		古文書集 (59)		184	
		貼継・貼込 (218)						182	

文書編目録 凡例

全体について

- ・原則として当用漢字を用い、虫損や破損などによって判読困難な文字は■で示し、その他の解読不能な文字は□で示した。

編成と配列の順序について

- ・従来の分類を尊重しつつ、新たに項目を立て、史料一点ごとに編成し直した。基本的な考え方については、24ページの解題を参照。
- ・同一項目内の配列については、史料番号順を基本とした。但し、編年や、史料の主題などを考慮し、一部調整した箇所がある。
- ・これらの編成と調整により、目録上の配列は史料番号順ではない。

目録の記載内容について

- ・各史料の目録の記載内容は、次の通りである。
- ①史料番号 ②史料名(内容) ③員数(紙数または丁数) ④年代または時代 ⑤法量 ⑥形態 装丁 表紙 料紙 ⑦作成者表記↓受給者表記 ⑧(文書の場合のみ)書き出し…書き止め ⑨(文書で記載がある場合のみ)端書・端裏書 ⑩ラベル記載 蔵書印 ⑪状態 ⑫一括関係 ⑬備考 ⑭マイクロフィルムのリール番号

なお、史料上に記載が確認できない項目は、目録内容に記載していない。

- ①史料番号は、従来用いていた番号を踏襲した。これにより、雄松堂発売のマイクロフィルム版の目録と、親番号(冒頭の四桁)は共通する。包紙や箱などの一括史料や、複数の原本を貼り継ぐ、または合綴した史料などで、枝番号が無い場合は、新たに付与した。

- ・史料が作成・機能した時点で物理的に独立していたものは基本的に一点として扱い、目録に採録した。

- ・合綴史料集(複数の縦帳を合綴し、後補表紙を付した史料)の表紙と、書状や証書類を貼り継いだものの冒頭の表紙(主に反故紙を転用)は、基本的に一点として採録した(一部の史料集で内身が一点の場合は表紙とあわせて一点とした)。合綴や貼り継ぎ、外題の付与といった、伝来過程における史料管理の痕跡を示すものと判断したためである。

- ②史料名について、文書の場合は、受給者宛 発給者十文書名とした。受給者と

発給者は最も一般的な名称を用い、その他は実名を基本とした。三名以上の場合は、他〇名と略記した。省略する場合は、原則として、受給者は先頭の一名、作成者は最奥の一名のみを記した。

- ・記録や典籍の史料名については、外題や内題などの原表題がある場合は「」で括弧をつけて採用し(刊本の場合は「」)、冒頭に作成者を付すことを原則とした(一部、作成者を省略したものがある)。原表題が無い場合は、作成者十機能名とした。

- ・以上の史料名の付与については、国宝「上杉家文書」に関して、米沢市上杉博物館で従来用いていた、館内データベースの入力規則に準じた。

- ③員数は、一紙もの場合は通・巻・枚、冊子の場合は冊、帖などを記した。
- ④史料の作成年代が判明する場合は、史料の記載に関わらず、和暦、月日の形式に改めて記載し、推定した場合は()で括弧をつけて表記した。年代が判明しない場合は、形態や料紙などから時代区分を推定して記載した。時代区分の年代幅は次の通り。

室町時代(一三九二～一五七三) 桃山時代(一五七三～一六〇二)

江戸前期(慶長八年・一六〇三～延宝八年・一六八〇)

江戸中期(天和元年・一六八一～安永九年・一七八〇)

江戸後期(天明元年・一七八一～慶応三年・一八六七)

近代(明治元年・一八六八～昭和二〇年・一九四五)

現代(昭和二十一年・一九四六以降)

- ・写本類については、筆写された年代を記し、原本の年代は内容欄に記した。

- ⑤法量は、縦×横の順に記し、単位はcmで統一した。

- ⑥形態については、状もの場合は縦紙・折紙・継紙・切継紙などを記した。

- ・冊子の場合は、形態(縦帳・横帳・横半帳・洋装本)に続いて、装丁(袋綴冊子装・紙綴綴冊子装・長帳綴など)と、原表紙・後補表紙の色と模様を記した。
- ・料紙は、楮紙・斐紙・三椀紙・機械漉紙などと区分し、基本的に目視で判定可能な範囲にとどめ、一部については顕微鏡を用いて判断した。

- ⑦作成者表記と受給者表記は、住所や肩書、脇付、敬称等を含め、史料記載のまま採録することを原則としたが、長い場合は適宜省略した。また、三名以上の場合は、史料名と同様の基準で省略して記載した。

- ・筆写史料については、原本の作成者ではなく、筆写者を採録した。

- ⑧書き出しと書き止めは、文書の場合のみ、数文字分を採録した。

- ⑨文書の内容や年代などを記した端書や端裏書、端裏の付箋がある場合は採録し

た。但し、長い場合は適宜省略した。

⑩ラベル記載は、ラベル記載の文字を転記した。「ア㊦」といった記載の場合は、ア○本と採録した。市立米沢図書館の蔵書印や、現代の整理を示すペン書きの付箋類は、採録を省略した。

⑪状態は、史料原本を取り扱う際に注意が必要なほど破損している場合などに限定して記した。裏打ちなどの補修がある場合、この欄に記した。

⑫容器、封紙や包紙、合綴、紐などによる一括関係を採録した。なお、編成にあたり、一括関係のあるものは同一項目に収めた。但し、現代の麻紐や紙繕などで一括された史料については、一点ごとに編成しなおした。

⑬備考には、柱題、前欠や後欠、附属物、推定事項などを記した。

⑭雄松堂から発行されたマイクロフィルムのリール番号を記した。マイクロフィルムに未収録の場合は、「無」と記載した。なお、目録とリール番号の照合は、時間的な制約により、一部にとどめた。現物とマイクロフィルムで、枝番号が異なる場合などがある。

欠番（原本所在不明）の史料等について

・No.0087、1278、1451は、マイクロフィルム版目録の作成時点で原本が確認できず、今回の調査においても確認できなかった。マイクロフィルムに未収録で、米沢市上杉博物館でも現在、所蔵が確認できないため、欠番とした。

・マイクロフィルム版では、No.1272の安田治部書状を、No.1262-02として二重に撮影している。このため、No.1262-02は欠番とした。

・No.1065、1189、1347、1533の台紙となっていた封紙と、1345の台紙のうち封紙分は欠番とした（第一分冊47ページ表を参照）。

原本および複製の閲覧について

・原本の閲覧等に際しては、米沢市上杉博物館の特別利用許可申請の手続きをとること（詳細については、事前に同館に問合せ）。

・複製については、本史料群の大部分が、雄松堂により撮影され、マイクロフィルムとして販売されており、国立国会図書館はじめ国内外の主要な図書館等で閲覧できる。

・市立米沢図書館の郷土資料担当では、本史料群の主要史料について、マイクロフィルムの紙焼きを配架し、公開している。

伊佐早謙関係—編著書—上杉家記—清書

- 0043101 「上杉家記 卷之一 憲房公」(上杉家略系譜と元弘元年元徳三年九月二〇日、延元元年、建武三年正月二七日) / 一冊(三〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 卷一九、二四、三四、三七、四六、五一、五二が欠本 / 0041005
- 0043102 「上杉家記 卷之二 憲顯公」(延元元年、建武三年正月二七日、正平二年、貞和三年二月二七日) / 一冊(五二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043103 「上杉家記 卷之三 憲顯公」(正平三年、貞和四年正月五日、正平三年、応安元年九月一九日) / 一冊(七四丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043104 「上杉家記 卷之四 憲方公」(正平三年、貞和元年九月一九日、応永元年一〇月二四日) / 一冊(九九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043105 「上杉家記 卷之五 憲定公」(応永元年一〇月二四日、同一九年二月一八日) / 一冊(六〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043106 「上杉家記 卷之六 憲基公」(応永一九年二月一八日、同二五年正月四日) / 一冊(五五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043107 「上杉家記 卷之七 憲実公」(応永二五年正月四日、永享二一年二月三〇日) / 一冊(二二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043108 「上杉家記 卷之八 憲実公」(永享二二年正月一三日、文安五年七月一八日) / 一冊(六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043109 「上杉家記 卷之九 憲忠公」(文安五年一月一日、享徳三年二月二七日) / 一冊(五二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043110 「上杉家記 卷之十 房顯公」(康正元年正月五日、文正元年二月二八日) / 一冊(八三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043111 「上杉家記 卷之十一 顯定公」(文正元年四月一七日、文明一〇年二月晦日) / 一冊(八三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043112 「上杉家記 卷之十二 顯定公」(文明一一年正月一八日、明応九年二月一四日) / 一冊(一一五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043113 「上杉家記 卷之十三 顯定公」(文亀元年二月二九日、永正七年六月二〇日) / 一冊(六八丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043114 「上杉家記 卷之十四 顯定公」(永正七年六月二〇日、大永五年四月一六日) / 一冊(八四丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043115 「上杉家記 卷之十五 憲寛公」(大永五年四月一六日、享禄四年九月二日) / 一冊(五六丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043116 「上杉家記 卷之十六 憲政公」(享禄四年九月二日、天文一七年二月晦日) / 一冊(八一丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043117 「上杉家記 卷之十七 憲政公」(天文一八年正月四日、同二三年二月五日) / 一冊(六一丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043118 「上杉家記 卷之十八 憲政公」(弘治元年正月一四日、永禄四年閏三月一六日) / 一冊(八九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 0041005
- 0043119 「上杉家記 卷之二十五 景勝公」(天正六年三月一三日、二月二九日) / 一冊(六六丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「天正六一」あり / 0041005

0043-20 「上杉家記 卷之二十六 景勝公二」(天正七年正月六日、同八年二月一四日) / 一冊(六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「天正七、八」あり、「上杉氏編纂所」原稿用紙を貼付し伊佐早謙による追記あり / 004-1005

0043-21 「上杉家記 卷之二十七 景勝公三」(天正九年正月二〇日、同一年六月二七日) / 一冊(七八丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「天正九、十」あり、「上杉氏編纂所」原稿用紙を貼付し伊佐早謙による追記あり、異筆による修正の書込みあり / 004-1005

0043-22 「上杉家記 卷之二十八 景勝公四」(天正一〇年七月三日、同一年二月一三日) / 一冊(七三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「天正十、十一」あり、「上杉氏編纂所」原稿用紙を貼付し伊佐早謙による追記あり / 004-1005

0043-23 「上杉家記 卷之二十九 景勝公五」(天正一二年正月二七日、同一年二月一四日) / 一冊(七〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「天正十二、十四」あり、「上杉氏編纂所」原稿用紙を貼付し伊佐早謙による追記あり、異筆の朱書き、墨書きによる修正の書込みあり / 004-1005

0043-24 「上杉家記 卷之三十 景勝公」(天正一五年正月四日、同一年二月一八日) / 一冊(五三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に「六 天正十五十六十七十八」墨書き込みあり、「上杉氏編纂所」の原稿用紙や別紙を貼り付けた伊佐早謙筆跡と思われる追記多数あり、異筆による修正の書込み多数あり / 004-1005

0043-25 「上杉家記 卷之三十一 景勝公七」(天正一九年正月一九日、文禄四年二月) / 一冊(六四丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「天正十九 文禄四」あり、「上杉氏編纂所」原稿用紙を貼付し伊佐早謙による追記あり、異筆による墨書の修正あり、別紙最終丁に甘糟近江守宛 上杉景勝書状写三点挟込 / 004-1005

0043-26 「上杉家記 卷之三十二 景勝公八」(慶長元年正月、同四年) / 一冊(五一丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「慶長元 同四」あり、異筆の墨書による修正書込みあり / 004-1005

0043-27 「上杉家記 卷之三十三 景勝公九」(慶長五年正月、二月三日)

一冊(七三丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙に朱書「慶長五」あり、「上杉氏編纂所」原稿用紙を貼付し伊佐早謙による追記あり、異筆による墨書の修正あり / 004-1005

0043-28 「上杉家記 卷之三十五 景勝公十二」(慶長一五年正月元日、同一年二月二五日) / 一冊(五六丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙朱書きで十二を十一と修正、「慶長十五より十九迄」とあり、異筆による墨書の修正あり / 004-1005

0043-29 「上杉家記 卷之三十六 景勝公十三」(元和元年正月一日、同九年三月二六日) / 一冊(四二丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表紙朱書きで十二を十三と修正し、「元和元、九」とあり、異筆による墨書の修正あり / 004-1005

0043-30 「上杉家記 卷之四十七 網憲公一 自寛文四年至同六年」(寛文五年六月五日、同六年一月二五日) / 一冊(五九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 上杉伯爵家蔵書 / 004-1005

0043-31 「上杉家記 卷之四十八 網憲公 自寛文七年至延宝二年」(寛文七年正月元日、延宝二年二月二八日) / 一冊(五一丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 上杉伯爵家蔵書 / 004-1005

0043-32 「上杉家記 卷之四十九 網憲公三 自延宝三年」(延宝三年正月元日、同六年二月二八日) / 一冊(五〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 004-1005

0043-33 「上杉家記 卷之五十 網憲公四 自延宝七年至天和元年」(延宝七年正月元日、天和元年二月一五日) / 一冊(六七丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 上杉伯爵家蔵書 / 004-1005

0043-34 「上杉家記 卷之五十三 網憲公七 自元禄二年至于同五年」(元禄二年正月一日、同五年一〇月九日) / 一冊(五五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 上杉伯爵家蔵書 / 004-1005

0043-35 「上杉家記 卷之五十四 網憲公八 自元禄六年至同十五年七月」(元禄六年正月元日、元禄一五年七月二八日) / 一冊(六五丁) / 近代(年月日未詳) / 二

八・三×二〇・一／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉伯爵家蔵書／004
1005

0044101 「上杉家記 卷之一 憲房公」(上杉家略系譜、元弘元年元徳三年九月二〇日、延元元年建武三年正月二七日)／一冊(二六丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／同じ巻一〇欠本、後補表紙は上杉大炊頭宛 阿部伊代守の老中奉書封紙を転用、朱書修正あり、0043と行送りなどで異同があるがほぼ同内容／無

0044102 「上杉家記 卷之二 憲頭公」(延元元年建武三年正月二七日、正平二年貞和三年二月二七日)／一冊(四二丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／後補表紙は上杉大炊頭宛 松平右近將監の封紙、後補表紙の表題は「上杉家記 卷之二 憲頭公」／無

0044103 「上杉家記 卷之三 憲頭公」(正平三年貞和四年正月五日、正平二三年貞安元年九月一九日)／一冊(五六丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉大炊頭宛 松平周防守の封紙／無

0044104 「上杉家記 卷之四 憲方公」(正平三年貞安元年九月一九日、一〇月二四日)／一冊(六七丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉大炊頭宛 松平右京大夫の封紙／無

0044105 「上杉家記 卷之五 憲定公」(応永元年一〇月二四日、同一九年一月一八日)／一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉大炊頭宛 阿部
■の封紙、本文末に憲方死去とあるのは誤記／無

0044106 「上杉家記 卷之六 憲基公」(応永一九年二月一八日、同二五年正月四日)／一冊(二六丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉大炊頭宛 阿部伊代守の封紙／無

0044107 「上杉家記 卷之七 憲実公」(応永二五年正月四日、永享一年一月三〇日)／一冊(七〇丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉大炊頭宛 阿部伊代守の封紙／無

0044108 「上杉家記 卷之八 憲実」(永享二年正月一三日、宝徳元年九月九日)／一冊(四四丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉大炊頭宛 阿部伊代守の封紙／無

0044109 「上杉家記 卷之九 憲忠公」(宝徳元年八月二七日、享徳三年二月二七日)／一冊(四四丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉大炊頭宛 阿部伊代守の封紙、足利永寿王は足利成氏／無

0044110 「上杉家記 卷之十一 顕定公」(文正元年六月三日、文明一〇年二月晦日)／一冊(五八丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉民部大輔宛 阿部豊後守の封紙／無

0044111 「上杉家記 卷之十二 顕定公」(文明一一年正月一八日、明応九年二月一四日)／一冊(八二丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉弾正大弼宛 松平右京大夫の封紙／無

0044112 「上杉家記 卷之十三 顕定公」(文亀元年二月二九日、永正七年六月二〇日)／一冊(五三丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉民部大輔宛 間部越前守他一名の封紙／無

0044113 「上杉家記 卷之十四 憲房公」(永正七年六月二〇日、大永五年四月一六日)／一冊(七四丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉民部大輔宛 阿部豊後守の封紙／無

0044114 「上杉家記 卷之十五 憲寛公」(大永五年四月一六日、享禄四年九月二日)／一冊(四九丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉民部大輔宛 阿部豊後守の封紙／無

0044115 「上杉家記 卷之十六 憲政公」(享禄四年九月二日、天文一七年二月晦日)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙は上杉民部大輔宛 秋元但馬守の封紙／無

0044-16 「上杉家記 卷之十七 憲政公」(天文一八年正月四日、天文二三年二月五日) / 一冊(五〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・九×二〇・〇 / 縦帳 紙綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙は上杉民部大輔宛 秋元但馬守の封紙 / 無

0044-17 「上杉家記 卷之十八 憲政公三」(弘治元年正月一日、永祿四年閏三月一日) / 一冊(六九丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・九×二〇・〇 / 縦帳 紙綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙は上杉民部大輔宛 問部越前守他一名の封紙 / 無

伊佐早謙関係—編著書—上杉家記—稿本

0045-01 編年上杉家記稿 二 憲顯公一(延元元年、建武三年正月二七日、正平二年、貞和三年二月二七日) / 一冊(四四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表・紺地原表紙 裏・紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、巻一欠、0045は伊佐早謙の朱書き校正あり / 006-007

0045-02 編年上杉家記稿 三 憲顯公二(正平三年、貞和四年五月、正平三年、応安元年九月一日) / 一冊(五一丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

0045-03 編年上杉家記稿 四 憲方公(正平二三年、応安元年九月一日、応永元年一月二四日) / 一冊(六〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、明治三二年八月一日初校終了との伊佐早謙の朱書きあり / 006-007

0045-04 編年上杉家記稿 五 憲定公(応永元年一月二四日、同一九年二月一八日) / 一冊(三三丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

0045-05 編年上杉家記稿 六 憲基公(応永一九年二月一八日、同二五年正月四日) / 一冊(二四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、明治三二年八月二校終了との伊佐早謙の朱書きあり / 006-007

0045-06 編年上杉家記稿 七 憲実公(応永二五年正月四日、永享一一年二月三〇日) / 一冊(五一丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

0045-07 編年上杉家記稿 八 憲実公(永享一二年正月一三日、宝徳元年九月九日) / 一冊(三九丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

0045-08 編年上杉家記稿 九 憲忠公(宝徳元年八月二七日、享徳三年二月二七日) / 一冊(四四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、明治三一年一月校了した旨の伊佐早謙の朱書きあり / 006-007

0045-09 編年上杉家記稿 十 房顕公(康正元年正月一日、文正元年二月二八日) / 一冊(四一丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、明治三一年一月一日三校との伊佐早謙の朱書きあり / 006-007

0045-10 編年上杉家記稿 十一 顕定公一(文正元年六月三日、文明一〇年二月晦日) / 一冊(六八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

0045-11 編年上杉家記稿 十二 顕定公二(文明一一年正月一八日、明応九年二月一四日) / 一冊(七五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

0045-12 編年上杉家記稿 十三 顕定公三(文亀元年二月二九日、永正七年六月二〇日) / 一冊(五七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

0045-13 編年上杉家記稿 十四 憲房(永正七年六月二〇日、大永五年四月六日) / 一冊(八一丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 006-007

- 0045-14 編年上杉家記稿 十五 憲寛公(大永五年四月一六日、享祿四年九月二日)ノ一冊(五三丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-07
- 0045-15 編年上杉家記稿 十六 憲政公一(享祿四年九月二日、天文一七年一月晦日)ノ一冊(六六丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、明治三一年一月上旬夜三校終了の旨の伊佐早謙の朱書きありノ006-007
- 0045-16 編年上杉家記稿 十七 憲政公二(天文一八年正月四日、同三年二月五日)ノ一冊(四六丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007
- 0045-17 編年上杉家記稿 十八 憲政公三(弘治元年正月一四日、永祿四年閏三月一六日)ノ一冊(五八丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、明治三二年一月念一夜校了の伊佐早謙の朱書きありノ006-007
- 0045-18 編年上杉家記稿 十九 輝虎公一(永祿四年閏三月、同七年一月二九日)ノ一冊(六三丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-07
- 0045-19 編年上杉家記稿 二十 輝虎公二(永祿八年正月八日、同一年一月二八日)ノ一冊(六六丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、戊戌二月二三日夜、了寒甚」の伊佐早謙の朱書きありノ006-007
- 0045-20 編年上杉家記稿 二十一 輝虎公三(永祿一二年正月一日、一二月二八日)ノ一冊(七六丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-07
- 0045-21 編年上杉家記稿 二十二 輝虎公四(元龜元年正月五日、同二年一月二九日)ノ一冊(六〇丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007
- 0045-22 編年上杉家記稿 二十三 輝虎公五(元龜三年正月三日、天正元年一月二八日)ノ一冊(六七丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007
- 0045-23 編年上杉家記稿 二十四 輝虎公六(天正二年正月二六日、同六年三月一三日)ノ一冊(九六丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007
- 0045-24 編年上杉家記稿 二十五 景勝公一(天正六年三月一三日、一二月二九日)ノ一冊(六七丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-07
- 0045-25 編年上杉家記稿 二十六 景勝公二(天正七年正月六日、同八年二月一四日)ノ一冊(七一丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、前欠、補修ありノ006-007
- 0045-26 編年上杉家記稿 二十七 景勝公三(天正九年正月二〇日、同一年六月二七日)ノ一冊(七三丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007
- 0045-27 編年上杉家記稿 二十八 景勝公四(天正一〇年七月三日、同一年一月一三日)ノ一冊(八四丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007
- 0045-28 編年上杉家記稿 二十九 景勝公五(天正一二年正月二七日、同四年一月一九日)ノ一冊(七四丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007
- 0045-29 編年上杉家記稿 三十 景勝公六(天正一五年正月四日、同一年一月二八日)ノ一冊(六五丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007

0045-30 編年上杉家記稿 三十一 景勝公七(天正一九年正月一五日、文禄四年二月)ノ一冊(七一丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ縦帳 袋綴冊子装 紺地布目に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、「庚子十一月念六、了」の伊佐早謙の朱書きありノ006-007

0045-31 編年上杉家記稿 三十二 景勝公八(慶長元年正月、同四年)ノ一冊(六一丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ縦帳 袋綴冊子装 紺地布目に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、「庚子十一月念六了」の伊佐早謙の朱書きありノ006-007

0045-32 編年上杉家記稿 三十三 景勝公九(慶長五年正月、二月三日)ノ一冊(八五丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二三・四×一六・〇ノ縦帳 袋綴冊子装 紺地布目に網目紋原表紙 楮紙ノ「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用ノ006-007

1048-01 「輝虎公記 一」(永禄四年閏三月、同七年)ノ一冊(九〇丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二五・一×一六・六ノ縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙ノ「本 林泉文庫」ノ上杉氏編纂所原稿用紙使用、巻頭に「編年上杉家記稿卷之十九」とありノ164

1048-02 「輝虎公記 二」(永禄八年、同一年)ノ一冊(八〇丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二五・一×一六・七ノ縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙ノ「林泉文庫」ノ上杉氏編纂所原稿用紙使用、巻頭に「編年上杉家記稿卷之二十」とありノ164

1048-03 「輝虎公記 三」(永禄一二年)ノ一冊(八七丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二四・九×一六・五ノ縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙ノ「林泉文庫」ノ上杉氏編纂所原稿用紙使用、巻頭に「編年上杉家記稿卷之二十一」とありノ164

1048-04 「輝虎公記 四」(元龜元年)ノ一冊(六五丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二四・九×一六・六ノ縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙ノ「林泉文庫」ノ上杉氏編纂所原稿用紙使用、巻頭・巻末に「編年上杉家記稿卷之二十二」とあり 墨付六四丁ノ164

1048-05 「輝虎公記 五」(元龜三年、天正元年)ノ一冊(七九丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二五・二×一六・七ノ縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙ノ「林泉文庫」ノ上杉氏編纂所原稿用紙使用、巻頭・巻末に「編年上杉家記稿卷之二十三」とあり 墨付七八丁ノ164

1048-06 「輝虎公記 六」(天正二年、同六年三月)ノ一冊(一〇〇丁)ノ近代(年月日未詳)ノ二五・三×一六・八ノ縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙ノ「林

泉文庫」ノ上杉氏編纂所原稿用紙使用、巻頭・巻末に「編年上杉家記稿卷之二十四」とあり 墨付九九丁ノ164

伊佐早謙関係―編著書―戊辰紀事―清書

1337-01 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之二」(明治元年正月一五日、四月二九日)ノ一冊(七二丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・〇×一九・一ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-02 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之二」(明治元年閏四月一日、四月二九日)ノ一冊(六二丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・一×一九・三ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-03 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之三」(明治元年五月一日、五月三〇日)ノ一冊(九七丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・一×一九・二ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-04 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之四」(明治元年六月一日、六月一九日)ノ一冊(六〇丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・一×一九・一ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-05 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之五」(明治元年六月二〇日、七月四日)ノ一冊(七二丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・一×一九・一ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-06 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之六」(明治元年七月五日、七月二一日)ノ一冊(八〇丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・〇×一九・二ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-07 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之七」(明治元年七月二二日、七月二八日)ノ一冊(七六丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・〇×一九・一ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-08 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之八」(明治元年七月二八日、八月二〇日)ノ一冊(九〇丁)ノ昭和三年八月二三日納本ノ二七・一×一九・一ノ縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙ノ伊佐早謙編纂ノ伯爵上杉家ノ173

1337-09 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之九」(明治元年八月二一日、九月一七日)

／一冊(一〇三丁)／昭和三年八月三日納本／二七・〇×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／伊佐早謙編纂／伯爵上杉家／173

1337-10 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之十」(明治元年九月一八日、九月二六日)／一冊(八一丁)／昭和三年八月二三日納本／二七・〇×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／伊佐早謙編纂／伯爵上杉家／173

1337-11 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之十一」(明治元年九月二七日、二月二八日)／一冊(一一八丁)／昭和三年八月二三日納本／二七・〇×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／伊佐早謙編纂／伯爵上杉家／173

伊佐早謙関係—編著書—戊辰紀事—稿本

1334-01 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之二」稿本(明治元年正月一五日、四月二九日)／一冊(七五丁)／近代(年月日未詳)／二四・七×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／ホ〇本／無

1334-02 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之二」稿本(明治元年閏四月一日、二九日)／一冊(六〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・八×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／早謙／無

1334-03 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之三」稿本(明治元年五月一日、同晦日)／一冊(九八丁)／近代(年月日未詳)／二四・八×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 紙原表紙 楮紙／早謙／無

1334-04 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之四」稿本(明治元年六月一日、七月一九日)／一冊(六一丁)／近代(年月日未詳)／二四・九×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ホ〇本 早謙／無

1334-05 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之五」稿本(明治元年六月二〇日、七月五日)／一冊(七三丁)／近代(年月日未詳)／二四・八×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ホ〇本 早謙／無

1334-06 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之六」稿本(明治元年七月五日、二二日)／一冊(八二丁)／近代(年月日未詳)／二四・九×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 紙原表紙 楮紙／早謙／無

1334-07 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之七」稿本(明治元年七月二二日、二八日)

／一冊(七三丁)／近代(年月日未詳)／二五・〇×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／早謙／無

1334-08 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之八」稿本(明治元年七月二八日、八月二日)／一冊(八六丁)／近代(年月日未詳)／二五・〇×一六・三／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／早謙／無

1334-09 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之九」稿本(明治元年八月二一日、九月一七日)／一冊(九八丁)／近代(年月日未詳)／二五・〇×一六・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／無

1334-10 伊佐早謙「戊辰紀事 卷之十」稿本(明治元年九月一八日、二七日)／一冊(七四丁)／近代(年月日未詳)／二四・八×一六・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／無

1336 「戊辰記事用ノモノ」(明治元年閏四月、五月の「鎮撫御用仮留」写、四月一三日、五月一八日の塩小路光平「政府江上書手統控」写)／一冊(八一丁)／近代(年月日未詳)／二五・八×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地後補表紙 楮紙／ホ〇本 林泉文庫／172

1336-01 戊辰戦争清川村辺陣営絵図(清川村、羽黒山道中島村付近絵図)／一冊(二紙)／近代(年月日未詳)／一六・八×六八・八／切継紙 楮紙／1336の閏四月二一日部分途中に挟込／172

伊佐早謙関係—編著書—伝記—謙信

0244 伊佐早謙「別格官階上杉神社祭神勤王ニ関スル参考書」(上杉謙信と朝廷の関係を示す資料を書写)／一冊(九丁)／近代(年月日未詳)／二四・八×一六・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／謙／ウ〇本／挟込あり／表紙に「兼テ雑草稿之俛差上申候御清書済之上御返附奉願候 社務所御中 謙」の通信文あり、「上杉氏編纂所」原稿用紙を使用／034

0244-01 伊佐早謙撰文(「発揮祖徳敷演家声是子孫之所可勉成」)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／二五・〇×三一・二／豎紙 楮紙／発揮祖徳敷：子孫之所可勉成／0244-01に挟込／034

1050-01 伊佐早謙「贈従二位上杉輝虎公記 一」(享禄三年正月二一日の誕生から同四年二月一五日)／一冊(一〇六丁)／明治四一年頃／二七・九×二〇・〇／

縦帳 袋綴冊子装 共紙後補表紙 楮紙/伊佐早謙/林泉文庫/墨付一〇四丁/165

1050-02 伊佐早謙「贈從二位上杉輝虎公記 二」(永祿五年正月六日、同一
年二月二日) / 一冊(二三六丁) / 明治四一年頃/二八・一×二〇・二 / 縦帳 袋
綴冊子装 共紙後補表紙 楮紙/伊佐早謙/林泉文庫/165

1050-03 伊佐早謙「贈從二位上杉輝虎公記 三」(永祿一二年正月二日、元龜
二年二月二日) / 一冊(二二五丁) / 明治四一年頃/二七・九×二〇・二 / 縦帳
袋綴冊子装 共紙後補表紙 楮紙/伊佐早謙/林泉文庫/墨付二二三丁/165

1050-04 伊佐早謙「贈從二位上杉輝虎公記 四」(元龜三年正月三日、天正六
年三月九日の死去まで) / 一冊(一五九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×二〇・
一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/伊佐早謙/裏表紙裏に記載あり/165

1052 伊佐早謙「上杉謙信公年表」(主に北越太平記に拠る上杉謙信の事績の誤り
を正す) / 一冊(一四丁) / 昭和二年四月二〇日/二三・七×一六・八 / 縦帳 袋綴冊
子装 白茶地茶格子刷毛目原表紙 楮紙/伊佐早謙/ウ〇本/活版/165

伊佐早謙関係—編著書—伝記—景勝

0069-01 伊佐早謙「從三位權中納言上杉景勝卿記 一」(上杉景勝の年譜、弘
治元年、慶長五年四月一四日) / 一冊(二〇二丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・一×
一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙/米沢伊佐早謙編纂/カ〇本・一七
一 林泉文庫/本文中に景勝関係文書を書写挟込一点あり、後補表紙の題箋は「從三位
權中納言景勝卿記 乾」、東大史料編纂所所蔵本は一九三三年成立/025

0069-02 伊佐早謙「從三位權中納言上杉景勝卿記」(上杉景勝の年譜、慶長五
年四月一四日、元和九年三月二〇日死去まで) / 一冊(二二〇丁) / 近代(年月日未詳)
/ 二七・〇×一八・六 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙/二二七 林泉文庫/
ラベルに朱書で「二四冊」とあり、後補表紙の題箋は「從三位權中納言景勝卿記 坤」
/ 025

0071 伊佐早謙「從三位權中納言上杉景勝卿事歴略」(上杉景勝年譜の稿本) / 一
冊(一三三丁) / (大正一一年頃カ) / 二七・八×一九・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙
原表紙 楮紙/伯爵上杉家編修員伊佐早謙纂修/ウ〇本 林泉文庫/伊佐早謙作成と思
われる案文や写、大正一一年の新聞記事を多数貼付、挟込/025

伊佐早謙関係—編著書—伝記—鷹山

0074 伊佐早謙「鷹山公実録稿 一」(天明四年一〇月までの事跡) / 一冊(二六丁)
/ 明治丙戌(明治一九年)二月八日/二四・二×一六・七 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙
原表紙 楮紙/伊佐早謙再拜/ヨ〇本/026

0073-01 伊佐早謙「鷹山公遺事」(総目録及び卷之一、東岳公以来略譜他一〇
項目) / 一冊(八八丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・〇×一九・九 / 縦帳 紙綴綴
冊子装 共紙原表紙 楮紙/ヨ〇本/冒頭に本書制作の経緯を記した明治二七年一〇月
付の池田成章宛 伊佐早謙書簡を収録、共紙の表紙が本来あったカ/025

0073-02 伊佐早謙「鷹山公遺事 卷之二」(鉄砲先勤論教諭、御奥普請停止他
二項目) / 一冊(七五丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・〇×二〇・〇 / 縦帳 紙綴
綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/025

0073-03 伊佐早謙「鷹山公遺事 三」(江戸両藩邸再建、籍田執行他四項目)
/ 一冊(九四丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・一×二〇・一 / 縦帳 紙綴綴冊子装
共紙原表紙 楮紙/025

0073-04 伊佐早謙「鷹山公遺事 五」(樹芸役場設置、武芸所創立他六項目)
/ 一冊(八四丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・二×二〇・〇 / 縦帳 紙綴綴冊子装
共紙原表紙 楮紙/巻数は内題から判明/025

0073-05 伊佐早謙「鷹山公遺事 卷之九」(土着御勤、御用品国産に限定他四
項目) / 一冊(九三丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・二×一九・九 / 縦帳 紙綴綴
冊子装 共紙原表紙 楮紙/025

0073-06 伊佐早謙「鷹山公遺事 卷之十」(齊定を世子に定める、御出府と婚
姻他四項目) / 一冊(九九丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・二×二〇・一 / 縦帳
紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/025

0073-07 伊佐早謙「鷹山公遺事 卷之十一」(蚕桑取立、御役筒改定と大砲取
立他八項目) / 一冊(一〇〇丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・一×二〇・一 / 縦帳
紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/赤ラベル表記無/025

0073-08 伊佐早謙「鷹山公遺事 卷之拾二」(順姫病氣につき御配慮の事、御
逝去の事他九項目) / 一冊(八五丁) / (明治二七年一〇月) / 二八・二×二〇・二 /
縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/025

伊佐早謙関係—編著書—米沢文伝

- 1664-001 伊佐早謙「米沢文伝 一—三」(歴代藩主漢詩集、細井平州著遊太平譚記写)／一冊(九八丁)／近代(年月日未詳)／二四・五×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／伊佐早謙君益甫纂輯／林泉文庫／後年三冊を一冊に合本／231
- 1664-002 伊佐早謙「米沢文伝 四—六」(上杉勝延、直江兼統他二六名の漢詩集)／一冊(二〇六丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／伊佐早謙君益甫纂輯／林泉文庫／後年三冊を一冊に合本／231
- 1664-003 伊佐早謙「米沢文伝 七—九」(竹俣当綱他七名の漢詩集)／一冊(〇四丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／伊佐早謙君益甫纂輯／林泉文庫／後年三冊を一冊に合本／231
- 1664-004 伊佐早謙「米沢文伝 一〇—十二」(大貫元凱他一〇名の漢詩集)／一冊(一一二丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／伊佐早謙君益甫纂輯／林泉文庫／後年三冊を一冊に合本／231
- 1664-005 伊佐早謙「米沢文伝 一三—一五」(志賀宜親他一名の漢詩集)／一冊(一一八丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／伊佐早謙君益甫纂輯／林泉文庫／後年三冊を一冊に合本／231
- 1664-006 伊佐早謙「米沢文伝 一六—一八」(近藤有齋他一六名の漢詩集)／一冊(一〇三丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／伊佐早謙君益甫纂輯／林泉文庫／後年三冊を一冊に合本／231
- 1664-007 伊佐早謙「米沢文伝 一九—二二」(雲井龍雄他八名の漢詩集)／一冊(一〇〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／伊佐早謙君益甫纂輯／林泉文庫／後年三冊を一冊に合本、一部明治期の詩作／231
- 伊佐早謙関係—編著書—論考等**
- 1074 伊佐早謙「弥彦神社所蔵上杉輝虎公祈願文考証」(永祿七年六月二四日付弥彦神社宛上杉輝虎願文につき考証)／一冊(一七丁)／明治三九年六月二五日／二八・〇×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／伊佐早謙／ヤ○本／167
- 1106 「益翁謙公下語 完」(越後春日山林泉寺住職益翁宗謙の語録・文章)／一冊(一三九丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地横刷毛目後補表紙 機械漉紙／エ○本 林泉文庫／和紙カ、上杉氏編纂所)の原稿用紙を使用、白紙の付箋あり／169
- 1107-001 伊佐早謙「足利氏李世ニ於ル関東及北陸ノ史論 一」(一六世紀の北陸における浄土真宗勢力と畠山氏・長尾氏との抗争、関東・越後上杉氏の動向)／一冊(七七丁)／(明治四四年九月)／二六・九×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地横刷毛目後補表紙 楮紙／ア○／原表紙に「異日浄写スヘシ」の朱書きあり、表紙「ア○本」ラベルの下に1107-002、1107-003と同様のラベルあり、本文にも朱書きで校訂があり稿本と推定／169
- 1107-002 伊佐早謙「足利氏李世ニ於ル関東及北陸ノ史論 二」(一六世紀の関東における北条・上杉氏の抗争につき)／一冊(六一丁)／辛亥(明治四四年)九月／二七・〇×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地横刷毛目後補表紙 楮紙／二一八ノ二／墨付六〇丁、原表紙に「異日浄写スヘシ」の朱書きあり、「上杉氏編纂所」原稿用紙に書写した伊勢宗瑞書状等が挟込／169
- 1107-003 伊佐早謙「足利氏李世ニ於ル関東及北陸ノ史論 三」(武田信玄と浄土真宗勢力の抗争、近衛前嗣の関東下向、古河公方足利藤氏の動向)／一冊(九三丁)／明治四四年九月／二七・〇×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地横刷毛目後補表紙 楮紙／伊佐早謙／二一八ノ三／原表紙に「異日浄写スヘシ」の朱書きあり、下小口に「関東北陸史論稿 人」の墨書きあり、末尾に「明治四十四年九月 伊佐早謙稿」の朱書きあり／169
- 1348 伊佐早謙「奥羽同盟始末」稿本(明治元年一月〜五月の会津藩救済、奥羽列藩同盟結成の経緯)／一冊(八七丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地横刷毛目原表紙 楮紙／謙稿本／ア○本 二 林泉文庫／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、末尾に異筆で伊藤巳之助君所蔵とあり／175
- 1495-001 「自著雜稿 乾」(米沢市史の草稿、沿革、大江氏、伊達氏一)／一冊(九〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一五・七／豎帳 袋綴綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／シ○ 林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」の用紙使用、墨付八九丁／219
- 1495-002 「自著雜稿 坤」(米沢市史の草稿、伊達氏二、伊達氏三、蒲生氏)／一冊(一一二丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一五・七／豎帳 袋綴綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」の用紙使用／219

1495-03 「自著雜稿 譚」(米沢市史の草稿、漢詩、歌集、医業、流行病) / 一冊(九七丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一五・六 / 縦帳 袋綴綴冊子装 朱地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」の用紙使用 / 219

1496 黒田勝四郎「伊佐早先生講義 郷土史資料」(明治四三年、大正二年の伊佐早謙による講義録をもとに編集、古代から維新に至る置賜の略史) / 一冊(五五丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・二×二〇・六 / 縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙 / 黒田勝四郎 / キ〇 林泉文庫 / 219

1644 伊佐早謙「陸奥国司北畠顕信卿所在 葛西清貞勤王事跡考」(北畠親房子息顕信の事跡をまとめた「北畠顕信卿所在」、陸奥国で南朝方として活動した葛西清貞の動向をまとめた「葛西清貞勤王事跡考」) / 一冊(六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 機械漉紙 / 米沢伊佐早謙 / カキ〇 林泉文庫 / 大正七年九月の鈴木晴峰による奥書あり、北畠顕家関連の紙片と葛西清貞に関する白川文書・結城文書を書写した原稿用紙二点を挟込、「上杉氏編纂所」原稿用紙使用 / 229

1645 伊佐早謙「大宝寺記 附堀河参議具信卿事跡 完」(中世に庄内地方を領有した大宝寺氏・武藤氏の事跡、前半は北畠具信の事跡) / 一冊(四九丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・三×二〇・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 米沢伊佐早謙 編 / タ〇 / 鉛筆書きや朱書きによる校訂あり、関連古文書などを書写した原稿用紙を数か所に差し込む / 229

伊佐早謙関係—編纂史料集—編年文書

1488-01 「編年文書 一」(仁平三年三月、延慶二年四月) / 一冊(七三丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / へ〇本 林泉文庫 / 後補表紙の題名記載紙切れあり / 213-214

1488-02 「編年文書 二」(文保二年三月、建武三年二月) / 一冊(九六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 213-214

1488-03 「編年文書 三」(建武四年三月、康永四年六月) / 一冊(五八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 原表紙に憲顕筆坤あり、一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 213-214

1488-04 「編年文書 四」(貞和元年一〇月、同七年四月) / 一冊(七五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 213-214

1488-05 「編年文書 五」(応安元年閏六月、明徳四年一月) / 一冊(四九丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・三×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 213-214

1488-06 「編年文書 六」(明徳五年二月、応永三四年一〇月) / 一冊(一〇八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 213-214

1488-07 「編年文書 七」(正長元年六月、宝徳四年四月) / 一冊(一〇八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・三×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 213-214

1488-08 「編年文書 八」(享徳元年一月、文明九年二月) / 一冊(八八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 213-214

1488-09 「編年文書 九」(文明一〇年二月、同一年二月) / 一冊(六八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 213-214

1488-10 「編年文書 十」(文明一九年二月、文亀三年八月) / 一冊(九九丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 213-214

1488-11 「編年文書 十一」(永正元年六月、同一年二月) / 一冊(一一六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・三×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 213-214

1488-12 「編年文書 十二」(永正二年閏二月、享祿四年一〇月) / 一冊(一三五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 213-214

1488-13 「編年文書 十三」(享祿五年三月、天文二四年七月) / 一冊(一一四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・二×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 213-

1491-111 「編年文書 三十一」(慶長元年七月〜同五年一〇月) / 一冊(一三五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 一・二〇 林泉文庫 / 一部「文科大学史料編纂掛」の罫紙、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 217-218

1491-112 「編年文書 三十二」(慶長六年一月〜同八年一月) / 一冊(一〇一丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙、本郷一大茂堂製罫紙使用、貼付、挟込多数あり、「慶長十七年侍組御礼之次第」一枚が割れて単独であり巻末に挟み込む / 217-218

1491-113 「編年文書 三十三」(慶長一八年二月〜同十九年二月) / 一冊(一〇〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・八 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 挟み込み多数あり / 217-218

1491-114 「編年文書 三十四」(慶長一十九年一月〜元和九年一月) / 一冊(九五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 217-218

1491-115 「編年文書 三十五」(寛永元年三月〜同三年二月) / 一冊(八五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 217-218

1491-116 「編年文書 三十六」(寛永一三年八月〜同十九年一月) / 一冊(八八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 217-218

1491-117 「編年文書 三十七」(寛永二〇年一月〜同十一月) / 一冊(二二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 217-218

1491-118 「編年文書 三十八」(寛永二二年二月〜承応三年一〇月) / 一冊(一〇七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、挟み込み多数あり / 217-218

1491-119 「編年文書 三十九」(明暦元年一月〜寛文四年五月) / 一冊(六五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 挟み込みあり / 217-218

1491-20 「編年文書 四十」(寛文四年五月〜同七月) / 一冊(八三三丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 217-218

1489-01 「編年文書 四十一」(寛文四年九月〜延宝八年一月) / 一冊(一三七丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・五×一六・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 〇本 / 215-216

1489-02 「編年文書 四十二」(天和元年一月〜元禄五年九月) / 一冊(一四〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・三 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 215-216

1489-03 「編年文書 四十三」(元禄六年八月〜同四年一月) / 一冊(九二丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 215-216

1489-04 「編年文書 四十四」(元禄一五年一月〜同六年二月) / 一冊(九九丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・九×一六・四 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 吉良邸討入前後の麻布邸他の動向等を記した書状写一点附属 / 215-216

1489-05 「編年文書 四十五」(宝永元年三月〜正徳五年一月) / 一冊(一七五丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 215-216

1489-06 「編年文書 四十六」(享保元年一月〜同七年二月) / 一冊(一一〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 215-216

1489-07 「編年文書 四十七」(享保八年三月〜同一年二月) / 一冊(八二丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 〇二包ノ内 / 215-216

1489-08 「編年文書 四十八」(享保一二年七月〜同五年二月) / 一冊(六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 215-216

1489-09 「編年文書 四十九」(享保一六年四月〜同二〇年一月) / 一冊(七八丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 215-216

1489-110 「編年文書 五十一」(元文元年四月、寛保元年六月) / 一冊(四六丁)
 / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・四 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙
 / 一部「上杉氏編纂所」の野紙使用 / 215-216

1489-110-01 安田若狭宛 本庄舎人甲売渡証文(天文五年銘の明珍信家作の
 甲を三両二分で売渡す件) / 一通(一紙) / 元文三年四月二七日 / 三一・二×三〇・八
 / 切紙 楮紙 / 本庄舎人(黒印) ↓安田若狭殿 / 一 三両二分:間敷候仍証■如件 / 1
 489-110に挟込 / 柱題「売渡申甲之事」、諸家文書の毛利安田家関係と推定 / 21
 5-216

1489-110-02 「江戸米沢諸国珍敷儀及承書記候留帳」(八月以降の江戸での
 洪水被害、事件他の風説留) / 一冊(三九丁) / 寛保二年 / 二五・一×一五・五 / 縦帳
 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1489-110の末尾に紙縫綴 / 215-216

1489-111 「編年文書 五十二」(寛保二年二月、延享三年八月) / 一冊(六五丁)
 / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・五 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙
 / 215-216

1489-112 「編年文書 五十二」(延享三年一〇月、寛延元年一月) / 一冊(九
 四丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙
 楮紙 / 215-216

1489-113 「編年文書 五十三」(寛延元年一二月、同三年一月) / 一冊(八
 二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・八×一六・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙
 楮紙 / 215-216

1489-114 「編年文書 五十四」(宝暦元年二月、同五年一月) / 一冊(一四
 二丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙
 楮紙 / 215-216

1489-115 「編年文書 五十五」(宝暦六年六月、同一〇年一二月) / 一冊(九
 九丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙
 楮紙 / 215-216

1489-116 「編年文書 五十六」(宝暦一一年一月、同一三年五月) / 一冊(一
 二四丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・八×一六・三 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表
 紙 楮紙 / 215-216

1489-117 「編年文書 五十七」(宝暦一二年四月、同一三年一二月) / 一冊(一
 二三丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・九×一六・四 / 縦帳 紙縫綴冊子装 素紙原表

紙 楮紙 / 215-216

1489-118 「編年文書 五十八」(明和元年七月、安永二年九月) / 一冊(七一丁)
 / 近代(年月日未詳) / 二五・〇×一六・二 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙
 / へ〇本 / 215-216

1489-119 編年文書(寛永三年一月、同一二年一二月) / 一冊(七九丁) / 近代
 (年月日未詳) / 二五・〇×一六・〇 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 表題
 無 / 215-216

1490-01 「編年文書」(本庄職長手記、宝暦一三年二月八日、明和四年四月二
 四日) / 一冊(四二丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子
 装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / へ〇本 / 215-216

1490-02 「編年文書」(宝永六年こまさらひイロハ短歌、大学直し、今川直し
 落書他) / 一冊(六七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・二 / 縦帳 袋綴冊
 子装 共紙原表紙・黒地網目後補表紙 楮紙 / 215-216

伊佐早謙関係—編纂史料集—奥羽文書纂

1440-01 「奥羽文書纂 卷一」(寛治五年四月二〇日、正安二年五月二日、
 五三三丁) / 一冊(六六丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一五・九 / 縦帳 袋綴冊
 子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / へ〇本・書名ラベル第一集 共十 林泉文庫
 / 墨付六三丁、挟込の拓本二点と他一点あり / 179

1440-02 「奥羽文書纂 卷二」(嘉元二年三月一四日、建武二年五月二日、
 五七五丁) / 一冊(六八丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・二×一六・二 / 縦帳 袋綴冊
 子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 179

1440-03 「奥羽文書纂 卷三」(建武元年一月三日、一二月、二八五丁) / 一冊(三
 八丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・二×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・
 素紙後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 179

1440-04 「奥羽文書纂 卷四」(建武二年一月二七日、同五年閏七月、六七五丁)
 / 一冊(六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・二×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共
 紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 179

1440105 「奥羽文書纂 卷五」(暦応元年一月一日〜貞和五年八月一日、六四点)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／179

1440106 「奥羽文書纂 卷六」(観応元年五月〜文和四年二月、八六点)／一冊(八〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／179

1440107 「奥羽文書纂 卷七」(延文元年一〇月二六日〜応永三二年一〇月二五日、七五五点)／一冊(六九丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／179

1440108 「奥羽文書纂 卷八」(正長元年二月二九日〜天文三三年七月三日、六四四点)／一冊(五九丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／179

1440109 「奥羽文書纂 卷九」(天文二年六月二六日〜慶長七年四月三日、七五五点)／一冊(七五丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／179

1440110 「奥羽文書纂 卷十」(天正二年三月二日〜同一八年六月二五日、九〇点)／一冊(七八丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／179

1441101 「続奥羽文書纂 一」(嘉暦二年九月二日〜延元二年六月二八日、五一点)／一冊(五〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／ア〇本 林泉文庫／墨付四六丁、表紙の台紙として老中奉書カの包紙を使用／179

1441102 「続奥羽文書纂 二」(延元三年一月二五日〜観応三年二月一二月二日、六三三点)／一冊(六六丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カの包紙を使用／179

1441103 「続奥羽文書纂 三」(建武二年五月二日〜応永三二年六月一九日、六一一点)／一冊(六五丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カを使用した可能性あり、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／179

1441104 「続奥羽文書纂 四」(応永三二年一〇月二五日〜文明四年二月三日、

六一一点)／一冊(五九丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カを使用した可能性あり 楮紙と洋紙が混在／179

1441105 「続奥羽文書纂 五」(寛正元年四月二日〜同四年七月二九日、七〇点)／一冊(五八丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カを使用、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、文書三点挿入／179

1441106 「続奥羽文書纂 六」(文正元年六月二日〜天文一七年二月五日、六二点)／一冊(五九丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カを使用、「続奥羽文書纂」と記載あり、楮紙と洋紙(原稿用紙)が混在 文書一点挿入／179

1441107 「続奥羽文書纂 七」(享祿三年正月吉日〜永祿二年閏五月七日、六六六点)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カを使用、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「仙台 伊達」の原稿用紙使用、文書一点挿入／179

1441108 「続奥羽文書纂 八」(永祿三年正月吉日〜天正一七年一〇月一日、六〇点)／一冊(五八丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カを使用、文書一点挿入／179

1441109 「続奥羽文書纂 九」(天正一七年一〇月吉日〜享保七年六月八日、七〇点)／一冊(五九丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／表紙の台紙として老中奉書カを使用した可能性あり、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、文書三点挿入／179

1441110 「続奥羽文書纂 十」(奥州葛西実記「輪王禅寺由来記」、仙台輪王寺宛文書三点)／一冊(七八丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／林泉文庫／「奥州葛西実記」は文祿二年九月三日に葛西晴信次男の平治郎正信の輯、明治二八年四月に近藤瓶城の校了、「輪王禅寺由来記」は第七世靈菴宗鷲までの歴代住職の事績、表紙の台紙として老中奉書カを使用／179

1442101 「別集奥羽文書纂 一」(文治二年四月二八日〜応永二八年九月一七日、七六六点)／一冊(九三丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／ア〇本 林泉文庫／墨付八六丁、表紙の台紙として反故紙を使用、一部に上杉氏編纂所、「文科大学史料編纂掛」の原稿用紙使用／

180

1442-02 「別集奥羽文書纂 二」(正長元年二月一七日〜大永七年一〇月二三日、七六点) / 一冊(八二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・二×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 180

1442-03 「別集奥羽文書纂 三」(享禄二年五月二八日〜天文二四年一〇月一日、六八八点) / 一冊(六六丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用 / 180

1442-04 「別集奥羽文書纂 四」(弘治元年三月一九日〜元龜三年七月二二日、五七七点) / 一冊(五七丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一五・八 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用 / 180

1442-05 「別集奥羽文書纂 五」(天正元年二月二八日〜同一四年七月一五日、六二二点) / 一冊(六五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、文書一点挿入 / 180

1442-06 「別集奥羽文書纂 六」(天正一五年日記一点、天正一五年一月二七日〜同一六年二月二八日、文書五二点) / 一冊(六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・二×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 180

1442-07 「別集奥羽文書纂 七」(天正一七年一月一日〜二月二六日、四九点) / 一冊(六五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用 楮紙と洋紙(原稿用紙)が混在 / 180

1442-08 「別集奥羽文書纂 八」(天正一八年一月三日〜二月二九日、一点) / 一冊(二六丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 180

1442-09 「別集奥羽文書纂 九」(天正一十九年一月二日〜一月一九日、八

六二点) / 一冊(八八丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 表紙の台紙として老中奉書カを使用 / 180

1442-10 「別集奥羽文書纂 十」(文禄元年一月四日〜慶長一七年六月七日、永享〜慶長五年の追加分七七点) / 一冊(八四丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・二×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付八二丁、表紙の台紙として老中奉書カを使用した可能性あり、楮紙と洋紙の原稿用紙が混在「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、文書一点挿入 / 180

伊佐早謙関係—編纂史料集—読史堂史料

1471-01 「読史堂史料 一」(作者不詳の聞書写、元禄一五年一月一日〜二月一六日、諸大名の動向が中心) / 一冊(八五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 〇本 林泉文庫 / 「米沢市史編纂原稿用紙」使用 / 194-196

1471-02 「読史堂史料 二」(大町の組頭遠藤権兵衛留書万留写、享保一二年九月五日〜延享四年九月一八日) / 一冊(二〇三丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用、丁数記載 / 194-196

1471-03 「読史堂史料 三下」(平林霞吹筆の竹俣美作日帳書抜、慶安四年一〇月一五日〜寛延四年六月二二日、岡田治左衛門覚書、大坂騒動記他五件) / 一冊(一六〇丁) / 明治三四年頃 / 二四・〇×一五・八 / 豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 〇本・一二六 三冊 / 竹俣日帳の末尾に明治三四年一〇月付の伊佐早謙の朱書書込あり、後半は「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、細井平洲関係の文書写に大正三年の伊佐早の識語あり / 194-196

1471-04 「読史堂史料 六」(米沢城下町方への御触留写、天明八年四月〜文化元年八月九日) / 一冊(二五二丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用、表紙の「三下」を抹消し六と記載 / 194-196

1471-05 「読史堂史料 八」(山崎新弥御触留帳写、慶応元年五月二〇日〜明治三年七月二六日) / 一冊(一八九丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用、丁数記載 / 194-196

1471-06 「読史堂史料 九」(米沢部一、山田近房「米沢雜事記」、直江城州の事、大坂陣の事他五件)／一冊(一八一丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／ト〇本・九 二冊 林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

1471-07 「読史堂史料 十一 米沢部三」(大沢村御巡検記、宝永七年大沢村庄屋齋藤五右衛門より御巡見事項書上他五件)／一冊(九五丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

1471-08 「読史堂史料 十二 米沢部四」(大沢村旧記二写、元禄一〇年、宝曆一二年四月、主に境争論)／一冊(七七丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

1471-09 「読史堂史料 十四 米沢部六」(藩政改革につき取調書類、天朝へ進達米沢藩五力年平均正租雜稅銘細書他二三件)／一冊(二六五丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地後補表紙 楮紙／九ノ2 林泉文庫／後補表紙に「明治二、三 堀尾重興手控」、原表紙表題は「心控 一ノ冊」／194-196

1471-10 「読史堂史料 十五 米沢部六」(編年体の米沢市史、天明六年七月一七日、天保九年一〇月二八日)／一冊(二二五丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

1471-11 「読史堂史料 十六 米沢部七」(検見綱目、享保五年御用廻状留帳、享保一八年御堀浚御普請入用帳面他三件)／一冊(一五二丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

1471-12 「読史堂史料 十七 最上部一」(延享二年五月高楯村安達久右衛門写年代記抜書、袖中雜録、漆山御料御代官記)／一冊(一四五丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、中表紙に高楯村安達久右衛門とあり／194-196

1471-13 「読史堂史料 十八 最上部二」(最上騒動記、立石寺騒動記、大山騒動顛末の写)／一冊(一六七丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／ト〇 林泉文庫／前半二件は「米沢市史編纂用紙」、後半は「東村山郡史編纂原稿用紙」使用／194-196

1471-14 「読史堂史料 十九 最上部三」(享保八年出羽国長瀨村一揆記の写)／一冊(二二二丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

1471-15 「読史堂史料 二十 最上部四」(最上中興事略、家康公御書類之写、寛政四年の最上家御先祖書写、寛政六年の寛永以来之略記)／一冊(一八三丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

1471-16 「読史堂史料 二十一 最上部五」(秋元家世譜、大永五年、正徳四年)／一冊(一三〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／194-196

1471-17 「読史堂史料 二十二 庄内部一」(加藤正從撰「鶏肋篇」二卷、地方境論の部他)／一冊(一四二丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／194-196

1471-18 「読史堂史料 二十三 庄内部二」(阪尾宗吾編「大泉叢志」卷十三、鄙のすさみ諷国府論、同二十六、御答書他)／一冊(一五六丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／194-196

1471-19 「読史堂史料 二十四 庄内部三」(阪尾宗吾編「大泉叢志」卷十八、庄内御郡中古事跡書、武藤系図、黒川村能由來他四件)／一冊(一三七丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／194-196

1471-20 「読史堂史料 二十五 庄内部四」(沙門広慶撰「金峰万年草」、金峰山内の諸所、堂宇等の解説)／一冊(九〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／194-196

伊佐早謙関係—編纂史料集—読史余纂

1486-01 「読史余纂 一」(本願寺本足利家御内書按抄、安得虎子等写)／一冊(五三丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／ト〇本 林泉文庫／210

1486-02 「読史余纂 二」(武州文書一、青山鳳閣寺所蔵文書、中山村比企道作所蔵文書等写) / 一冊(四八丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・七×一九・〇 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付四六丁、内題「史料雑纂」 / 210

1486-03 「読史余纂 三」(相州文書、大船村名主甘粕小三郎所蔵文書等写) / 一冊(五六丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・九×一九・〇 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付五五丁、内題「史料雑纂」 / 210

1486-04 「読史余纂 四」(伊達文書、阿保文書、下角田町泉小太郎所蔵文書等写) / 一冊(六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・八×一九・一 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付五五丁、内題「史料雑纂」 / 210

1486-05 「読史余纂 五」(佐竹文書、小笠原文書、白川文書等写、成就院所蔵大般若経詳細) / 一冊(七五丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・八×一九・〇 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付七四丁、内題「史料雑纂」 / 210

1486-06 「読史余纂 六」(享徳の乱関連、建仁寺文書、親元日記、奥州会津四家合考等写) / 一冊(一〇八丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・九×一九・一 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付一〇七丁、内題「史料雑纂」 / 210

1486-07 「読史余纂 七」(二階堂文書、結城小峰文書、宇都宮氏家蔵文書等写) / 一冊(六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・八×一九・九 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付六〇丁、内題「採訪文書」 / 210

1486-08 「読史余纂 八」(岩松文書、史料綱文、三宝院文書等写) / 一冊(七八丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・八×一八・八 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 墨付七六丁、内題「庚戌雜纂」付箋数カ所 / 210

1486-09 「読史余纂 九」(東州雜記、富岡訴状、御内書時案等写) / 一冊(八七丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・九×一八・九 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 内題「史料雑纂」 / 210

1486-10 「読史余纂 十全」(明治四一年内閣記録課本写武田勝頼滅亡記、榎葉郡他檢知高目録、最上義光書状等写) / 一冊(七九丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・八×一九・一 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 内題「武田勝頼滅亡記」 / 210

伊佐早謙関係—編纂史料集—史料

1487-01 「史料 一」(耕雲慈堂法語、御堂諸記録、真義真言宗関係法度類の写) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・一×一六・五 / 縦帳袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 〇本 林泉文庫 / 一部に「米沢市史編纂用紙」使用 / 211-2

1487-02 「史料 二」(癸卯探訪文書、庚戌消夏録他の中世上杉氏関係文書を採録) / 一冊(二八丁) / 明治三六年 / 二三・八×一五・九 / 縦帳袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 「上杉氏編纂所」「文科大学史料編纂掛」「参謀本部」「自習堂」の原稿用紙使用 / 211-212

1487-03 「史料 三」(秦湘行紀と、寛永七年の嶋津氏都路紀行の写) / 一冊(二八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一五・九 / 縦帳袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙使用 / 211-212

1487-04 「史料 四」(赤穂義信誠忠実録、新加別記元和日記他、赤穂事件関係の諸記録と医学天正記の写) / 一冊(二三〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・一×一五・九 / 縦帳袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 「米沢市史編纂用紙」「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、医学天正記のみ記載内容に関連無し / 211-212

1487-05 「史料 五」(藤原警秀筆「長崎商法三方申極」×并長崎諸役人分限付諸寺院社人修験付)写 / 一冊(八九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一六・一 / 縦帳袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 末尾に文化四年に藤原警秀が皇都にて養生堂所持の本を筆写した旨の記載あり / 211-212

1487-06 「史料 七」(庄内関係の地誌・自嬉抄卷五と、福島嶋屋佐右衛門に關する諸用留の写) / 一冊(二六六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一五・七 / 縦帳袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 「米沢市史編纂原稿用紙」「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、「史料六」は欠本 / 211-212

1487-07 「史料 八」(伊達信夫郡関係諸帳面の御引渡目録、堤三右衛門控の御代々御法度御触書、庄内栗田家記録、芥川総目録の写) / 一冊(三三〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・一×一五・八 / 縦帳袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙 / 一部に「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙使用、庄内栗田家記録は明治三五年一月に校了した旨の伊佐早謙の書込あり / 211-212

1487-08 「史料 九」(金山奉行関係、天保一四年、弘化三年の山崎信清日記写) / 一冊(二六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 縦帳袋綴冊子装

紺地原表紙 楮紙／内題「収史叢録」、「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙使用／211—212

1487—109 「史料十」(屋代郷関係、諸貢租に関する我妻要蔵書付と、元文三年の置賜郡年貢并小物成口枚代取立、宝曆一年の家数并牛馬数相記申帳他の写)／一冊(一一丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／内題「収史叢録」、朱書内題「屋代郷記録」、「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙使用／211—212

1487—110 「史料十二」(嘉永五年二月小国代官篠田清太宛意見書、赤湯川樋小岩沢荷通件御尋二付答書他)／一冊(二〇六丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／内題「米沢市史」、朱書内題「修史叢録上」、「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙使用／211—212

1487—111 「史料十二」(貞享元年四月の置賜郡村高辻帳、元禄四年の屋代郷検地帳)／一冊(一七二丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／211—212

1487—112 「史料十三」(文久三年の屋代郷騒動関係、仙台出張談判の大意、江戸表取量控)／一冊(八七丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／内題「屋代郷百姓一揆」、「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙使用、島田多門報告書の写カ／211—212

1487—113 「史料十四」(屋代郷騒動につき歎願書・答書、高島が山形県出張所となった際の演説大意他)／一冊(二〇三丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／冒頭一部欠損／内題「郷関係書類」、「米沢市史編纂用紙」の原稿用紙使用、目次あり／211—212

伊佐早謙関係—合綴史料集—鶏肋前集

1455—01 「鶏肋前集 一」(1455—01—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／182—183

1455—01—01 「火事帳」(元禄一三年四月一日〜同一四年五月九日、江戸における山王火の番や火消閑侍の日記)／一冊(九七丁)／元禄一三年／二三・七×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付九六丁／182—183

1455—02 「鶏肋前集 二」(1455—02—01〜06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—02—01〜06合綴／182—183

1455—02—01 「一元禄十六未ノ七月廿三日江口図書殿にて御渡シ被成候似せ金一堂御落着從江戸被仰渡御書面之写」(贖金を捨える者達の詮議につき)／一冊(一六丁)／元禄一六年七月二三日／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—02—01〜06合綴／墨付一五丁／182—183

1455—02—02 高橋吉輔届書(米沢城内御蔵にて盗賊入込み、盗品となった品名及びその対処につき)／一冊(六丁)／寛政六年一〇月／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／高橋平左衛門／1455—02—01〜06合綴／182—183

1455—02—03 御記録所意見書草稿(田沢村大賊の妻子を定価屋渡に処すべきか詮議につき)／一冊(六丁)／嘉永七年二月／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御記録所／1455—02—01〜06合綴／付札四点／182—183

1455—02—04 寺島権内意見所草稿(田沢村大賊の妻子を定価屋渡に処すべきか諸書にて詮議のこと)／一冊(一〇丁)／安政二年一月／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／寺島権内／1455—02—01〜06合綴／182—183

1455—02—05 片桐藤右衛門・小幡源吾宛 色部久長「御裁許書」(盗賊及び盗品の売り払いにつき申渡し)／一冊(五丁)／元治二年三月二三日／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／色部長門↓片桐藤右衛門殿・小幡源吾殿／1455—02—01〜06合綴／182—183

1455—02—06 弥三郎「来年江戸御供方書上書抜」(広居貞吉、大窪長右衛門他一五六名)／一冊(二五丁)／天保二年一月／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／弥三郎／林泉文庫／1455—02—01〜06合綴／182—183

1455—03 「鶏肋前集 三」(1455—03—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／182—183

1455—03—01 触留帳(俵約令、米沢城下町方への触等)／一冊(二〇九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・六×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙

／林泉文庫／182—183

1455—04 「鶏肋前集 四」(1455—04—01—04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—04—01—04合綴／182—183

1455—04—01 堤三右衛門・田中左右治宛 「御引渡目録写」(伊達郡・信夫郡・石川郡の検地帳、新田改帳等)／一冊(二三丁)／江戸中期(年未詳) 七月／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／辻六郎左衛門様御手代堤三右衛門殿・田中左右治殿／林泉文庫／1455—04—01—04合綴／墨付二丁／182—183

1455—04—02 「不敬類例并侍組三扶持方一紙連印之例役所調書」(佐藤文左衛門他、宝曆三年以降の判例等)／一冊(一八丁)／安政四年六月八日／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1455—04—01—04合綴／182—183

1455—04—03 御記録所「御締道伺書付札」(医師の羽織、諸士幼稚の子どもの産着等決めがたきことにつき伺)／一冊(四五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／1455—04—01—04合綴／182—183

1455—04—04 服部正経「上封」(米不足、米価高騰につき買米等にて蔵米上納のこと)／一冊(七丁)／天保三年一月／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／服部豊山世経(黒印)／1455—04—01—04合綴／182—183

1455—05 「鶏肋前集 五」(1455—05—01—03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—05—01—03合綴／182—183

1455—05—01 「御献上御拝領御太刀刀」(景勝から齊憲まで計五五振)／一冊(一一丁)／(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1455—05—01—03合綴／墨付七丁／182—183

1455—05—02 御台所日記抄(元禄一〇年二月六日、宝曆三年九月二九日)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—05—01—03合綴／182—183

1455—05—03 「晴秋の道つれ 乾」(村方の諸貢租の勘定等の手引書)／一

冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—05—01—03合綴／182—183

1455—06 「鶏肋前集 六」(1455—06—01—07の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—06—01—07合綴／182—183

1455—06—01 「宝曆十三年十月晦日御朱印到着二付御日帳書拔」(宝曆三年一〇月晦日、翌月八日)／一冊(八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—06—01—07合綴／182—183

1455—06—02 禁令拾遺(寛文六年正月三日、貞享四年六月二四日、二四通)／一冊(三四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—06—01—07合綴／182—183

1455—06—03 村上領主書上(上杉景勝、本庄繁長他、慶長二年、文久三年の越後村上領主変遷)／一冊(一七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—06—01—07合綴／柱題「領主之覚」／182—183

1455—06—04 系図写(上杉謙信に仕えた後上杉家を離れた、大垣藩戸田家家臣戸田基永から直茂まで、および筒井信季の子弟)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—06—01—07合綴／182—183

1455—06—05 千坂高敦他二名宛 竹俣当綱廻状写 他(内密の御用につき江戸を出立し只今下着と報じる等)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—06—01—07合綴／182—183

1455—06—06 口上書写(越後国預所の入費難渋につき御免下されたく等)／一冊(九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—06—01—07合綴／182—183

1455—06—07 齊藤舍人・齊藤平馬宛 齊藤実純書状写(齊藤家の系譜につき口伝、原本は文久元年(一八六一)六月三日付)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—06—01—07合綴／182—183

1455-07 「鶏肋前集 七」(1455-07-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455-07-01、02合綴 / 七家言上書、他 / 182-183

1455-07-01 「言上書写」(長尾景明他六名連署状、明和・安永改革への反対意見、原本は天明四年二月) / 一冊(五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455-07-01、02合綴 / 182-183

1455-07-02 「御裁許書」(七家騒動後、家老三人・侍頭四人の処罰につき) / 一冊(七丁) / 安永二年七月一日 / 二三・七×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455-07-01、02合綴 / 182-183

1455-08 「鶏肋前集 八」(1455-08-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・六×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 182-183

1455-08-01 「定例龜鑑」写(安永三年三月二十九日の米沢発駕から四月六日の江戸到着までの概要、贈答他) / 一冊(五四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・六×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 182-183

1455-09 「鶏肋前集 九」(1455-09-01、03の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455-09-01、03合綴 / 182-183

1455-09-01 御小姓頭「代官所江被為成長寿之者被召出候ニ付而行事」 / 一冊(一八丁) / 安永六年一月八日 / 二三・四×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御小姓頭 / 林泉文庫 / 1455-09-01、03合綴 / 182-183

1455-09-02 御右筆所「大殿様就御病氣御尋之御奉書御到来之行事」(上杉鷹山逝去につき、三月二日、三日) / 一冊(二三丁) / (文政五年)三月二日 / 二三・四×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御右筆所 / 1455-09-01、03合綴 / 182-183

1455-09-03 北御住居「天明八年七月三日、九月十一日迄」(御堂・御廟にて法要、上杉齊定誕生につき他) / 一冊(七九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・四×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 北御住居 / 林泉文庫 / 1455-09-01、03合綴 / 182-183

1455-10 「鶏肋前集 十」(1455-10-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 182-183

1455-10-01 木滑要人他三名筆、荻戸善政「凶荒豫備」写 / 一冊(四九丁) / 天保二年五月二日 / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 郡奉行兼木滑要人他三名 / 林泉文庫 / 墨付四七丁 / 182-183

1455-11 「鶏肋前集 十一」(1455-11-01、07の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455-11-01、07合綴 / 182-183

1455-11-01 「御入部ニ付御阿者御免被仰付候申渡之覚」(上松権大夫他五六名) / 一冊(二四丁) / 天明七年六月九日 / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455-11-01、07合綴 / 182-183

1455-11-02 「弾左衛門善七出入之節申出之書付被仰渡趣寛保式年之春写之」(善七幼少につき弾左衛門支配にて裁許あり) / 一冊(五丁) / 寛保二年写 / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455-11-01、07合綴 / 182-183

1455-11-03 荻戸善政・広居忠起達書(齊定の江戸初着座即日、白金邸引移りのこと) / 一通(二紙) / (文化三年カ)九月 / 一五・五×六三・四 / 切継紙 楮紙 / 荻戸九郎兵衛、広居図書 / 去月廿七日 : 次第相有之 / 1455-11-01、07合綴 / 182-183

1455-11-04 伺書(江戸初入部に伴う藩士階級ごとのお見立て場所につき) / 一通(六紙) / 江戸後期(年未詳)七月 / 一五・四×一八九・九 / 切継紙 楮紙 / 御玄関鏡板 : 奉伺候以上 / 1455-11-01、07合綴 / 柱題「御見立場所」 / 182-183

1455-11-05 荻戸「若殿様御出府御行事」(文化三年八月一七日、一九日) / 一冊(一四丁) / 文化三年八月 / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 荻戸 / 1455-11-01、07合綴 / 182-183

1455-11-06 荻戸「若殿様江戸御着座之段飛脚到着之上諸事届帳」(深沢嘉平太他一名宛 荻戸善政届書他八通) / 一冊(一八丁) / 文化三年九月 / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 荻戸 / 1455-11-01、07合綴 / 182-183

1455-11-07 御日小屋「若殿様御出府御入料帳」(御扶方への路銀等・合八

- 一兩三分五〇〇貫余) / 一冊(六丁) / 文化三年一月 / 二三・七×一六・〇 / 豎帳袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御日小屋 / 1455-111-01-07合綴 / 182-183
- 1455-112 「鶏肋前集 十二」(1455-112-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 182-183
- 1455-112-01 エンゲルヘルトゲンフル『日本志』写(志筑忠雄翻訳「鎖国論」) / 一冊(四六丁) / 元治二年四月九日 / 二三・五×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 182-183
- 1455-113 「鶏肋前集 十三」(1455-113-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455-113-01-03合綴 / 182-183
- 1455-113-01 「若殿様御出府二付御供之面々江申渡書案」(齊定の江戸出府につき供の面々に申渡書案) / 一冊(一七丁) / 文化三年七月 / 二三・七×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455-113-01-03合綴 / 182-183
- 1455-113-02 荏戸「若殿様就御出府御道中御條目并覚書等御渡之行事」(八月一日日一九日) / 一冊(八丁) / 文化三年八月一日 / 二三・七×一六・一 / 豎帳袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 荏戸 / 1455-113-01-03合綴 / 182-183
- 1455-113-03 荏戸「若殿様米沢御発駕飛脚到着分桜田御着白金御着殿迄之行事」(当日及び翌日にかけての米沢出立から江戸藩邸着座まで) / 一冊(二六丁) / 文化三年八月 / 二三・七×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 荏戸 / 1455-113-01-03合綴 / 182-183
- 1455-114 「鶏肋前集 十四」(1455-114-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455-114-01-02合綴 / 182-183
- 1455-114-01 御借物屋宛 立岩善右衛門「与板組居役償金出方帳」(与板組のうち居役、償金他の家臣名と知行地) / 一冊(三四丁) / 文化七年七月 / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 立岩善右衛門 / 御借物屋 / 林泉文庫 / 1455-114-01-02合綴 / 182-183
- 1455-114-02 「京都勤方書拔」(平林蔵人による御入内使者勤の概要、一月二五日一二月二五日) / 一冊(三一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・五×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455-114-01-02合綴 / 182-183
- 1455-115 「鶏肋前集 十五」(1455-115-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455-115-01-02合綴 / 182-183
- 1455-115-01 「分限帳」(与板組総武頭二八一人、組離五四人) / 一冊(三九丁) / 文化一五年三月 / 二三・七×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455-115-01-02合綴 / 182-183
- 1455-115-02 「白子神社縁起」写(祭神、末社、建物概要、宝物、逸話他、原本は享保五年九月九日) / 一冊(一四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455-115-01-02合綴 / 182-183
- 1455-116 「鶏肋前集 十六」(1455-116-01、05の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二二・九×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455-116-01-05合綴 / 182-183
- 1455-116-01 「若殿様御具足被進候付而之行事」(上杉齊憲への具足進献につき) / 一冊(六丁) / 天保五年六月 / 二二・九×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455-116-01-05合綴 / 「齊憲公年譜」天保五年六月一五日程参照 / 182-183
- 1455-116-02 調誦文(上杉齊定逝去につき供養) / 一冊(二丁) / 天保一〇年三月一〇日 / 二二・九×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455-116-01-05合綴 / 柱題「敬白誦調誦文之事」 / 182-183
- 1455-116-03 上杉齊定法要行事(法音寺における初七日から四十九日までの各法要) / 一冊(二二丁) / (天保一〇年) / 二二・九×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1455-116-01-05合綴 / 墨付一丁 / 182-183
- 1455-116-04 「於敬様御箸揃之行事」 / 一冊(二六丁) / 嘉永二年五月 / 二二・九×一五・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455-116-01-05合綴 / 墨付一五丁 / 182-183

- 1455—16—05 「東本願寺使僧参着在方ニ罷在候末寺妻子同帳ニいたし度旨御門主様御口上書寺社奉行存寄書六度書取等之写」(東本願寺御門頭使僧大念寺、登坂八兵衛申状他)／一冊(一一丁)／安政六年四月／二二・九×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1455—16—01、05合綴／182—183
- 1455—17 「鶏肋前集 十七」(1455—17—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／182—183
- 1455—17—01 大塚村陣之嶺新開一件留書(天保五年三月、同七年一月、御馬廻組と村方による関係書類三一通)／一冊(五四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／182—183
- 1455—18 「鶏肋前集 十八」(1455—18—01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—18—01、02合綴／182—183
- 1455—18—01 立岩「令条」(幕府令条、天保一四年二月、嘉永五年一〇月)／一冊(九〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／立岩／林泉文庫／1455—18—01、02合綴／182—183
- 1455—18—02 立岩「令条」(幕府令条、安政四年閏五月、文久元年一〇月)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／立岩／林泉文庫／1455—18—01、02合綴／182—183
- 1455—19 「鶏肋前集 十九」(1455—19—01、14の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—01 御側医中・好生堂掛り中「粮もの附録」(味噌製造のこと、饑歳かてものに当り療する事等五件に関する評議)／一冊(二三丁)／天保五年三月／二・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御側医中・好生堂掛り中／林泉文庫／1455—19—01、14合綴／墨付一二丁／182—183
- 1455—19—02 達書写(上巳、端午、七夕、八朔、重陽の出仕につき)／一冊(九丁)／安永八年八月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—03 達書写(治広初入部といえども大俵につき着服等苦しからず)／一冊(七丁)／(安永八年)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／柱題「寛」／182—183
- 1455—19—04 達書写(五ヶ年の節俵後も凶作につき改めて延引のこと)／一冊(二丁)／(安永八年)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—05 達書写(海浜警備につき俵取り行うこと)／一冊(四丁)／寛政九年一月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—06 達書写(天保期の俵約につき寛政期の締めりを潤色の上で申達す)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—07 達書写(在国および留守における出仕日につき)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—08 達書写(寛政九年一月より三ヶ年の俵約につき)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—09 達書写(天保九年より同一一年までの三ヶ年は再び俵約のこと)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)六月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—10 達書写(天保一二年一二月の馳参につき)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)一二月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—11 達書写(嘉永六年五月より三ヶ年の俵約につき)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)五月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183
- 1455—19—12 達書写(文久二年の大俵につき)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)一月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01、14合綴／182—183

1455—19—13 伺書写（公儀改政につき着服は勝手次第にしたく）／一冊（二丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01 14合綴／182—183

1455—19—14 達書写（天保一三年三月寛政の儉約令執行、嘉永三年三月中申合せにて追加分）／一冊（一五丁）／天保一三年四月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—19—01 14合綴／182—183

1455—20 「鶏肋前集 二十」（1455—20—01 05の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1455—20—01 05合綴／巻末に「風月場主人」と記載／182—183

1455—20—01 「蝦夷地騒動之一件二付西堀園右衛門益田宅次窪幾助沙汰聞緒トシテ南部津軽迄被遣候統公儀江差上候一書」／一冊（二六丁）／寛政五年二月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—20—01 05合綴／「治広公御年譜」寛政五年正月二四日条参照／182—183

1455—20—02 達書控（夷地のため物騒につき武器の充実と質入れすべからざること）／一冊（四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／長尾成景（花押）／1455—20—01 05合綴／祖父景任の写し／182—183

1455—20—03 同心組記録写（江戸家老村同心組の成立及び組替えの面々につき）／一冊（二八丁）／文久元年八月一三日写／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—20—01 05合綴／柱題「与力同心根元記」、墨付二五丁／182—183

1455—20—04 伺書（来る正月の上覧鉄砲の先勤をめぐる御馬廻組・五十騎組間の争いにて三手組頭の諭告につき）／一冊（五丁）／明和六年一二月晦日／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1455—20—01 05合綴／182—183

1455—20—05 竹俣当綱「富国談」写／一冊（八丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—20—01 05合綴／182—183

1455—21 「鶏肋前集 廿一」（1455—21—01 08の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1455—21—01 08合綴／182—183

1455—21—01 覚書（寛文元年の本丸・二ノ丸の煤払いにつき部屋ごとの担当部署）／一冊（三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1455—21—01 08合綴／182—183

1455—21—02 荻原重秀他一三名裁許状写（米沢・福島間の山境相論に係る裁許裏書、原本は元禄一一年一二月二日）／江戸後期（年月日未詳）／一冊（三丁）／元禄一一年一二月二日／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—21—01 08合綴／柱題「信夫郡福島領李平村・庭坂村・二井田村与板谷村・大沢村山境論二付江戸江被召登板谷村利運被仰付候色分ヶ之御絵図御裏書之写」／182—183

1455—21—03 覚書写（伏嗅頭須藤兵八郎の申立事項四件につき奉行宅にて申渡し、原本は宝永三年五月一七日）／一冊（二丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—21—01 08合綴／柱題「伏嗅頭須藤兵八郎願申立覚」／182—183

1455—21—04 日帳抜書写（寛文一一年一〇月二日、弘化三年一〇月）／一冊（四〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—21—01 08合綴／寛文一一年一〇月二日条のみ1455—21—01の直後に附属／182—183

1455—21—05 伺書写（主水様と駿河守様の御小姓の、武術上覧における師範の席並一件）／一冊（四丁）／（弘化四年）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—21—01 08合綴／柱題「覚」／182—183

1455—21—06 留書（本村清左衛門を勘定頭江部長左衛門の御吟味懸心添番に任命一件）／一冊（八丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—21—01 08合綴／墨付七丁／182—183

1455—21—07 「午睡のいとま」（高梨利左衛門の寛文目安、森平右衛門一件風説書等）／一冊（三〇丁）／近代（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1455—21—01 08合綴／墨付二九丁／182—183

1455—21—08 耕雲堂主人筆「御成座敷邯鄲枕」写（森平右衛門利真の伝記、一件に至る経緯、逸話等）／一冊（一一丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／耕雲堂主人写／虫損／1455—21—01 08合綴／末尾に嘉永三年以降の写本伝播の経過を記載／182—183

- 1455—22 「鶏肋前集 廿二」(1455—22—01—12の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—01 争論控(馬廻組・五十騎組間での鉄砲先動争論につき)／一冊(三丁)／明和六年二月晦日／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—02 竹俣当綱「富国談」写(藩政改革意見、地の利を尽くしての殖産興業等)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)一〇月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—03 軍法・掟書写(元和四年〜寛政九年、一三点)／一冊(二三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—04 三奉行違書写(火事場にて見物すべからず、濡筵での防火が第一のこと)／一冊(二丁)／(弘化五年)三月一四日／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—05 兵談論(規則器械の和洋両制につきそれぞれの長短の理解が肝要とのこと)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／冒頭に「或人之兵談」とあり／182—183
- 1455—22—06 御徒目付宛 達書(諸締嚴重に勤めるべし)／一冊(九丁)／慶応三年八月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／↓御徒目付／1455—22—01—12合綴／柱題「覚」／182—183
- 1455—22—07 日帳断簡(慶応元年九月二八日〜一〇月三日、主に京都での動向)／一冊(六丁)／慶応元年／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—08 継成宛 安貞書状他写(もう一通は二月三日付の金沢弥五兵衛書状、第二回長州征伐、將軍逝去のこと等報告)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／柱題「横浜正月七日之書状写」、甘糟継成宛カ／182—183
- 1455—22—09 「上意之大旨」(世の形勢切迫につき各所省略の仰せあり)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)一〇月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—10 小田切盛徳「米沢藩 立学費議学費學員」(教職員の人員配置、運営費の捻出方法)／一冊(四丁)／辛未(明治四年)五月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／盛徳拝議／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—11 「米沢藩 中小学規則兼女学規則」(小学校、中学校、女学校の科目一覽)／一冊(七丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—22—12 「大垣藩文武校規則」写(大垣藩藩校の修学規則、原本は江戸後期)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—22—01—12合綴／182—183
- 1455—23 「鶏肋前集 廿三」(1455—23—01—06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白茶地横刷毛目後補表紙／1455—23—01—06合綴／182—183
- 1455—23—01 進上書(去秋練兵の際に組外五十人頭陣笠一件につき、過去の判例を進上)／一冊(三丁)／慶応二年二月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1455—23—01—06合綴／182—183
- 1455—23—02 岩井左京宛 古川善兵衛届書(具足五五両、御乗鞍分等計上)／一冊(七丁)／寛文一三年三月二日／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／古川善兵衛↓岩井左京殿／1455—23—01—06合綴／182—183
- 1455—23—03 「福島馬上 未完」写(寛永一二年三月一六日に福島馬上十五騎に命じられた面々等)／一冊(九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1455—23—01—06合綴／182—183
- 1455—23—04 「松平越中守様御近習之面々江御咄之覚」(近習の者、納戸の者、側坊主等の心構え、大洲藩主加藤泰清宛 松平定信書状も附属)／一冊(一二丁)／寛政元年一〇月写／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1455—23—01—06合綴／182—183
- 1455—23—05 刀鍛冶等勤書(刀鍛冶、刃物鍛冶、御金具師、鉄御金具師)／一冊(七丁)／明和三年一〇月／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し

楮紙／1455—23—01—06合綴／182—183

1455—23—06 窪田半四郎宛 堤佐一書状写(上杉辰若丸の古臺にて狂気一件につき)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1455—23—01—06合綴／182—183

1455—24 「鶏肋前集 廿四」(1455—24—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／182—183

1455—24—01 達書写(疱瘡流行、桜田屋敷焼失等につき諸組頭・一列筆頭に下達すべし)／一冊(六三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／182—183

1455—25 「鶏肋前集 廿五」(1455—25—01—03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—25—01—03合綴／182—183

1455—25—01 直江兼統状留写(慶長一四年六月五日付平林蔵人佐宛他五通)／一冊(九丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—25—01—03合綴／墨付七丁／182—183

1455—25—02 荏戸善政「総紙」写／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—25—01—03合綴／墨付四二丁、書写の型紙あり／182—183

1455—25—03 滋野則親筆 鉄砲上覧規定写(弘化四年正月の鉄砲上覧にて申し合わせた規定につき)／一冊(四五丁)／文久元年二月／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／滋野則親(朱印)／林泉文庫・龍(朱印)／1455—25—01—03合綴／末尾に「文久元年臘月湯野川氏本を以て写畢ぬ」と記載／182—183

1455—26 「鶏肋前集 廿六」(1455—26—01—04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—26—01—04合綴／幕府令条目録／182—183

1455—26—01 「御令条目録 下」(享和元年、嘉永二年、幕府から出された法令の概要目録)／一冊(三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—26—01—04合綴

墨付三三丁／182—183

1455—26—02 「御式目録」(安政四年二月、慶応二年一〇月、米沢藩内の法令の概要目録)／一冊(一三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—26—01—04合綴／墨付一一丁／182—183

1455—26—03 「従公儀被仰出候高札御料私領相調留」(御領・私領内の高札書替えにつき)／一冊(二七丁)／天保一三年六月／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1455—26—01—04合綴／墨付一二丁／182—183

1455—26—04 「將軍御代替巡見使御越二付御城下在之御預所共高札書替之留」(高札場一五カ所の高札二〇三枚を書替えのこと)／一冊(一二丁)／天保九年閏四月／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御右筆所様／上部裁断／1455—26—01—04合綴／182—183

1455—27 「鶏肋前集 廿七」(1455—27—01—03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—27—01—03合綴／雜記、他／182—183

1455—27—01 今成氏由緒書(米沢藩士今成家、主に文禄、寛永年間、不分明ながらも由緒を伝え置く)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)一〇月／二三・七×一五・九／豎帳 楮紙／愛拝／林泉文庫／1455—27—01—03合綴／182—183

1455—27—02 書上(元禄五年六月三日、寛政一〇年正月六日、主に賞与の手当取量等の記事を集成)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1455—27—01—03合綴／182—183

1455—27—03 登坂作左衛門「言上」(江戸における上杉家への寒中見舞や歳暮の挨拶等、天明八年一月一日、二〇日)／一冊(三四丁)／天明八年／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／登坂作左衛門／林泉文庫／1455—27—01—03合綴／182—183

1455—28 「鶏肋前集 廿八」(1455—28—01—05の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—28—01—05合綴／182—183

1455—28—01 「東岳院様七回忌御忌被為当候付御当日斗浅草於宝蔵院御茶湯御執行之御事」(文化元年三月一日〜二六日、上杉重定の七回忌関係) / 一冊(八丁) / 文化元年三月二六日 / 二三・六×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455—28—01 / 05合綴 / 182—183

1455—28—02 靈仙寺「御堂御行事 附年中御供膳敷之御定」(不識院及び余尊への御膳上他) / 一冊(八丁) / 寛政二年九月 / 二三・六×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 靈仙寺 / 1455—28—01 / 05合綴 / 表題脇「寛政十二年十一月改而此通与被仰出御城代松木将監を以申達之」 / 182—183

1455—28—03 「於江戸御法事御茶湯之式」(年忌に係る付届けの諸品及び長尾権四郎宛 中条豊前他三名御用状草案) / 一冊(二二丁) / 享和三年九月 / 二三・六×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455—28—01 / 05合綴 / 182—183

1455—28—04 「宮松様御髪置御祝之次第」(上杉齊定の髪置につき祝儀として諸品贈答) / 一冊(二八丁) / 寛政二年二月二七日 / 二三・六×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455—28—01 / 05合綴 / 182—183

1455—28—05 「達之助様御宮参之次第」(上杉勝定のお宮参りにつき御奥御用人中へ諸事申届) / 一冊(二二丁) / (明和六年)一〇月二一日 / 二三・六×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455—28—01 / 05合綴 / 182—183

1455—29 「鶏肋前集 廿九」(1455—29—01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455—29—01 / 02合綴 / 182—183

1455—29—01 松平越中守「公事御定書」(元文元年二月〜寛政二年三月) / 一冊(三二丁) / 寛政二年四月 / 二三・三×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 松平越中守 / 林泉文庫 / 1455—29—01 / 02合綴 / 182—183

1455—29—02 触書写(諸事俵約につき、享保五年四〜六月) / 一冊(三二丁) / (享保六年) / 二三・三×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1455—29—01 / 02合綴 / 墨付二八丁 / 182—183

1455—30 「鶏肋前集 卅」(1455—30—01、11の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 中表紙に「上杉鷹山公伝用紙」使用 / 182—183

1455—30—01 略日記(享保三年正月二日〜五月一日) / 一冊(八丁) / (享保三年カ) / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 1455—30—01 / 11合綴 / 四ツ目綴の装丁跡あり / 182—183

1455—30—02 代官所宛 佐藤興一郎他六名願書写(茂庭村山道の通行により駄馬不足にて困窮につき往古の通り差留められたく) / 一冊(五丁) / 安政七年三月 / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 182—183

1455—30—03 佐藤興一郎・斉藤五右衛門願書写(荷物の運送に注意・禁止事項等九ヶ条) / 一冊(九丁) / 安政七年三月 / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 佐藤与一郎・斉藤五右衛門 / 1455—30—01 / 11合綴 / 柱題「以手続書申上候事」 / 1455—30—02の文中に見える「別紙手続書」は本文書を指す / 182—183

1455—30—04 「寛永四卯年李平江相渡り候御高札之写」(寛永四年六月〜宝曆六年正月二日、八枚) / 一冊(八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 柱題「覚」 / 182—183

1455—30—05 役所留書(役所役古藤清左衛門が高足にて無礼致す一件につき) / 一冊(五丁) / 文政三年五月 / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 柱題「役所之留」 / 182—183

1455—30—06 「役所々差出候手控江村札仕留」(家督・跡式の継承につき八件) / 一冊(三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 墨付二丁 / 182—183

1455—30—07 令条(格外の大俵につき不心得なきよう致すべし) / 一冊(三丁) / 嘉永六年六月 / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 182—183

1455—30—08 「令条」(鳴物停止にても文武の稽古及び調練等は遠慮に及ばず) / 一冊(四丁) / 嘉永六年七月 / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 墨付三丁 / 182—183

1455—30—09 上意書写(足高にて扶持方が侍組に会釈のみの不敬失礼を致さざるようにすべし) / 一冊(三丁) / 安政六年一〇月 / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1455—30—01 / 11合綴 / 柱題「上意之大旨」 / 182—183

1455—30—10 「当戊十月今来亥九月迄御蔵入万納方江戶米沢御抄方御返除金共二一円御統道取調帳」(不足として二万二三八両余)／一冊(八丁)／寛政二年一月／二三・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—30—01—11合綴／182—183

1455—30—11 「諸口取調之帳」(借入金、仕切料、俵約金等別途継承)／一冊(一八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1455—30—01—11合綴／182—183

1455—31 「鶏肋前集 卅一全」(1455—31—01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1455—31—01—02合綴／中表紙に「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／182—183

1455—31—01 御勘定所「御領知御取箇元払帳」(郡中村高一七万八千石のうち蔵納等の差引分を列記)／一冊(二八丁)／安永二年八月／二三・八×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御勘定所／飯田蔵書・林泉文庫／虫損、焼け焦げ跡あり／1455—31—01—02合綴／朱書きで天保一四年時の後筆あり／182—183

1455—31—02 「給要集」(「新知銀之法」他一九ヶ条、俸給の米金額の算出法)／一冊(三九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1455—31—01—02合綴／182—183

伊佐早謙関係—合綴史料集—鶏肋後集

1456—01 「鶏肋後集 一」(1456—01—01—04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1456—01—01—04合綴／184—186

1456—01—01 上杉茂憲筆「御直書敬斉公御洛日記」写(慶応元年一月九日—二月一日、年譜編集のため茂憲自身が書写し伊佐早に与えたもの)／一冊(一六丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1456—01—01—04合綴／後補表紙に、年譜編集のために茂憲が当時の手記を自ら抄録して下賜した旨の記載あり／184—186

1456—01—02 戊辰戦争期書状写(五通、八月の降伏に伴う土佐藩、高鍋藩からの勧告と藩内でのやり取り)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一

六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—01—01—04合綴／184—186

1456—01—03 戊辰戦争略記(正月から五月頃まで)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—01—01—04合綴／184—186

1456—01—04 維新後記事追加項目(貞姫(山内栄子)動向はじめ主に上杉家の家族関係)／一冊(三三丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—01—01—04合綴／年譜編纂の関係資料／184—186

1456—02 「鶏肋後集 二」(1456—02—01—03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1456—02—01—03合綴／184—186

1456—02—01 飯田与捨右衛門「文政十一年以来御郡中捨人数書上」(男女・出家・修験、座頭の文久二年までの各年人数)／一冊(二〇丁)／文久二年一月／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／飯田与捨右衛門／林泉文庫／1456—02—01—03合綴／184—186

1456—02—02 「御大俊是迄之通御執行之行事」(不容易の時勢につき年中行事事約)／一冊(二五丁)／文久二年一月／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—02—01—03合綴／184—186

1456—02—03 「銃軍御改革被 仰出候付取量之行事」／一冊(二八丁)／文久二年一月／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—02—01—03合綴／184—186

1456—03 「鶏肋後集 三」(1456—03—01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1456—03—01—02合綴／184—186

1456—03—01 御記録所「御上洛供奉 禁裏御警衛急登総人数」(文久上洛時の供奉人数、禁裏御警衛人数、出発日等別の名簿)／一冊(三九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／林泉文庫／1456—03—01—02合綴／184—186

1456-03-02 文久三年事情(文久三年二月〜一月の藩内の書状写等)／一冊(五八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／1456-03-01、02合綴／184-186

1456-04 「鶏肋後集 四」(1456-04-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／184-186

1456-04-01 長名兵衛「屋代郷百姓騒立一件 公裁相済候上猶又仙台表江数人立越候付為評判御使者被仰付罷越候諸事談判向留」(一〇月二六日の屋代郷騒動への対応につき仙台藩との交渉役拜命から二月二五日までの役務日記)／一冊(八八丁)／元治元年一月／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／長／林泉文庫／184-186

1456-05 「鶏肋後集 五」(1456-05-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／184-186

1456-05-01 明治元年事実(明治元年七月〜同三年、日光宮動座、松前戦争、齊藤篤信・神保乙平書状写、明治三年「政庁日乗」、藩政改革関係書類他)／一冊(七八丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／冒頭に索引あり、一部に「日光宮様奥羽御動座布告文」(木版)、明治二年の木滑政愿日記を含む／184-186

1456-06 「鶏肋後集 六」(1456-06-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／184-186

1456-06-01 「軍功恩賞 甲」(六月二日、八月二日、畠山修造他戊辰戦争関係)／一冊(五九丁)／近代(年月日未詳) 明治時代初期／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／184-186

1456-07 「鶏肋後集 七」(1456-07-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／184-186

1456-07-01 「軍功恩賞 乙」(一月一六日分、畠山修造他戊辰戦争関係)／一冊(三八丁)／明治初期(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／184-186

1456-08 「鶏肋後集 八」(1456-08-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456-08-01、06合綴／184-186

1456-08-01 軍務所「兵制規則」(明治二年頃の大隊頭から雷撃隊、遊撃隊等の人選方法、軍役金、袖印の図解他)／一冊(二六丁)／明治二年／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／軍務所／林泉文庫／1456-08-01、06合綴／末尾に軍務大属から打手までの座並図一点挟み込み、一部に会談所の意見を記した貼紙あり／184-186

1456-08-02 「米沢藩職司録」(大参事以下、各部署の役職と人数)／一冊(一二丁)／(明治二年頃)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456-08-01、06合綴／184-186

1456-08-03 八郎願書写(舎密学研究出精、松根油牛乳他製造につき官費飯料等下賜下された、後半に原三左衛門他三名と今井利兵衛他の対応案を記載)／一冊(三三丁)／辛未(明治四年)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／八郎／伊藤基松根油石炭油：両儀御高評奉仰候／1456-08-01、06合綴／184-186

1456-08-04 鍵屋甚右衛門・梶川伊兵衛宛 山口屋佐七願書(書物御用を継続致したく)／一冊(二丁)／明治二年五月／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／芝赤羽根家主熊右衛門地借山口屋佐七(黒印) ↓ 鍵屋甚右衛門殿・梶川伊兵衛殿／御屋敷様芝御宿坊：御取次奉頼候已上／1456-08-01、06合綴／柱題「乍恐以書附奉願上候」、前半に取次を願う旨の御役人衆中宛 鍵屋甚右衛門・梶川伊兵衛添状あり／184-186

1456-08-05 米沢藩他三藩県宛 神奈川県通知文写(蚕種製造人より添付の通り出荷数の願い出あり、鑑札交付時の員数報知を依頼す)／一冊(五丁)／辛未(明治四年)三月／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／神奈川県 ↓ 館藩・福島藩・米沢藩他／当県支配所武州：御承知有之度存候也／1456-08-01、06合綴／米沢藩支配では小出宿石屋佐五右衛門とあり／184-186

1456-08-06 明治二年書類(冒頭は四方石の削地線替に関する上杉茂憲嘆願書写、以降は版籍奉還、藩政改革に関する諸藩の改革内容と意見書類、高鍋藩坂田潔建白、和歌山藩、大垣藩の藩政改革関係他)／一冊(三六丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1456-08-01、06合綴／184-186

1456-09 「鶏肋後集 九」(1456-09-01の表紙)／一冊／近代(年

月日未詳) / 二三・六×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-109-01 慶応三年から明治二年書類(慶応三年の王政復古関係の京都詰藩士の意見書写、明治元年の主に戊辰戦争戦後処理関係書類、明治二年の削地繰替関係他の書状類他) / 一冊(九四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・六×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 一部は宮島誠一郎他の原本を含む / 184-186

1456-110 「鶏肋後集 十」(1456-110-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・六×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-110-01 立岩則親編「福島庄内方面拾遺 戊辰雜秘録」(明治元年八月〜二月、主に藩内重臣と他藩からの書状類の写) / 一冊(八九丁) / 明治初期(年月日未詳) / 二三・六×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 滋野則親 / 林泉文庫 / 184-186

1456-111 「鶏肋後集 十一」(1456-111-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-111-01 軍制改革書類(明治二年一月の軍制改革による隊頭任命書他) / 一冊(八二丁) / (明治二年頃) / 二三・七×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 題箋剥離 / 184-186

1456-112 「鶏肋後集 十二」(1456-112-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・六×一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1456-112-01、02合綴 / 184-186

1456-112-01 「蝦夷地開拓日乗」(明治二年五月二日〜一〇月一八日、主に通達や何書等の控) / 一冊(一七丁) / 明治二年 / 二三・六×一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1456-112-01、02合綴 / 184-186

1456-112-02 明治二年から三年記事(明治二年〜同三年の屋代郷関係書類写、明治三年米沢藩管内人員戸数取調、陸軍旗章以下彩色規定図) / 一冊(二七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・六×一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1456-112-01、02合綴 / 184-186

1456-113 「鶏肋後集 十三」(1456-113-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-113-01 東京米沢重役間書状(スネル一件、雲井龍雄一件、堀尾啓助・松本誠蔵に関する仙台藩との交渉一件、上杉謙信勅祭一件他) / 一冊(八〇丁) / 明治二年 / 二三・七×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 原本、全て堀尾重興の筆か / 184-186

1456-114 「鶏肋後集 十四」(1456-114-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-114-01 立岩「機叢私史」(明治二年元旦〜一月二八日の藩政関係の日記) / 一冊(四六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫・□・□ / 作成者は立岩則親カ / 184-186

1456-115 「鶏肋後集 十五」(1456-115-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 / 1456-115-01、02合綴 / 184-186

1456-115-01 明治元年から二年記事(明治元年一月〜同二年五月、主に明治二年の若松詰藩士からの来状、政府通達類の控、同三年衆議院建白書) / 一冊(七七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 1456-115-01、02合綴 / 184-186

1456-115-02 「集議員建白」写(明治三年頃、長州藩山口栄蔵、広島藩石井正敏他四名連名、大参事以下職掌他につき) / 一冊(六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1456-115-01、02合綴 / 184-186

1456-116 「鶏肋後集 十六」(1456-116-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-116-01 文久二年から三年記事(長州征伐、異国船渡来、寺田屋事件他の書状、触等) / 一冊(六九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 184-186

1456—117 「鶏肋後集 十七」(1456—117—01)の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—117—01 「御上洛御供心得申達書」(総勢心得、御借金と荷物貫目規定他)／一冊(七丁)／文久二年二月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—117—02 「上覧御鉄砲之行事」(正月一八日、二日)／一冊(九丁)／文久四年正月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—117—03 忠孝「警衛登三付控 日記并御触」(慶応二年四月五日、六月二七日、江戸藩邸滞在中の五十騎組藩士の私日記 訓練勤が中心)／一冊(一一丁)／慶応二年四月五日／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／忠孝／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—117—04 毛利業広「訓練心得ケ条」(西洋流訓練の手順と心得等二八か条)／一冊(六丁)／慶応二年八月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／毛利上総／1456—117—01)の合綴／貼紙や抹消多数／184—186

1456—117—05 色部久長「鳴物法則」(起床の鉦以下、貝、太鼓等による準備)／一冊(三丁)／慶応三年五月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／色部長門／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—117—06 色部久長「御令条」(軍令集、押前(行軍)掟、総勢心得他、色部長門名で発令)／一冊(一〇丁)／慶応三年八月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／色部長門／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—117—07 「御書写」(上総夫松五郎、文政年中以来、上総部屋も役割を勤め六〇余年奉公、御賞として生涯盆暮に玄米二俵)／一冊(四丁)／慶応元年二月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—117—08 色部久長「総勢心得」(明神稟訓練式のまま万事省略他着致、装備、供連れ等)／一冊(八丁)／慶応三年八月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／色部長門／1456—117—01)の合綴／184—186

1456—118 「鶏肋後集 十八」(1456—118—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／184—186

1456—118—01 「文久三年記」(下関戦争、生麦事件他の主に風聞留)／一冊(七一丁)／(文久三年頃)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／184—186

1456—119 「鶏肋後集 十九」(1456—119—01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1456—119—01)の合綴／184—186

1456—119—01 破瓦楼「元治元甲子雜録」(天狗党の乱、下関戦争関係の幕府からの通達他)／一冊(三七丁)／(元治元年頃)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／破瓦楼／林泉文庫／1456—119—01)の合綴／184—186

1456—119—02 文久二年記事(銃軍改革と大俵約令の執行、後半は慶応元年、嘉永二年、慶応三年の大俵令と執行行事)／一冊(五三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／1456—119—01)の合綴／184—186

1456—120 「鶏肋後集 廿」(1456—120—01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—120—01)の合綴／184—186

1456—120—01 立岩「若殿様 御上洛二付御供方面附」(慶応元年上杉茂憲上洛の供奉人名、隊ごとに記載)／一冊(三一丁)／慶応元年二月／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／立岩／林泉文庫／1456—120—01)の合綴／後補表紙に「立岩」とあり／184—186

1456—120—02 立岩「茂憲公御名代御上洛記」草稿(御名代御上洛記一と六、一は慶応元年一月、二月、六は慶応二年四月一日、二九日)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／立岩／1456—120—01)の合綴／一の表紙に「関了」、六の表紙に「不用反故」と朱字で記載あり、訂正多数／184—186

1456—121 「鶏肋後集 廿一」(1456—121—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／184—186

1456—21—01 「米沢藩中老若林秀秋翁手記」(慶応二年一月二八日、慶応三年二月二〇日、末尾は明治元年七月一八、二〇日分)／一冊(六六丁)／慶応二年二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／若林秀秋／林泉文庫／本文一丁目下半分が破損／冒頭三丁は「上杉氏編纂所」の原稿用紙を用いた後補表紙と解説、本文は原本か／184—186

1456—22 「鶏肋後集 廿二」(1456—22—01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—22—01、02合綴／184—186

1456—22—01 慶応二年から明治元年記事(慶応二年長州征伐一件、明治元年正月の上坂総勢心得、慶応三年後半の江戸米沢間の主に奉行御用状写)／一冊(五〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1456—22—01、02合綴／184—186

1456—22—02 明治二年記事(官位相当表、太政官沙汰書、東京と米沢の重臣間の御用状の写、大滝新十郎他の藩政改革建白書他)／一冊(四八丁)／(明治二年頃)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1456—22—01、02合綴／184—186

1456—23 「鶏肋後集 廿三」(1456—23—01、07の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／内側の題箋剥離／1456—23—01、07合綴／184—186

1456—23—01 太政官宛 上杉齊憲建白書写(会津藩征討中止歎願、原本は明治元年三月)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1456—23—01、07合綴／184—186

1456—23—02 立岩「御境御固順番帳」(板谷口以下の警護部隊名、貼紙で交代人員を記載)／一冊(七丁)／明治元年閏4月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／立岩控／1456—23—01、07合綴／184—186

1456—23—03 明治元年書状写(八月、二月頃の主に越後、福島、庄内方面の他藩重臣、米沢藩重臣の書状写、書類の写)／一冊(二七丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—23—01、07合綴／184—186

1456—23—04 「大滝新蔵諸藩江応接手続書」写(明治元年一月の奥羽越諸藩への降伏勧告)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳

袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—23—01、07合綴／184—186

1456—23—05 本庄昌長他三名「御届書」写(原本は明治元年一月二日に斉藤篤信が北越軍事参謀吉井友実、大総督仁和寺宮に提出、福島、会津、庄内各方面の奏効につき)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—23—01、07合綴／冒頭に作成経緯の貼紙あり／184—186

1456—23—06 明治元年から明治二年記事(明治元年二月、同二年正月、会津への出兵指示、撤兵隊へのフランス式軍制導入指示、恩功労賞他の戦後処理)／一冊(三七丁)／明治時代初期／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1456—23—01、07合綴／一月一四日部分に明治元年一月二九日付の会談所・元締所宛 役所書状原本を貼付／184—186

1456—23—07 戸田右門嘆願書(江戸にて兵隊募集、独断にて興禅寺へお渡しの六九〇両は拙者より弁納したく)／一冊(四丁)／明治元年二月／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／戸田右門(黒印)／1456—23—01、07合綴／戸田は江戸の屋敷の管理者だが追放されていた人物／184—186

1456—24 「鶏肋後集 廿四」(1456—24—01、03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—24—01、03合綴／184—186

1456—24—01 若松詰参謀達書写(明治元年一月一日、二日)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1456—24—01、03合綴／184—186

1456—24—02 本庄昌長他三名「御届書」写(福島、会津、庄内方面での新政府側として謝罪以来の実効)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—24—01、03合綴／1456—23—05と同文／184—186

1456—24—03 村山礼三郎・青柳延之助「仙城節誌略」(仙台表での見聞)／一冊(六丁)／巳(明治二年)正月一六日／二三・六×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／村山礼三郎・青柳延之助／1456—24—01、03合綴／184—186

1456—25 「鶏肋後集 廿五」(1456—25—01、09の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1456—25—01、09合綴／184—186

1456—25—01 奉行所宛 斎藤篤信他二名意見書写（会津征討への対処法、原本は明治元年四月三日）／一冊（二丁）／近代（年月日未詳）／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 素紙紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1456—25—01—09合綴／後補表紙に「丹心秘叢 機密方」明治元年 同年四月以後諸士上言書類 但原本とあり／184—186

1456—25—02 関弥惣左衛門意見書写（体制挽回のため、各藩の団結強化、人材登用他、原本は明治元年八月）／一冊（六丁）／近代（年月日未詳）／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—25—01—09合綴／184—186

1456—25—03 山吉盛助他七名意見書写（上杉家存続のため降伏承諾のこと、諸藩への対応案他、原本は明治元年八月）／一冊（八丁）／近代（年月日未詳）／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—25—01—09合綴／原本の宛所表記は「奉呈 御家老下」／184—186

1456—25—04 志賀陽太郎意見書（西洋銃にはクロス付の早合を用いたく、三〇号筒の打ち手増員他三か条）／一冊（九丁）／明治元年八月二日／二三・四×一五・六／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御馬廻組相浦官蔵組 志賀陽太郎（黒印）／1456—25—01—09合綴／184—186

1456—25—05 意見書写（上杉家存続のため仙台藩と評判の上降伏のこと、原本は明治元年八月頃と推定）／一冊（三丁）／近代（年月日未詳）／二三・四×一五・六／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—25—01—09合綴／184—186

1456—25—06 丸山駒太郎・石丸双橋意見書（佐渡を質に入れスネルに和議の扱いを頼むべきこと）／一冊（四丁）／明治元年八月／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／丸山駒太郎・石丸双橋／1456—25—01—09合綴／184—186

1456—25—07 意見書（等級に関わらない人材登用他九か条）／一冊（五丁）／近代（年月日未詳）／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—25—01—09合綴／184—186

1456—25—08 河村彦左衛門「上書」（御境固のため強壯の若者は軍陣に差し向け、老体隠士は農官・内官諸役とす他軍略）／一冊（二二丁）／明治元年八月／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／河村彦左衛門（黒印）／1456—25—01—09合綴／184—186

1456—25—09 中島有斐意見書（上杉茂憲の庄内出兵は危険につき反対す）／一冊（二丁）／明治元年九月／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／中島有斐泣血稽首／1456—25—01—09合綴／184—186

1456—26 「鶏肋後集 廿六」（1456—26—01—09の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—26—01—09合綴／184—186

1456—26—01 「鄙論」写（御家中一統分限をもって軍用金御備、銃軍改革のため八号筒張立御家中お渡し、原本は慶応初年頃カ）／一冊（三三丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1456—26—01—09合綴／184—186

1456—26—02 尻高光利「論更鐘」（漢文体、鐘の効用、後半は「論抑奢」と題した儉約と法制に等に関する論）／一冊（六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／臣尻高光利再拜敬具（黒印）／1456—26—01—09合綴／184—186

1456—26—03 庄田益助・塩田才八宛 役所書状写（御仲間組小山長次郎跡の苗字相続願につき相談、原本は八月二六日付）／一冊（七丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／1456—26—01—09合綴／原本の差出表記「御役所 猪俣 藤田」／184—186

1456—26—04 戸坂為蔵意見書（会津討伐先鋒はお断り、仙台勢御国に繰り込み御締は老人派遣がしかるべく他二か条）／一冊（四丁）／明治元年四月／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／戸坂為蔵／1456—26—01—09合綴／184—186

1456—26—05 上倉哲蔵・岩崎安之助探索書（榎峠他、越後各地の戦死者埋葬状況、米沢藩への協力者の状況他）／一冊（四丁）／明治元年二月／一五・〇×三三・五／縦帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／上倉哲蔵・岩崎安之助／1456—26—01—09合綴／柱題「覚」／184—186

1456—26—06 高橋新右衛門意見書（小国方面他の藩境防衛の軍略）／一冊（三丁）／（明治元年）八月二日／一五・〇×三七・〇／横帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／高橋新右衛門上／1456—26—01—09合綴／柱題「御時勢柄多恐之至を不顧愚慮奉言上候事」／184—186

1456—26—07 今府甚吉「言上書」（嚮導のため奇兵隊結成のこと）／一冊（四丁）／明治元年四月／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／貞

四郎父隠居 今府豊吉(黒印) / 1456-26-01-09合綴 / 184-186

1456-26-08 軍令写(総督大隊頭は君の如く他九か条) / 一冊(三丁) / 明治元年四月 / 二三・五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1456-26-01-09合綴 / 184-186

1456-26-09 「明治戊辰記」(五月、九月の書類写、一三日付有栖川大総督宛 輪王寺宮口書、一八日付大滝新蔵他二名宛 小見鍋蔵・片山一貫書状他) / 一冊(三六丁) / 明治時代初期(年月日未詳) / 二三・五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1456-26-01-09合綴 / 184-186

1456-27 「鶏肋後集 廿七」(1456-27-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・六・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-27-01 長尾景直「軍務之式草稿」(明治元年四月二日、閏四月二五日の日記、主に軍政府からの達) / 一冊(四三丁) / 明治元年 / 二三・六・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 長尾 / 林泉文庫 / 184-186

1456-28 「鶏肋後集 廿八」(1456-28-01-03の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 / 1456-28-01-03合綴 / 184-186

1456-28-01 「白石書拔」(明治元年閏四月、鎮撫総督への会津藩謝罪降伏周旋関係書類写) / 一冊(一九丁) / 近代(年月日未詳) 明治時代初期 / 二三・七・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1456-28-01-03合綴 / 184-186

1456-28-02 政府「日記」(明治元年七月六日、一〇月三日、米沢藩関係) / 一冊(三八丁) / 明治元年 / 二三・七・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 政府 / 林泉文庫 / 1456-28-01-03合綴 / 冒頭の書込みによれば前半は若林秀秋、後半は竹俣久綱 / 184-186

1456-28-03 秘書局「諸伺」(立岩半三郎、目黒利兵衛、奉行部屋機密書記方を命じられ、席次、紙類お渡し他につき) / 一冊(二六丁) / 明治元年二月 / 二三・七・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 秘書局 / 1456-28-01-03合綴 / 184-186

1456-29 「鶏肋後集 廿九」(1456-29-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七・一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

4-186

1456-29-01 慶応元年記事(四月、一〇月まで、長州征伐を中心にした幕府の達、諸藩の意見書他) / 一冊(一一八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七・一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 184-186

1456-30 「鶏肋後集 卅」(1456-30-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・五・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 184-186

1456-30-01 軍政府「仙行日簿」(閏四月九日、一七日の日記、上杉齊憲の白石出張関係) / 一冊(六五丁) / 明治元年四月 / 二三・五・一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 軍政府 / 林泉文庫 / 墨付五二丁 / 184-186

1456-31 「鶏肋後集 卅一」(1456-31-01-11の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・五・一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1456-31-01-11合綴 / 184-186

1456-31-01 「越後志拔書」(天正一五年、寛永四年記事、加治莊竹俣城、七葉城の略記) / 一冊(四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五・一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 1456-31-01-11合綴 / 184-186

1456-31-02 明治元年から三年記事(明治三年二月今井新次郎・中條政恒宛直吉他三名書状写、本庄弥六郎の隠居願、綿入筒袖代金お贈り御礼につき二本松藩使者口上) / 一冊(七丁) / 明治二年頃 / 二三・五・一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1456-31-01-11合綴 / 184-186

1456-31-03 明治元年から二年記事(明治二年一〇月上杉齊憲帰藩の行事、八月二日の戊辰戦争戦況につき北越方面附録、明治二年二月の多久与惣兵衛宅対話他) / 一冊(一一丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・五・一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1456-31-01-11合綴 / 184-186

1456-31-04 「諸藩伺書江御附紙之写」(藩制仰せ出され士族等級俸禄等改革のため方針・基準につき仙台藩、篠山藩、久保田藩の質問と回答) / 一冊(一二丁) / 明治三年 / 二三・五・一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1456-31-01-11合綴 / 墨付一二丁 / 184-186

1456-31-05 「博奕改律」(博奕をした者の処罰への内済は制禁止厳罰化につき会談所、役所等藩内の議論) / 一冊(九丁) / 明治二年五月 / 二三・五・一五・八

／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—31—01—11合綴／墨付七丁／184—186

1456—31—06 新次郎他二名宛 清次他二名書状(雲井龍雄宛刑は慙愧に堪えず、新律綱領をもう一冊下されたく他八カ条)／一冊(四丁)／辛未(明治四年)正月一四日／二三・五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／清次他二名↓新次郎様他二名／1456—31—01—11合綴／直吉は物書関係の小倉直吉か／184—186

1456—31—07 処罰者名前書(打ち首と永預等となった奥羽越列藩同盟各藩の上層部)／一冊(三丁)／明治二年頃／二三・五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—31—01—11合綴／184—186

1456—31—08 役料調書(大参事以下卒族まで諸役職ごとの役料、御賞俵数他)／一冊(九丁)／(明治二年)／二三・五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—31—01—11合綴／184—186

1456—31—09 小田切盛徳問書(八月三日に神祇官にて小野判官演達、宣教使人選の基準と職務内容)／一冊(二丁)／(明治三年)／二三・五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—31—01—11合綴／184—186

1456—31—10 米沢藩「改革後 公廨一ヶ年費用凡見詰取調帳」(租税他の収入と家禄、公廨費他の支出見積)／一冊(四丁)／明治二年一月／二三・五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／米沢藩／1456—31—01—11合綴／184—186

1456—31—11 米沢藩「支配地総高并現米銀惣高雑税共取調帳」(高の内訳、貢租内訳、正租税と雑税、紅花・青芋・漆他)／一冊(四丁)／明治二年一月／二三・五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／米沢藩／1456—31—01—11合綴／184—186

1456—32 「鶏肋後集 世二」(1456—32—01—09の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—32—01—09合綴／184—186

1456—32—01 上杉家歴代略記草稿(上杉景勝から茂憲の東京移住まで、一部は「藩翰譜」の引用か)／一冊(二六丁)／近代(年月日未詳)／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1456—32—01—09合綴／墨付二五丁／184—186

1456—32—02 今井市内何書(宮武一郎への屋代郷拝領尽力賞与により毎年八俵下賜のところ一昨年の事件につき渡し方なし、往返路用の金子のみ下賜)／一通(二紙)／(明治三年)六月二〇日／一四・四・六八・五／切継紙 楮紙／今井市内／宮武一郎先年屋代郷：此段御伺申上候以上／1456—32—01—09合綴／柱題「覚」／184—186

1456—32—03 御公用方役所宛 村上勘次郎・宮武一郎嘆願書(屋代郷拝領時の尽力と下賜の経緯を述べ妻子養育のため御仁恵を乞う)／一冊(八丁)／明治三年六月／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／村上勘次郎(黒印)・宮武一郎(黒印) ↓御公用方御役所／1456—32—01—09合綴／184—186

1456—32—04 御役所宛 加藤政太郎届書(品川沖停泊の徳川家軍艦向陽乗船の佐藤市之丞の指示により横浜表にて弾薬鉛等購入のため白銀屋敷の糶、その他青芋等売払の一件、宮武一郎ら米沢にいたる顛末)／一冊(一一丁)／辰(明治元年)九月／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／加藤政太郎↓御役所／1456—32—01—09合綴／墨付一〇丁／184—186

1456—32—05 書記意見書(襦高袴ケツトマンテルの類の装束等奢侈の風俗が下々にも及び金銭を尊ぶ風潮により軍律立ちがたく御国体にも関わる)／一冊(二丁)／近代(年未詳) 四月／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／書記／1456—32—01—09合綴／明治初期の作成カ／184—186

1456—32—06 仙台藩士遠藤小三郎・松崎仲太夫書状写(三月二〇日付、養子経丸の叙任に対する御祝は固くお断り)／一通(一紙)／(明治元年)／二三・七・一五・九／豎帳 楮紙／三月廿六日伊達陸奥守様内：如斯御座候以上／1456—32—01—09合綴／184—186

1456—32—07 聞繕書(江戸開城につき徳川家への申し渡し写)／一冊(二丁)／(明治元年頃)／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—32—01—09合綴／184—186

1456—32—08 報告書(大坂親征につき仙台藩京都詰菅原龍吉、後藤正左衛門と談判)／一冊(五丁)／明治元年三月末頃／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—32—01—09合綴／作成者は宮島誠一郎と推定、「戊辰日記」によれば宮島は三月二五日に菅原と談判／184—186

1456—32—09 高尚筆「多功氏旧年代記抄」(永正元年九月、貞享元年八月二八日、「三重年表」に遺漏分を補遺)／一冊(六丁)／文久壬戌(文久二年) 一一月写／二三・七・一五・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／高尚／1456—32—

01〜09合綴／末尾に三重年表と交合の上、遺漏を写し置いた旨の記載あり、筆写者は登坂高尚カ／184—186

1456—33 「鶏肋後集 世三」(1456—33—01〜12の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—33—01〜12合綴／184—186

1456—33—01 諸口御固人数帳(板谷庭坂口、茂庭口、小坂口、越後関并蓬生田口、玉川口他主に藩境の部隊編成)／一冊(四八丁)／(明治元年八月頃)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1456—33—01〜12合綴／墨付三九丁／184—186

1456—33—02 森長義宛 庄田秀苗他三名書状写(スネル訴訟一件、相馬藩や仙台藩、村松藩他の状況、原本は明治二年二月二六日)／一冊(八丁)／近代(年月日未詳)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1456—33—01〜12合綴／184—186

1456—33—03 房川渡関所番宛 高津景尊書状写(置賜郡御預所騒動一件につき金原村源左衛門他一五名を土屋豊前守方へ差出につき御通し下された、原本は元治二年二月付)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御名御預所羽州置賜郡：御通可被下候以上／1456—33—01〜12合綴／二丁目に江戸到着後の四月以降の対応を記載／184—186

1456—33—04 増尾新兵衛・酒井清兵衛宛 木滑政愿・高津景尊書状写(同席中へ長州征討の達書と関連書類一式順達につき、原本は慶応元年八月二日付)／一冊(一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／以手紙致啓上候：如斯御座候以上／1456—33—01〜12合綴／墨付九丁、増尾と酒井は吉井藩士／184—186

1456—33—05 日記(文久三年二月〜三月、英仏蘭等より軍艦二〇隻当港へ入津他)／一冊(一紙)／(文久三年)／二三・二五・七／縦紙 楮紙／1456—33—01〜12合綴／184—186

1456—33—06 上洛日記抜粹(米沢から京都へ、二月一日に京都着、三月五日頃まで記載)／一冊(六丁)／(文久三年)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—33—01〜12合綴／文中に勇之進とあり、国許の父宛に送ったものの控／184—186

1456—33—07 遠藤宛 小見鍋蔵書状写(英国船来航への幕府の対応につき古賀茶溪より聞き書き)／一冊(二丁)／(文久三年)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—33—01〜12合綴／184—186

綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—33—01〜12合綴／184—186

1456—33—08 徳川家茂願書写(將軍職辞職につき)／一冊(二丁)／(文久三年)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—33—01〜12合綴／前後欠か／184—186

1456—33—09 書状写(長州征伐中止となり京都にて茂憲の帰国歎願のところ、江戸にて斉憲の帰国が先に許可され困惑す)／一冊(五丁)／(慶応二年)八月二五日／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—33—01〜12合綴／作者は京都詰めの人物／184—186

1456—33—10 徳川家茂請書写(政権委任につき、後半は書類一式順達の関連書類)／一冊(八丁)／(元治元年)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／1456—33—01〜12合綴／墨付五丁／184—186

1456—33—11 水戸浪人石田万之助「斬姦趣意書」写(安藤信正の罪状詳細)／一冊(四丁)／(文久二年)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—33—01〜12合綴／184—186

1456—33—12 江戸三人宛 京都三人書状写(二月一九日付と二八日付、上杉齊憲参内の様子他)／一冊(二丁)／(文久三年)／二三・二五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—33—01〜12合綴／184—186

1456—34 「鶏肋後集 世四」(1456—34—01〜03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七五・七／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—34—01〜03合綴／184—186

1456—34—01 用状控(東京と米沢の主に正権大属間の往来、明治三年一月二日〜同四年八月二五日、洋学生選抜、洋学校設置、滝川喜八死去、雲井龍雄一件他)／一冊(六二丁)／明治三年／二三・七五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1456—34—01〜03合綴／184—186

1456—34—02 小幡敬次郎意見書(屋代郷騒動一件につき、高島に奉行を立て番所を移動他)／一冊(一七丁)／元治元年七月／二三・七五・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／宰次郎嫡子 小幡敬次郎(黒印)／1456—34—01〜03合綴／184—186

1456—34—03 木滑政愿届書写(屋代郷騒動一件につき、後半は仙台藩留守居の届書)／一冊(二〇丁)／(文久三年)／二三・七五・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—34—01〜03合綴／墨付九丁／184—186

1456—35 「鶏肋後集 卅五」(1456—35—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／184—186

1456—35—01 用状控(明治三年三月一七日〜五月一日の東京米沢の往復書簡、連隊練兵天覧、米沢藩常備兵員、雲井龍雄一件他)／一冊(六九丁)／明治三年／二三・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／184—186

1456—36 「鶏肋後集 卅六」(1456—36—01〜07の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙／1456—36—01〜07合綴／184—186

1456—36—01 仙台藩通達并藩情間繕書(明治二年三月〜明治三年の陳情類、版籍奉還につき米沢藩への通達、藩内での内紛他)／一冊(二六丁)／明治二年頃／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1456—36—01〜07合綴／184—186

1456—36—02 新政府廻状留書(明治元年二月〜三月分)／一冊(一一丁)／明治元年／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—36—01〜07合綴／墨付一〇丁／184—186

1456—36—03 米沢藩職制案(政事局以下各局の職名と等級、「藩治職制」に沿ったものか)／一冊(五丁)／明治元年一〇月頃／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—36—01〜07合綴／184—186

1456—36—04 書状嘆願書等留書(版籍奉還に伴い知行返上につき侍組諸士願書他、屋代郷替地につき酒田県知事宛 神保乙平意見書他)／一冊(二二丁)／明治二年頃／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—36—01〜07合綴／184—186

1456—36—05 米沢藩職制案(月給、意見、職制別の人数)／一冊(二二丁)／明治四年／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—36—01〜07合綴／意見は辛未(明治四年)四月一四日付許可とあり／184—186

1456—36—06 米沢新田藩役人宛 千住宿本陣秋葉庸太郎願書(本陣勤めるところ火災のため困窮、拝借金のみでは再建できず御助成下されたく)／一冊(四丁)／明治二年九月／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／奥州道中千住宿御本陣 秋葉庸太郎(黒印) ↓米沢新田様御内 御役人衆中様／1456—36—01〜07合綴／184—186

1456—36—07 「紀州和歌山藩政改革」(職制と禄制、役料、「無役高割」、「文武官人約料定」)／一冊(一一丁)／明治二年頃／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—36—01〜07合綴／184—186

1456—37 「鶏肋後集 卅七」(1456—37—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／184—186

1456—37—01 国分恭胤「大令」(太政官や藩からの触達留、明治三年閏一月一八日〜同四年一二月)／一冊(八二丁)／明治三年／二三・六×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／国分恭胤／林泉文庫／184—186

1456—38 「鶏肋後集 卅八」(1456—38—01〜06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1456—38—01〜06合綴／184—186

1456—38—01 軍政府「去年中戦争之刻戦死之面々於林泉寺二夜三日御直祭被成下候付而之行事」(明治二年三月二六日〜二四日、林泉時にて戊辰戦争の戦死者供養)／一冊(二二丁)／明治二年三月／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 後補原稿用紙表紙・共紙原表紙 楮紙／軍政府／林泉文庫／1456—38—01〜06合綴／墨付一二丁／184—186

1456—38—02 齊藤篤信「宣教鄙見」下書(宣教使としての教化意見書)／一冊(二四丁)／明治四年五月／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／齊藤篤信／1456—38—01〜06合綴／184—186

1456—38—03 齊藤篤信「鄙衷」下書(教部省職務に関する意見書、神道教導職存廃他)／一冊(二四丁)／(明治)九年八月／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／齊藤篤信／1456—38—01〜06合綴／184—186

1456—38—04 「義社事件書類」(初売払騒擾一件につき山形県他への上申書、区長齊藤篤信宛の書類他)／一冊(三五丁)／(明治一〇年)／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1456—38—01〜06合綴／一部は「山形県第十大区事務所」用箋使用、一部の書類は押印のある原本、墨付三三丁／184—186

1456—38—05 「輝虎兄晴景ノ家督ヲ授受シ争戦コレナキ証」(晴景から謙信への家督継承についての考察)／一冊(二〇丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—38—01〜06合綴／本紙

の前に1456—38—05、06の表紙を付す／184—186

1456—38—06 藩翰譜書継（新政府の命により上杉斉定以降茂憲までの事績、明治五年の西洋勤学まで、後半は重定から茂憲までの系図）／一冊（二二丁）／明治五年頃／二三・五×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1456—38—01
1456合綴／184—186

伊佐早謙関係—合綴史料集—鶏肋集

1457—01 鶏肋集 一（1457—01—01—08の表紙）／一冊／明治九年／二四・〇×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 後補原稿用紙表紙／楳拜／ケ〇本／1457—01—01—08合綴／一部は坂蘭溪の校正あり／187—188

1457—01—01 齊藤篤信「散遊記草」（紀行文と漢詩集の草稿四件、「癸酉漫草」、明治九年三月「榎田觀梅後記」他）／一冊（三七丁）／明治六年頃／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／藤篤信草／1457—01—01—08合綴／原稿用紙使用／187—188

1457—01—02 齊藤篤信「旅況漫陰」（庄内の飽海・田川郡への旅行中の漢詩草稿）／一冊（六丁）／明治一四年一月頃／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／馬陵篤信草／1457—01—01—08合綴／原稿用紙使用／187—188

1457—01—03 齊藤篤信「明治壬午詩稿」（漢詩草稿、後半は「会心雜草 五絶之部」、「戊寅起草」）／一冊（二二丁）／明治一五年／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／馬陵小史／1457—01—01—08合綴／原稿用紙使用／187—188

1457—01—04 齊藤篤信漢詩草稿（「寄題深田学事移居」他一首）／一冊（二丁）／明治一四年頃／二四・〇×一六・九／原稿用紙 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／篤信草／1457—01—01—08合綴／一枚は朱棹、一枚は青棹の原稿用紙使用／187—188

1457—01—05 齊藤篤信「公余漫陰」（漢詩草稿、赤川新橋の視察のため庄内出張時）／一冊（六丁）／明治丁丑（明治一〇年）一〇月／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／齊藤篤信拝稿／1457—01—01—08合綴／「龍之妄批」とあり、薄井龍之カ／187—188

1457—01—06 齊藤篤信「研北余陰」（漢詩草稿、折に触れ賦した作）／一冊（八丁）／明治壬午（明治一五年）三月／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／馬陵篤信稿／1457—01—01—08合綴／原稿用紙使用／187—188

1457—01—07 齊藤篤信「虎兎年野草」（漢詩草稿、後半は明治一二年八月の高湯温泉旅行時）／一冊（一五丁）／明治元年頃／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／馬陵小史／1457—01—01—08合綴／原稿用紙使用／187—188

1457—01—08 齊藤篤信漢詩草稿（「南摩君羽峯見示近作…」、明治一九年の柴原和県令の来郡時他）／一冊（九丁）／明治一九年頃／二四・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／篤信拝乞／1457—01—01—08合綴／坂蘭溪の朱批あり／187—188

1457—02 鶏肋集 二（1457—02—01—06の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／187—188

1457—02—01 「謙信公御年譜」写（天文一九年の白傘毛氈鞍覆免許の部分）／一冊（四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457—02—01—06合綴／187—188

1457—02—02 高松松平家上杉家系図（松平頼儀から頼熙まで2種、頼恭から頼熙まで一種、いずれにも上杉齊憲室の郁姫の記載あり）／一冊（一四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1457—02—01—06合綴／上杉齊憲の子弟系図、また末尾に御預所の異筆記載あり、上杉齊憲四八歳とあり／187—188

1457—02—03 小山田将監宛 上泉主水書状写（最上陣における畑谷・長谷堂での戦況を報じる、原本は慶長五年九月一八日）／一冊（三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1457—02—01—06合綴／187—188

1457—02—04 広居出雲達書（天保一二年の節の通り武器改のこと）／一冊（七丁）／江戸後期（年未詳）五月／二三・五×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／広居出雲／1457—02—01—06合綴／187—188

1457—02—05 和歌集（作者は上杉謙信、高津唯恒、三俣吉年、前田慶次他、はば上杉家と家中）／一冊（七丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・七／

8 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1457-02-01、06合綴／187-1188

1457-02-06 側方歴代補任帳 (天明、寛政年間の傳役、側用人、小姓、側医他)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五・一五・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御小姓部分に貼紙剥離あり／1457-02-01、06合綴／187-1188

1457-03 鶏肋集 三(1457-03-01、10の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／樺拝／187-1188

1457-03-01 「忠静一代行状記」(子の啓吉に示した片桐忠静の伝記、九歳で母死去から五四歳で上杉家家扶退職まで)／一冊(九丁)／近代(年月日未詳)／二三・七・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-03-01、10合綴／明治二五年の賞与に関する貼紙あり／187-1188

1457-03-02 桜井義信願書下書(孝養善行につき千坂高景に賞与下されたく)／一冊(三丁)／明治三〇年二月／二三・七・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／桜井義信／1457-03-01、10合綴／187-1188

1457-03-03 「緑筠軒詩鈔」予約申込書(同書は大須賀筠軒の漢詩集)／一通(一紙)／(大正元年)／二三・七・一五・八／縦帳 機械漉紙／大須賀筠軒／総目巻一却灰残稿：同時二発送スベシ／1457-03-01、10合綴／活版／187-1188

1457-03-04 宇都宮広綱宛 上杉謙信書状写(原本は天正二年閏一月二四日付)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／二三・七・一五・八／縦帳 楮紙／奈良文書：あつちんより けん信／1457-03-01、10合綴／「時習堂」罫紙使用、原本は奈良文書／187-1188

1457-03-05 商社概要書(資本金九万四千円と新旧の役人)／一通(一紙)／(明治一〇年)／二三・七・一五・八／縦帳 楮紙／○資本金：右ハ県庁ヨリ命ス／1457-03-01、10合綴／柱題「商社之事」、末尾に義社預金返済方法に関する小森沢長政の書き入れ・押印と、宮島誠一郎の押印あり／187-1188

1457-03-06 伊佐早謙宛 小山文三郎書状(母へ孝養の竹刈源吉へ賞与のため上申書起草を願う)／一通(二紙)／近代(年未詳)三月九日／一六・五・七三・〇／切継紙 楮紙／小山文三郎↓伊佐早幸吉様／改年之御慶目出度申納候：年始御礼御頼迄得貴意候頓首／一部破損／1457-03-01、10合綴／続けて草刈源吉の孝養

につき上申書下書きの縦帳あり／187-1188

1457-03-07 千坂高景履歴書(興讓館で漢学を学び、米沢の小学校教員となり明治二六年まで記載、1457-03-02の附属か)／一通(二紙)／(明治二六年頃)／二三・七・一五・八／縦帳 表紙無し 楮紙／山形県米沢市屋代町：此証書ヲ授与ス 同／1457-03-01、10合綴／187-1188

1457-03-08 浅野長剛履歴書(嘉永五年、愛知国中島郡一宮生まれの平民、巡查や軍人等を務め北海道へ渡る)／一冊(一一丁)／明治四二年一月／二三・七・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／浅野長剛(朱印)／1457-03-01、10合綴／後半に明治三二年段階の同種の文書あり／187-1188

1457-03-09 「熊野社由緒」(吹屋敷村に所在、祭神と伊達氏時代から安政二年再建まで)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・七・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1457-03-01、10合綴／187-1188

1457-03-10 華族会館廻章(章程改正につき、回覧後は第二部長上杉茂憲へ戻すこと)／一冊(三六丁)／近代(年未詳)一〇月／二三・七・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 原稿用紙後補表紙 楮紙／樺拝／1457-03-01、10合綴／「華族会館」の罫紙使用、一部は回覧者が自身の意見を記載、後補表紙には「鶏肋集 華族会館破糊紙」とあり／187-1188

1457-04 鶏肋集 四(1457-04-01、15の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・八・一五・九／縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1457-04-01、15合綴／187-1188

1457-04-01 伊佐早謙「山形ホテル庭園由緒」(主に秋元家時代からの由緒、大正一〇年まで記載)／一冊(四丁)／大正一〇年頃／二三・六・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・原稿用紙後補表紙 機械漉紙／樺拝／林泉文庫／1457-04-01、15合綴／謄写版／187-1188

1457-04-02 伊佐早謙宛 星野泉四郎書簡(上杉清方自殺の原因、高著輝虎公記の感想他)／一冊(七丁)／大正一〇年頃／二三・六・一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 機械漉紙／星野泉四郎拜↓伊佐早先生 侍史／1457-04-01、15合綴／「時習堂」の罫紙使用／187-1188

1457-04-03 伊佐早謙宛 渡部董之助書簡(上杉鷹山像写真送付の御礼として金七円送付)／一通(一紙)／明治三六年八月一日／二三・六・一五・八／縦帳 機械漉紙／文部省総務局図書課長文部書記官 渡部董之助(朱印)↓伊佐早謙殿／拝啓 益々御清建：御礼迄申進候敬具／1457-04-01、15合綴／「文部省」用箋使

用／187—188

1457—04—04 太政官符写 (諸国寺院の梵鐘を鑄造し大砲鑄造のこと、原本は安政元年二月三日)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 楮紙／五畿七道諸国司：依 宣行之符至奉行／1457—04—01—15合綴／187—188

1457—04—05 砂越宗順宛 最上義光書状写 (下国Ⅱ安藤氏との通交に関して留意すべき事項他の指示、原本は梅雨一六日付)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 袋綴冊子装 表紙無し 機械漉紙／1457—04—01—15合綴／「木公山舎」用箋使用、原本は天正九年と推定される／187—188

1457—04—06 晴峰漢詩「林外有声白練飄」(七言絶句)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 機械漉紙／晴峰考補草／林外有声白練飄：即事芳礎□教／1457—04—01—15合綴／「上杉氏編纂所」原稿用紙使用、伊佐早に添削を乞う旨の記載あり／187—188

1457—04—07 徳漢詩「戊申九月旬七奉迎 東宮殿下恭賦」(皇太子(後の大正天皇)の米沢行啓を詠んだもの)／一通(一紙)／戊申(明治四年)／二三・六×一五・八／堅紙 機械漉紙／徳敬具／九重龍種始東轅：再巡奥羽化元元 仰玉斧／1457—04—01—15合綴／伊佐早謙に添削を乞う旨の記載あり、朱批あり／187—188

1457—04—08 伊佐早謙宛 米沢市役所委嘱状(米沢市史編纂を嘱託す)／一通(一紙)／明治四三年一月二十九日／二三・六×一五・八／堅紙 機械漉紙／米沢市役所(朱印) ↓伊佐早謙殿／当市々史編纂嘱託：此段申進候也／1457—04—01—15合綴／「米沢市役所」用紙使用／187—188

1457—04—09 「種徳寺建立不許可之顛末」(本間光丘による種徳寺建立二件、安政三年却下)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 袋綴冊子装 表紙無し 機械漉紙／1457—04—01—15合綴／謄写版／187—188

1457—04—10 林述齋宛 上杉齊定書状等写(計三通、二通目は林から齊定宛、三通目は佐竹右京大夫宛、飢饉対応につき、原本は天保年間)／一冊(八丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 袋綴冊子装 表紙無し 機械漉紙／1457—04—01—15合綴／「上杉氏編纂所」原稿用紙使用、三通とも上杉家文書に原本あり／187—188

1457—04—11 松本右門宛 島津教忠・毛利業広書状写(米沢藩に附属し平藩

も函館へ出兵一件、冒頭に添状あり、原本は明治元年二月四日付)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1457—04—01—15合綴／187—188

1457—04—12 武器刀剣目録(守次の太刀、小反兼光刀、長光太刀、代々着初めの具足他の寸法と刀装具詳細、由緒)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 袋綴冊子装 表紙無し 機械漉紙／1457—04—01—15合綴／187—188

1457—04—13 有札「伊佐早先生 恩榮記詩上梓二付覚」(紙の種類別の枚数、末尾は伊佐早謙「恩榮紀詩」)／一冊(五丁)／大正二四年二月下旬／二三・六×一五・八／堅紙 袋綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙／有札／1457—04—01—15合綴／墨付は一丁表と末尾一丁のみ／187—188

1457—04—14 「要門拾粹」写(兵法書の綱目、原本は文禄三年三月序)／一冊(七丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／堅紙 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／林泉文庫／1457—04—01—15合綴／187—188

1457—04—15 御記録所答書(小国御扶持方の来歴)／一通(一紙)／明治三年七月／二三・六×一五・八／堅紙 楮紙／記室／小国御扶持方の来歴：就御尋此段申上候以上／1457—04—01—15合綴／後半に「上杉氏編纂所」原稿用紙一枚あり／187—188

1457—05 鶏肋集 五(1457—05—01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／堅紙 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／187—188

1457—05—01 富所半左衛門「御小納戸系図」(御小納戸組各家の勤書、伊佐早家を含む)／一冊(五五丁)／天保九年三月／二三・六×一六・〇／堅紙 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／富所半左衛門／林泉文庫／朱筆訂正、付箋あり／187—188

1457—06 鶏肋集 六(1457—06—01—04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／堅紙 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／ケ〇本／1457—06—01—04合綴／187—188

1457—06—01 越後栃尾町常安寺由緒書写(建立から文久二年まで、白井双林寺代僧善長寺より留守居に提出)／一冊(二五丁)／(文久二年)／二三・七×一五・九／堅紙 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／幸民写／林泉文庫／1457—06—01—04合綴／後補表紙に「幸民写」とあり／187—188

1457-06-02 「諸宗寺院宗門改帳元」写(所在地と本末関係を記載、原本は元禄七年六月)／一冊(三二丁)／明治庚子(明治三年)六月二〇日／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／読史草堂／1457-06-01-04合綴／原本は中山喜助が持ち来り、明治三年六月二〇日に書写した旨の「読史草堂」の朱書あり／187-188

1457-06-03 「最上山関興庵実録」(歴代住職、上田にて上杉家歴代を大旦那として回向、書状類他)／一冊(二五丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1457-06-01-04合綴／187-188

1457-06-04 「風台寺鎮守妙音弁財天由緒」(三の丸堀中より出現、蒲生重郷の勧請から元禄七年頃、目利の履歴)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1457-06-01-04合綴／187-188

1457-07 鶏肋集 七(1457-07-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／187-188

1457-07-01 「米沢春秋 卷二」写(上杉綱憲の略年譜、寛文四年〜延宝七年)／一冊(三七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／187-188

1457-08 鶏肋集 八(1457-08-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／187-188

1457-08-01 「孝子草稿諸例」(孝子賞与の先例、後半は孝子伝)／一冊(七一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／187-188

1457-09 鶏肋集 九(1457-09-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1457-09-01-02合綴／187-188

1457-09-01 「古簡牘」(上杉氏家臣倉田家の伝来文書、常陸國小荃東林寺他に伝来した上杉氏関係の戦国期から江戸初期の文書の写)／一冊(二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-09-01-02合綴／187-188

1457-09-02 「定例龜鑑 卷四十六」(法音寺と林泉寺の住職と由緒)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-09-01-02合綴／表紙に「読合濟」、「清書濟」とあり／187-188

1457-10 鶏肋集 十(1457-10-01、05の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1457-10-01-05合綴／187-188

1457-10-01 「御城代日記鈔」(寛政六年正月二六日〜一〇月一九日)／一冊(二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-10-01-05合綴／187-188

1457-10-02 御付側方先例集(上杉家子女付の側方の勤め方と給金)／一冊(一〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1457-10-01-05合綴／187-188

1457-10-03 古文書写(御小納戸・組外他の米沢藩士が所持する天正年間の文書一二通)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1457-10-01-05合綴／187-188

1457-10-04 「蔵田家一件 草稿」(蔵田左五之丞家の家紋、菩提寺、由緒を回答)／一冊(六丁)／文政四年四月／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1457-10-01-05合綴／187-188

1457-10-05 「麻布御屋鋪辻番所御条目写」(正徳五年〜安永四年)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-10-01-05合綴／187-188

1457-11 鶏肋集 十一(1457-11-01、03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙・白茶地横刷毛目後補表紙／1457-11-01-03合綴／187-188

1457-11-01 「西竹本拔書」(上杉氏家臣の動向を編年で書き記した記録、天文一八年〜正保元年)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1457-11-01-03合綴／187-188

1457-11-02 黒川義元覚書写(祖父等から聞き集めた主に上杉景勝時代の逸話集)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・六／豎帳 袋綴

冊子装 表紙無し 楮紙／1457-111-01、03合綴／187-1188

1457-111-03 善行者書上控(文化年間、中津川次右衛門、棚橋源吾他の善行者の執成願書等)／一冊(四七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・六／
 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／1457-111-01、03合綴
 ／187-1188

1457-112 鶏肋集 十二(1457-112-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・五／
 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1457-112-01、02合綴／187-1188

1457-112-01 「奉行隠居差留」(序、享保期の竹俣勘解由から安永八年の吉江喜四郎まで)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・五／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-112-01、02合綴／
 内容記載から「定例亀鑑」の草稿の一部カ／187-1188

1457-112-02 「上覧御鉄砲被仰出候御触之案」(侍組以下各組や部署別の勤方他)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・五／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫 貼紙剥離／1457-112-01、02合綴／
 触書の草稿二点挟み込み／187-1188

1457-113 鶏肋集 十三(1457-113-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／
 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1457-113-01、02合綴／187-1188

1457-113-01 「組外扶持方由緒」(慶長五年組外衆覚書、五十人頭の故実と凡例他、嘉永六年頃まで)／一冊(三七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-113-01、02合綴／187-1188

1457-113-02 逸話集(主に上杉定勝時代カ、謙信の家臣との接し方につき安田治部らの夜話他)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・八／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-113-01、02合綴
 ／187-1188

1457-114 鶏肋集 十四(1457-114-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／
 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／ケ○本／1457-114-01、02合綴／187-1188

1457-114-01 遍照寺記(宥諦以来の歴代住職、「仙台社寺明鑑」より連坊小

路町遍照寺由緒他)／一冊(四六丁)／大正、昭和初期(年月日未詳)／二三・六×一五・九／
 縦帳 袋綴冊子装 原稿用紙後補表紙 機械漉紙／林泉文庫／1457-14-01、02合綴／
 文中に大正四年に齊藤与次兵衛により書写の記載あり、後半は「慈恩寺の称号」等の他寺院関係／187-1188

1457-114-02 「戸田家譜抜書」(渋谷善兵衛基永から内記永基まで、弥兵衛永重代が中心)／一冊(一六丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／
 縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙／1457-114-01、02合綴／「大垣史談会
 用紙」使用／187-1188

1457-115 鶏肋集 十五(1457-115-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／
 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／187-188

1457-115-01 「奥羽徴古志 二」(延暦元年、文治三年の漢文体歴史書)／一冊(八五丁)／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・八／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／187-1188

1457-116 鶏肋集 十六(1457-116-01、03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・九×一五・四／
 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙／1457-116-01、03合綴／187-1188

1457-116-01 蔵書目録(御記録所「局中書籍」、御蔵書籍、北・南御長持入日記、記録類を含む)／一冊(一四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・四／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1457-116-01、03合綴／187-1188

1457-116-02 御記録所「分限帳目録」(古代土籍、差紙帳等を含む、文久元年まで)／一冊(七丁)／慶応三年四月改／二三・七×一五・四／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所／1457-116-01、03合綴／187-1188

1457-116-03 碑文集(徳川光圀「鳳足硯碑」と関連書状、会津猪苗代嶺山石碑文他四種)／一冊(二八丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・四／
 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1457-116-01、03合綴／表紙紙背に「林先生碑集也」と墨書あり／187-1188

1457-117 鶏肋集 十七(1457-117-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・六×一五・九／
 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／187-1188

- 1457-17-01 服部政相「米沢春秋 一」(景勝の米沢移封から綱勝死去までの略年譜) / 一冊(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・六×一五・九 / 縦帳袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 187-188
- 1457-18 鶏肋集 十八(1457-18-01-05の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1457-18-01-05合綴 / 187-188
- 1457-18-01 御記録所「京都御用達小森次右衛門家来成一件」(文化一〇年の京都屋敷の内貸渡一件も追記、原本は安永六年四月) / 一冊(二七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・六×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御記録所 / 林泉文庫 / 1457-18-01-05合綴 / 187-188
- 1457-18-02 加治家由緒書(加治景英から景明まで、越後流軍学関係) / 一冊(六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・六×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1457-18-01-05合綴 / 187-188
- 1457-18-03 組付御扶持方先祖書写(佐久間家・萩原家他の元文年間先祖書、河野家・山岸家他の略系図) / 一冊(四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・六×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1457-18-01-05合綴 / 187-188
- 1457-18-04 「三州刈谷藩堀江弥左衛門分長尾権四郎江来翰之写」(旧姓は長尾、系図旧記改めにつき堀江家由緒を詳述) / 一冊(九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・六×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1457-18-01-05合綴 / 187-188
- 1457-18-05 御記録所「拾八組御足輕 玉庭住居面附」(居住者九四名を書上、末尾は米価対策の大目付触) / 一冊(二〇丁) / 慶応元年二月 / 二三・六×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御記録所 / 1457-18-01-05合綴 / 187-188
- 1457-19 鶏肋集 十九(1457-19-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 187-188
- 1457-19-01 伊佐早謙「読史堂漫録」(上杉家所蔵の正応版法華経跋文、甲陽軍鑑のこと他、歴史関係の小論考や資料集) / 一冊(七〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 米沢伊佐早謙 / 林泉文庫 / 187-188
- 1457-20 鶏肋集 廿(1457-20-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 187-188
- 1457-20-01 御記録所「記室奏議 六」(嘉永元年、安政三年、御記録所による先例調査、存寄の答書) / 一冊(一〇三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・七×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御記録所 / 林泉文庫 / 187-188
- 1457-21 鶏肋集 廿一(1457-21-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 187-188
- 1457-21-01 荒川権六郎・辻六郎左衛門「代官所取計之儀御尋二付申上候覚」写(御取箇、検見等村方支配関係、後半は「秘鑑録」写、幕領村方支配の先例他) / 一冊(六四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙 / 荒川権六郎・辻六郎左衛門 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」「米沢市史編纂原稿用紙」使用 / 187-188
- 1457-22 鶏肋集 廿二(1457-22-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 1457-22-01-02合綴 / 187-188
- 1457-22-01 史蹟名勝天然記念物調査報告書(山形県の村山・庄内地方分、種別・名称・所在地・地目・現状・由来伝説・保存方法等) / 一冊(二六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 機械漉紙 / 林泉文庫 / 1457-22-01-02合綴 / 187-188
- 1457-22-02 泉崎賢親「飯豊の山ふみ」写(天保九年、飯豊山登山の紀行文) / 一冊(四九丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1457-22-01-02合綴 / 187-188
- 1457-23 鶏肋集 廿三(1457-23-01の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 白地茶横刷毛目後補表紙 / 187-188
- 1457-23-01 伊佐早謙「読史堂漫録」(今永英足序文、上杉家所蔵の正応版法華経跋文、甲陽軍鑑のこと他、歴史関係の小論考や資料集) / 一冊(七四丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 米沢伊佐早謙 / 林泉文庫 / 187-188

伊佐早謙関係—合綴史料集—縦軒秘笈

月日未詳)／二七・〇×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／189

1464-01 「縦軒秘笈 一」(入間村入間昇著「寒河江大江氏山形最上氏附属村山郡四拾八楯誌」、最上家諸士知行高、最上家他の系図)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／入間昇／林泉文庫／189

1464-02 「縦軒秘笈 二」(1464-02-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1464-02-01-03合綴／189

1464-02-01 「正遷座並御領主御参詣往復留書控」(文化四年羽黒山正遷座・参詣関係)／一冊(五五丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／林泉文庫／1464-02-01-03合綴／「山形県」の野紙使用／189

1464-02-02 十日町「天保十三壬寅年六月被仰出御趣意ニ付諸色直下ケ取調帳」写(町役所宛御趣意による諸品、手間賃等の値下げ状況報告、原本は天保一三年六月)／一冊(四三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 斐紙／十日町／林泉文庫／1464-02-01-03合綴／文中に長谷川吉郎次とあり山形城下関係と推定／189

1464-02-03 「市中制法」(明治四年四月付山形県庁発、安政三年二月付牛種痘の薦め、天保一四年付孝行録、貞享二年付天童愛宕神社記録の写)／一冊(二七丁)／近代(年月日未詳)／二四・八×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／1464-02-01-03合綴／「晴峰原稿用紙」の野紙使用／189

1464-03 「縦軒秘笈 三」(庄内藩の加藤正從撰「鶏肋篇」のうち「加藤肥後殿一件」、享保年中出羽国長瀬一揆記)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／189

1464-04 「縦軒秘笈 四」(寒河江楯廻寺社領、嘉永五年御高帳写、享和元年村山郡騒動、毒沢村名主地争論、慈恩寺伽藍記、宝暦三、五年の年代記)／一冊(六四丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／189

1464-05 「縦軒秘笈 五」(「花蔵院記録」、慈恩寺別当花蔵院伝来記録の写、瑞宝山祭祀儀式、明治初期の触達、祭祀舞楽につき答書他)／一冊(六七丁)／近代(年

1464-06 「縦軒秘笈 六」(七家騒動に関する諫争状写)／一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二七・二×一九・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／189

1464-07 「縦軒秘笈 七」(天保四年付羽州湯殿山大日寺記、寛文六年湯殿山目安、大日寺記録、宝暦五年大不作の記録の写)／一冊(五六丁)／近代(年月日未詳)／二七・一×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／189

1464-08 「縦軒秘笈 八」(羽黒山別当難題湯殿山別当会通)の写、原本は寛政三年七月)／一冊(六八丁)／近代(年月日未詳)／二七・一×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／文中に「千時寛政三年七月二五日同七年六月二五日写之」とあり／189

1465-01 「縦軒秘笈 第二集 一」(中尊寺光堂文書、源威集、勝山小笠原文書の写)／一冊(九〇丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／中尊寺光堂文書は明治三九年八月二八日写、他も写本時期の記載あり／190

1465-02 「縦軒秘笈 第二集 二」(伯耆之巻、「大日本史」巻二百の兵部分の写)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫・菊池図書／190

1465-03 「縦軒秘笈 第二集 三」(「秦湘行記」、明暦二年五月に向陽が記した京都から江戸までの漢文体紀行文、題名解見倭字記)／一冊(五二丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／巻末に「向陽子」の署名、「秦湘行記」の作者カ／190

1465-04 「縦軒秘笈 第二集 四」(会津家世実紀二、四、寛永一三年、同二〇年)／一冊(二四五丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「山形県」の原稿用紙使用／190

1465-05 「縦軒秘笈 第二集 五」(1465-05-01-03の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二七・三×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／シ〇本／1465-05-01-03合綴／190

1465-05-01 「御記録所扱御長持入記 但御蔵入」(長持五竿分の文書目録、御内書、口宣と位記写、老中奉書、上洛関係の帳面等) / 一冊(二二丁) / 文化元年六月 / 二七・二×一八・五 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1465-05-01-03 合綴 / 貼付文書一紙あり / 190

1465-05-02 「御記録所「好書故事附録御渡二付御伺書」(近藤守重「好書故事」と「中古御系譜」等との比較につき一五六条) / 一冊(一一丁) / 文化一三年九月 / 二七・二×一八・五 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御記録所 / 1465-05-01-03 合綴 / 挟込文書二紙あり / 190

1465-05-03 「御記録所「治憲公思召御書付之写」(近藤氏著作と、上杉家「古御系図」「中古御系譜」との引合せ吟味につき上杉鷹山書状) / 一冊(五丁) / 文化一三年一月 / 二七・二×一八・五 / 豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 御記録所 / 1465-05-01-03 合綴 / 190

1465-06 「縦軒秘笈 第二集 六」(「帰帆記」写、会津藩のエトロフ島番人七名がロシアに捕らえられ、文化五年に会津に戻る際、米沢にて宿人出口新右衛門が書写) / 一冊(五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二六・八×一九・二 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 出口新右衛門写 / 林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙 / 190

1465-07 「縦軒秘笈 第二集 七 完」(「奥羽同盟始末」、明治元年正月 / 五月の列藩同盟成立に関わる米沢藩の事跡) / 一冊(七七丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・七×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 10 / 2 林泉文庫 / 190

1466-01 「縦軒秘笈 第三集 一」(香坂維直自著「三字経纂註」、宋の童訓書「三字経」の注釈書) / 一冊(一七丁) / 文化一二年二月 / 二六・四×一七・三 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 米沢府学番生香坂維直撰(朱印) / 伊佐早兼古書之宝 / 野紙使用 / 190

1466-02 「縦軒秘笈 第三集 二」(「那須碑字解」藤塚知明自著本、「那須国造碑難句解答記」とあり、碑文の解説について佐々宗淳と新井白石の説を検討したもの) / 一冊(一九丁) / 天明五年 / 二六・七×一七・八 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 監亭源知明(朱印) / 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝 / 「天明五年晩夏監亭源知明」朱印2顆あり / 190

1466-03 「縦軒秘笈 第三集 三」(南合義之筆「和字通考」写、神代文字に関する論考、附録とも、原本の作者は「菅小翁」) / 一冊(五二丁) / 天明八年 / 二六・八×一八・九 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 南合義之(花押)

林泉文庫・伊佐早兼古書之宝・果堂蔵書 / 末尾に東都西丸邸にて写した旨の記載あり / 190

1466-04 「縦軒秘笈 第三集 四」(成見市郎右衛門筆 室鳩巢「御疑問逐件答書」写、享保一四年七月室鳩巢御疑問逐件答書) / 一冊(二三丁) / 天明六年一〇月 / 二七・二×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝・果堂蔵書 / 南合義之が天明六年に成見に頼み写した旨の記載あり / 190

1466-05 「縦軒秘笈 第三集 五」(長風楼叢書、「不比集」(尾藤二州、古賀精神里、柴野栗山の問答詩文)、長沢聞書(大坂の陣)他) / 一冊(三六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・一×一八・七 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝・南合氏蔵書印・果堂 / 白河藩土広瀬蒙斎の紀行文「湯谷十日記」、松平定綱に関する詩集「政餘彫玉」を含む / 190

1466-06 「縦軒秘笈 第三集 六」(古賀精里先生書並詩、享和壬戌栗山先生赤壁会諸作、細井平洲先生旧里碑他の写) / 一冊(四〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 伊佐早兼古書之宝 / 野紙使用 / 190

1466-07 「縦軒秘笈 第三集 七」(「訓学斎規」、謹堂先生雜文、古賀侗庵、謹堂関係の漢詩、四書講義、星野延賞「飭武備策」他) / 一冊(六四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・九×一六・二 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝・果堂蔵書 / 一部野紙、「古働堂蔵」の野紙使用 / 190

1466-08 「縦軒秘笈 第三集 八」(大塩平八郎の乱に関する「崔沢嘯聚録」、古河氏系図、官板目録、聖堂法帖他の目録) / 一冊(四八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 190

1466-09 「縦軒秘笈 第三集 九 完」(山県亮の漢詩稿本文稿、「抜尤集抄録」、南摩綱紀・秋月胤永・重野安禪らの漢詩二七首、文一首) / 一冊(四八丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 190

1467-01 「縦軒秘笈 第四集 一」(「中古日本治乱記」巻一、竹俣久綱までの系図、長之までの新発田氏系図) / 一冊(八三丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・〇×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 一部「元老院」の原稿用紙使用 / 191

- 1467-02 「樞軒秘笈 第四集 二」(会津四家合考抜書) 全二巻、芦名盛重までの「大系図」/一冊(四四丁)/享保一九年二月二日/二九・四×一九・二/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙/小幡三弥写之/最後の丁に破れあり/享保一九年二月二日小幡三弥写之とあり/191
- 1467-03 「樞軒秘笈 第四集 三」(読史堂史料とあり、桜井本芋川世譜、村岡忠通から喜四郎長発までの吉江氏系図と伝記、別格官幣社上杉神社祭神記他)/一冊(七八丁)/近代(年月日未詳)/二九・八×一八・八/ 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙/シ〇本/一部「別格官幣社上杉神社々務所」の用紙使用、原稿の寸法は区々/191
- 1467-04 「樞軒秘笈 第四集 四」(慶長五年の直江状写、御守組以下の武器を記した寛永一七年四月「御軍役武器組分之帳」写)/一冊(二八丁)/江戸中期(年月日未詳)/二九・八×二一・三/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙/御軍役武器組分之帳は原本の可能性もあり/191
- 1467-05 「樞軒秘笈 第四集 五」(羽黒山証文帳、永禄六年と宝永二年の文書計四〇通の写)/一冊(四三丁)/江戸中期(年月日未詳)/二七・〇×一九・三/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙/虫損多く裏打あり/原表紙に丸黒印二顆、「〇井」と「華蔵」□「堂」あり/191
- 1467-06 「樞軒秘笈 第四集 六」(1467-06-01、03の表紙)/一冊/近代(年月日未詳)/二七・五×一九・五/ 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙/1467-06-01、03合綴/191
- 1467-06-01 上杉治広「上杉中納言景勝家来任官者並大坂陣功名者書上」(大実頼他四六名)/一冊(二四丁)/文化八年閏二月/二七・五×一九・五/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/上杉弾正大弼/1467-06-01、03合綴/191
- 1467-06-02 「式百五十石軍役人積」(軍役規定、供廻人数、持物の重量と詳細他)/一冊(九丁)/延宝七年三月三日/二七・五×一九・五/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙/1467-06-01、03合綴/191
- 1467-06-03 今井信明筆「好古堂隨筆 全二写」(曲尺、鷗鷗物語、手前の豆腐他)/一冊(二四丁)/寛政一年八月/二七・五×一九・五/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/今井涼助信明写之(花押)/林泉文庫/1467-06-01、03合綴/末尾に「主 佐藤小左衛門政徳」とあり/191
- 1467-07 「樞軒秘笈 第四集 七」(「御系図弁誤」、上杉氏系図のうち、上杉憲政からの御譲り本、矢尾板三印時代の古系、享保系、中古系の比較検討)/一冊(六〇丁)/近代(年月日未詳)/二七・三×一九・〇/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙/シ〇本・一二八/天保七年の御系図改正同の節、享保系と文政系に付札をして差し上げ、これを一冊にして記録所に備え置く旨の片桐忠成の書込みあり/191
- 1467-08 「樞軒秘笈 第四集 八」(上杉家に関する聖靈棚御位牌、如竹豊山二翁私記抄他の鷹山関係、「米沢学校略記」、明治二四年の「上杉曦山公行実稿本」)/一冊(八二丁)/近代(年月日未詳)/二七・四×一九・一/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙/二ノ三/一部野紙使用、上杉曦山公行実稿本は片山一貫・伊佐早謙謹撰/191
- 1467-09 「樞軒秘笈 第四集 九」(1467-09-01、02の表紙)/一冊/近代(年月日未詳)/二七・五×一八・一/ 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙/1467-09-01、02合綴/191
- 1467-09-01 湯浅常山「雨夜灯」写(徳川家康や池田光政、飯田角兵衛他の逸話集)/一冊(三四丁)/江戸後期(年月日未詳)/二七・五×一八・一/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙/1467-09-01、02合綴/191
- 1467-09-02 細井平洲「つらつらふみ」写(樺島公礼識、原本は享和元年)/一冊(二八丁)/文化丁丑(文化一四年)八月写/二七・五×一八・一/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/1467-09-01、02合綴/表紙に「江口氏」とあり/191
- 1467-10 「樞軒秘笈 第四集 十」(服部南郭の甲斐国への漢文体紀行文「峡中紀行」、古賀精里「上書」、天明三年浅間山噴火関連他)/一冊(九〇丁)/江戸後期(年月日未詳)/二六・七×一九・一/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙/林泉文庫・□社草堂/すべて写/191
- 1467-11 「樞軒秘笈 第四集 十一」(延享元年「陸奥国信夫郡伊達郡石川郡村々御林反別帳」写)/一冊(六七丁)/江戸後期(年月日未詳)/二九・三×一八・七/ 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙/191
- 1467-12 「樞軒秘笈 第四集 十二」(1467-12-01、07の表紙)/一冊/近代(年月日未詳)/二九・五×一八・九/ 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙/191

1467-12-01 環翠堂筆「七家諫争状」写（七家騒動に先立つ、安永二年六月付の長尾兵庫他六名の意見書）／一冊（三〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／環翠堂／羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／1467-12-01-07合綴／191

1467-12-02 親茂筆「御教訓」写（天道を敬うこと他、後半は「郷村中心得の次第」、「行事仕立方内評」他、郷村出役関係）／一冊（三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／親茂（花押）／村山藏書・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／1467-12-01-07合綴／191

1467-12-03 飯豊穴堰流路絵図（着色あり、山上から川との合流点まで）／一冊（二三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1467-12-01-07合綴／191

1467-12-04 南宮大湫宛 荏戸善政往復書状写（九月三日付、御序文と挨拶文遣われ御礼と籍田につき他、後半は一月五日付の返信）／一冊（九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・五×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1467-12-01-07合綴／「甘粕氏蔵」用箋使用／191

1467-12-05 万願書并御触書写（寛政八年の柏倉役所宛の大雨対応の願書、原本は天明三年の村山郡内の村方飢饉対応と村方議定）／一冊（二六丁）／近代（年月日未詳）／二八・〇×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1467-12-01-07合綴／後半は樋口茂右衛門宛他の竹俣当綱書状写二通、細井平洲関係他／191

1467-12-06 伊佐早謙詩稿（送内藤元一教授山寺校）他、漢詩一首）／一通（一紙）／近代（年月日未詳）／二七・七×一八・九／豎帳 楮紙／樞軒詩稿／休向風塵求爵祿：誰謂明年又更開／1467-12-01-07合綴／191

1467-12-07 南中野村「御請書」（御領内取締のため廻村につき条目順守他五か条）／一冊（九丁）／慶応四年八月／二九・五×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／野村／虫損あり／1467-12-01-07合綴／末尾に名主設楽半六他惣百姓が連名連印／191

1467-11-13 「樞軒秘笈 第四集 十三」（志賀宜親著の文学や武備等に関する漢文体論考「羞醜録」序、卷一、二）／一冊（五五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二六・五×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／志賀宜親／序に青岡の文字と不明朱印2顆あり／191

1467-11-14 「樞軒秘笈 第四集 十四」（1467-11-14-01-03の表紙）

／一冊／江戸後期（年月日未詳）／二九・四×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1467-11-14-01-03合綴／191

1467-11-14-01 御勘定所宛 坂口題輔・鳥羽十兵衛「文化十年分開屋敷御年貢算用帳」（笹野村、李山村、古志田村他、領内各地分）／一冊（四三丁）／文化十一年六月二三日／二九・四×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／坂口題輔・鳥羽十兵衛御勘定所／1467-11-14-01-03合綴／191

1467-11-14-02 御代官所宛 笹野村四郎左衛門・利助御年貢算用帳（諸々の引高、寛永二年以降の開高、給人の書上他）／一冊（二六丁）／明和四年七月／二九・四×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／組頭四郎左衛門（黒印）・肝煎利助（黒印）御代官所／1467-11-14-01-03合綴／表紙欠／191

1467-11-14-03 惣右衛門宛 黒田新助「新田村末ノ年田畑漆萱野山御検地水帳寄」／一冊（一六丁）／元禄六年三月／二九・四×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／新田村名主黒田新助（黒印）御惣右衛門様／1467-11-14-01-03合綴／挟み込み紙片多数、表紙に「惣右衛門持分」とあり／191

1467-11-15 「樞軒秘笈 第四集 十五」（1467-11-15-01-09の表紙）／一冊／江戸中期（年月日未詳）／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／二ノ四／1467-11-15-01-09合綴／一部野線紙使用／191

1467-11-15-01 興元筆頼杏坪和譯陳先生諭告写（漢文体と和訳、民百姓の心得他、原本は文化二四年冬）／一冊（一五丁）／文政二年七月／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／興元謹書／1467-11-15-01-09合綴／原本は桑原有伯刷、春草堂蔵版とあり／191

1467-11-15-02 荏戸善政「好古堂隨筆」写（序、宝曆隨筆、好古堂隨筆の卷一〜二の目録）／一冊（三三丁）／近代（年月日未詳）／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／毛利蔵書／1467-11-15-01-09合綴／野紙使用／191

1467-11-15-03 米沢藩知事「告諭案」（藩政改革につき人民心得）／一冊（四丁）／明治四年六月／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／米沢藩知事／1467-11-15-01-09合綴／木版／191

1467-11-15-04 重野安釋「伏敵編序」（漢文体、蒙古襲来関係の資料集の序文）／一冊（八丁）／明治二四年一〇月／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／文学博士重野安釋謹書／1467-11-15-01-09合綴／横野紙使用／191

1467-15-05 「金丹四百字」写(李邑書、原本は開元五年春)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1467-15-01-09合綴／191

1467-15-06 置賜県庁告諭(士族の産業振興のため趣旨あらば申し出のこと)／一通(一紙)／壬申(明治五年)／二七・〇×一七・七／豎紙 楮紙／管内之諸士族：可致告諭候事／1467-15-01-09合綴／「米沢藩」の野紙使用／191

1467-15-07 諭達(朝廷よりの下賜金と士族学資金をもとに置賜の学校教育充実のこと)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1467-15-01-09合綴／「米沢藩」の野紙使用／191

1467-15-08 毛利業広・竹俣久綱宛 甘糟継成・斉藤篤信願書(御国家危急臥薪嘗胆の時につき加増等の恩沢は差し上げた)／一通(一紙)／明治元年二月一日／二七・〇×一七・七／豎紙 楮紙／斉藤主計(黒印)・甘糟備後(黒印) ↓毛利上総・竹俣美作／此度 天裁二付而者：御執成奉願存候以上／1467-15-01-09合綴／191

1467-15-09 荏戸善政「入学大意」写(志賀孫太郎に与えた学問の心得、原本は寛政二年三月二日)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×一七・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1467-15-01-09合綴／野紙使用／191

1467-16 「樞軒秘笈 第四集 十六」(木版告諭案、近代の柿崎猪平書状他「雲雁集」、明治一四〜三三年記事、池田成章履歴書、「被叙従三位之記」、上杉齊憲関係)／一冊(一五三丁)／近代(年月日未詳)／二六・七×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／二ノ5 林泉文庫／一部野線紙、「本郷上杉氏」の野紙使用／191

1467-17 「樞軒秘笈 第四集 十七 止」(石井守右衛門・林静蔵「田川郡狩川通辰御成箇勘定目録」、庄内関係)／一冊(四八丁)／明和四年九月／二七・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／石井守右衛門・林静蔵／林泉文庫／末尾に役人連名、一部押印あり／191

1468-01 「樞軒秘笈 第五集 一」(明治元年四月一日〜九月八日の仙台藩士坂時秀の日記と、同年一月〜三月の石母田頼至の日記の写)／一冊(九五丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／シ〇本 林泉文庫／192

1468-02 「樞軒秘笈 第五集 二」(明治元年四月〜閏四月、仙台藩士石母田頼至の日記の写)／一冊(二三三丁)／明治元年閏四月／二六・七×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／二八ノ3 林泉文庫／192

1468-02-01 「中山氏携来文書」写(沖郷村小林新一所蔵戦国期史料六点及び渡辺辰寿氏所蔵寛永一八年文書)／一冊(六丁)／近代(年月日未詳)／二五・三×一六・〇／豎帳 機械漉紙／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 1468-02に挟込 北条氏康書状、北条氏直書状、本間高季書状、大國実頼短冊、直江兼統判物、某算用状／192

1468-03 「樞軒秘笈 第五集 三」(1468-03-01-06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二七・一×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／シ〇本／1468-03-01-06合綴／192

1468-03-01 米沢藩知事「告諭案」(藩政改革につき人民心得)／一冊(五丁)／辛未(明治四年)六月／二七・一×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／米沢藩知事／林泉文庫／1468-03-01-06合綴／木版／192

1468-03-02 太政官大教要旨(聖朝愛撫の盛旨をもって維新の隆治を帰向すべし、政教一致の教え)／一冊(三丁)／辛未(明治四年)七月／二六・五×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／太政官／1468-03-01-06合綴／木版／192

1468-03-03 教部省策問(洋教の浸潤を防ぐために神儒仏教の協力が必要、各県里程表、公布撮要概表、三條弁私考)／一冊(二八丁)／近代(年月日未詳)／二七・二×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1468-03-01-06合綴／「教部省」の野紙使用／192

1468-03-04 三重県令宛 斉藤篤信通知書(玉井修真他三〇名の神道部建白の件、書面下げ戻しを願う)／一冊(二丁)／明治九年四月一日／二七・二×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／教務課 斉藤篤信 ↓ 三重県令／1468-03-01-06合綴／「教部省」の野紙使用／192

1468-03-05 斉藤篤信「巡回奉伺之件」(元奥羽一県に対して奥羽巡回にあたっての心得)／一冊(一〇丁)／明治七年一月二八日／二七・二×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／斉藤篤信(朱印)／1468-03-01-06合綴／「教部省」の野紙使用、「第二百十三号」と「教務課印」、合議の印あり／192

1468-03-06 斉藤篤信宛 石丸八郎「奥羽諸県事情並石丸権中録建言書」(福島・山形・宮城・水沢・磐前の事情と函館港奥羽布教筋伺)／一冊(二〇丁)／明治七

年一〇月一八日／二六・二×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／石丸八郎↓斉藤篤信／1468-03-01、06合綴／「教部省」の野紙使用、不許他見とあり／192

1468-04 「樞軒秘笈 第五集 四」(1468-04-01、04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・一×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／二ノ二／1468-04-01、04合綴／192

1468-04-01 甘粕継成・斉藤篤信「列藩現高之次第」「蝦夷ノ義御下問ニ付上申」(各藩の石高、露の術中に陥り、兵端を開くべからず、英の狡言に惑うべからず、蝦夷地を十萬石以上の藩々に分賜し、開拓せしむること急務)／一冊(二二丁)／己(明治二年)八月／二六・二×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／甘粕継成・斉藤篤信／林泉文庫／1468-04-01、04合綴／192

1468-04-02 岩倉具視宛 斉藤篤信「建言野草」(太政官基礎確定、人材公選、藩知事世襲確定他二三ヶ条の意見書草稿)／一冊(一一丁)／己(明治二年)九月／二六・一×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／斉藤篤信↓岩倉重相／1468-04-01、04合綴／朱書訂正多数／192

1468-04-03 「藩中諭告文」(四民平均の理を体した藩政改革をうけて藩中への告諭案)／一冊(一〇丁)／辛未(明治四年)六月／二六・一×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1468-04-01、04合綴／「米沢藩」の野紙使用、朱書訂正多数／192

1468-04-04 「長州之檄文」(長州脱隊騒動の勃発をうけ、反徒の言に惑わされ、不義乱賊の名を取り、千載の汚辱を残すことなかれ)／一冊(五丁)／明治三年二月／二六・一×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1468-04-01、04合綴／192

1468-05 「樞軒秘笈 第五集 五」(1468-05-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二九・六×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1468-05-01、02合綴／192

1468-05-01 山田清「日誌」(明治初年の一宮神社神主山田清の一連の願や屈神仏混交廃止への対応他)／一冊(三三丁)／明治四年七月／二九・六×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／一宮神社祠官教導職山田清(黒印)／林泉文庫／1468-05-01、02合綴／192

1468-05-02 柴原和宛 戸長売間信任「一宮神社再建記録」(一宮神社火災により焼失につき移転に関する書類)／一冊(二七丁)／明治二年一月三日／二五・

〇×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／戸長売間信任(朱印)↓山形県知事柴原和／1468-05-01、02合綴／一部野紙使用、許可する旨の山形県の朱書あり／192

1468-06 「樞軒秘笈 第五集 六」(1468-06-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／二一九／1468-06-01、02合綴／192

1468-06-01 上杉家記録(明治二四年一月一日、同三年七月一日の略年譜)／一冊(三三丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1468-06-01、02合綴／「本郷上杉氏」の野紙使用／192

1468-06-02 武鑑(主な大名の石高、家紋、系図他)／一冊(七丁)／近代(年月日未詳)／二六・〇×一一・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1468-06-01、02合綴／印刷物、1468-06-01に挟み込み／192

1468-07 「樞軒秘笈 第五集 七」(四条家関係、日田騒動に際し、隆平が巡察使として下関に下向時の書類、明治一〇年五月、皇太后の東京還御時の書類他)／一冊(三八丁)／明治四年以降／二六・九×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／挟み込み多数あり、各藩、太政官、名古屋鎮台、仙台鎮台、華族会館、「陸軍省」の各野紙使用／192

1468-08 「樞軒秘笈 第五集 八」(1468-08-01、04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1468-08-01、04合綴／192

1468-08-01 「地方官協議並回答書」(明治七年二月、同八年五月、斉藤篤信が教部権大録徹底のために行った奥羽巡行時の、山形・置賜・宮城・水沢・酒田諸県との協議)／一冊(三八丁)／明治七年、八年／二六・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1468-08-01、04合綴／各県および教部省の野紙使用／192

1468-08-02 上杉家扶宛 斉藤篤信「製糸資材破約之件」(備前売却の破約金につき義社内で協議の末、公裁を仰ぐことに決定のこと内申)／一冊(二二丁)／明治一年一月二五日／二六・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／斉藤篤信／1468-08-01、04合綴／「山形県第十区々務所」の野紙使用／192

1468-08-03 「師範学校事務所内章程」「山形師範学校職制」「師範学校及附属小学額職員准官月俸表」(庶務と会計取扱等の心得、師範学校の職制と事務章程他)

- ／一冊(七丁)／近代年月日未詳／二六・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1468-08-01-04合綴／「山形県師範学校」の罫紙使用／192
- 1468-08-04 深津無一宛 斎藤篤信「教員之方向」(本年五月一日、元老院議官河瀬真孝、師範学校来校の節、教員、女師への賞とおよび激励の言を報ず)／一冊(二丁)／明治一五年五月一八日／二六・八×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／斎藤篤信／1468-08-01-04合綴／「山形県師範学校」の罫紙使用／192
- 1468-09 「縦軒秘笈 第五集 九止」(1468-09-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／二二〇三／1468-09-01-03合綴／192
- 1468-09-01 上杉家「家政條規」(葬祭社寺、後見人後見監督人家政摂理人、親族会員家政相談人他)／一冊(二二丁)／明治三四年三月改刷／二六・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉家／林泉文庫／1468-09-01-03合綴／活版／192
- 1468-09-02 上杉茂憲「家範」(要領、家督相続配偶、家主他)／一冊(一二丁)／明治二九年三月／二六・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉茂憲／1468-09-01-03合綴／活版／192
- 1468-09-03 上杉家「家政條規」(葬祭社寺、後見人後見監督人家政摂理人、親族会員家政相談人他)／一冊(二九丁)／近代(年月日未詳)／二六・〇×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉家／1468-09-01-03合綴／活版／192
- 1469-01 「縦軒秘笈 第六集 一」(1469-01-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1469-01-01-02合綴／192
- 1469-01-01 「耕雲種月開基年譜私録」写(応永元年〜康正元年、梅山、傑堂、南英謙宗他の略年譜、「鼓缶軒記」、「玉漱軒記」他)／一冊(一九丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1469-01-01-02合綴／192
- 1469-01-02 「種月開山南英禪師語録」写(南英謙宗の伝記、言行録)／一冊(一七丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1469-01-01-02合綴／192
- 1469-02 「縦軒秘笈 第六集 二」(光明院文書のうち「普門院宗仲論師回章」、天文八年〜元龜元年の築田文書)／一冊(二〇丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／192
- 1469-03 「縦軒秘笈 第六集 三」(諸家系図算足利氏、足利基氏から尊信まで)／一冊(二五丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一九・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／192
- 1469-04 「縦軒秘笈 第六集 四」(伊佐早謙編「上杉謙信公年表」原本、享祿三年〜天正六年)／一冊(一四丁)／明治四〇年九月一八日／二六・九×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／伊佐早謙／林泉文庫／一部「上杉史表」の罫紙使用／192
- 1469-05 「縦軒秘笈 第六集 五」(寛文九年書上の「信州川中嶋五ヶ度合戦之次第」写)／一冊(一八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・八×二〇・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙に「弘文院春齋二被仰付日本通鑑御清選被遊刻酒井雅楽頭忠清奉りニテ御家ヨリ被差上一冊」とあり、一部は系図の紙背を利用／192
- 1469-06 「縦軒秘笈 第六集 六」(上杉氏に関する戦国時代〜江戸初期の文書八通と、北条氏宛の戦国時代の文書八通の写)／一冊(一四丁)／近代(年月日未詳)／二四・八×二一・七／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／宝永四年四月一四日付の五十川村証文の断簡を前後の見返しに使用／192
- 1469-07 「縦軒秘笈 第六集 七」(片桐忠成「上杉家外姻譜略」)／一冊(七八丁)／文政庚寅(文政一三)夏／二八・九×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／記室片桐忠成禄(朱印)(朱印)／林泉文庫／上杉家御年譜二三系図所収の外姻譜略に同じ／192
- 1469-08 「縦軒秘笈 第六集 八」(武林感称録 乾「写、卷一と三、天文〜慶長年間における実録物、原本は正徳六年序」)／一冊(六一丁)／文政元年／二九・五×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／原本の序は「伊沢三左衛門 源信行誌」、白貴堂にて書写した旨の記載あり／192
- 1469-09 「縦軒秘笈 第六集 九止」(「武林感称録 坤」写、卷二、永享一〇年〜慶長五年の上杉家関係の古文書写)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・五×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／シ〇本・一二九 林泉文庫／192

1470-01 「樞軒秘笈 第七集 一」(九月一〇日付の家族宛 細井平洲書状写、計三通) / 一冊(一八丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・八×二〇・四 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 斐紙 / 林泉文庫 / 193

1470-02 「樞軒秘笈 第七集 二」(浅間山噴火に関する諸記録、友内写とあり) / 一冊(二六丁) / 天明三年七月 / 二六・九×一八・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 友内 / 林泉文庫 / 巻末に「天明三年卯ノ七月前田右近様御在所信州七日市震動一件」の綴込みあり / 193

1470-03 「樞軒秘笈 第七集 三」(1470-03-01-08の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / シ〇本 / 1470-03-01-08合綴 / 193

1470-03-01 書経講義抄(無逸、蔡仲之命、多方他) / 一冊(二〇丁) / 天保八年二月三日 / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1470-03-01-08合綴 / 表紙に「天保八季帝酉年十二月三日白銀邸舎試業 世子左伝弁积侍臣各緋一経講之」とあり、陪席者を列挙 / 193

1470-03-02 小見親純「草稿」(天保三、六年頃の漢詩六三首) / 一冊(一六丁) / (天保六年頃) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 小見親純肅具 / 1470-03-01-08合綴 / 志賀至卿、登坂伯恭添削 / 193

1470-03-03 小見親純「未定稿」(米沢から江戸上京記、その他漢文集、後半は從遊吾嬬山記) / 一冊(二四丁) / (天保七年) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 小見親純 / 1470-03-01-08合綴 / 松木文雅批評 / 193

1470-03-04 桜井弘「拙文」(論養士、人材育成論) / 一冊(四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 桜井弘再拝敬具(朱印) / □東□造 / 1470-03-01-08合綴 / 193

1470-03-05 小見親純「北山草堂鄙章」(漢詩集五七首) / 一冊(一六丁) / 江戸後期(年月日未詳) (文政から天保頃) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 小見誠助再拝謹具 / 1470-03-01-08合綴 / 表紙に「侗庵先生点削詩文稿」とあり / 193

1470-03-06 小見親純「從遊吾嬬山記」(五月二七日、二九日にかけて世子齊憲に陪従した際の吾妻山登山の漢文体紀行文) / 一冊(五丁) / 天保六年五月二七日 / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 小見親純再拝稽首 / 1

470-03-01-08合綴 / 193

1470-03-07 小見親純「銀台雜噺」(天保七年秋、同八年秋の漢詩集) / 一冊(二二丁) / (天保七年頃) / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 小見誠拝具 / 小見・■ / 1470-03-01-08合綴 / 表紙に「奉乞 慈斧」とあり、末尾に「増敬」の漢詩と嘉永三年五月の小見親純の漢文体の論考一点あり、小見は齊憲の小姓 / 193

1470-03-08 「野章」(湖城と秋山等を詠んだ漢詩集、参加者は浅間忠彰、原正言、杉原充実他) / 一冊(二二丁) / 文政一三年八月七日 / 二九・六×一八・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1470-03-01-08合綴 / 193

1470-04 「樞軒秘笈 第七集 四」(1470-04-01-10の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 一三〇 / 2 / 1470-04-01-10合綴 / 193

1470-04-01 「来迎山会集」(漢詩集、参加者は倉成龍渚、神保蘭室他) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1470-04-01-10合綴 / 193

1470-04-02 大瀬正班漢詩集(一〇首、一部は致道館で詠んだもの) / 一冊(五丁) / 文政丁亥(文政一〇年) 春 / 二九・四×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 大瀬正班 / 1470-04-01-10合綴 / 罫紙使用、大瀬は庄内藩士 / 193

1470-04-03 松平親敏文稿(「説珠胎飛嶋之医道佐」、飛島の医者道佐の石の愛玩を論ず) / 一冊(三丁) / 天保戊戌(天保九年) 冬 / 二九・四×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 松平親敏 / 1470-04-01-10合綴 / 松平親敏は庄内藩士 / 193

1470-04-04 「会心叢鈔」(弘化元年と同年の古賀侗庵漢詩集、文化一三年の「紀遊小稿」他) / 一冊(九丁) / 弘化二年頃 / 二九・四×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1470-04-01-10合綴 / 末尾に「塩谷世弘伏祈」とあり / 193

1470-04-05 塩谷右陰「沐沢余香」(漢詩集、嘉永二年に米沢を訪れ上杉謙信、景勝、鷹山他を讚える、後半は黒沢嶺と山形周辺の漢詩) / 一冊(九丁) / 嘉永二年 / 二九・四×一九・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 塩谷世弘伏祈 / 1470-04-01-10合綴 / 193

1470-04-06 「会心雜抄」(文政二年、天保二年頃、登阪東臯詠古跡八首、駕浴丹泉次行方季齋韻他三六首) / 一冊(四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四〇・一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-04-01、10合綴 / 山田蟬堂朱評朱批とあり / 193

1470-04-07 諄慶「大阿闍梨盛範碑銘」(北条郷万徳院の三男に生まれ文政二年に喜多院一八代となり、文政六年羽黒山に登り権僧都法印となる) / 一冊(三丁) / 弘化三年四月 / 二九・四〇・一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 諄慶謹撰 / 1470-04-01、10合綴 / 193

1470-04-08 「黒井渠碑」写(黒井堰開鑿の由来) / 一冊(四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四〇・一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-04-01、10合綴 / 193

1470-04-09 「怡怡山堂記」写(怡怡山堂任君伯大兄…) / 一通(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・四〇・一九・〇 / 縦紙 斐紙 / 怡怡山堂任君: 其不為無益而有助 / 1470-04-01、10合綴 / 193

1470-04-10 齊藤篤信宛 長井吉徳意見書下書(落魄困窮のなか、才を認め、重用下されしことを謝す、後半は「士大夫論」、「観煙火記」他漢詩集) / 一冊(七丁) / 庚辰(明治一三)年六月 / 二九・四〇・一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 斐紙 / 長井吉徳再拜↓師範校長齊藤篤信 / 1470-04-01、10合綴 / 193

1470-05 「樞軒秘笈 第七集 五」(1470-05-01、03の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・三〇・一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 一三〇 / 3 / 1470-05-01、03合綴 / 193

1470-05-01 古松軒筆「清風樓集」(古賀穀堂「清風樓詩文鈔」、小見親純校) / 一冊(二二丁) / 安政二年 / 二九・三〇・一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 古松軒 / 林泉文庫 / 1470-05-01、03合綴 / 193

1470-05-02 小見親純漢詩集稿本(白銀屋敷漸在中の作、後半は上杉勝義の「魚水唱酬篇序」の推敲) / 一冊(三三丁) / 安政四年、嘉永五年 / 二九・三〇・一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 麻績親純拝稿 / 1470-05-01、03合綴 / 八点ほど合冊、一部は窪田茂逐の朱批あり / 193

1470-05-03 漢詩集(庄内の景勝、小野川他) / 一冊(三三丁) / 元治元年頃、明治二年頃 / 二九・三〇・一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-05-01、03合綴 / 左小口にローマ数字で丁数記載あるが1、2抜け / 193

1470-06 「樞軒秘笈 第七集 六」(「辛亥雜纂」、永正五年一〇月史料、黒瀧文書津軽文書他二三件) / 一冊(一〇四丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・八〇・一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 巻首に目録あり / 193

1470-07 「樞軒秘笈 第七集 七」(1470-07-01、05の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二九・六〇・一九・八 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1470-07-01、05合綴 / 193

1470-07-01 岩間勘三郎「新製蠟そく鬢附御差留二付仲間規定並売子組下請状」写(蠟燭、鬢附油の新規製造差止につき) / 一冊(二二丁) / 文政六年一〇月 / 二九・六〇・一九・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 岩間勘三郎 / 1470-07-01、05合綴 / 193

1470-07-02 御師福田太夫勸進文(当年より一〇九年越後にて伊勢大神楽執行につき) / 一通(一紙) / 元文□年九月 / 二九・六〇・一九・八 / 縦紙 楮紙 / 御師福田太夫 / 伊勢大々御神楽者: 御寄附之御志を願者也 / 1470-07-01、05合綴 / 木版 / 193

1470-07-03 加藤源左衛門宛 小嶋次郎兵衛金錢書上(御神楽料他人別代金計一貫二四文) / 一冊(四丁) / 延享元年三月一六日 / 二八・九〇・一九・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 小嶋次郎兵衛(黒印) / 1470-07-01、05合綴 / 193

1470-07-04 口上書(山形表安田喜悦より彦次郎金子借用一件) / 一冊(一六丁) / 寛政九年頃 / 二八・五〇・一六・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-07-01、05合綴 / 193

1470-07-05 「松竹往来」写(往来物、庄内藩の元旦行事、庄内各地の特産品や名所) / 一冊(八丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・八〇・一八・八 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-07-01、05合綴 / 「山形県」の原稿用紙使用 / 193

1470-08 「樞軒秘笈 第七集 八」(1470-08-01、05の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二七・八〇・一九・四 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1470-08-01、05合綴 / 193

1470-08-01 「弘道館記」(水戸藩校弘道館の由来) / 一冊(八丁) / 天保九年三月 / 二七・八〇・一九・四 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 1470-08-01、05合綴 / 木版 / 193

1470-08-02 野村庄助他二名用人中宛 屋代郷総百姓願書写(上杉大炊頭御預所不作困窮の状況詳細、農馬代金拝借他) / 一冊(五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・八×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / ↓野村庄助様他二名用人中 / 1470-08-01 / 〇五合綴 / 193

1470-08-03 下山家村外七方村「羽州村山郡村之徒党之者共御仕置被 仰渡御請証文写」(山家村百姓松之助他処罰者詳細) / 一冊(二二丁) / 享和二年四月二七日 / 二七・八×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1470-08-01 / 〇五合綴 / 193

1470-08-04 庄内藩明治二年記録写(莫大の献納金により御家中一同扶持方人数渡の達書、蝦夷地郡命布告他) / 一冊(二〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・八×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-08-01 / 〇五合綴 / 「山形県」の原稿用紙使用 / 193

1470-08-05 「平姓長谷川系譜」(長谷川正高に始まる竹森村長谷川平内家、明治四〇年生まれの正男まで) / 一冊(二〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・八×一九・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1470-08-01 / 〇五合綴 / 193

1470-09 「樞軒秘笈 第七集 九」(1470-09-01 / 11の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / シ〇本 / 1470-09-01 / 11合綴 / 193

1470-09-01 「元治慶応之時勢報告書写」(京都留守居堀尾重興による元治元年九月京都情勢、長州戦争の情勢他) / 一冊(九丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・〇×一八・三 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1470-09-01 / 11合綴 / 193

1470-09-02 侍組組頭宛 五組連名願書草稿(三扶持方による高足一件につき、弘化三年以来の経緯) / 一冊(七丁) / 安政四年閏五月 / 二五・四×一七・五 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 五組各 相組連名 / ↓組頭殿 / 1470-09-01 / 11合綴 / 193

1470-09-03 侍組組頭宛 五組連名願書写(三扶持方による高足一件) / 一冊(二〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一七・七 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 五組合 連名連印 / ↓組頭殿 / 1470-09-01 / 11合綴 / 193

1470-09-04 齊藤庸信勤書(天保一五年九月四日、弘化四年四月二二日、上杉勝義の使者勤他) / 一冊(五丁) / 弘化四年頃 / 二七・〇×一七・七 / 豎帳 袋綴冊

子装 表紙無し 楮紙 / 1470-09-01 / 11合綴 / 193

1470-09-05 高島役屋將歴代書上(春日右衛門から齊藤篤信まで) / 一冊(五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・〇×一七・七 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-09-01 / 11合綴 / 193

1470-09-06 上杉鷹山筆楠公遺訓序写(莅戸善政旧蔵の楠正成遺訓を模写につき、後半に跋文の下書きあり) / 一冊(四丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・七×一七・八 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-09-01 / 11合綴 / 「教部省」の野紙使用、末尾に「重野□妄」とあり / 193

1470-09-07 「和陶潜飲酒詩韻」(五言詩) / 一冊(二丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・七×一七・八 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-09-01 / 11合綴 / 「教部省」の野紙使用、末尾に「乙亥仲冬 尋末 由妄評」とあり / 193

1470-09-08 齊藤篤信「千歳山賜酒記」(三島県令から師範学校学生教官へ酒を下賜され詠む、漢文体) / 一通(一紙) / 明治一四年頃 / 二六・七×一七・八 / 切紙 表紙無し 楮紙 / 藤篤信 / 1470-09-01 / 11合綴 / 「山形県師範学校」の野紙使用 / 193

1470-09-09 「馬見岬修築碑」下書(馬見ヶ崎川、明治一七年の大水害による堤防決壊の大修理二力年で完了) / 一冊(三丁) / 明治一九年頃 / 二六・七×一七・八 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1470-09-01 / 11合綴 / 「山形県師範学校」の野紙使用、後半は岡崎弥平次を祭る文他 / 193

1470-09-10 上杉鷹山筆楠公遺訓跋写(莅戸善政旧蔵の楠正成遺訓を模写につき) / 一通(一紙) / 近代(年月日未詳) / 二六・七×一七・八 / 切紙 表紙無し 楮紙 / 1470-09-01 / 11合綴 / 1470-09-06の後半と同内容「教部省」の野紙使用 / 193

1470-09-11 糠目館之一閑人「古詩十九首」(太宰先生に宛てた漢詩一九首) / 一冊(五丁) / 辛丑(天保二年) 正月 / 二六・七×一七・八 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 糠目館之一閑人 / 1470-09-01 / 11合綴 / 「糠目館一閑人」は当時、糠野目役屋將齊藤庸信と推定 / 193

伊佐早謙関係—合綴史料集—読史堂叢書

- 1472-01 「読史堂叢書 一」(結城小峯文書、上杉史参考書、伊佐早謙「再考善光寺本尊後考」) / 一冊(七六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙・共紙原表紙 楮紙 / ト〇本 林泉文庫 / 一部に「米沢市史編纂用紙」使用 / 197-198
- 1472-02 「読史堂叢書 二」(「大測記」の写し、南北朝時代に庄内を本拠地とした南朝方の大測時興に関する軍記物) / 一冊(五二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・一×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用 / 197-198
- 1472-03 「読史堂叢書 三」(今川了俊編の「難太平記」、南朝方の赤松氏一族上月家に関する「上月記」、戦国期の摂津荒木氏に関する「荒木略記」、「佐渡志」の写し) / 一冊(九六丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 197-198
- 1472-04 「読史堂叢書 四」(「会津四家合考」巻之一の写、主に芦名氏関係) / 一冊(二八丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・一×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 197-198
- 1472-05 「読史堂叢書 五」(慶長五年直江支配長井郡分限帳、天正四年期の里村招把他による連歌の写) / 一冊(六五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 197-198
- 1472-06 「読史堂叢書 六」(京都留守居の日記書抜、明和元年四月二二日、安永七年九月一六日) / 一冊(五二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・一×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 二六ノ3 林泉文庫 / 197-198
- 1472-07 「読史堂叢書 七」(片山一興による屋代郷村方見分と上書下書「いまはかたみ」、享和元年七月の村山郡御預所出勤時の片山の日記、樹芸記) / 一冊(九六丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 197-198
- 1472-08 「読史堂叢書 八」(文化五年正月、嘉永六年六月、風説留、江戸より来状、「町々吉兆都繁栄」他) / 一冊(七二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・〇×一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 二六ノ2 林泉文庫 / 197-198
- 1472-09 「読史堂叢書 九」(検見細目、享保四年八月付幕領における小検見法、坪刈帳奥書他) / 一冊(三三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 197-198
- 1472-10 「読史堂叢書 十」(明治二七年の阿部源三「天童古事記并明治紀元辰戦争事件」、明治二九年に織田家に献上の由来を記載、後半は織田氏系譜並天童家斯波氏系図) / 一冊(二七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 二六ノ4 林泉文庫 / 197-198
- 1472-11 「読史堂叢書 十一」(越後古城誌 乾) / 一冊(六二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 197-198
- 1472-12 「読史堂叢書 十二」(越後古城誌 坤) / 一冊(六四丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・三×一五・八 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / ト〇本 林泉文庫 / 197-198
- 1472-13 「読史堂叢書 十三」(1472-13-01、18の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二二・八×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1472-13-01、18合綴 / 197-198
- 1472-13-01 「月十五首 謡之」(十五夜月、月前風、山月他、月を主題にした短歌二首) / 一冊(五丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・一×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1472-13-01、18合綴 / 197-198
- 1472-13-02 「江の嶋金沢 鎌倉名所記 全」(將軍御代々大小名屋敷跡、神社仏閣名所、日蓮上人旧地、五名水他) / 一冊(八丁) / 明治六年 / 二二・二×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 戸川蔵版 / 1472-13-01、18合綴 / 木版、鎌倉住 戸川蔵版 / 197-198
- 1472-13-03 永山十兵衛「庚子遊草」写(天保九年の春、肥前藩士による水戸、仙台、米沢、会津の漢文体見聞録) / 一冊(二六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・五×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-13-01、18合綴 / 197-198
- 1472-13-04 吉田綱富留書(「童子百物かたり」のうち白井西雲のこと、丸橋忠弥、傷寒を患うこと等他) / 一冊(二四丁) / 天保一四年七月二四日 / 二二・六×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-13-01、18合綴 / 197-198

- 1472-113-05 「最明寺殿教訓百首」(北条時頼の作、但し冒頭は前田慶次作とされる「無苦庵記」) / 一冊(二四丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・六×一五・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 197-198
- 1472-113-06 「隆元公御筆跡」(漢詩集、参加者に色部典膳、今成喜四郎、神保蘭室他の名あり、後半は短歌集) / 一冊(一九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・六×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 作者は毛利弥八郎隆元カ、短歌集は別筆で後半に「文化九年二月廿三日」とあり / 197-198
- 1472-113-07 宣契僧正「孝行和讃」(孝行の重要性を説く往来物) / 一冊(一五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・五×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 印の判別不能、宣契僧正 / 1472-113-01-18合綴 / 木版、一丁目に黒印あり / 197-198
- 1472-113-08 「治憲公本庄為長千坂高谷江之御教戒」写(上杉鷹山による上級藩士への教訓二通) / 一冊(二〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・七×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 197-198
- 1472-113-09 甘粕備後守宛 安田上総介書状写(際限なき造作をもって人数を形の如く作られ云々他七箇条、原本は慶長五年一〇月二六日付) / 一冊(三丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・七×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 柱題「安田上総介より甘粕備後守ニ贈る書」 / 197-198
- 1472-113-10 「知足箴」(日常の心得と養生論、病氣回復解毒のための薬の調合) / 一冊(六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二二・六×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 197-198
- 1472-113-11 勝海舟「兵学小述」写(原文は慶応元年一〇月一四日付の兵学論、後半は「高杉晋作春風伝」、吉田松陰「投獄文記」序) / 一冊(八丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・七×一五・四 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 197-198
- 1472-113-12 小児養育食餌論(産科講究会における講師小野氏の講演概要) / 一冊(二丁) / 明治二年九月一〇日 / 二二・二×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 197-198
- 1472-113-13 中村正直「自助論叙」写(古賀謹一郎と中村正直の漢文体の序文) / 一冊(三丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・六×一五・四 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 野紙使用、二梅木擬之書とあり、筆写者か / 197-198
- 1472-113-14 「馬鈴薯調理法」(ジャガイモを用いた澱粉と饅頭、甘露水他の製法) / 一冊(四丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・七×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 野紙使用 / 197-198
- 1472-113-15 元台宛 書状(兄の仁を盾とし義を矛とし外寇の闖入を防ぎたく) / 一冊(二丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・七×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 元台兄↓小弟 / 1472-113-01-18合綴 / 「小田県」の野紙使用 / 197-198
- 1472-113-16 「粟子新道工事始末第二回記」(明治一四年六月以降の主に天皇行幸準備関係) / 一冊(八丁) / 明治一四年六月 / 二二・七×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 野紙使用 / 197-198
- 1472-113-17 共救社盟約書案(毛利・安田・斎藤・沢根の四氏による互助組織、各家一〇〇円を積立、非常時には貸付他) / 一冊(三丁) / 明治六年一月 / 二二・七×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 197-198
- 1472-113-18 詩歌集(杜甫「飲中八仙歌」他、主に漢詩で一部和歌を含む) / 一冊(五丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・七×一五・六 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1472-113-01-18合綴 / 197-198
- 1472-114 「読史堂叢書 十四」(上杉茂憲筆の慶応二年「敬齋公御上洛日記」、慶応三年七月の下原町村「御用触留帳」写、「慶長十九年廿年大坂陣之節拝借銀之覚」) / 一冊(二一八丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・九×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 八ノ二 林泉文庫の一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙、「米沢市史編纂用紙」使用、日記は年譜編纂のため茂憲が手記から抄録し賜ったものとあり / 197-198
- 1472-115 「読史堂叢書 十五」(1472-115-01-03の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1472-115-01-03合綴 / 197-198
- 1472-115-01 松浦氏「第一番 公私書留帳」(明治元年一月一四日「華の

色郷吉原騒動聞書」他、慶応三年二月〜翌年四月頃の京都風説書／一冊(五八丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／松浦氏／林泉文庫／1472-115-01-03合綴／197-1198

1472-115-02 松浦氏「第三番 諸説聞書」(風説留、明治元年九月〜同年八月一六日)／一冊(六七丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／松浦氏／林泉文庫／1472-115-01-03合綴／197-1198

1472-115-03 真島丈左衛門・楡井太兵衛「越後表聞繕書」(寛政六年七月、上関村渡辺儀右衛門より新発田周辺にて菊一文字の刀探索一件他)／一冊(八丁)／寛政六年八月／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／真島丈左衛門・楡井太兵衛／1472-115-01-03合綴／197-1198

1472-116 「読史堂叢書 十六」(明治二年八月〜同五年三月、清水村「見聞形勢帳四篇」写、主に天童関係)／一冊(二四七丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／一六ノ5 林泉文庫／197-1198

1472-117 「読史堂叢書 十七」(明治元年正月六日〜一〇月二二日の村松藩「執政日誌」、明治七年二月の工藤武七郎「長岡藩戦争一件覚書」)／一冊(二〇四丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／197-1198

1472-118 「読史堂叢書 十八」(1472-118-01の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・〇×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／八ノ3／1472-118-01-04合綴／197-1198

1472-118-01 日記写 (明治二年三月一日〜四月六日、鉄砲上覧や外交、使者派遣、人事等を藩政全般を記載)／一冊(三〇丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1472-118-01-04合綴／表紙に「甘粕備後」とあり／197-1198

1472-118-02 「明治八年 置賜県歴史草稿」(政治部工業、戸口、民俗、駅通、事変、制度部録制、会計)／一冊(三四丁)／明治八年頃／二三・八×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1472-118-01-04合綴／197-1198

1472-118-03 「山形県史原政米沢県」(明治四年七月一四日の米沢県設置から一二月二六日まで)／一冊(六丁)／明治四年頃／二三・八×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1472-118-01-04合綴／197-1198

1472-118-04 浅間修理「禁裏御守衛日記」(文久三年六月二〇日〜九月八日)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／浅間修理／1472-118-01-04合綴／197-1198

1472-119 「読史堂叢書 十九」(1472-119-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・二×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／二六ノ6／1472-119-01-02合綴／197-1198

1472-119-01 「甲辰探訪文書」(堯恵法印「北国紀行」、蔭涼軒日録)他中世の諸家文書、安政三年侍組三扶持方への説諭、吹屋敷村大沢村一巻の答書写他)／一冊(二三六丁)／甲辰(明治三七年)／二四・〇×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1472-119-01-02合綴／後半の一部は「晴峰原稿用紙」使用／197-1198

1472-119-02 松岬公園一件書類(山形県「公園取締規則」、松ヶ岬公園保存大旨、改造実施評議案他)／一冊(四八丁)／明治一八年頃／二四・〇×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1472-119-01-02合綴／01の「甲辰探訪文書」の途中に綴込、一部は押印のある原本、一部は罫紙使用／197-1198

1473-001 「読史堂叢書 第二集 一」(真壁文書、末尾に宝永七年六月付の文書目録あり)／一冊(五六丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／晴峰作の漢詩二枚挟み込み、末尾に「石文書 小田部助左衛門所蔵」とあり／199-200

1473-002 「読史堂叢書 第二集 二」(伊達天正日記の写、天正一五年正月一日〜九月二六日)／一冊(六五丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／199-200

1473-003 「読史堂叢書 第二集 三」(伊達天正日記の写、天正一六年正月一日〜二月二九日)／一冊(一一九丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／199-200

1473-004 「読史堂叢書 第二集 四」(伊達天正日記の写、天正一七年二月二六日〜四月二〇日)／一冊(七二丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／199-200

1473-005 「読史堂叢書 第二集 五」(会津家世実記、寛永一三年七月〜寛永一六年二月)／一冊(一一九丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 機械漉紙／林泉文庫／罫紙使用／199-200

1473-06 「読史堂叢書 第二集 六」(明和五年以降の「紹述録抄」、主に酒田の本間家から米沢藩への貸付金関係の大帳と書状、白崎良弥謄写文書他) / 一冊(一五二丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・三 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 郵紙使用 / 199-200

1473-07 「読史堂叢書 第二集 七」(天保七年以降荒年記他二種々書入)写、主に柴橋代官所関係 / 一冊(七六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 199-200

1473-08 「読史堂叢書 第二集 八」(1473-08-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1473-08-01-02合綴 / 199-200

1473-08-01 「国役普請書抜」(享保五年、嘉永五年、越後国の阿賀野川、信濃川他と最上川の普請に際し年ごとの幕府への上納金額) / 一冊(二〇丁) / (嘉永五年)二月 / 二三・九×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1473-08-01-02合綴 / 199-200

1473-08-02 「農政全書国字 全」写(今成吉四郎、蓬田幾助の連名、原本は安永五年四月) / 一冊(四六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1473-08-01-02合綴 / 199-200

1473-09 「読史堂叢書 第二集 九」(律令要略)写、底本は寛保二年編纂の幕府法令集を寛政二二年に宗成が書写したもの / 一冊(二二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 199-200

1473-10 「読史堂叢書 第二集 十」(諸旧記写、古賀精里「贈香阪生序」、興讓館契約、浪人相馬大作獄門の事他四九項目) / 一冊(二六三丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / ト〇本 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用 / 199-200

1473-11 「読史堂叢書 第二集 十一」(明治戊辰四月以降記、新庄藩余吾助右衛門記写) / 一冊(一一五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「晴峰原稿用紙」「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 199-200

1473-12 「読史堂叢書 第二集 十二」(戊辰戦争関係、今泉忠左衛門越後出

勢入料出入書上、会津征伐先鋒軍装書留他二五項目) / 一冊(一八〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用 / 199-200

1473-12-01 伊佐早謙宛 篠原英太郎書状(郷土史料の借用延期願) / 一通(二紙) / 昭和二年一〇月七日 / 二四・八×一六・八 / 切紙 機械漉紙 / 教育展覧会長 篠原英太郎 / 伊佐早謙殿 / 拝啓かねて拝借の郷土資料：延期相成度御願申上ます / 1473-12に封書で挟込 / 封筒あり / 199-200

1473-12-01 伊佐早謙宛 竹田甚作葉書(一昨日史料展覧会へ参る) / 一通(二紙) / 昭和二年一〇月八日 / 一四・〇×九・〇 / 葉書 機械漉紙 / 東置賜郡 沖江村 竹田甚作 / 米沢市林泉寺町 伊佐早謙様 / 拝啓一昨日史料展覧会：御託旁之御通知申上候頓首 / 1473-12-01に同封 / 1473-12-01の封筒内に葉書も同封 / 199-200

1473-12-02 伊佐早謙宛 高橋雄一依頼状(御講演「県下の史実につきて」拝聴後、車中にて史蹟に関する高説御礼、ぜひ一度先生を尋ねたく) / 一通(二紙) / 昭和二年一〇月八日 / 二三・八×一六・五 / 切紙 機械漉紙 / 南村山郡金井村大字後金沢高橋雄一 / 米沢市 伊佐早謙先生 / 肅啓朝夕秋冷を覚え：意を得度く草々頓首 / 1473-12に封書で挟込 / 封筒あり、用紙は一筆箋 / 199-200

1473-13 「読史堂叢書 第二集 十三」(明治三庚午十月ヨリ変革録 志、新政府からの達、諸藩の上申他) / 一冊(一三五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・一×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用、後世の挟み込みあり / 199-200

1473-14 「読史堂叢書 第二集 十四」(1473-14-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 一ノ二 / 1473-14-01-02合綴 / 199-200

1473-14-01 「日誌」写(明治四年四月一日、同二九日の米沢藩の公用日誌) / 一冊(四二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1473-14-01-02合綴 / 199-200

1473-14-02 「尚志堂漫録」(明治六、八年の「紀聞録」写、関義臣の言動、置賜県通達他) / 一冊(三三三丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1473-14-01-02合綴 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 199-200

1473-15 「読史堂叢書 第二集 十五 完」(伊佐早謙編「東宮殿下御旅館並

策命使参向記録」、上杉伯爵邸が皇太子の旅館となった前後の日記、決算他)／一冊(五一丁)／明治四一年一〇月／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／伊佐早謙編纂／二冊 林泉文庫／1991200

1474-01 「読史堂叢書 第三集 一」(1474-01-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／ト〇本／1474-01-01-03合綴／201

1474-01-01 「米沢市史」(義倉民並平倉附善行者附奥羽評判大秘録、貧民救助の件)／一冊(二七丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1474-01-01-03合綴／「米沢市史編纂用紙」使用／201

1474-01-02 「籍田御遺趾碑之儀ニ付御答」(湯野川忠世宛、上杉鷹山の籍田についての伊佐早謙の考え)／一冊(六丁)／明治三五年一月三日／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1474-01-01-03合綴／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／201

1474-01-03 「伊佐早氏答問 完」(上杉謙信関連の溪内からの問合に対する伊佐早の史料調査・検証内容)／一冊(三一丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1474-01-01-03合綴／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／201

1474-02 「読史堂叢書 第三集 二」(1474-02-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1474-02-01-03合綴／201

1474-02-01 「米沢市史」(文政七年大火と洪水記録)／一冊(五二丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1474-02-01-03合綴／「米沢市史編纂用紙」使用／201

1474-02-02 「米沢古今大火集」(寛永一七年二月三日、文政七年四月九日の大火)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二一・八×一六・〇／縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1474-02-01-03合綴／201

1474-02-03 「松川水害予防組合規約」(四章三八か条)／一冊(一六丁)／近代(年月日未詳)／二二・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／松川水害予防組合／朱印あり／1474-02-01-03合綴／活版／201

1474-03 「読史堂叢書 第三集 三」(天保七年呉服問屋仲間記録、安政四年

米問屋議定書他四件)／一冊(一一四丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／201

1474-04 「読史堂叢書 第三集 四」(1474-04-01-06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／二冊／1474-04-01-06合綴／201

1474-04-01 「万延元年以下諸記録」(桜田門外の変関連情報)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1474-04-01-06合綴／201

1474-04-02 「江府騒動之留」(安政七年三月三日、三月二日、桜田門外の変に関する米沢藩の情報収集記録)／一冊(二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1474-04-01-06合綴／201

1474-04-03 「亜墨利加一條京都風聞書并諸侯ニ御渡之書付写」(京都風聞書)とあり、安政五年三月以降京都情勢に関する風説留)／一冊(二四丁)／安政五年五月一六日／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1474-04-01-06合綴／201

1474-04-04 「文久二年京師関東之騷擾」(京都・江戸情勢に関する情報)／一冊(二三丁)／(文久二年)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1474-04-01-06合綴／201

1474-04-05 「慶応三年御省略」(俵約の布告)／一冊(四丁)／(慶応三年)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1474-04-01-06合綴／201

1474-04-06 堀尾重興周旋書上(元治元年禁門の変前後における長州説得工作経過)／一冊(二七丁)／(元治元年)／二三・七×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1474-04-01-06合綴／201

1474-05 「読史堂叢書 第三集 五」(1474-05-01-02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／一一八ノ2 伊佐早蔵本／1474-05-01-02合綴／201

1474-05-01 亀井南冥筆「肥後物語」写(堀平太左衛門昇進のこと、長岡主水大臣の礼を具せしこと、肥後侯学者を優待し給うこと他)／一冊(五〇丁)／文政一

二年八月／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／筑前亀井道齋
恭堅写／伊佐早蔵本／1474-05-01-02合綴／201

1474-05-02 「興讓館提学片山仁一郎文久探索書」写（片山一貫による会津
探索録、京都戦争風説書他）／一冊（三八丁）／（元治元年）／二四・〇×一六・二／
豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1474-05-01-02合綴／
表紙題は後に朱書したものの、「自写本完」とあり／201

1474-06 「読史堂叢書 第三集 六」（明治元年五月～九月、戊辰戦争時の松
木隊越地日記の写）／一冊（六〇丁）／慶応四年五月／二四・〇×一六・一／豎帳 袋
綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「上杉氏編纂所」の原稿用紙、「米沢市史
編纂用紙」使用／201

1474-07 「読史堂叢書 第三集 七」（明治二年一月八日～六月一八日、木滑
政愿自筆日記、前後欠）／一冊（四三丁）／明治二年／二四・〇×一六・二／豎帳
袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／二ノ二 林泉文庫／201

1474-08 「読史堂叢書 第三集 八」（大令、明治三年閏一〇月～同四年一二
月の触達留）／一冊（一〇五丁）／明治三年一〇月／二四・一×一六・〇／豎帳 袋綴
冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／一八ノ三 林泉文庫／201

1474-09 「読史堂叢書 第三集 九」（1474-09-01-04の表紙）
／一冊／近代（年月日未詳）／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
／1474-09-01-04合綴／201

1474-09-01 「極秘」（大政奉還に関する吉井信発談話）／一冊（八丁）／
近代（年月日未詳）／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉
文庫／1474-09-01-04合綴／201

1474-09-02 物書所「新聞日録」（東根陣屋で得た松前藩の情報、戊辰戦争
時の奥羽各地の風説、戦況他）／一冊（二八丁）／明治元年／二四・〇×一六・一／豎
帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／物書所／羽前米沢桂町認登坂／1474-09-
01-04合綴／201

1474-09-03 「明治元年以下月表」（明治元年～同一四年の年月表）／一冊（一
八丁）／明治元年／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／147
4-09-01-04合綴／野紙使用／201

1474-09-04 「米沢来翰留」（明治三年八月～一〇月、米沢と東京の正権大
属等の役人間の往復書状留）／一冊（四六丁）／明治三年／二四・〇×一六・一／豎帳

袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1474-09-01-04合綴／201

1474-10 「読史堂叢書 第三集 十」（「差謬録」雲井龍雄始末、差謬録追記、
明治元年～三年の雲井龍雄の動向）／一冊（二〇二丁）／明治元年四月一七日／二四・
〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／一八ノ四 林
泉文庫／201

1474-11 「読史堂叢書 第三集 十一」（1474-11-01、02の表紙）
／一冊／近代（年月日未詳）／二三・八×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
／1474-11-01-02合綴／201

1474-11-01 「筆海明治間記」（慶応三年末～明治四年の大目付触や太政官
等からの触達と米沢藩からの上申書、会津藩との往復書状他）／一冊（二五丁）／明治
四年二月／二三・八×一五・六／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫・
河埜／1474-11-01-02合綴／表紙に河野とあり／201

1474-11-02 「変革録 式」（明治三年一〇月～同四年一〇月一〇日の触達、
職制他）／一冊（一五〇丁）／明治三年一〇月／二三・八×一五・六／豎帳 袋綴冊子
装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1474-11-01-02合綴／「米沢市史編纂
用紙」使用／201

1474-12 「読史堂叢書 第三集 十二」（市史参考、明治六月一三日～同九年
八月三十一日）／一冊（一八三丁）／明治六年六月／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊
子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」、「米沢市史編纂原稿用紙」
使用／201

1474-13 「読史堂叢書 第三集 十三」（置賜郡志、置賜四郎から長井時広、
伊達政宗、上杉景勝に至る歴史、廃藩置県による置賜県成立と地誌、南置賜郡組合町村
書出）／一冊（六七丁）／明治八年頃／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地
後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／201

1475-01 「読史堂叢書 第四集 一」（1475-01-01-03の表紙）
／一冊／近代（年月日未詳）／二二・九×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
／1475-01-01-03合綴／202

1475-01-01 水上貞信筆「太田道灌随筆 全」写（「我宿は松原つつき…」
で始まる随筆）／一冊（三八丁）／延享三年／二二・九×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装
共紙原表紙 楮紙／水上源貞信／林泉文庫・羽前米沢市林泉寺伊佐早謙・□東／
1475-01-01-03合綴／末尾に延享三年に川島長興が写し、さらに安永九年
に書写した旨の記載あり／202

1475-01-02 「御軍法」(大坂冬の陣の軍法と、慶長一九年一〇月二日提書) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・九×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1475-01-01、03合綴 / 202

1475-01-03 「諸家古文書」(「安得虎子」土岐古状写、宇都宮文書、阿保文書他) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・九×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1475-01-01、03合綴 / 「史料編纂掛」、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 202

1475-02 「読史堂叢書 第四集 二」(陸奥国司北畠顯信公所在、葛西清貞勤王事蹟考) / 一冊(六四丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 米沢伊佐早謙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用 / 202

1475-03 「読史堂叢書 第四集 三」(1475-03-01、05の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / ト本 / 1475-03-01、05合綴 / 202

1475-03-01 「史料雜纂」(甲越春秋序、越中略図、芦名義広文書、戦余往復他) / 一冊(四七丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1475-03-01、05合綴 / 「米沢市史編纂用紙」、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 202

1475-03-02 新発田因幡守重家伝(新発田重家の伝記) / 一冊(五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1475-03-01、05合綴 / 贈呈の朱文字あり、表紙に「新発田因幡守家重伝 春日山城図一葉安倍瑞翁写」とあり、家重は重家の誤記、罫紙使用、1475-03-05と二体のもの / 202

1475-03-03 「天正十六年閏五月三日於紹巴亭直江山城守興行」写(里村紹巴の屋敷で直江兼統が興行した和漢連句の記録) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1475-03-01、05合綴 / 202

1475-03-04 「古筆集」(晴照院様御文他五一通の写、主に庄内藩関係) / 一冊(五九丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1475-03-01、05合綴 / 202

1475-03-05 安倍瑞翁筆「越後国頸城郡中屋敷村地内春日山古城絵図」写(北国街道を東に城を西に記載) / 一鋪(三紙) / 近代(年月日未詳) / 三九・〇×八二・〇

五 / 切継紙 楮紙 / 安倍瑞翁 / 1475-03-01、05合綴 / 1475-03に挟み込み、1475-03-02と一体と思われる / 202

1475-04 「読史堂叢書 第四集 四」(正保三年の羽州置賜郡郷村帳の写し) / 一冊(四七丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 202

1475-05 「読史堂叢書 第四集 五」(千坂高治宛 上杉定勝、綱勝書状の写し) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂原稿用紙」、「米沢市史編纂用紙」使用 / 202

1475-06 「読史堂叢書 第四集 六」(1475-06-01、08の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 一一九ノ二 / 1475-06-01、08合綴 / 202

1475-06-01 「南山公御言行録」写(上杉重定の事績や言行録) / 一冊(二六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1475-06-01、08合綴 / 202

1475-06-02 「三之丸御殿江津江柏寿於召出候行事」(疱瘡の治療のため江戸表町医師津江柏寿の召請一件) / 一冊(八丁) / 文化二年四月 / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1475-06-01、08合綴 / 202

1475-06-03 「治憲公 齊定公 御書之写」(鷹山の教諭、細井平洲書状、幼医入学、入学大意他) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1475-06-01、08合綴 / 「米沢市史編纂用紙」、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 202

1475-06-04 竹俣当綱書状写(三谷との金策、「治国談」を開くべき時来る、ご来駕の日程調整他、原本は二月五日付の万里橋先生宛 愚老書状) / 一冊(四丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1475-06-01、08合綴 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用 / 202

1475-06-05 「細井平洲先生御書翰写」(伊藤玄沢宛、藩政改革及び米沢発足につき、原本は四月五日付) / 一冊(二四丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1475-06-01、08合綴 / 202

1475-06-06 荏戸善政「幼医入学 入学大意」写(学問に取り組む心構え他、幼医入学は寛政二年に藩医水野元丈に与えた教訓書)／一冊(二一丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1475-06-01-08合綴／202

1475-06-07 荏戸以徳「学要弁」写(学問の意味と心構え、原本は文化一三年九月)／一冊(九丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1475-06-01-08合綴／202

1475-06-08 美濃苑 丹波守書状写(屋形様巡見及び小出上河開発他につき、原本は四月二七日付)／一冊(六丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1475-06-01-08合綴／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、柱題「四月廿七日合章館 屋形様御下り志巻」、表紙破れ、1475-06の表紙に「竹俣当綱手翰」とあるが当綱かは要検討／202

1475-07 「読史堂叢書 第四集 七」(1475-07-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1475-07-01-03合綴／202

1475-07-01 「御鷹野行事」(上杉鷹山による下長井辺での鷹野準備等詳細)／一冊(九七丁)／安永四年五月／二三・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1475-07-01-03合綴／202

1475-07-02 代官所「治憲公より被成下御直筆御掛物之由緒」(「朱頂自金千歳寿」の上杉鷹山の直書掛軸の由来)／一冊(五丁)／安政五年八月／二三・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／代官所／1475-07-01-03合綴／近代の「編纂所考」の朱書訂正の下札あり／202

1475-07-03 「咸有院様御道具御蔵入之御品々」(治広正室純姫分、興禅寺より請け戻し分と御前様御譲分他の目録、刀剣、各種箱、調度、屏風他)／一冊(一九丁)／安政五六月／二三・八×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1475-07-01-03合綴／202

1475-08 「読史堂叢書 第四集 八」(1475-08-01-04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二二・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／ト〇本／1475-08-01-04合綴／202

1475-08-01 「明和六年御借上金記」(江戸城西之丸手伝普請のため明和六年二月に領内町人に課した借上金記録、米沢城下の米蔵に関する荏戸善政書状他の写)／一冊(二七丁)／近代(年月日未詳)／二二・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共

紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1475-08-01-04合綴／202

1475-08-02 田中甚左衛門「今度被仰出付存寄申上候寛」(桑の植樹等領内の産業振興に関する献策草案)／一冊(八丁)／寛政二年二月／二二・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／駿河守様御小姓田中甚左衛門／1475-08-01-04合綴／202

1475-08-03 深沢政・荏戸以徳「丹泉勝遊十ヶ一」(鷹山の赤湯湯治行の随行日記、雲夢楼での詩会他)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／荏戸以徳／羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／1475-08-01-04合綴／202

1475-08-04 「御預人一件」(水野清九郎のお預けを米沢新田藩が幕府から命じられた際の記録)／一冊(三七丁)／宝暦七年／二二・六×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1475-08-01-04合綴／202

1475-09 「読史堂叢書 第四集 九」(中條春亮他藩医一三名による天明三年評定の「飯粮集」写)／一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・小豆色地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／202

1475-10 「読史堂叢書 第四集 十」(1475-10-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1475-10-01-03合綴／202

1475-10-01 片山一真「当家葬祭記」写(享保八年六月二六日没の片山元備の葬儀の次第、墓碑名他、原本は寛保元年六月一五日)／一冊(一八丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1475-10-01-03合綴／202

1475-10-02 「笹野観音堂由緒記」(明治初期までの沿革及び祭礼や境内の建築物、明治中期までの歴代住職等の草稿)／一冊(二八丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1475-10-01-03合綴／朱書きで修正、校訂多数あり／202

1475-10-03 「摺上 甲冑堂」写(謡曲「摺上」「甲冑堂」を伴高蹊がまとめたもの)／一冊(一九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1475-10-01-03合綴／「甲冑堂」には寛政五年の橘南谿の序あり／202

1475-111 「読史堂叢書 第四集 十一」(文化五年正月「邦枢示蒙」写、明曆新帳他、貢租、専売の紅花に関する郷村支配の手引書) / 一冊(八三丁) / 文化五年一月 / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 202

1475-112 「読史堂叢書 第四集 十二」(山田親房「米沢雜事記」写) / 一冊(一七四丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 山田親房 / 二九ノ3 林泉文庫 / 202

1475-113 「読史堂叢書 第四集 十三」(享保一〇年の物産輸出品書上、「国政談」抄、「勤農建議並籍田記」、遠山村田大明神由緒答書、「樹養篇」の写) / 一冊(一七二丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 一一九ノ4 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用 / 202

1475-114 「読史堂叢書 第四集 十四止」(「樹芸記」の写し、大豆と醤油・豆腐等の製法、領内にある小豆の品種、荏胡麻、青葙他) / 一冊(六九丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・〇×一四・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 虫損多 / 202

1476-001 「読史堂叢書 第五集 一」(1476-011-001-04の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・二×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / ト〇本 / 1476-011-001-04合綴 / 203

1476-011-001 「生育金 中殿様分御助力之書留」(寛政四年、上杉鷹山の御手元金から生育助力金一件の御用状他) / 一冊(四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・二×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1476-011-011-04合綴 / 203

1476-011-002 山田親房「酒造高十分二役米御取立従公儀御達之留」(酒造役米に関する幕府の触および米沢藩からの伺、藩内での評議他) / 一冊(二〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・二×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-011-001-04合綴 / 表紙に「莅戸」とあり / 203

1476-011-003 「二円大概積」(家内六人として食料や蠟燭など生活必需品の年間消費量と費用、衣食住に関する心得他) / 一冊(一三丁) / 文政九年一月 / 二三・二×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1476-011-011-04合綴 / 末尾に「矢野幸四郎」とあり、和歌二首等を記載 / 203

1476-011-004 高山吉右衛門「愚案記」(子孫に伝えた遺書、百姓としての衣食住他の心得) / 一冊(四四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二三・二×一五・五 / 縦

帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 高山吉右衛門 / 虫損多 / 1476-011-001-04合綴 / 203

1476-002 「読史堂叢書 第五集 二」(「御定書」、主に享保年間の御城米破船吟味一件と運賃、船の種類他) / 一冊(三〇丁) / 宝暦六年七月 / 二一・三×一五・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 定賢(花押) / 二〇ノ2 林泉文庫 / 203

1476-003 「読史堂叢書 第五集 三」(1476-031-001-05の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 二〇ノ3 / 1476-031-001-05合綴 / 203

1476-003-001 和田光新筆「御系譜抜書」写(酒井家、有親・親氏親子から忠次まで) / 一冊(一七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 和田光新写之 / 林泉文庫 / 1476-031-001-05合綴 / 203

1476-003-002 「平姓本庄系図」(米沢藩侍組、桓武天皇から本庄繁長の子、久長流恕一郎包長まで) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-031-001-05合綴 / 203

1476-003-003 「寛政重修諸家譜順次 全」(箱ごとの目録) / 一冊(一七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-031-001-05合綴 / 203

1476-003-004 「上杉輝虎注進上 豊臣太閤御事書」(九月一九日付の大館伊代守宛 上杉謙信書状と、天正二〇年五月一八日付の豊臣秀吉朱印状の写し) / 一冊(一六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 安藤・林泉文庫 / 1476-031-001-05合綴 / 203

1476-003-005 色部光長勤書(元和九、寛永一一年の上京と使者勤等) / 一冊(四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二三・四×一五・九 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1476-031-001-05合綴 / 203

1476-004 「読史堂叢書 第五集 四」(「小幡由緒書」の写し、盛次から盛松まで) / 一冊(八五丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「米沢市史編纂用紙」使用 / 203

1476-005 「読史堂叢書 第五集 五」(1476-051-001-04の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙

- 1476—05—01—04合綴／203
- 1476—05—01 「大崎軍記 完」(奥御館滅亡葛西三郎活重関東より奥州へ移ること)／一冊(二〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1476—05—01—04合綴／末尾に「明治三六年八月贈呈玉造郡東大崎村大崎字伏見本屋敷五六番地門脇幸吉 千阪康夫殿」とあり／203
- 1476—05—02 「鶴岡諸雜記」(鶴岡よりほど近き城下迄の道法、庄内酒田湊海路里程他二件)／一冊(五九丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1476—05—01—04合綴／203
- 1476—05—03 天保四年洪水並凶作記諸侯御届書類(大垣藩、庄内藩、佐貫藩他、諸藩からの天災による被害状況報告)／一冊(三四丁)／天保四年／二四・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1476—05—01—04合綴／203
- 1476—05—04 諸大名損毛御届高書上(天保四年の諸家損毛届出)／一冊(二丁)／天保四年／二・二×三三・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／1476—05—01—04合綴／巻末に挟み込み／203
- 1476—06 「読史堂叢書 第五集 六」(節儀忠死 上二、赤穂事件に関する物語)／一冊(一一八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・九×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／一二〇ノ4 林泉文庫／末尾に「石坂せい」とあり／203
- 1476—07 「読史堂叢書 第五集 七」(水戸青山家文書写)、青山延寿他に關する書状類)／一冊(九三丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／203
- 1476—08 「読史堂叢書 第五集 八」(1476—08—01—05の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1476—08—01—05合綴／後補表紙によれば1476—08は主に庄内藩酒井家関係／203
- 1476—08—01 「年始御規式」(正月一日〜五日の献立)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1476—08—01—05合綴／表紙に「和田氏控」とあり／203
- 1476—08—02 「丑正月十一日御具足下賜御祝儀御献立」(丑正月十一日の献立)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1476—08—01—05合綴／203
- 1476—08—03 「出羽国最上郡鮭延之荘新荘之鎮守」(鎮守の縁起)／一冊(二三丁)／享保二年秋日／二三・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／禅律院徳峰 杜多敬書／1476—08—01—05合綴／正光山大学院什物／203
- 1476—08—04 「酒井家分限帳」(松平甚三郎二千石他、庄内藩の給人分)／一冊(四七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1476—08—01—05合綴／203
- 1476—08—05 「公方様 御薨去二付届出歎善院様御卒去二付同断」(嘉永六年八月一日〜翌年七月の触達 略日記他)／一冊(一八丁)／嘉永六年／二三・〇×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1476—08—01—05合綴／203
- 1476—09 「読史堂叢書 第五集 九」(1476—09—01—08の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1476—09—01—08合綴／203
- 1476—09—01 三方領地替一件留(天保一一年の三方領知替えに関する天保一二年の幕臣河津三郎兵衛書状、水戸藩土山国喜八郎上書及び加藤昇三郎書状写)／一冊(二五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1476—09—01—08合綴／冒頭部錯簡あり／203
- 1476—09—02 庄内藩惣百姓起請文写(三方領知替につき庄内領民が悲嘆を表明、原本は天保二二年八月)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1476—09—01—08合綴／前欠／203
- 1476—09—03 「起請文之事」(1476—09—02の翻刻原稿)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・四／豎紙 楮紙／1476—09—01—08合綴／後欠、罫紙使用／203
- 1476—09—04 「仙台行御百姓手控写」(三方領知替に關して天保一二年五月に庄内藩の百姓が仙台藩へ歎願に赴いた記録)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1476—09—01—08合綴／203

1476-09-05 「ねごと論」(三方領知替えにつき) / 一冊(二〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・四 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1476-09-01-08合綴 / 203

1476-09-06 「御転領二付御用取捌方向」(用取の取扱いにつき伺い及び達) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-09-01-08合綴 / 203

1476-09-07 富樫久太「庄内村日記」(庄内藩の村名を通・組ごとに記す) / 一冊(二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 狩谷野目村富樫久太筆 / 1476-09-01-08合綴 / 203

1476-09-08 「羽州庄内加茂村権吉長五郎唐国漂流帰国之次第」(天明七年以来の顛末) / 一冊(二七丁) / 文化六年一月 / 二四・〇×一六・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-09-01-08合綴 / 末尾に「此主瀧野沢住人」とあり / 203

1476-10 「読史堂叢書 第五集 十」(「文久三年屋代郷一件諸記」、嶋田多門らによる仙台藩との交渉記録他、後半は六月二日〜七月二日の日記) / 一冊(一三丁) / 文久三年 / 二三・八×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 二〇ノ5 林泉文庫 / 203

1476-11 「読史堂叢書 第五集 十一」(1476-11-01-04の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 二〇ノ6 林泉文庫 / 1476-11-01-04合綴 / 203

1476-11-01 「秘録書」写(屋代郷騒動の記録、仙台藩の動向、屋代郷村方の嘆願書写し他) / 一冊(三三丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1476-11-01-04合綴 / 文久三年一〇月に羽州置賜郡御料所竹森村の猪野満義が奥州仙台御城下国分町遠藤屋源九郎という旅籠に宿泊した際に写したものの写 / 203

1476-11-02 竹森村組頭五左衛門「屋代裁判表」(屋代郷騒動による村方の処罰者書上と御裁許書の写し) / 一冊(四三丁) / 慶応元年五月二日 / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 竹森村組頭五左衛門 / 1476-11-01-04合綴 / 203

1476-11-03 「治頑始末 卷之四」(屋代郷騒動につき酬恩碑の破壊他、元治元年七月二日、一二月一四日の記録) / 一冊(五七丁) / 元治元年 / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-11-01-04合綴 / 2

03

1476-11-04 伊佐早謙「伊達玉野村境論雑記」稿本(米沢藩領と相馬藩領の山境争いに関する文書写し他) / 一冊(四〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-11-01-04合綴 / 朱書で黒木某著とあり、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、伯爵上杉様御家令宛福島県伊達郡石戸村村長遠藤善作他二名の願書の挟込あり / 203

1476-11-2 「読史堂叢書 第五集 十二」(「国花万葉集」、「山形古記録」他、山形城下関係の記載や文書等を諸記録から抜粋) / 一冊(二五六丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「東村山郡史編纂原稿用紙」、「東村山郡史蹟調査用紙」使用 / 203

1476-11-3 「読史堂叢書 第五集 十三」(「東村山郡史料 二」、寛永〜宝永年間) / 一冊(一八六丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・四 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 「東村山郡史蹟調査用紙」、「晴峯原稿用紙」、「東村山郡相模尋常高等小学校」他の紙使用 / 203

1476-11-4 「読史堂叢書 第五集 十四」(1476-11-01-03の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1476-11-01-03合綴 / 203

1476-11-4-01 「織田家系譜並天童家斯波系図」(織田家は桓武天皇から壽重丸まで、天童家は斯波兼頼〜頼久まで、斯波家は清和天皇から忠直まで) / 一冊(五三丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1476-11-01-03合綴 / 203

1476-11-4-02 「戸沢御系図」(新庄藩主戸沢家関係、桓武天皇から政庸まで) / 一冊(二二丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1476-11-01-03合綴 / 野紙使用 / 203

1476-11-4-03 「奥羽徴古志 一」(崇神天皇から天応元年の小黒麻呂の活躍まで) / 一冊(四五丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・八×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1476-11-01-03合綴 / 203

1476-11-5 「読史堂叢書 第五集 十五 止」(1476-11-01-03の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二四・〇×一六・一 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1476-11-01-03合綴 / 203

1476-115-01 服部純蔵「私房元記日帳」(天明三年八月二日、同四年八月四日の学者の日記) / 一冊(六〇丁) / 天明三年八月二日 / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1476-115-01-03合綴 / 1476-115の表紙に「服部純蔵自筆」とあり、文中に「温海入湯」や「内川」とあり 庄内藩関係カ / 203

1476-115-02 相馬惣作宛 荒瀬郷南青沢村百姓嘆願書(庄内藩三郷村の百姓打ち出し一件) / 一冊(六丁) / 江戸後期(年未詳) 申二月 / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 荒瀬郷南青沢村肝煎藤八他五七名(黒印) / 1476-115-01-03合綴 / 荒瀬郷は飽海郡 / 203

1476-115-03 「義光黒印控ひ」(最上義光の黒印を所持する庄内藩領の寺社と知行付の村) / 一冊(二六丁) / 享和三年三月 / 二四・〇×一六・一 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1476-115-01-03合綴 / 末尾に「庄内田河郡淀川組上清水村梅香沢 板垣弥市郎」とあり / 203

1477-01 「読史堂叢書 第六集 一」(1477-01-01-03の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・一×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1477-01-01-03合綴 / 204

1477-01-01 「天正三年軍役帳」(上杉家中の軍役書上、原本は天正三年二月一六日) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・一×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1477-01-01-03合綴 / 204

1477-01-02 「直江山城守家中掟」写(直江兼統没後の元和六年三月一〇日付で日常の心得を説いた家中宛掟書他) / 一冊(五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・一×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1477-01-01-03合綴 / 204

1477-01-03 「天保九年御巡見二付御札書替之節 高札写」(天和二年、天保二五年分、寸法も記載) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・一×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1477-01-01-03合綴 / 204

1477-02 「読史堂叢書 第六集 二」(1477-02-01、02の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・五×一六・五 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1477-02-01-02合綴 / 204

1477-02-01 「平姓色部氏庶子系譜集全」(平姓本庄家系統、庶子宿田家系譜、庶子牛屋家系譜、庶子浦家系譜、庶子飯岡家系譜、庶子色部家系譜) / 一冊(二二丁)

江戸後期(年月日未詳) / 二三・五×一六・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1477-02-01-02合綴 / 204

1477-02-02 「藤原山本寺氏系譜」(上杉重房から安政五年家督の勝義までの系図) / 一冊(二〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・五×一六・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1477-02-01-02合綴 / 204

1477-03 「読史堂叢書 第六集 三」(1477-03-01、02の表紙) / 一冊 / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・九×一六・三 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 / 1477-03-01-02合綴 / 204

1477-03-01 「寛文四年分限帳 下」写(与板組以下、在郷馬上や諸寺院まで、原本は寛文四年二月二〇日) / 一冊(三四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・九×一六・三 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1477-03-01-02合綴 / 204

1477-03-02 「治憲公斉定公御書之写」(明和四、七年教諭の上杉鷹山書状、天保二年の四大夫宛 上杉斉定書状他) / 一冊(八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・九×一六・三 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1477-03-01-02合綴 / 204

1477-04 「読史堂叢書 第六集 四」(遠藤権兵衛留書、元文四年、安永九年) / 一冊(七二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二二・六×一五・二 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1477-04-01-01-02挟込 / 山形県商品陳列所の札一枚挟込、貼付、挟込多数 / 204

1477-04-01 覚書(駕籠の件他条々につき) / 一通(三紙) / 江戸中期(年月日未詳) / 一五・五×八八・八 / 切継紙 楮紙 / 一駕籠二て：扱被申由与候 / 1477-04-01-01-02挟込、04-01-01-02貼継 / 1477-04に挟込、柱題「覚」 / 204

1477-04-01-02 献立書上(宝暦八年二月二日献立) / 一通(二紙) / 宝暦八年二月二日 / 一五・五×四八・〇 / 切継紙 楮紙 / 神明 竹酒：晩方届申候 / 1477-04-01-01-02挟込、04-01-01-02貼継 / 端裏あるが貼継ぎのため解説不可 / 204

1477-04-02 人名書(御領代官今井源兵衛他、御預所の百姓等を含む) / 一通(一紙) / 宝暦二年七月二九日 / 三七・三×三一・〇 / 折紙 楮紙 / 此度御領所高畑村：上下九十六人 / 1477-04-01-01-02挟込 / 柱題「此度御領所高畑村 盜賊一卷二付而江戸へ召被上候人数之覚」、1477-04に挟込、1477-04-

01-001の挟込まれていた部分に關係／204

1477-05 「読史堂叢書 第六集 五」(1477-05-01、03の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／ト本／1477-05-01、03合綴／204

1477-05-01 「平洲先生御請書之写」(文化一四年の大石綱豊の序、興讓館の方針に關する寛政一二年の上杉鷹山宛 細井平洲書状)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／大石左膳選著／林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／1477-05-01、03合綴／204

1477-05-02 中之間年寄「御昇進被蒙仰候付御祝之行事」(文久三年一月一五日、一八日、上杉齊憲の昇進祝の儀式詳細、末尾は席次を图示)／一冊(二六丁)／文久三年一月／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御中之間年寄／1477-05-01、03合綴／204

1477-05-03 「齊定公下長井御巡覽御日記御直筆写」(文政一二年八月一七日、二五日)／一冊(五九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1477-05-01、03合綴／204

1477-06 「読史堂叢書 第六集 六」(1477-06-01、02の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二二・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1477-06-01、02合綴／204

1477-06-01 山田運七筆「掛入石仲山御役屋御兵具代々之引渡し帳留写」(中山役屋に付属する武具書上と管理に關する文書類の留)／一冊(二五丁)／享保六年六月一日／二二・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／山田運七／林泉文庫／1477-06-01、02合綴／表紙に「右ハ享保六年六月十一日交替ニ付井上宮内源高満代写之年五拾壹歳」とあり、山田運七は井上高満の小姓カ／204

1477-06-02 「享保六年五月廿五日掛入石中山御役屋將被仰付六月十一日中山へ引移ニ付先役黒川小平太義直懐中本同氏幸右衛門被借候間後ニ成候分写置」(中山役屋における年中行事留書)／一冊(一九丁)／(享保六年)／一一・五×三一・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／1477-06-01、02合綴／朱書加筆多数あり／204

1477-07 「読史堂叢書 第六集 七」(1477-07-01、02の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補

表紙／1477-07-01、02合綴／墨付四六丁／204

1477-07-01 中村臧昌「初筒新建日記」(文政七年大火後、九月、一〇月の蓄初筒建立につき)／一冊(一五丁)／文政一〇年／二三・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／中村臧昌(花押)／林泉文庫／1477-07-01、02合綴／204

1477-07-02 岩間勘三郎「文政七年四月十九日桐町亥子屋平七午刻出火折節戌亥風烈町屋千有余寺院三拾有余宇川升小路義倉御蔵三戸前之内東西御蔵戌刻焼落川井小路義倉地防火之手当不宜御沙汰を以長町西裏江桐筒式軒新建日記」(文政七年に焼失した初蔵普請の記録)／一冊(三五丁)／文政九年／二三・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／岩間勘三郎邦義／1477-07-01、02合綴／204

1477-08 「読史堂叢書 第六集 九」(天保十年六月朔日糠野目御役屋將被仰付引移前後之留)、齊藤庸信の糠野目役屋勤の御用留原本、天保二年二月晦日まで)／一冊(六七丁)／天保一〇年／二二・七×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／庸信／林泉文庫／「読史堂叢書 第六集八」は欠本カ／204

1477-09 「読史堂叢書 第六集 十」(1477-09-01、02の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1477-09-01、02合綴／204

1477-09-01 「竹俣日帳書抜」写(寛永一八年二月三日、正保三年三月二五日、侍組竹俣家の日記抜粋)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1477-09-01、02合綴／明治三四年一〇月二九日に校訂を終えた旨の伊佐早謙の奥書あり／204

1477-09-02 木滑要人宛 今井才次郎「嘉寅換紳 全」(嘉永七年、アメリカ使節への応対顛末の記録)／一冊(六二丁)／嘉永七年二月一九日／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／今井才次郎拝呈、木滑要人様／1477-09-01、02合綴／204

1477-10 「読史堂叢書 第六集 十一」(1477-10-01の表紙)／一冊／安永六年／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1477-10-01、02合綴／204

1477-10-01 「一床書室雜集」(寛永六年、明治六年頃の米沢林泉寺の由緒、関連文書等)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1477-10-01、02合綴／204

- 1477-110-02 郡奉行所「免許百姓由緒」(関町遠藤小太郎他三名の免許百姓)／一冊(三四丁)／安永六年／二四・一六・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／郡奉行所／1477-110-01、02合綴／204
- 1477-111 「読史堂叢書 第六集 十二(米沢市史 北條郷村目録)」／一冊(八七丁)／近代(年月日未詳)／二四・一六・三／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／204
- 1477-112 「読史堂叢書 第六集 十三 完」(1477-112-01、03の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇六・三／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1477-112-01、03合綴／204
- 1477-112-01 林泉寺記録(林泉寺の由緒写)／一冊(三五丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇六・三／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1477-112-01、03合綴／204
- 1477-112-02 龍宝寺隆恭「八幡堂絵図並諸事留帳御巡見付書上控帳」(成島八幡宮の宝物と縁起、建物、文化一二年再建の龍宝寺の図面と天保八年の「寺柄書上」他)／一冊(二八丁)／天保二年八月／二四・〇六・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／成嶋村別当龍宝寺隆恭代／1477-112-01、03合綴／204
- 1477-112-03 称名寺宥弁「十王村称名寺書上」写(荒砥郷の鎮守八乙女八幡宮縁起、佐野原村不動尊伝記他の写、原本は寛政三年九月)／一冊(二〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇六・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1477-12-01、03合綴／204
- 1478-101 「読史堂叢書 第七集 一」(1478-101-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二一・七四・九／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1478-101-01、02合綴／205
- 1478-101-01 「置賜郡午御年貢永並小物成口米代取立下組」(高畠村他屋代郷三四ヶ村の村別の家数・牛馬数)／一冊(三九丁)／元文三年一〇月／二一・七四・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1478-101-01、02合綴／205
- 1478-101-02 「三拾四ヶ村家数並牛馬数相記申帳」(高畠村他三四ヶ村の家数・牛馬数書上)／一冊(三丁)／宝暦一年五月／一四・八三・〇／横帳 長帳 共紙原表紙 楮紙／1478-101-01、02合綴／三丁目は半分破れ／205
- 1478-102 「読史堂叢書 第七集 二」(1478-102-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・九六・四／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1478-102-01、02合綴／205
- 1478-102-01 「加州橋立浦角屋与次郎沖船頭宗助船分散勘定帳」(長州赤間沖合にて破船した積荷の内訳)／一冊(九丁)／文政元年六月／二三・九六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／205
- 1478-102-02 橋立浦道壺彦六・池口忠四郎宛 加賀国河北郡高松浦肝煎市郎右衛門他五名書状写(浦角屋与次郎沖船頭宗助、赤間関にて破船につき届け出)／一通(四紙)／文化一五年四月／二七・八二・五／切継紙 楮紙／一加州橋立浦：依而浦手形如件／1478-102の末尾に挟込／205
- 1478-103 「読史堂叢書 第七集 三」(米沢市史稿卷之二、第三、四章伊達氏他)／一冊(一一二丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇六・三／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／205
- 1478-104 「読史堂叢書 第七集 四」(1478-104-01、06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・八八・四／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／ト〇本／1478-104-01、06合綴／205
- 1478-104-01 飯田文明「旃蒙協治所得録」(天保六年閏七月、同七年八月における会読記録カ、「奇怪録」・「列藩雜録」も収録)／一冊(三〇丁)／(天保年間年月日未詳)／二三・五五・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／飯田明／林泉文庫／1478-104-01、06合綴／205
- 1478-104-02 「雑聞漫識」(諸国の学校設立・学問状況および天保飢饉時の対応等)／一冊(四丁)／(天保年間 年月日未詳)／二三・六四・七／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1478-104-01、06合綴／「玉巖堂」の野紙使用／205
- 1478-104-03 議論書上(「先生」等との諸国状況議論)／一冊(五丁)／(天保年間 年月日未詳)／二三・七二・六／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／(1478-104-01、06合綴)／205
- 1478-104-04 「拾塵余録」(文章の綴り方等についての意見)／一冊(二丁)／(天保年間 年月日未詳)／二三・六六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1478-104-01、06合綴／205
- 1478-104-05 「勝道様御建議 但御直書」(上杉勝道の意見書、当今の時勢につき軍制改革の必要性、三ヶ年大俵にて軍陣の改革、富国強兵專一)／一冊(三丁)

／慶応二年／二三・七×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1478—04—01—06合綴／跋文に「慶応二丙寅仲冬於東都書之、御一見之上早々御火中奉願祖、禁他見、国家間暇及是時般樂怠傲是自求禍也 独醉老人」とあり／205

1478—04—06 上杉勝道意見書（軍備充実に向けた意見書）／一冊（五丁）／慶応三年一月／二三・七×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／勝道／1478—04—01—06合綴／205

1478—05 「読史堂叢書 第七集 五」（1478—05—01—03の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・五×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1478—05—01—03合綴／205

1478—05—01 麻績斐「皇考親民君行状」（小見鍋藏親民の履歴・功績につき、草稿）／一冊（一〇丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／不肖斐撰／林泉文庫／1478—05—01—03合綴／「東京榛應製」の野紙使用／205

1478—05—02 「交際私史 卷ノ四」（安政六年三月一三日～文久二年五月二六日、安政の大獄、水戸藩の動き他）／一冊（一八丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 斐紙／1478—05—01—03合綴／205

1478—05—03 「公園記」（米沢城址の松岬公園の由来、碑文章稿カ）／一冊（三丁）／明治九年五月／二三・五×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 斐紙／1478—05—01—03合綴／末尾に「明治九年五月」の朱書きあり／205

1478—06 「読史堂叢書 第七集 六」（明治元年三月～同六年二月八日の諸藩・政府・山形県等の建白書・書状・達他）／一冊（二八六丁）／近代（年月日未詳）／二三・六×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／ト〇本 林泉文庫／表紙ウワ書「戊辰以来記録」、「東村山郡史編纂原稿用紙」、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／205

1478—07 「読史堂叢書 第七集 七」（明治元年の四条隆平・四条隆調その他政府関係の書状・達・届他）／一冊（六一丁）／近代（年月日未詳）／二四・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／四ノ2 林泉文庫／表紙ウワ書「戊辰役書簡坤」、「米沢市史編纂用紙」使用、1478—11—08と同内容／205

1478—08 「読史堂叢書 第七集 八」（明治元年の四条隆平・四条隆調その他政府関係の書状・達・届他）／一冊（六七丁）／近代（年月日未詳）／二四・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／四ノ3 林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」

使用、1478—11—07と同内容／205

1478—09 「読史堂叢書 第七集 九」（1478—09—01—05の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・八×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／四ノ5／1478—09—01—05合綴／205

1478—09—01 千坂高雅宛 斉藤篤信意見書草稿（会津討伐の上意につき軍議重大の急務、鎮撫使薩長の巨魁不法の仕打ちありても恭順他）／一冊（五丁）／（明治元年）四月一日／二三・八×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／主計↓太郎左衛門様／林泉文庫／1478—09—01—05合綴／205

1478—09—02 新保勘左衛門「杞憂概言」（郡県制の処置につき甘粕継成意見書案）／一冊（二九丁）／明治二年五月／二三・八×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／新保勘左衛門／1478—09—01—05合綴／205

1478—09—03 甘粕継成日記（待詔院出仕に関する明治二年七月一八日～七月二九日分）／一冊（一九丁）／（明治二年）七月／八・三×一六・五／横半帳 長帳綴黄茶地原表紙 楮紙／継成／1478—09—01—05合綴／表紙に継成の朱印あり／205

1478—09—04 「共祭文」（上杉謙信・上杉鷹山神祭の祭文案および本庄慶秀・宇佐美定行・細井平洲・竹俣当綱・莅戸善政の五姓配享文案）／一冊（四丁）／明治五年四月二一日／二三・八×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／参事高崎友愛他／1478—09—01—05合綴／斉藤篤信の筆、朱筆・付箋による修正あり、野紙使用、茂憲公御年譜にあり／205

1478—09—05 斉藤篤信「元奥羽巡回各県説諭案」（置賜県・山形県・宮城県・水沢県・酒田県等の神官僧侶・教導職等への教部省斉藤篤信の教導説諭、ニコライ著洗礼式）／一冊（七七丁）／明治七年二月～同八年四月／二三・八×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 斐紙／斉藤篤信／1478—09—01—05合綴／斉藤篤信筆、朱筆・付箋による修正あり、「教務省」の野紙使用／205

1478—10 「読史堂叢書 第七集 十」（1478—10—01—12の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二三・七×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／四ノ4／1478—10—01—12合綴／205

1478—10—01 「宸翰之写並御請書」（文久四年正月の孝明天皇宸翰と徳川家茂の請書、原本は文久四年三月付）／一冊（六丁）／文久四年三月／二三・七×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1478—10—01—12合綴／205

1478—110—02 齊藤篤信宛 伊佐早謙書状（一昨日御約束の調べ物差し上げ）
一通（二紙）／近代（年月日未詳）／二六・三×三一・五／切継紙 楮紙／謙↓馬陵
先生／一昨日ハ趨：被成下奉願候再拝頓首／端裏書「馬陵先生□下 謙再拝」／147
8—110—01と12合綴／205

1478—110—03 伊佐早謙報告書（細井平洲と上杉鷹山の出会いと教育）／一冊
（二丁）／近代（年月日未詳）／二三・八×三一・四／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し
楮紙／1478—110—01と12合綴／野紙使用／205

1478—110—04 荻戸政以宛 荻戸善政書状写（七家騒動に際し遺言、原本は安
永二年六月二八日付）／一冊（三丁）／近代（年月日未詳）／二三・七×一六・三／豎
帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1478—110—01と12合綴／野紙使用、筆写
者は伊佐早謙カ／205

1478—110—05 境栄蔵他五名願書（廃藩置県後の置賜における学校振興のため
金穀御恵与下された）／一冊（三丁）／明治四年頃／二三・七×一六・三／豎帳 袋
綴冊子装 表紙無し 楮紙／1478—110—01と12合綴／野紙使用／205

1478—110—06 「集議院建白」（大参事以下職掌、士族俸禄他の藩政改革案）
／一冊（六丁）／明治二年頃／二三・七×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙
楮紙／山口藩議員境栄蔵他五名／1478—110—01と12合綴／205

1478—110—07 齊藤篤信意見書（御下問につき回答、宿直心得、非常心得、省
中揭示の規則他）／一冊（五丁）／近代（年月日未詳）明治前期／二三・七×一六・三
／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／篤信拜白／1478—110—01と12合綴／
明治初期の新政府出仕期のもの／205

1478—110—08 置賜県権令新庄厚信宛 歎願書類写（無禄士族へ家禄給付につ
き大滝新蔵・新保新嘆願書他二件）／一冊（二五丁）／明治八年六月／二三・七×一六・
三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1478—110—01と12合綴／野紙使用
／205

1478—110—09 齊藤篤信他二名宛 山形県第一課通達書（上杉神社祭神三〇〇
年祭は来る明治一年に相当）／一冊（二丁）／明治一〇年頃／二三・七×一六・三／
豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／第一課（朱印）／1478—110—01と12合
綴／「山形県」の野紙使用、末尾に明治一〇年四月一日付の三島通庸宛 上杉齊憲書
状写あり、野紙外に「齊藤」・「□川」の印あり／205

1478—110—10 堀尾重興他士族一七名通知書（御堂跡に戦没者招魂碑建立、人
夫お手伝いにつき）／一冊（二丁）／明治一年三月／二二・二×一六・三／豎帳 袋

綴冊子装 表紙無し 楮紙／堀尾重興他一七名／1478—110—01と12合綴／木
版／205

1478—110—11 三島通庸宛 齊藤篤信他八名願書下書（旧米沢城公園内に招魂
碑建立につき）／一冊（二丁）／明治一年三月／二三・七×一六・三／豎帳 袋綴冊
子装 表紙無し 楮紙／同区長齊藤篤信他八名↓山形県令三島通庸殿／1478—110
—01と12合綴／野紙使用、差出の一名のみ朱印あり／205

1478—110—12 義社初売却一件書類（士族一同協和につき上杉茂憲趣意書、千
坂高雅宛 上杉茂憲周旋依頼他六件）／一冊（二丁）／明治一年／二三・七×一六・
三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／齊藤／1478—110—01と12合綴／一
部は木版、一部は押印のある原本、一部「山形県第十大区区務所」の野紙使用、齊藤の
印あり／205

1478—111 「読史堂叢書 第七集 十一」（1478—111—01と06の表紙）
／一冊／近代（年月日未詳）／二三・八×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
／1478—111—01と06合綴／205

1478—111—01 師範学校長代理二等教諭服部民郷宛 学務課長心得五等属赤谷
□□依頼書（師範学科取調員二名上京のこと、後半に山形県宛文部省照会写、要項あり）
／一冊（六丁）／明治一五年七月一五日／二三・八×三三・〇／豎帳 袋綴冊子装 表
紙無し 楮紙／林泉文庫／1478—111—01と06合綴／「山形県」の野紙使用／
205

1478—111—02 『第四諮問案』（明治一五年度教育費中師範学校費に関する件）
／一冊（二丁）／（明治一五年）／二三・〇×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し
楮紙／1478—111—01と06合綴／活版、冒頭に一五年七月一五日に原案の通り
可決したと書込あり／205

1478—111—03 「師範学科卒業生人名簿」（明治一三年四月と同一七年二月）
／一冊（二三丁）／明治一三年／二三・〇×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙
楮紙／1478—111—01と06合綴／「山形県師範学校」の野紙使用／205

1478—111—04 八木朋直履歴書（天保一三年と大正四年）／一冊（九丁）／大
正四年頃／二三・〇×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／八木朋直／14
78—111—01と06合綴／「長野税務監督局」の野紙使用、同内容で二点あり／2
05

1478—111—05 「八木朋直君生伝稿」（漢文体の略伝、天保一三年と明治三九年）
／一冊（二二丁）／明治四一年頃／二三・〇×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表

紙 楮紙／1478—11—01—06合綴／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、末尾に明治四一年夏に鈴木輔が評した旨の朱筆書込あり／205

1478—11—06 丈八筆 可次郎・祝三宛 宮島大八書状写（試験に向けての激励と助言）／一冊（一四丁）／明治二一年四月／二三・〇×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／丈八／1478—11—01—06合綴／罫紙使用、明治二一年四月に丈八が子孫のために書写した旨の記載あり／205

1479—01 「読史堂叢書 第八集 一」（明治六年山形県布告、順不動に編綴、金穀貸借に際し返済が滞った際証人・請人の取り扱につき他）／一冊（一八七丁）／明治六年／二三・六×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／活版、「山形県活版社」の用紙他使用／206

1479—02 「読史堂叢書 第八集 二」（明治六、七年山形県布告、順不動に編綴、田畑名寄帳雛形他）／一冊（二〇二丁）／明治六年、七年／二三・六×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／活版、「山形県活版社」の用紙使用／206

1479—03 「読史堂叢書 第八集 三」（明治八年以下山形県布告、順不動に編綴、道路修繕については雪解け後に手数がからぬ様仕様に沿って行う他）／一冊（三一六丁）／明治八、九年／一八・八×一三・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／活版、「山形県活版社」、「大区会会議日誌」、「山形県鳴時社」の用紙使用／206

1479—04 「読史堂叢書 第八集 四」（明治十年以降山形県布告、順不動に編綴、河川里道分類、県庁新築他）／一冊（二六七丁）／明治一〇、一一年／一八・八×一三・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／活版、一部「山形県鳴時社」の用紙使用、後半インク浸あり／206

1479—05 「読史堂叢書 第八集 五」（永正五年実隆公記抜粋、高野山観音院過去帳他）／一冊（一一七丁）／近代（年月日未詳）／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用、はじめに「辛亥雜纂」とあり／206

1479—06 「読史堂叢書 第八集 六」（元和九年、寛永三年、寛永一一年の上杉定勝上洛関係記録の写）／一冊（八〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・五×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／ト〇本 林泉文庫／206

1479—07 「読史堂叢書 第八集 七」（1479—07—01—06の表紙）

／一冊／近代（年月日未詳）／二三・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／二三ノ2／1479—07—01—06合綴／206

1479—07—01 「極内々之御用状留」（米沢と江戸屋敷のやり取り、上杉治広隠居の御代替わりにつき）／一冊（二三丁）／文化九年／二三・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1479—07—01—06合綴／206

1479—07—02 「御内密御用状之写」（米沢と江戸屋敷のやり取り、米沢新田藩主家当主相続者手簿の準備につき）／一冊（九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1479—07—01—06合綴／206

1479—07—03 西沢只洞「独篇 全」（嘉永六年、安政元年、將軍逝去時の藩境警備、藩内での出来事他）／一冊（二九丁）／嘉永六年／二三・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 茶地共紙原表紙 楮紙／西沢只洞／土肥蔵書／1479—07—01—06合綴／米沢市史編纂資料二に翻刻／206

1479—07—04 『黒井渠沿革』（明治一六年架換の際には山形県の管轄で白旗官林の払下と地方税補助を受け工事を実施）／一冊（七丁）／近代（年月日未詳）／二三・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1479—07—01—06合綴／活版、印刷所高島町桑嶋活版印刷所／206

1479—07—05 板垣方郎宛 郡割所黒井堰普請絵図写（下黒井堰普請処吟味合につき、原本は享和三年三月付）／一鋪（三紙）／近代（年月日未詳）／四〇・五×八二・〇／切継紙 楮紙／郡割所↓板垣方郎殿／1479—07—01—06合綴／活版／206

1479—07—06 黒井堰之図写（御普請宿の石岡村川井与市父隠居与右衛門の所望により黒井忠寄が与えたもの）／一鋪（三紙）／江戸後期（年月日未詳）／四〇・五×八二・〇／切継紙 楮紙／1479—07—01—06合綴／木版／206

1479—08 「読史堂叢書 第八集 八」（安永一〇年の「夏茂村旧跡」の写と、元禄二二年の上杉家臣宮永氏由緒の写）／一冊（八四丁）／近代（年月日未詳）／二三・七×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／206

1479—09 「読史堂叢書 第八集 九」（米沢市史稿、義倉制度、天保八年善行者褒賞、秋元氏山形騒動等）／一冊（六九丁）／近代（年月日未詳）／二三・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／一部「米沢市史編纂用紙」使用／206

1479-110 「読史堂叢書 第八集 十」(宝暦三年二月八日〜二九日、御近習頭森平右衛門誅殺一件につき重臣四名がまとめた記録の写)／一冊(二〇九丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・五／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／一二三ノ3 林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／206

1479-111 「読史堂叢書 第八集 十一」(寛永二〇年の会津若松城接收記録と、明治二年の会津出張日記の写)／一冊(二二四丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／ト〇本・五二冊 林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／206

1479-112 「読史堂叢書 第八集 十二」(列侍伝)、岩井・下條・香坂他、侍組諸家の伝記)／一冊(五一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・九×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／5ノ2 林泉文庫／206

1479-113 「読史堂叢書 第八集 十三」(鷹山改革期の人材登用に關する「選士再評」、「赦悪論」他)／一冊(九五丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／一二三ノ4 林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／206

1479-114 「読史堂叢書 第八集 十四」(上杉輝虎履歴)稿、「米沢市史 越国軍記」、「上杉齊定元服の儀式)／一冊(一八二丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／越国軍記以降は「米沢市史編纂用紙」、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／206

1480-01 「読史堂叢書 第九集 一」(1480-01-01〜03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／ト〇本・六四冊／1480-01-01〜03合綴／「米沢市史編纂用紙」、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／207-208

1480-01-01 奥羽雜纂(小早川系譜、戸沢系譜、津軽伝記他一〇件)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1480-01-01〜03合綴／207-208

1480-01-02 文化震災聞書写(文化元年の大地震次第)／一冊(二六丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1480-01-01〜03合綴／207-208

1480-01-03 深沢政・荻戸以徳「丹泉勝遊十ヶ一」写(上杉鷹山の赤湯までの道中、保養)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1480-01-01〜03合綴／207-208

1480-02 「読史堂叢書 第九集 二」(義士銘々伝)、赤穂事件関係、浅野内匠頭、四十七士)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二二・五×一五・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／芝 泉岳寺(蔵版黒印)／ト〇本 林泉文庫／木版／207-208

1480-03 「読史堂叢書 第九集 三」(1480-03-01、02の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／一二四ノ2／1480-03-01〜02合綴／挟込一枚あり／207-208

1480-03-01 「米沢古今詩」(上杉謙信、直江兼統他)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1480-03-01〜02合綴／207-208

1480-03-02 竹俣当綱筆 上杉鷹山宛 滝鶴台「畏天命 依於仁 尚儉素 守古典 通古今」写(初入部の際に献上した心構え)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一五・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／当綱謹書／1480-03-01〜02合綴／朱書「治憲公江 滝弥八先生」とあり／207-208

1480-04 「読史堂叢書 第九集 四」(1480-04-01〜08の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・五×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／一二四ノ3／1480-04-01〜08合綴／一部罫紙使用、本冊所収はすべて「飯田先生自筆」／207-208

1480-04-01 「易啓蒙」(御纂周易折中、周易啓蒙通釈他易の啓蒙書の抜粋、古賀茶溪ら八名による会説のテキストカ)／一冊(一七丁)／天保二年／二三・五×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1480-04-01〜08合綴／207-208

1480-04-02 「孟子諸説」(「萬章問曰舜往于田」章「萬章問曰詩云娶妻」章他「孟子」からの抜粋)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1480-04-01〜08合綴／207-208

1480-04-03 「鍋島侯文」(板倉勝明「綽山銀草」の跋文他、天保元年まで記載)／一冊(二七丁)／文政一〇年頃／二三・五×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／同郷門人藤直與敬書／林泉文庫／1480-04-01〜08合綴／飯田氏所蔵とあり／207-208

1480-04-04 「古賀侗庵奉送米沢侯二序」(襲封し、江戸を出立する上杉齊

憲を奉送時、「奉送米沢藤公序」一、二／一冊（六丁）／天保一〇年四月／二三・五
 ×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／紫溟古賀焔／林泉文庫／14800-
 04-001-08合綴／紫溟古賀焔拝撰、飯田氏所蔵／207-208

14800-04-05 飯田文明「客窓漫筆」(長崎聞見録抜)「笠翁窺詞管見抜」(葛
 原新話後編)ほか／一冊(一八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・二
 ／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／米沢藩飯田嵩巒／飯田蔵書・林泉文庫／14
 800-04-01-08合綴／表紙に「文明 恭卿 勤軒 嵩□ 微猷亭 木堂」とあ
 り、同一人物の号と推定／207-208

14800-04-06 飯田文明「柔兆涸灘起山簿」(興讓館寄塾生としての日記、一
 〇月六日～二月二十九日の記述)／一冊(五丁)／天保七年一〇月初六／二三・五×一
 六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／微猷亭／林泉文庫／14800-04-
 01-08合綴／207-208

14800-04-07 飯田文明筆 古賀侗庵「読書矩」写(平野石井に贈った読書案
 内、四書集註、史記、小学他)／一冊(二四丁)／天保五年九月初三／二三・五×一六・
 二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／謹写北塾窓下 塾生飯田文明／林泉文庫／
 14800-04-01-08合綴／207-208

14800-04-08 「学館積奠」(興讓館における儀式次第)／一冊(六丁)／江
 戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林
 泉文庫／14800-04-01-08合綴／207-208

14800-05 「読史堂叢書 第九集 五」(14800-05-01-11の表紙)
 ／一冊／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
 ／14800-05-01-11合綴／207-208

14800-05-01 「篠崎応道不識庵公像贊」写(上杉謙信像への贊)／一枚(一
 紙)／大正元年冬／四八・六×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文
 庫／14800-05-01-11合綴／「米沢市史編纂用紙」使用／207-208

14800-05-02 細井平洲和歌集写(米沢下向途上、二五首所収)／一冊(四丁)
 ／江戸後期(年月日未詳)／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙
 ／14800-05-01-11合綴／末尾に「紀のりたミ 上」とあり／207-20
 8

14800-05-03 山形城諸記写(水野家以降、明治初期までの領主、御備の食料
 他)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装
 表紙無し 楮紙／14800-05-01-11合綴／「晴峰原稿用紙」使用／207-

208

14800-05-04 置賜県御役所宛 岩間勘三郎願書(借上金の清口分につき成し
 下されたく)／一冊(三丁)／明治四年二月／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子
 装 表紙無し 楮紙／岩間勘三郎(黒印) ↓置賜県御役所／14800-05-01-1
 1合綴／控カ／207-208

14800-05-05 岩間勘三郎願書(三月一日火災により、米沢藩借上金総額と
 返済願)／一通(三紙)／近代(年月日未詳)／一四・三×九四・五／切継紙 楮紙
 大町 岩間勘三郎／当三月十五日火事：六百四拾式文／14800-05-01-11合
 綴／14800-05に挟込、貼紙あり／207-208

14800-05-06 岩間勘三郎願書(三月一日火災により、米沢藩借上金総額と
 返済願)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／一五・〇×三九・三／切継紙 楮紙
 岩間勘三郎／当三月十五日火事：拾五両下残拾文／14800-05-01-11合綴
 14800-05に挟込、207-208

14800-05-07 岩間勘三郎願書(去年五月火災により、米沢藩借上金総額と返
 済願)／一通(四紙)／庚年(明治三年カ)七月／一四・五×一〇〇・七／切継紙 楮
 紙／岩間勘三郎／右者去年五月：相済候事／14800-05-01-11合綴／148
 00-05に挟込、柱題「覚」／207-208

14800-05-08 岩間勘三郎宛 置賜県達書(旧米沢藩借上金につき一三日九時
 に持参申付ける)／一通(二紙)／明治六年二月二日／一四・五×三三・〇／切継紙
 楮紙／置賜県庁 ↓岩間勘三郎殿／今般大蔵省：出頭可有之下也／14800-05-01
 -11合綴／207-208

14800-05-09 大蔵省御出張負債掛役人宛 岩間勘三郎「旧米沢藩御調達金御
 答書」(西ノ丸御普請につき二五両他)／一冊(四丁)／明治六年二月三日／二四・
 三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／岩間勘三郎 ↓大蔵省御出張負債
 掛御役人中／14800-05-01-11合綴／207-208

14800-05-10 米府鹿兜拔書(米沢の地誌、「米府鹿子」巻二他の抜粋)／一
 冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し
 楮紙／14800-05-01-11合綴／207-208

14800-05-11 葛屋伴五郎「善光寺如来略縁記」(善光寺由緒)／一冊(七丁)
 ／寛政七年二月／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／信州
 善光寺大門町葛屋伴五郎／14800-05-01-11合綴／木版、信州書林向栄堂梓
 207-208

1480-06 「読史堂叢書 第九集 六」(茂庭村新田改の証文、川井村川欠堤に成分永引帳、国役普請書抜他の写)／一冊(八一丁)／近代(年月日未詳)／二四・二〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／内題「収史叢録」、米沢市史編纂用紙使用／207-208

1480-07 「読史堂叢書 第九集 七」(1480-07-01-12の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／六ノ二／1480-07-01-12合綴／207-208

1480-07-01 佐伯惣義宛 登坂小三郎葉書(故杉原からの拝借書、永々となり上杉家からの借用として処理した)／一通(一紙)／昭和二年二月九日／四・〇×九・〇／葉書 楮紙／登坂小三郎↓佐伯惣義様／拝復益々御清安：平ニ御海容ヲ乞フ敬具／1480-07-01-12合綴／杉原は杉原謙カ／207-208

1480-07-02 「米沢戊辰実記 米沢部第三」(明治元年九月二日、二月、会津降伏を最上本宮に報告他、米沢藩降伏後の記録草稿)／一冊(六五丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1480-07-01-12合綴／郵紙使用／207-208

1480-07-03 宮嶋影代筆「飛騨国男退治邪神語」写(日本とは別の国に迷い込み生贄となった男、猿神を退治する)／一冊(八丁)／文久三年／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／宮嶋影代／1480-07-01-12合綴／今昔物語に同様の話あり／207-208

1480-07-04 勘定所宛 立岩善右衛門同書写(越後国岩船郡における異国船漂流対応に伴う兵糧、手当他、原本は九月付)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／御名御預所：奉存候以上／1480-07-01-12合綴／207-208

1480-07-05 中村文書写(紀伊海部郡本脇村中村直人所蔵、里美太郎宛 上杉謙信書状、延元三年北畠顕家上奏文)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480-07-01-12合綴／郵紙使用／207-208

1480-07-06 置賜県布達写(明治八年第七二号、寛政年間上杉氏より茅代として家臣へ与えた山林の下渡分は特例として無代とす、原本は明治八年五月二三日付)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／一四・四×三三・〇／切継紙 楮紙／明治八年置賜：無洩可相達候事／1480-07-01-12合綴／207-208

1480-07-07 石碑建立願書(米沢士民殉難戦没者靈魂慰靈碑として招魂碑建

立につき)／一冊(二丁)／明治十一年三月／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480-07-01-12合綴／郵紙使用／207-208

1480-07-08 伊佐早謙「善光寺如来本尊後考」(上杉家の御堂の本尊は善光寺大御堂の本尊であり、鶴岡栗田氏所蔵本尊は小御堂のもの)／一冊(二四丁)／大正三年七月／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／伊佐早謙／1480-07-01-12合綴／207-208

1480-07-09 「財団法人荘内育英会貸費規則」(身体強壯、志操堅実、品行方正にして学業良好なるもの他二〇か条)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480-07-01-12合綴／謄写版／207-208

1480-07-10 「財団法人荘内育英会寄附行為」(二七か条と資産目録)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480-07-01-12合綴／活版／207-208

1480-07-11 南置賜郡歴代郡長氏名就任年月日調市長就任退職調(明治二二年七月五日市町就任大滝龍蔵他)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480-07-01-12合綴／「山形県南置賜郡役所」、「米沢市役所」の郵紙使用／207-208

1480-07-12 伊佐早謙 東京獲得書目(「おしへくさ」、宝暦六年「御定書」写他、主に典籍の目録)／一冊(七丁)／大正一〇年六月／二三・九×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／樞軒老人／1480-07-01-12合綴／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／207-208

1480-08 「読史堂叢書 第九集 八」(米沢市史稿本、明和五年、天明五年、上杉治憲大侯を行う他)／一冊(九八丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用、内題「米沢市史五」／207-208

1480-09 「読史堂叢書 第九集 九」(米沢市史商業物産参考書、天保一二年正月吉日、織物系仲間規定帳並諸用事留)／一冊(二四六丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／207-208

1480-10 「読史堂叢書 第九集 十」(嘉永五年御国産密書、国産会所作成書状集)／一冊(二一六丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／207-208

1480—111 「読史堂叢書 第九集 十一」(文政五年略日記、上杉鷹山の近習関係の作成と推定されるが作成者は未詳)／一冊(一七三丁)／近代(年月日未詳)／二・八×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／207—208

1480—112 「読史堂叢書 第九集 十二」(1480—12—01、03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1480—12—01、03合綴／207—208

1480—12—01 「遠藤権兵衛留書」写(寛延三年正月二日、安永九年八月二五日、笹野観音、盆踊り等雑記)／一冊(五六丁)／近代(年月日未詳)／二・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1480—12—01、03合綴／「米沢市史編纂用紙」使用／207—208

1480—12—02 「小林和直日記」写(文久二年、同三年の越後、酒田方面での金策等、勘定方関係)／一冊(一一三丁)／近代(年月日未詳)／二・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1480—12—01、03合綴／「米沢市史編纂用紙」使用／207—208

1480—12—03 伊佐早謙「奉使盛岡復命書」(上杉龜雄の遊蕩生活を止めるべく、大正元年八月二三日盛岡行)／一冊(二二丁)／大正元年九月／二・八×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／伊佐早謙／1480—12—01、03合綴／「米沢市史編纂用紙」使用／207—208

1480—113 「読史堂叢書 第九集 十三」(1480—13—01、11の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／六ノ3／1480—13—01、11合綴／207—208

1480—113—01 文七「雀状」(雀の子を供養する歌一〇首)／一冊(二〇丁)／宝暦一三年三月／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上御門領文七／羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙・林泉文庫／1480—13—01、11合綴／内題「雀申状」／207—208

1480—113—02 御役所宛 岩船郡中原村九左衛門他二名「人別取調書上帳」(米沢御領所岩船郡中原村、人別二八五人、内百姓男一六一人、女二四人他)／一冊(八丁)／天保一四年五月／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／庄屋代役 九左衛門(黒印) 他二名↓御役所／羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／1480—13—01、11合綴／207—208

1480—113—03 上泉直蔵履歴書(天保一三年八月生、慶応三年に興讓館定詰、

明治四年に三等教授他、明治一九年まで)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／上泉直蔵／1480—13—01、11合綴／野紙使用／207—208

1480—113—04 伊佐早謙推薦文案(上柳平村の村役人近野小左衛門の経歴と業績)／一通(一紙)／明治四三年二月／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／伊佐早謙／1480—13—01、11合綴／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／207—208

1480—113—05 大乘寺広観宛 米沢市長上杉神社昇格通知写(県社から別格官幣社へ列す、原本は明治三五年五月一日付)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／上杉神社山形県米沢市：此旨相達候也／1480—13—01、11合綴／「別格官幣社上杉神社社務所」の野紙使用／207—208

1480—113—06 祭文写(謙信の朝廷への貢献による別格官幣社昇格につき、明治三五年六月二九日付)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—13—01、11合綴／「別格官幣社上杉神社社務所」の野紙使用、上杉神社の別格官幣社昇格報告祭にて奏上されたもの写しカ／207—208

1480—113—07 山形県知事策命写(上杉謙信の朝廷への貢献、伊勢神宮修理のため棟別銭賦課による従二位の追贈、原本は明治四一年一〇月三日付)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—13—01、11合綴／「別格官幣社上杉神社社務所」の野紙使用／207—208

1480—113—08 登坂氏系譜抜書(登坂小左衛門秀叔、五十騎組)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—13—01、11合綴／207—208

1480—113—09 山田氏系譜抜書(御馬廻組、山田次郎右衛門から伝次郎継家まで)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—13—01、11合綴／207—208

1480—113—10 福島金工鑑会「金工鑑展覽会出品目録」(福島県物産陳列館にて開催)／一冊(一三三丁)／大正九年一月三日／二・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／福島金工鑑会／1480—13—01、11合綴／謄写版／207—208

1480—13—11 米沢高等女学校『新校舍落成記念帖』(平面図、校舍授業風景写真、工事中の教育概要他)／一冊(二八丁)／大正九年一月五日／二・三・一五・五／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／発行所米沢高等女学校／1480—13—01—11合綴／活版、印刷所米沢市地番匠町佐藤活版所／207—208

1480—14 『読史堂叢書 第九集 十四』(学制頒布五十季記念 米沢教育沿革材料)／一冊(五五丁)／大正一年一月三日／二・一・八×一五・六／縦帳 袋綴冊子装 黄緑地撫子模様原表紙・朱地後補表紙 機械漉紙／発行所米沢市学事会／六ノ四 林泉文庫／活版、印刷所米沢市地番匠町佐藤活版所／207—208

1480—15 『読史堂叢書 第九集 十五』(1480—15—01—12の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1480—15—01—12合綴／207—208

1480—15—01 伊佐早謙宛 清水仙助読史堂新堂算見積書並函(合計建坪四坪余、工費総額一五二円七五錢一厘)／一冊(八丁)／大正六年四月／二四・三×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／米沢市紺屋町 清水仙助↓伊佐早謙／林泉文庫／1480—15—01—12合綴／罫紙使用、一部「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、謄写版／207—208

1480—15—02 「戊辰戦役殉難者五十年忌法要決算報告」(予算六六二円二〇銭、総支出額六五九円四八錢二厘)／一冊(五丁)／大正六年一月一日／二二・八×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1480—15—01—12合綴／謄写版／207—208

1480—15—03 「大正六年度伝承財産第二類経費金歳入出決算」(上杉伯爵邸の米沢本邸と東京別邸の経費決算書、合計支出三九四二五円、支出三九四二五円)／一冊(三五丁)／大正六年／二二・八×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1480—15—01—12合綴／謄写版／207—208

1480—15—04 細井平洲漢詩「贈別保子廉還米沢」写(五言排律、江戸から米沢に帰る神保蘭室に送った惜別の詩)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／207—208

1480—15—05 洪谷氏由緒書(武州洪谷氏、永重由緒書と系譜)／一冊(六丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／207—208

1480—15—06 古記録写(岩波石行寺大殿若波羅蜜多經奥書、平清水平泉寺鉄

鉢銘他)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／「晴峰原稿用紙」使用／207—208

1480—15—07 立石寺所蔵法具類目録(延文二年大殿若波羅蜜多經、千手観音絵像他、仏像以外)／一冊(六丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／「東村山郡史編纂原稿用紙」使用／207—208

1480—15—08 碑文写(上山市本庄神明神社前文明二年石碑、中山町岡八幡神社正平七年石碑他)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／207—208

1480—15—09 拓本(□町僧覚仏、銅鉢)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／拓本／207—208

1480—15—10 延暦寺・東大寺概要(延暦寺、東大寺発行の観光案内)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／活版／207—208

1480—15—11 梅宛 伊佐早謙書状(縁談について、歳末に際しての所感を述べた詩七言詩絶句五首の添削依頼)／一冊(三丁)／明治四一年二月三日／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／樅翁謙↓梅殿／1480—15—01—12合綴／207—208

1480—15—12 漢詩写(元田永孚「講筵余吟」、中巖円月「東海一瀛別集」、「傑翁録」から上杉家に関する詩や文を抜き出す)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1480—15—01—12合綴／207—208

1481—01 『読史堂叢書 第十集 一』(菅相府録、菅原道真へ賛辞、死後の呪い)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／「米沢市史編纂用紙」使用／209

1481—02 『読史堂叢書 第十集 二』(1481—02—01—03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1481—02—01—03合綴／209

1481—02—01 「竹崎五郎絵詞」(蒙古襲来絵巻物の詞書)／一冊(一八丁)

／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／
林泉文庫／1481102101103合綴／209

1481102102 「舟上記」(伯耆国船上山の合戦、後醍醐天皇動向)／一冊(一九丁)／明治三五年一月六日校了／二四・二×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し
楮紙／1481102101103合綴／209

1481102103 「鎌倉大草紙附録文書」(足利氏から上杉氏へ勲功につき、宛行状写)／一冊(二七丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1481102101103合綴／209

1481103 「読史堂叢書 第十集 三二」(1481103101104の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
／1481103101104合綴／209

1481103101 「葛西大崎歴代合戦記之内」(天正一八年の葛西大崎一揆概要)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1481103101104合綴／209

1481103102 「葛西記」(概略、葛西清重から晴信まで)／一冊(一二丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1481103101104合綴／末尾に「宮城県仙台市小田原北一番町通二番地香雪精舎」とあり／209

1481103103 「平姓土肥氏系譜」(頼平から兼平まで)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1481103101104合綴／209

1481103104 「誓願寺文書」(山形城下八日町誓願寺所蔵文書、最上義光書状、湯殿山参詣道者宿の由緒他)／一冊(八丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1481103101104合綴／「清峰原稿用紙」使用／209

1481104 「読史堂叢書 第十集 四」(城米川積につき一本柳村上郡川岸諸入用)／一冊(二二丁)／寛政一一年八月／二四・一×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／破損裏打多し／原表紙記載「当末ノ春御城米二付上郡川岸諸入」置賜郡御領所一本柳村」／209

1481105 「読史堂叢書 第十集 五」(文政二二年～天保二年の領内各地域別の米高、諸貢租等)／一冊(七丁)／文政二二年／二三・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊

子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／内表題「文政十二年ヨリ 米穀之取調」／209

1481106 「読史堂叢書 第十集 六」(1481106101103の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・四×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
／1481106101103合綴／図書館ラベル「上杉14811017」と誤記
／209

1481106101 我妻要蔵筆 辻六郎左衛門覚書写(享保二年二月、年貢・検見等農政につき)／一冊(一六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・四×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／我妻要蔵／林泉文庫／1481106101103合綴／209

1481106102 石川「郷土歴史備考」(山形県概史、文化一〇年遊行上人の高畠来訪、置賜地名由来)／一冊(二三丁)／明治二五年一〇月／二三・四×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／石川／1481106101103合綴／一部野紙使用／209

1481106103 庄内雜記(永祿七年酒井忠次から天保一二年酒井忠徳まで、家中禄高、庄内村数一覽)／一冊(三二丁)／近代(年月日未詳)／二三・四×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1481106101103合綴／209

1481107 「読史堂叢書 第十集 七」(松尾寺「鶴岡昔雑話 全」写)／一冊(六四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／松尾寺／林泉文庫／図書館ラベル「上杉14811016」と誤記／209

1481108 「読史堂叢書 第十集 八」(「沙瀉文庫」のうち、庄内酒田港に関する主に海運関係の書状類の写し)／一冊(五七丁)／近代(年月日未詳)／二四・一×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／末尾に鑑谷蔵書とあり、「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用／209

1481109 「読史堂叢書 第十集 九」(享保四年三月～同五年の「月山鳥海山見分御用覚書」上下の写し)／一冊(一七四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／林泉文庫／209

1481110 「読史堂叢書 第十集 十」(1481110101103の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙
／1481110101103合綴／上巻下巻とも「加賀山平助殿控写」との注記あり、

加賀山は庄内藩士、酒田町奉行／209

1481-10-01 「人国記 全」(各地の風俗、地理、上巻に畿内、東海道、東山道、北陸道、下巻に山陰道、山陽道、南海道、西海道)／一冊(四九丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1481-10-01-03合綴／209

1481-10-02 「旅のすざび」写(享和元年駿河紀行他)／一冊(五四丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1481-10-01-03合綴／209

1481-10-03 「北村山郡村誌略」(楯岡村、大石田村他の区域、沿革、地勢他)／一冊(三七丁)／近代(年月日未詳)／二四・二×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1481-10-01-03合綴／209

1482-01 「読史堂叢書 第十一集 一」(1482-01-01-20の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／ト〇本／1482-01-01-20合綴／「戊辰雜纂 貴重参考」とあり／209

1482-01-01 脱籍徳川家臣同盟中『脱籍徳川家臣布告書』(主家の冤罪を雪ぎ綱常を維持して万国の公議にて至当を決す)／一冊(七丁)／辰(明治元年)四月／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／脱籍徳川家臣同盟中／林泉文庫・芳／1482-01-01-20合綴／木版／209

1482-01-02 徳川氏脱藩浪人共激文(薩賊の奸謀にて大君朝敵、錦旗賊手にあつては賊旗、皇国のため不義の賊を誅するは天兵)／一冊(二丁)／戊辰夏四月日／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／徳川氏脱藩浪人共／1482-01-01-20合綴／木版／209

1482-01-03 仙台藩家老宛 庄内藩土石原平右衛門他二名書状写他(弊藩征討疑惑につき仙台藩家老宛庄内藩家老周旋願および鎮撫総督府宛羽列藩の庄内征討軍解兵届)／一冊(三丁)／(明治元年)閏四月一六日／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／209

1482-01-04 三島通庸宛 土族総代神保乙平・畠山融山願書写(旧主上杉氏の半知借上により困窮、明治四年大蔵省へ提出した借上分の金穀の負債を返還願いたく、原本は明治九年一月)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／木版／209

1482-01-05 山浦駒次郎願書写(父色部久長は国に忠するにつき、新潟での

石碑建立のため死亡した場所を教示し援助願いたく、原本は明治一四年初冬)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／209

1482-01-06 太政官宛 奥羽列藩建白書写(九条提督への嘆願書提出、奥羽列藩同盟結成の経緯、会津庄内二藩寛典願、原本は明治元年五月付)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／片山一貫筆カ、末尾に「米沢中将内 竹俣美作」とあり／209

1482-01-07 秋田中将宛 沙汰書写(王師に抗うにつき上杉の官位停止討伐の旨を達すべし、原本は明治元年八月付)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／境目の話あり／209

1482-01-08 檄文(薩摩藩が幕府を謀議して権力を握ったことは不攘夷不動王、東西相軋を呼んだ罪大きく、諸侯共に立ち向かうべき)／一冊(二丁)／(明治元年)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／甘粕継成の筆カ／209

1482-01-09 上杉茂憲答書写(下問二か条にき、祭政知教は浅学で答えられず、蝦夷地開拓は速成小利を戒めるべき、原本は明治二年五月二五日)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／209

1482-01-10 上杉茂憲答書写(下問三か条につき、外国との交際に意見無し、府藩県三治の制は時勢民情に適當、理財の件は容易でなく微臣には答えられず、原本は明治二年五月二八日)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／209

1482-01-11 弁事役所宛 中条明資答書写(悪金銀のこと御名不案内につき、詰合の家臣の見込み別冊差上げ)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)五月二八日／二三・八×一六・二／切継紙 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／五月廿八日：奉伺候様申付候以上／1482-01-01-20合綴／209

1482-01-12 片山一貫報告書(金札貸下布告等につき議長宛議員一同建言等公議所の議論)／一冊(八丁)／(明治二年)六月／二三・八×一六・二／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01-20合綴／209

1482-01-13 諸外国在港総督宛 奥羽越列藩同盟布告案(奸賊誅滅のため列

藩同盟以外に扶助せぬよう海外万国に懇願)／一冊(二丁)／(明治元年五月〜六月頃)／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01、20合綴／209

1482-01-14 意見書写(奥羽鎮撫、蝦夷地開拓のため古鎮守府を再興、原本は明治二年六月一三日)／一冊(二丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01、20合綴／209

1482-01-15 齊藤篤信意見書(会津謝罪につき寛赦願、会米盟約、奥羽合従の勢ならば偽朝廷憚るに足らず)／一冊(三丁)／(明治元年)辰四月二八日／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／齊藤篤信拜白／1482-01-01、20合綴／209

1482-01-16 意見書写(軍制改革に関わり他藩に倣い洋装を進める等)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01、20合綴／柱題「拙夫之言」、齊藤篤信の筆／209

1482-01-17 脱藩徳川家臣布告書写(主家の冤罪を雪ぎ綱常を維持して万国の公議にて至当を決す、原本は明治元年四月)／一冊(四丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01、20合綴／柱題「脱藩 徳川家臣布告書」／209

1482-01-18 探索書(船橋の合戦、越後情勢につき大野俊次郎話、小栗上野介不慮につき小栗仁右衛門屈書等)／一冊(六丁)／(明治元年)閏四月／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01、20合綴／堀尾重興の筆カ／209

1482-01-19 島津久光建白書写(三条実美は因循姑息、朝議不一致につき実美の罷免願)／一冊(三丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01、20合綴／「置賜県」の原稿用紙使用／209

1482-01-20 三条実美宛 木戸孝允建白書写(朝鮮にて我が軍艦が砲撃を受けるにつき前後順序あり、原本は明治八年一〇月五日)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1482-01-01、20合綴／「置賜県」の原稿用紙使用／209

1482-02 「読史堂叢書 第十一集 二」(1482-02-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／七ノ二／1482-02-01、20合綴／表紙「木滑政愿日記乾 自筆本」／20

9

1482-02-01 木滑政愿日記(明治元年一月一日〜九月一日)／一冊(二四丁)／明治元年正月／二四・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1482-02-01、20合綴／209

1482-02-02 大山格之助宛 世良修蔵書状写(嘆願書三通やむなく受取り、このうちは奥羽之皆敵として進撃)／一冊(三丁)／(明治元年閏四月)／二四・〇×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／引統御配慮奉：致度候草々頓首／1482-02-01、20合綴／木滑政愿の筆、世良修蔵は奥羽の油断を伺い挟み打ちにせんと大山に密書を送るも仙台藩が奪うとの記載あり／209

1482-03 「読史堂叢書 第十一集 三」(木滑政愿日記の原本、明治元年九月一日〜二月二九日)／一冊(九九丁)／明治元年／二三・七×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／七ノ三 林泉文庫／表紙「木滑政愿日記坤 自筆本」／209

1482-04 「読史堂叢書 第十一集 四」(1482-04-01、03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／七ノ四／1482-04-01、03合綴／「水野家乗 秋田表使以留記 米沢政府日誌最上方面」／209

1482-04-01 「家乗第二編」写(山形藩家老水野家の文政年間、明治元年の家譜)／一冊(二七丁)／明治一六年／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1482-04-01、03合綴／朱書「山形水野家二関スルモノ」、緒川永識序／209

1482-04-02 水野英報「秋田表江罷越候留記於同所二歎願致候写」(秋田へ使者として向かった際の経緯 降伏弁明口上書)／一冊(二〇丁)／明治元年一〇月吉日／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／水野好太郎英報(花押)／1482-04-01、03合綴／朱書「山形水野家」／209

1482-04-03 「日記 但最上方面抄録」(明治元年七月六日、一〇月一〇日、新庄出兵・庄内出兵等米沢藩動向)／一冊(二八丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1482-04-01、03合綴／朱書「米沢藩」、「東村山郡史編纂原稿用紙」使用／209

1482-05 「読史堂叢書 第十一集 五」(新庄藩戊辰戦争日記の写、明治元年七月一四日、一二月晦日)／一冊(八六丁)／近代(年月日未詳)／二三・四×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／七ノ五 林泉文庫・□□□□／209

1482—06 「読史堂叢書 第十一集 六」(長岡藩戦争之記、慶応三年二月、明治元年九月、長岡藩の嘆願・出兵・死傷者等につき記録差上の写) / 一冊(六九丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一六・二 / 縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙 / ト〇本 林泉文庫 / 209

伊佐早謙関係—合綴史料集—縦軒雑集

1494—01 「縦軒雑集」(1494—01—10の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二五・二×一七・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / シ〇本 林泉文庫 / 1494—01—11合綴 / 伊佐早謙の編纂カ / 219

1494—01—01 王羲之書解説(十七帖、樂毅論、蘭亭帖序、唐太宗の関わり他) / 一冊(七丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・二×一七・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙 無し 楮紙 / 1494—01—01—11合綴 / 伊佐早の筆跡カ / 219

1494—01—02 楊春樹「陶堂隨録」(豊田晩翠による伊藤仁斎、芝野栗山評) / 一冊(二丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・二×一七・五 / 縦帳 袋綴冊子装 表紙 無し 楮紙 / 1494—01—01—11合綴 / 219

1494—01—03 長尾源五他四名宛 上杉謙信提書写(高田新聞の付録、春日山要害普請等、油断なく務めること他九か条) / 一通(一紙) / 明治四四年一月一日 / 二〇・八×四六・三 / 切紙 機械漉紙 / 残置留守中: 簡要候也仍件如 / 1494—01—01—11合綴 / 冊子へ貼込 / 219

1494—01—04 大滝忠恕意見書(王政復古により徳川慶喜辞任、今後の情勢如何、神戸開港、長州藩及び三条実美らの処分につき) / 一通(六紙) / 卯(慶応三年)一月 / 一四・四×七三・九 / 切紙 楮紙 / 新蔵 / 一 王政復古: 僭越申上候事 / 1494—01—01—11合綴 / 柱題「登京大眼目」 / 219

1494—01—05 北陸道先鋒會計印 / 一点(一紙) / 近代(年月日未詳) / 一七・〇×一〇・〇 / 切紙 楮紙 / 1494—01—01—11合綴 / 219

1494—01—06 米沢藩印 / 一点(一紙) / 近代(年月日未詳) / 一九・七×一〇・一 / 切紙 楮紙 / 1494—01—01—11合綴 / 219

1494—01—07 毛利業広印(宮島熊蔵と記載あり) / 一点(一紙) / 近代(年月日未詳) / 一六・一×一〇・五 / 切紙 楮紙 / 1494—01—01—11合綴 / 219

1494—01—08 中里盛直・大滝忠恕宛 軍政府達書(出勢の節、何箇にて御用に立つか、支配下所持の鉄砲改め、西洋・古流とも面付差し出すこと) 一点(一紙) / (明治元年)四月一八日 / 一五・七×九・五 / 切紙 楮紙 / 軍政府(黒印) ↓ 中里丹下殿・大滝新蔵殿 / 五軍御出勢: 可被書出候 / 1494—01—01—11合綴 / 黒印の韻文「高雅」、千坂高雅 / 219

1494—01—09 中里盛直宛 軍政府達書(支配下組役の者一人、只今罷り出ること) 一点(一紙) / 近代(年月未詳) 四月一九日 / 一五・二×九・五 / 切紙 楮紙 / 軍政府(黒印) ↓ 中里丹下殿 / 御支配下: 罷出候様 / 1494—01—11合綴 / 黒印の韻文「高雅」、千坂高雅 / 219

1494—01—10 目録写(御家より寄付の漢籍七部、足利学校からの回答) / 一通(四紙) / 近代(年月日未詳) / 一七・八×四二・四 / 切紙 楮紙 / 一七・八×四二・四 / 1494—01—01—11合綴 / 柱題「覚」 / 219

1494—01—11 「御国と諸国相性占之事」(風水による相性占に擬し、米沢と会津・長州等諸藩との関係を説く) / 一通(二五紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・七×一九六・四 / 切紙 楮紙 / 会津 乾天 五: 因而大いに御宜し / 1494—01—01—11合綴 / 219

1494—02 「縦軒雑集」(1494—02—01—06の表紙、武家伝奏等一覧等書物の切抜他) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二五・二×一七・五 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / シ〇本 林泉文庫 / 1494—02—01—06合綴 / 伊佐早謙の編纂カ / 219

1494—02—01 禁裏方名簿(武家伝奏、議奏方、親王御方他職名、官位、名前他一覧) / 一枚(三四紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・七×三七・四 / 切紙 楮紙 / 武家伝奏: 敬親王御子 / 林泉文庫 / 1494—02—01—06合綴 / 木版、台紙に貼付、元は冊カ / 219

1494—02—02 武鑑切枝(上杉重定代、系譜、家紋、纏、嫡子、米沢新田藩等) / 一枚(五紙) / 江戸中期(年月日未詳) / 一六・〇×四二・三 / 切紙 楮紙 / 1494—02—01—06合綴 / 木版、台紙に貼付 / 219

1494—02—03 寄進書上(上杉憲実・憲忠・憲房による寄進、毛詩正義、尚書正義等) / 一通(三紙) / 近代(年月日未詳) / 一七・八×四〇・六 / 切紙 楮紙 / 毛詩正義 上杉: 平氏政朝臣 / 1494—02—01—06合綴 / 219

1494—02—04 本田右衛門宛 最上義光書状写(此元随日仕合能く、紀伊守遣したく、原本は(年未詳) 一二月二日) / 一通(四紙) / 近代(年月日未詳) / 一八・

二×四七・五／切紙 楮紙／此度大学其々御書：恐々謹言／1494-02-01-06合綴／花押は慶長期より使用の形／219

1494-02-05 長尾権四郎他三名宛 藩主書状写（鷹山時代は質素の風習があり士気も高かったが、近年は奢侈が見え士気低下につき）／一通（三紙）／近代（年月日未詳）／二五・二×九六・〇／切紙 機械漉紙／一簡申入候：申入為ふ一／1494-02-01-06合綴／「山形県立宮内高等女学校」の野紙使用／219

1494-02-06 木滑政愿日記（明治元年三月、江戸や仙台の情勢、木滑が会津へ使者として向かう）／一通（四紙）／明治元年／二三・八×五八・〇／切紙 楮紙／一 同八日枋尾伝助：擾乱之基と可す／1494-02-01-06合綴／断簡、木滑政愿の筆／219

1494-03 「縦軒雑集」(1494-03-01-13の表紙)／一冊／近代（年月日未詳）／二五・二×一七・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-01 上杉斉憲宛 伊達慶邦書状写（会津藩征討につき談論し、同意ならば鎮撫総督へ申し立ての義あるため、白石へご出張下されたく、原本は明治元年閏四月六日）／一通（一紙）／近代（年月日未詳）／二四・八×三四・〇／切紙 楮紙／一筆拝呈：耳如状二候頓首／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-02 上杉斉憲宛 伊達慶邦書状写（相馬藩変心、賊兵先鋒迫るにつき援兵助勢願、原本は明治元年八月八日）／一通（二紙）／近代（年月日未詳）／二四・八×三四・〇／切紙 楮紙／寸楮呈■仕候：匆々頓首／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-03 上杉斉憲宛 酒井忠篤書状写（新発田藩変心、村上落城、蒸気船で鼠ヶ関へ砲発につき出兵願、原本は明治元年八月二日）／一通（二紙）／近代（年月日未詳）／二四・八×三四・〇／切紙 楮紙／一書拝啓仕候：早々頓首／1494-03-01-13合綴／末尾に刀剣値段の表題のある印刷物の切抜あり／219

1494-03-04 年別金銭書上（弘化三年から明治四年）／一通（二紙）／近代（年月日未詳）／一五・六×六九・〇／切紙 楮紙／一分二朱：二十六円七十銭四厘／1494-03-01-13合綴／末尾に桜木戸籍調べ、花押の印刷物、落款、漢詩あり、筆跡から作者は木滑政愿と推定／219

1494-03-05 伊佐早謙宛 鈴木田二葉書（季節の挨拶、物価は高騰し、世上喧林につき）／一通（一紙）／大正七年八月／一四・一×八・九／葉書 機械漉紙／鈴木田二↓羽前米沢市林泉寺町 伊佐早謙様 侍史／拝啓賀 高堂佳適：待芳首後出門／

1494-03-01-13合綴／219

1494-03-06 伊佐早信宛 鈴木田二葉書（伊佐早の漢詩拝見し素晴らしく、拙作は正下されたく）／一通（一紙）／大正七年八月／一四・一×八・九／葉書 機械漉紙／鈴木田二↓仙台市北三番丁一五〇 伊佐早信様 侍史／如命新源：子慎嬉松島秋／1494-03-01-13合綴／伊佐早信宛だが内容は伊佐早謙宛、謙は当時息子のいた仙台にいたカ／219

1494-03-07 伊佐早謙宛 鈴木田二葉書（絵葉書、漢詩、年賀状）／一通（一紙）／大正庚申（九年）元日／一四・〇×九・〇／葉書 機械漉紙／鈴木田二↓羽前米沢市林泉寺町 伊佐早謙様 侍史／恭賀新禧：梅花目屋国／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-08 伊佐早謙宛 鈴木田二葉書（絵葉書、漢詩、故人を偲ぶ）／一通（一紙）／大正己未（八年）／一四・〇×九・〇／葉書 機械漉紙／鈴木田二↓羽前米沢市林泉寺町 伊佐早謙様 侍史／故人遥定：紅葉正如然／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-09 伊佐早謙宛 松野霞城葉書（転居報告、転居先の地図）／一通（二紙）／大正一〇年一月一日／一四・〇×九・〇／葉書 機械漉紙／松野霞城↓米沢市林泉寺町 伊佐早謙先生 侍史／転居↓早稲田二至ル／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-10 伊佐早謙宛 東北遺物博覧会案内状（宮城県図書館にて東北遺物博覧会開催につき、御来行賜りたく）／一通（一紙）／昭和三年四月／一四・一×九・一／葉書 機械漉紙／東北遺物展覧会長 伯爵 佐久間俊一↓伊佐早謙殿／謹啓春暖の：草々敬具／1494-03-01-13合綴／その他式次第、会優待券あり／219

1494-03-11 伊佐早謙宛 維新史料編纂会案内状（編纂官大塚武松欧米の調査から帰国、報告会へご臨場賜りたく）／一通（一紙）／昭和四年四月一日／一五・四×一〇・三／葉書 機械漉紙／維新資料編纂会総裁 子爵 金子堅太郎↓米沢市林泉寺町 委員 伊佐早謙殿／謹啓時下益：申上候 敬具／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-12 伊佐早謙宛 青木善祐書簡（今般山形県書記官に任じられ、将来公私ともご厚誼ご鞭撻を願う）／一通（一紙）／昭和四年四月／一五・三×一〇・二／葉書 機械漉紙／青木善祐↓米沢市 伊佐早謙殿／拝啓春暖相催し：御座候 敬具／1494-03-01-13合綴／219

1494-03-13 伊佐早謙宛 橋爪新太郎他八名案内状(深沢市長の退任、登坂新市長就任につき送迎会への賛成願)／一通(一紙)／昭和四年三月二〇日／二三・九×三二・〇／堅紙 機械漉紙／橋爪新太郎他八名↓伊佐早謙殿・拜啓 時下愈御清勝：得貴意申候 敬具／1494-03-01-13合綴／末尾に富総額、洋酒の値段の印刷物あり／219

伊佐早謙関係—合綴史料集—匯纂

1450-01 「匯纂 卷之二」(年始御規式帳)／原本)／一冊(五二丁)／宝永六年正月／二六・八×一九・七／堅帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／ク〇本 林泉文庫／181

1450-02 「匯纂 卷之二」(桜田屋敷令条)／原本)／一冊(九丁)／安永三年九月／三一・〇×二二・二／堅帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／二〇六ノ2 林泉文庫／181

1450-03 「匯纂 卷之五」(1450-03-01-04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三〇・六×一九・三／堅帳 紙縫綴冊子装 素紙後補表紙／二〇六ノ3／1450-03-01-04合綴／181

1450-03-01 上杉鷹山訓戒書写(三〇〇両御備金仕法、不時金二〇〇両準備他財政再建の仕法と心構え)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・五×一九・三／堅帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1450-03-01-04合綴／181

1450-03-02 「米沢新史」(上杉治広の誕生から天明五年五月一九日の藩主としての実務始めまでの事跡)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・五×一九・三／堅帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1450-03-01-04合綴／181

1450-03-03 吉江家文書写(天正年間および上杉鷹山の文書)／一冊(一六丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・五×一九・三／堅帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1450-03-01-04合綴／181

1450-03-04 御阿御免者書上帳(鉄砲屋町古金久太郎他四二名、罪状と赦免の概要)／一冊(二二丁)／明和九年四月五日／三〇・五×一九・三／堅帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1450-03-01-04合綴／荏戸九郎兵衛、北沢源之進量とあり／181

1449-01 「匯纂 卷之六」(1449-01-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三〇・六×一九・七／堅帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙／赤ラベル表紙無し／1449-01-01-03合綴／表題と中の表題に齟齬あり、裏表紙裏に藩士近藤敬親と子女について記す／181

1449-01-01 角屋彦五郎他五名「文化八年十一月武器御改帳清書凡例」(家中諸氏の武具改めにあたつての詳細規定)／一冊(一〇丁)／文化八年十一月三日／三〇・三×一八・九／堅帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／御記録所勤 角屋彦五郎他五名／林泉文庫／1449-01-01-03合綴／墨付九丁／181

1449-01-02 二品法親王泉尊「遊行上人由緒」写(遊行二代上人尊親法親王の事績、三代上人までの諸国遊行のための通行許可証、後醍醐天皇の御影の継承他)／一冊(二三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・三×一八・四／堅帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1449-01-01-03合綴／裏表紙裏に借用書写の記載あり／181

1449-01-03 「山形県羽前国米沢市東馬口旁町一宮神社由緒取調書」(由緒と建物等の調査内容)／一冊(四丁)／明治二八年七月／二七・二×一九・五／堅帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1449-01-01-03合綴／181

1450-04 「匯纂 卷之七」(孝子伝、文久以来孝賞録、文久元年二月、明治三年二月)／一冊(五〇丁)／文久元年／三一・〇×一九・八／堅帳 紙縫綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／二〇六ノ4 林泉文庫／181

1450-05 「匯纂 卷之八」(1450-05-01-06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／三〇・五×一九・五／堅帳 紙縫綴冊子装 素紙後補表紙／二〇六ノ5／1450-05-01-06合綴／181

1450-05-01 「抜隊電調練図式」(洋式銃隊による配置図)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・八×一九・三／堅帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1450-05-01-06合綴／181

1450-05-02 山田佐内・高山弥右衛門五十騎組并御馬廻組戦法并図面(鉦、太鼓に合わせた調練行動と陣取図)／一冊(八丁)／文久三年八月／三〇・五×一九・五／堅帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／山田佐内・高山弥右衛門／1450-05-01-06合綴／181

1450-05-03 毛利業広「調練式」草稿(心得、調練総掛以下の役割分担等)／一冊(四丁)／慶応二年八月／三〇・〇×一九・〇／堅帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／毛利上総／1450-05-01-06合綴／訂正等の付箋、書込みあり／

181

1450-05-04 侍組島津利馬組并御本陣戦法并図面(寝覚めから訓練の次第と配置図、図面は侍組のみ)／一冊(七丁)／文久三年八月／三〇・〇×一八・五／豎帳紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／島津利馬／1450-05-01-06合綴／181

1450-05-05 山本寺勝強「御旗本手戦法并図面」(起床から訓練の次第と配置図、御役筒と鎧等の部隊編成)／一冊(六丁)／慶応三年五月五日／三〇・五×一九・一／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／山本寺伊代／1450-05-01-06合綴／181

1450-05-06 色部久長「押前掟」(掃陣の順番等の心得九箇条)／一冊(四丁)／慶応三年八月／三〇・三×一九・二／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／色部長門／1450-05-01-06合綴／181

1450-06 「匯纂 卷之九」(遠藤盛孝「戊辰恩賞記」、戊辰戦争時の恩功労賞記録、六月二日と八月二日分)／一冊(三三丁)／(明治元年)／三〇・〇×一九・七／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／遠藤盛孝／二〇六ノ6 林泉文庫／181

1450-07 「匯纂 卷之十」(1450-07-01-06の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二七・四×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 素紙後補表紙／二〇六ノ7／1450-07-01-06合綴／近代(年月日未詳)／181

1450-07-01 嘆願書并申渡書写(明治元年一月、二月、米沢藩と新政府間での他藩人や新潟奉行所下役等の護送他)／一冊(六丁)／近代(年月日未詳)／二七・三×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1450-07-01-06合綴／上杉齊憲と行政官のやり取り／181

1450-07-02 上杉茂憲家族書(本人の略歴と家族の続柄)／一冊(二丁)／(明治三年)／二七・三×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／上杉茂憲／1450-07-01-06合綴／181

1450-07-03 米沢藩東京支局「改革後公廨一ヶ年費用凡見詰取調帳」(藩の年間収支の予算書、各局の予算内訳)／一冊(六丁)／明治三年七月／二七・三×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／米沢藩／1450-07-01-06合綴／「米沢藩」の用箋使用、表紙に「東京支局控」とあり／181

1450-07-04 上杉茂憲「家族書上」(本人の略歴と家族の続柄、1450-07-02と同内容)／一冊(四丁)／明治三年／二七・三×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉茂憲／1450-07-01-06合綴／181

冊子装 共紙原表紙 楮紙／上杉茂憲／1450-07-01-06合綴／181

1450-07-05 米沢泉宛 司法省申渡書(明治三年九月、同四年九月、前半は贖金事件等の処罰、後半は宣教使宛 諸藩宣教掛伺書)／一冊(一四丁)／明治三年庚午九月、明治四年辛未八月／二七・三×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／刑部省／1450-07-01-06合綴／前半は「刑部省」の用箋使用で米沢藩宛、後半は米沢泉時代だが「米沢藩」の用箋使用／181

1450-07-06 「出納略簿」(藩全体の収支明細、後半は1450-07-03と類似の内容で各局以下の細目も記載)／一冊(六丁)／(明治三年)／二七・三×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1450-07-01-06合綴／181

1450-08 「匯纂 卷之十一」(1450-08-01-05の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二九・六×一九・二／豎帳 紙綴綴冊子装 素紙後補表紙／二〇六ノ8／1450-08-01-05合綴／181

1450-08-01 新政府通達留帳(東京寄留者届出につき東京府通知、寺社地小作他につき大蔵省通知他)／一冊(一三丁)／辛未(明治四年)／二七・五×一九・七／豎帳 紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／林泉文庫／1450-08-01-05合綴／「米沢藩」用箋を使用／181

1450-08-02 諸藩月番宛 東京府「区別書」(東京府下各区の範囲と仮区長、仮副区長)／一冊(三七丁)／辛未(明治四年)六月／二七・五×一九・七／豎帳 紙綴綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／東京府↓諸藩 月番御中／1450-08-01-05合綴／「米沢藩」の用箋使用／181

1450-08-03 弁官宛 東京府伺書写(府下道路上下水川掘橋梁等補修につき)／一冊(七丁)／辛未(明治四年)五月／二七・五×一九・七／豎帳 紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／東京府↓弁官御中／1450-08-01-05合綴／「米沢藩」の用箋使用／181

1450-08-04 米沢藩「藩政改革之事件」(人民平均の理により士族の文武常職を解き禄券発行したく弁官宛 上杉茂憲伺書二通)／一冊(四丁)／明治四年五月／二七・二×一九・五／豎帳 紙綴綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／米沢藩／1450-08-01-05合綴／「米沢藩」の用箋使用／181

1450-08-05 「驗物雛形」(馬印、提灯、陣笠他の彩色図案)／一冊(六丁)／近代(年月日未詳)／二七・二×一九・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1450-08-01-05合綴／181

1450-09 「匯纂 卷之十二」(米沢藩の明治四年藩政改革一件書類、人民平均の理に基づく改革につき、弁官宛 上杉茂憲伺書控、米沢藩告諭、斉藤篤信筆高知藩政大意他) / 一冊(五四丁) / 明治四年六月 / 二八・四×一九・五 / 縦帳 紙縫綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 二〇六ノ9 林泉文庫 / 「米沢藩」の用箋使用 / 181

1449-02 「匯纂 卷之十四」(1449-02-01-07の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二九・八×一八・九 / 縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 / ク〇本 / 1449-02-01-07合綴 / 181

1449-02-01 「郷村御取立物旧記」(領内から取り立てる年貢諸役の詳細) / 一冊(一五丁) / 安永六年一月一六日 / 二九・一×一九・一 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1449-02-01-07合綴 / 墨付一二丁 / 181

1449-02-02 置賜郡郷村目録(上長井郷・中郡・北条郷・下長井東通・下長井西通・小国郷の村名) / 一冊(八丁) / 近代(年月日未詳) / 二四・七×一六・九 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1449-02-01-07合綴 / 181

1449-02-03 「高帳写」(置賜郡内計四万石分、屋代郷の各村の高) / 一冊(六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・八×一九・四 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 1449-02-01-07合綴 / 表紙に「上杉式部渡」の貼紙あり / 181

1449-02-04 米沢藩「蚕種師百人組并扱下村割書上」(米沢藩の命で蚕種製造の一五八村を組に編成し、組の世話役の名と扱下の村々の一覽) / 一冊(一一丁) / 明治三年一月 / 二七・五×一九・五 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 米沢藩 / 1449-02-01-07合綴 / 181

1449-02-05 清野秀範意見書(会津征討の先鋒には反対) / 一冊(五丁) / 慶応四年四月 / 三〇・三×一九・七 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 清野右膳秀範(黒印) / 1449-02-01-07合綴 / 表紙「上言」とあり / 181

1449-02-06 山田近雄意見書(上杉鷹山・斉定の治世を例に、官吏の不正が治国の善悪につながる、賄賂禁止のこと) / 一冊(六丁) / 近代(年月日未詳) / 二九・八×一八・九 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 致仕臣山田近雄(黒印) / 1449-02-01-07合綴 / 表紙「上」とあり / 181

1449-02-07 甘先生宛 曾根万究意見書(富国強兵のためにも洋学を学ぶこと) / 一冊(五丁) / 近代(年未詳) 閏月末 / 二九・七×一八・四 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 曾根菅万究百拝謹言 ↓ 尊師甘先生机下 / 1449-02-01-07合綴 / 幕末から明治初期 / 181

1450-10 「匯纂 卷之十五」(1450-10-01-06の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二八・〇×一九・八 / 縦帳 紙縫綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 二〇六ノ10 / 1450-10-01-06合綴 / 181

1450-10-01 「弾正大弼三女松平土佐守殿御嫡邦之丞殿江縁組為内約使者取通之節取扱之次第」(上杉治広の娘演姫と山内豊興の縁組内約が成立する際、米沢藩・高知藩間の往復文書写) / 一冊(八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・〇×一八・八 / 縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1450-10-01-06合綴 / 181

1450-10-02 平山行蔵「上北関書」写(海防論の漢文体意見書、原本作成は江戸後期) / 一冊(六丁) / 近代(年月日未詳) / 二八・〇×一九・八 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1450-10-01-06合綴 / 181

1450-10-03 聞書集(ペリ―来航につき浦賀奉行与力合原惣蔵他四名の談話等) / 一冊(一〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・七×一八・六 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1450-10-01-06合綴 / 181

1450-10-04 学校制度概要書(明治三年二月制定、学制、試験、学費、小学校中学校の入学年齢等) / 一冊(三丁) / 明治三年頃 / 二四・四×一六・五 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1450-10-01-06合綴 / 181

1450-10-05 米沢藩「改革後公廨一ヶ年費用凡見詰取調帳」(前半は藩の間収支の予算書、末尾に二万八三九〇両不足だが試さなければ不明とあり) / 一冊(一〇丁) / 明治三年七月 / 二六・三×一八・三 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 米沢藩 / 1450-10-01-06合綴 / 181

1450-10-06 山形県参事薄井龍之宛 白川密蔵・小池兵三郎願書写(法律家塾開業につき略歴、学制概要、原本は明治一〇年一月二四日付) / 一冊(三丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・三×一六・三 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1450-10-01-06合綴 / 「山形県第十大区区務所」の用箋使用 / 181

1450-11 「匯纂 卷之十六」(1450-11-01-07の表裏表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二八・〇×一九・五 / 縦帳 紙縫綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙 / 二〇六ノ11 / 1450-11-01-07合綴 / 181

1450-11-01 御下問書(政府財政確立につき贖金禁止、内外国債のこと他) / 一冊(二丁) / (明治二年)五月 / 二五・五×一七・八 / 縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 林泉文庫 / 1450-11-01-07合綴 / 木版 / 181

1450—11—02 御下問書(外国交際峻寒の折、贖金処置につき見込みを述べよ)／一通(二紙)／近代(年未詳)七月一五日／一四・〇×六九・二／切継紙 楮紙／貨幣偽造之儀：差出可申事／1450—11—01／07合綴／181

1450—11—03 談判覚書(贖金対策につき外国公使に弁明の事項)／一冊(六丁)／明治二年八月一三日／二七・九×一九・五／縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1450—11—01／07合綴／政府の歳入出に關する別紙あり／181

1450—11—04 川越藩知事「職級黜陟大概」写(藩の諸職の職階について)／一冊(四丁)／明治二年一〇月／二七・一×一八・六／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1450—11—01／07合綴／181

1450—11—05 米沢藩知事告諭案(郡県制確立の朝廷の趣意に基づき、士族の文武の常職を解き、禄券給付のこと)／一冊(五丁)／明治四年六月／二七・六×二〇・〇／縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／米沢藩知事／1450—11—01／07合綴／「米沢藩」の用紙使用／181

1450—11—06 米沢生糸改会社「区戸長工依頼書」(生糸は製造家にて国所・名前の押印すべき、生糸品質改良に尽力、結社のうえ製糸器械造立のこと等)／一冊(八丁)／明治七年一月／二四・四×一五・七／縦帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／米沢生糸改会社↓区長戸長御中／1450—11—01／07合綴／木版／181

1450—11—07 嘆願書(当局御用両地とも多端、五〇余に至らば平動といえども物頭役に執成下されたし)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)一一月／二七・八×一九・八／縦帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1450—11—01／07合綴／181

伊佐早謙関係—合綴史料集—文書集

1452—01—01 「□□□□」(1452—01—01の表紙、表題はラベルに隠れ判読不可)／一冊／近代(年月日未詳)／一五・〇×二一・二／横半帳 紙縫綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／1452—01—04合綴／表紙に「右東京遊学中所得「古謙記」とあり、タイトルと内容の大半が齟齬、史料番号ラベルの下に別ラベルあり、全体表紙に貼られた原表紙と思われる裏に寛永四年拝領居屋敷等の坪数を記載／181

1452—01—01 「水野家略譜」(水野忠政から忠成までの系譜)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×二〇・八／横半帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／伊佐早之蔵書／1452—01—04合綴／181

1452—01—02 「願何届断目錄」(藩士の冠婚葬祭や家の存続に關係して藩に提出する願・伺・届・断の書式集)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×二〇・八／横半帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1452—01—04合綴／181

1452—01—03 「御分領中郡村常州江州其記」(仙台藩領の郡村名及び他領との境目、領内の要害他一覽)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／九・八×二〇・八／横半帳 袋綴冊子装 黄緑地花文二重亀甲繫ぎ原表紙 楮紙／1452—01—04合綴／表紙に「郡村□□」とあり／181

1452—01—04 「松平大隅守家中分限帳」(島津光久の家来が大勢であると聞き及び、その家臣団構成につき尋ねたものを記載)／一冊(九丁)／享保一五年二月一七日／一四・六×一九・一／横半帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1452—01—04合綴／181

1463 「手蹟集」(伊佐早謙が調査した文書の写、双鉤、乾拓、葉書、書簡、新聞切抜等貼付)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二五・二×一六・八／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／シ〇本 林泉文庫／表紙は反古紙を再利用／189

1484 「読史堂史徴 上」(1484—01—04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 紫地七宝繫ぎ後補表紙 楮紙／ト〇本 林泉文庫／1484—01—04合綴／表紙に「国史雑史 二 写本」の貼紙あり／210

1484—01 「奥羽古文書」(千葉介宛 北畠頭家書状他相馬家関連文書の写)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／1484—01—04合綴／水月古鑑、相馬家伝他より編纂／210

1484—02 長尾孝景筆「仙道物語」写(伊達、佐竹等の動向、須賀川、白川等の仙道の様相につき元和年間古老聞書)／一冊(二三丁)／丁酉(明治三〇年)六月／二三・七×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1484—01—04合綴／末尾に北会津郡新横町佐野貞次郎所蔵の原本を写した旨の伊佐早謙の書込あり／210

1484—03 秋月胤永「刀史」写(枕城刀他九口の入手経緯、当時の思いや行動、原本は明治二三年四月)／一冊(一八丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1484—01—04合綴／「秋月胤永子録」と記載、中村正直の朱批あり／210

1484-04 色部氏系譜(色部為長から山浦たかまで)／一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1484-01-04合綴／色部長門、山浦康永の項に補足の付箋あり／210

1367 「評判記 米沢藩庁職録 屋代郷御預所騒動二付評判記」(明治四年ダラス雇用の経緯と学校関係、明治三年の米沢藩職制、元治元年の屋代郷百姓騒動の役所控)／一冊(七五丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／ヒ〇本 林泉文庫・伊佐早蔵本／外題は後に伊佐早謙が付す、異筆の写本三冊を合綴、表紙裏に丙戌(明治一九年)一〇月に塚田澹齋を訪ね購入した旨の伊佐早謙の記載あり／176

伊佐早謙関係—齊憲年譜編纂

0075-01 編纂局「齊憲公御年譜編纂二付日誌」(明治二四年六月一七日〜二月三一日)／一冊(六〇丁)／明治二四年／二四・三×一六・八／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／編纂局／ナ〇本／挟込三点あり／墨付四九丁／026

0075-01-01 齊憲公年譜草稿(年譜の目次案)／一通(一紙)／(明治二四年カ)／二四・二×一七・一／豎紙 楮紙／一天保十年四月：同月二七日マテ／0075-01に挟込野紙使用／026

0075-01-02 伊佐早謙宛 池田成章書状(二〇日午後四時、佐氏泉にて酒宴)／一通(二紙)／近代(明治二四年カ)一九日(月未詳)／一八・三×二九・六／切紙 楮紙／成章↓伊佐早様／明日二十日午後四時：御案内申上候也／0075-01に挟込／026

0075-01-03 伊佐早謙宛 長尾志生書状(体調不良のため欠席連絡)／一通(一紙)／(明治二四年カ)六月二五日／一五・一×一七・六／切紙 楮紙／長尾志生拝↓賢兄机下／少々不快に付：向上仕候也／0075-01に挟込／封紙あり／026

0075-02 編纂局「齊憲公御年譜編纂二付日誌」(明治二五年一月一日〜二月三一日)／一冊(九〇丁)／明治二五年／二四・二×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／編纂局／六九ノ2／挟込一点あり、表紙・裏表紙二枚重ね／026

0075-03 編纂局「齊憲公御年譜編纂二付日誌」(明治二六年一月一日〜二月三一日)／一冊(八三丁)／明治二六年／二四・七×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／編纂局／六九ノ3／挟込三点あり、表紙・裏表紙二枚重ね／026

0075-04 編纂局「齊憲公御年譜編纂二付日誌」(明治二七年一月一日〜二月三一日)／一冊(九四丁)／明治二七年／二四・三×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／編纂局／六九ノ4／墨付八七丁 挟込一点あり、表紙・裏表紙二枚重ね／026

0075-05 編纂局「齊憲公御年譜編纂二付日誌」(明治二八年一月一日〜二月二五日)／一冊(八七丁)／明治二八年／二五・〇×一六・六／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／編纂局／六九ノ5／挟込一点、貼込三点あり、表紙・裏表紙二枚重ね／026

0075-06 編纂局「齊憲公御年譜編纂二付日誌」(明治二九年一月一日〜二月二五日)／一冊(五九丁)／明治二九年／二五・三×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／編纂局／六九ノ6／墨付四七丁、挟込一点あり／026

0075-07 編纂局「齊憲公御年譜編纂二付日誌」(明治三〇年一月一日〜同三年三月一八日)／一冊(五九丁)／明治三〇年／二五・一×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／編纂局／六九ノ7／挟込六点、貼込三点あり／026

伊佐早謙関係—史料探訪—古文書集

1447-01 「羽前国探訪史料巻之一」(斯波兼頼から最上義智までの最上氏系図、最上義光判物他二七通、「専称寺世代記」写他六件)／一冊(五〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／挟込三点あり／一部に「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、冒頭の系図末尾に明治三四年六月に書写した旨の伊佐早による記載あり／180

1447-01-01 大須賀一徳齋宛 酒井忠次書状写(永寿殿(栗田栄寿丸カ)のことにつき意見に任せる旨と近日の信濃仕置での来訪につき、原本は三月五日付)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／一六・七×四九・三／切紙 楮紙／永寿殿之儀：替事者可承候恐々謹言／1447-01に挟込／180

1447-01-02 大須賀一徳齋由緒書写(大須賀門兵衛の四代曾祖父一徳齋と栗田左衛門の子栄寿丸、酒井忠次との関係他)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／一六・七×四五・〇／切紙 楮紙／大須賀門兵衛：被下候と及承候以上／1447-01に挟込／180

1447-01-03 大須賀一徳齋宛 酒井忠次書状写(永寿殿の進退につき引き立てを約す、原本は五月二八日付)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／一六・七×四

九・三／切紙 楮紙／永寿進退之儀↓可加下知候□□□／1447-01に挟込／180

1447-02 「羽前国探訪史料卷之二」(可休庵老師記拔書写、山寺志、太田和泉守日記抄、山北郡前田氏略記)／一冊(四九丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 楮紙／林泉文庫／一部に「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、墨付四四丁／180

1447-03 「羽前国探訪史料卷之三」(慈恩寺文書(最上院、花蔵院、最教院、梅本坊蔵)二七通、慈恩寺年代集記)／一冊(五三丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 楮紙／林泉文庫／一部に「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、墨付五〇丁／180

1447-04 「羽前国探訪史料卷之四」(寒河江・澄江寺文書一〇通、最上記抄録、明治六年大江姓略譜、谷地町での探訪文書一通他)／一冊(七五丁)／近代(年月日未詳)／二四・四×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・白茶地後補表紙 楮紙／林泉文庫／一部に「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、墨付七一丁、表紙の台紙として老中奉書カを使用した可能性あり／180

1447-05 「羽前国探訪史料卷之五」(酒田・鶴岡等での探訪文書四三通、付録として第二高等学校所蔵文書一三通)／一冊(六七丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／挟込文書あり／一部に「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、墨付六六丁／180

1447-05-01 伊佐早謙宛 菊地快住書状(照会のあった武藤義氏の法号につき回答)／一通(二紙)／明治三四年九月三〇日／一八・二×三九・〇／切紙 楮紙／庄内永泉寺住職菊地快住↓伊佐早謙様 玉床下／秋冷相募候処：奉捧愚札候恐々頓首／1447-05に挟込、01が02を包む／180

1447-05-02 武藤義氏他二名法号写(武藤義氏、奥方、妹の三名の没年と法号)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／二二・〇×一三・一／切紙 楮紙／前羽州大守：同上 御妹／1447-05に挟込、01が02を包む／180

1447-05-03 伊佐早謙宛 折田重經書状(鶴岡出張時に知人に照会した小野寺氏、土佐林道春に関する情報)／一通(三紙)／近代(年未詳) 九月一八日／一七・三×一六・〇／切紙 楮紙／折田重經↓伊佐早先生 侍史／三〇之炎暑も既二過ぎ去て：御自重之程祈上候早々頓首／1447-05に挟込／180

1448-01 「羽前探訪文書 乾」(源氏・斯波氏・最上氏系図、専称寺宛 最上義光掟書等二四通)／一冊(三六丁)／近代(年月日未詳)／三四・二×二三・九／豎

帳 康熙綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／挟込文書あり／墨付三三丁、表紙の台紙として老中奉書カを使用、最上系図に明治三四年六月五日に影写との記載あり／181

1448-01-01 上杉謙信年譜(謙信の事績と関連史料集)／一点(七紙)／近代(年月日未詳)／二八・一×二〇・五／豎紙 機械漉紙／1448-01に挟込／二七、六三、六八頁とあり、綴じられておらず、挟込本編とは無関係カ／181

1448-02 「羽前探訪文書 坤」(慈恩寺文書等四五点)／一冊(四四丁)／近代(年月日未詳)／三四・二×二四・三／豎帳 康熙綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／挟込文書あり／181

1448-02-01 「明曆二丙申年六月廿九日絵図」写(米沢城下絵図に町ごとの長さ・軒数等を記載、原本は明曆二年)／一鋪(四紙)／文政一三年／四八・七×一三五・九／切紙 楮紙／1448-02に挟込／「文政一三年庚寅子得写」とあり／181

1448-02-02 八幡別当坊宛 川村彦左衛門寄進状写(造営のために所領寄進、祈禱を命じる、原本は天正一八年二月二日)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／一三・五×三七・五／切紙 楮紙／為造営千疋所付置：可抽御祈禱者也／1448-02に挟込／次号から、朝日山八幡のことと推察される、『山形県史』資料編15 36-2では「永宝」印は川村彦左衛門とする、原本の差出表記は「永宝の印」／181

1448-02-03 善勝坊宛 大宝寺義氏寄進状写(大宝寺義氏が朝日山八幡善勝坊の地位を安堵、所領寄進、原本は天正四年九月一〇日)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／一三・七×三七・三／切紙 楮紙／於朝日山八幡大菩薩：仍如件／1448-02に挟込／『山形県史』資料編15 36-1／181

1448-02-04 朝日山八幡別当宛 最上義光寄進状写(灯明供物料を寄進し祈禱を命じ、最上家繁栄を祈願、原本は慶長一七年六月四日)／一通(一紙)／近代(年月日未詳)／一八・二×四九・三／切紙 楮紙／為灯明供物料：仍如件／1448-02に挟込／『山形県史』資料編15 36-3、印文は「七得」小黒印(松尾剛次の分類によるC型)／181

1492 「辛丑探訪文書全」(貞永二年平経久宛 政所下文他書写、浅草文庫、下野足利駿河守文書、吉川本上杉家家譜、漆原文庫他)／一冊(六五丁)／明治三四年／二四・四×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地後補表紙 楮紙／シ〇本／一部影写本、伊佐早の筆跡と推定／219

1493 「壬寅探訪文書全」(建武元年光福寺宛寄進状他書写、安国寺文書、等持院文書、鶴岡八幡宮文書他)／一冊(六八丁)／明治三五年／二四・四×一六・一／豎帳袋綴冊子装 黄茶地後補表紙 楮紙／シ〇本／伊佐早の筆跡と推定／219

1917 伊佐早謙宛 竹田甚作書状 黒井堰地図の写しの送付につき高覧下されたく／一通(一紙)／近代(年月日未詳) 八月三十一日／一六・三×二四・一／切紙 楮紙／東置賜郡沖口於鍋田竹田甚作↓伊佐早先生侍史／拜啓過日者：御願申上候頓首／便宜的に史料探訪に収めた／235

伊佐早謙関係—史料探訪—探訪目録

1461-01 「奥羽探訪目録 福島 宮城 巖手」(福島・宮城・岩手三県で探訪した文書の目録、所蔵者、史料名、点数を個別に記載)／一冊(五四丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 小豆地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付五三丁、史料ごとに「写済」の印が押されており、別に写本を作成したと思われる／189

1461-02 「奥羽探訪目録 山形」(山形県で探訪した文書の目録、所蔵者、史料名、点数を個別に記載)／一冊(四五丁)／明治三一年七月／二三・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 小豆地原表紙 楮紙／サ〇本 林泉文庫／墨付四四丁、表紙に「諸目 共三 写本」の貼紙あり、巻末に探訪時に利用したと思われる清川村の旅館の領収書あり／189

1461-03 「奥羽探訪目録 秋田」(秋田県で探訪した文書の目録、所蔵者、史料名、点数を個別に記載、巻末に奥羽書籍目録あり)／一冊(四〇丁)／明治三一年七月／二三・三×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 小豆地原表紙 楮紙／サ〇本／墨付三九丁、史料ごとに「写済」の印が押されており、別に写本を作成したと思われる／189

1462-01 「北陸道探訪目録 若狭越前一」(巻頭に「福井県越前若狭探訪書目」とあり、巻末記載によれば文書九六二通、縁起及系図類一六巻、肖像類一三幅、記録三〇部六六冊)／一冊(四三丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 機械漉紙／サ〇本 林泉文庫／墨付四二丁、「文科大学史料編纂掛」の野紙使用、表紙に「書目 共四 写本」の貼紙あり、目録補遺と思われる一紙を挟込／189

1462-02 「北陸道探訪目録 加賀能登二」(巻頭に「石川県加賀能登探訪文書目録」とあり、巻末記載によれば文書四六〇通他に二巻、縁起及系図類一三巻、肖像類二〇幅、記録二〇部二三冊)／一冊(三三丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・

〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 機械漉紙／林泉文庫／墨付三二丁、「文科大学史料編纂掛」の野紙使用／189

1462-03 「北陸道探訪目録 越中三」(巻頭に「富山県史料蒐集目録」とあり、巻末記載によれば古文書類三五〇通、旧記覚書々籍類五一点、縁起系図伝記類三一点、書画肖像類五点、雑五点、計四四二点)／一冊(二四丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 機械漉紙／林泉文庫／「文科大学史料編纂掛」の野紙使用、巻頭に前田幹宛と戸祭浦治宛の田中義成書簡を挿入／189

1462-04 「北陸道探訪目録 越後佐渡 四」(巻頭に「新潟県史料蒐集目録」とあり、巻末記載によれば古文書類五八二通、旧記覚書々籍類一六一点、書画肖像類一四点他、計七九四点)／一冊(五〇丁)／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 機械漉紙／林泉文庫／「文科大学史料編纂掛」の野紙使用、巻末に伊佐早謙宛 田中義成書簡を挿入／189

伊佐早謙関係—筆写史料—中世～江戸前期

0035 「上杉系図 長尾系図 足利系図」(「読史堂史料」として上杉系図四種、長尾系図四種、足利系図一種を集成)／一冊(六二丁)／近代(年月日未詳)／二五・九×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／ウナア〇本 林泉文庫／表紙に「国史系譜 一 写本」の貼紙あり、下札「上杉長尾足利系図」とあり／003

0249 「無量光院書上」(無量光院に伝わる記録・古文書及び上杉謙信・直江兼続書状、直江家・村越家・清野家由緒他の書写)／一冊(二三丁)／近代(年月日未詳)／二三・四×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地七宝つなぎ後補表紙 楮紙／ム〇本／墨付二二丁、下小口に墨書「無量光院書上以下」、筆跡は伊佐早謙カ／034

0580 寛永十九年以降記事(貞享元年の米沢藩関係略年表、登坂角内勤書写、遊佐次郎衛門宛 室鳩巢答書写)／一冊(三一丁)／近代(年月日未詳)／二五・四×一七・八／豎帳 紙縫綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／ク〇本／表紙は紙背を二重にして転用、本紙には一部「上杉氏編纂所」原稿用紙を使用、墨付二〇丁、筆跡は伊佐早謙と推定／087

0834 「読史堂史料 行軍纂録」(上杉氏の軍法「御押前之次第」、大坂の冬の陣・夏の陣の際の上杉勢の陣立)／一冊(五二丁)／近代(年月日未詳)／二五・七×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 紫地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／0835のうち元和八年の最上領受取関係部分を除いた分の写し／124

0904 「慶長上杉軍記 完」(上杉氏白川軍記、上杉氏最上伊達軍記の写し及び附録文書抜粹)／一冊(九〇丁)／明治二七年七月／二三・四×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地後補表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／「参謀本部」の野線紙使用、冒頭に明治二七年七月付で、参謀本部にて関ヶ原戦史編集に際し起草し云々の伊佐早の朱書きあり／137

0976 「畠山家旧記」写(能登畠山九代当主畠山義綱出奔のこと、系図のこと、管領司のこと他)／一冊(二六丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地後補表紙 楮紙／乙第四入郷古文書図書■経巻仏像 上杉伯爵家蔵書・林泉文庫／表紙に「国史雑史一写本」とあり、原書は前田侯爵蔵本／149

0977 「小幡由緒書」(武田信玄の祖父信繩家臣の小幡盛次から徳川家康に召し出された昌重まで)／一冊(八四丁)／近代(年月日未詳)／二五・〇×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地斜刷毛目後補表紙 楮紙／ヲ〇本／「米沢市史編纂用紙」使用／149

0978 「上野文書 全」(目録・文書写・系図、楡井先祖諸事留、文殊堂詩歌集、千坂文書目録の合冊)／一冊(七五丁)／近代(年月日未詳)／二五・五×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地斜刷毛目後補表紙 楮紙／ウ〇本／「米沢図書館」の用紙を一部使用／149

1061 「伊佐早謙筆「長尾闇書」写(長尾権四郎家の寛文年間までの事跡をまとめた系譜)／一冊(三二丁)／丁酉(明治三〇年)十一月一日／二三・二×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 紫地七宝繫ぎ原表紙 楮紙／謙／ナ〇本 林泉文庫／末尾に「丁酉十一月十六日景孝以自本写了「謙」の朱書きあり、表紙に「国史雑史 一 写本」の貼紙あり／166

1064 「中條文書抄」(鎌倉時代から室町時代の中條家文書の写五三通)／一冊(四一丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・二／豎帳 袋綴冊子装 紫地七宝繫ぎ模様原表紙、黒地菱繫模様原裏表紙 楮紙／ナ本／原本との校合などを朱字で記載、伊佐早謙の筆跡と推定／166

1066 「上杉謙信・上杉景勝他二名書状写(天文年間から江戸中期までの文書の写、景憲二〇、成悦二五、謙信一五、景勝一四通)／一冊(八五丁)／近代(年月日未詳)／二四・五×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／カ〇本／出典の記載はほぼ無し、伊佐早以外の筆跡と推定／166

1076 「直江文書 蒲原郡段銭帳 完」(直江兼統宛の文書三六通、蒲原郡内白川庄金津保菅名庄長井保青海庄五十嵐保加茂庄段銭之帳)／一冊(五一丁)／近代(年月

日未詳)／二三・五×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／ナ〇本／表紙に無地の貼紙あり、末尾に「丁亥十月初六ヨリ校し初七朝了 謙」の朱書きあり／167

1077 「葛山一族江御朱印物等之留」(葛山一族宛の上杉景勝他の文書二三通、元亀元年～慶長四年他)／一冊(一七丁)／近代(年月日未詳)／二四・七×一六・四／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／カ〇本／伊佐早の筆跡カ／167

1090 「小山田先祖書・黒金文書・古臣集 完」／一冊(六六丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 黄地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／墨付六四丁、三点とも筆跡及び料紙が異なる、「小山田先祖書」は明治二八年三月上旬の年紀あり、表紙に「国史雑史 一 写本」の貼紙あり／168

1099 「越後治乱記 上中下」写(上杉謙信および景勝の事跡、豊臣秀吉の朝鮮出兵まで)／一冊(一六八丁)／近代(年月日未詳)／二五・六×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 小豆地布目模様原表紙 楮紙／林泉文庫／原本の成立は江戸時代中期、「本郷上杉氏」用の野紙使用、表紙に「国史 共一 写本」の貼紙あり、遊び紙に康永四年の村山九郎高直軍忠状他を写書、伊佐早謙の筆跡と推定／168

1102 「須崎覚書 竹俣家古記 蓋言篇以下 越後諸役付 完」(川中島合戦須崎堀内覚書、竹俣家文書写、片桐忠成「蓋言篇」、「越後諸役付」)／一冊(六三丁)／近代(年月日未詳)／二四・六×一七・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／林泉文庫／冒頭に「説史堂史料」とあり／169

1445 「会津古事伝略記 全」写(会津城主略系、貢租、人口、鉄砲、田畑、知行等の概要)／一冊(三四丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・灰地後補表紙 楮紙／ア本 林泉文庫／末尾に明治三五年四月、東京池之端仲町の琳琅閣にて閲した旨と、「謙家蔵」の朱書きあり／180

1446 「芦名文書 全」写(天正九年正月九日～永禄六年二月二八日、八四点)／一冊(八六丁)／近代(年月日未詳)／二三・〇×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地後補表紙 楮紙／ア本 林泉文庫／一部は「奥羽文書纂二入ル」とあり、朱書きにて校正と年代を記載、筆跡から伊佐早関連と推定／180

1459 「古文書写」(越後関係の中世～近世初期の文書、南魚沼郡浦佐村普光寺日記写等四三点)／一冊(三六丁)／近代(年月日未詳)／二五・四×一八・〇／豎帳 袋綴冊子装 紫地原表紙 楮紙／コ〇本・墨訂正ラベル 林泉文庫／表紙裏紙に表題で「越後文書」と記載、越古文書として三ノ八号、一部は「直江津町役場」の野紙使用、伊佐早以外の筆跡だが入手したものカ／189

1460 「古文書写」(岩瀬郡須賀川城主由緒覚書他、起請文を中心に主に福島関係の中世文書) / 一冊(二五丁) / 近代(年月日未詳) / 三五・五×二四・七 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / コ〇本(表)・ア〇本(裏) / 表紙端に「式拾考通 式拾六枚 細田熊蔵」とあり、伊佐早以外の筆跡だが入手したもののカ / 189

1501-01 古文書 越後関係 一(千坂家宛の近世前期の文書写、色部文書二三通、毛利文書七四通の目録) / 一冊(八三丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・三×一六・八 / 冊 紙縫綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 機械漉紙 / コ〇本 / 前半は「上杉氏編纂所」の原稿用紙七九枚使用、末尾に楮紙の色部文書目録(楮紙一〇丁)・毛利文書目録(楮紙四丁)を合綴 / 219

1501-02 古文書 越後関係 二(山形城下皆川町・龍門寺、小清水庄蔵関係文書の写) / 一冊(七五丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・三×一七・五 / 冊 紙縫綴冊子装 茶地後補表紙・共紙原表紙 機械漉紙 / 「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、墨付七二丁、表紙に「越後関係」とあるが越後とは無関係、未開二月付の文書があり原文書は安永四年頃のもの と推定 / 219

1625 「平子文書」(「武州文書」収録、鎌倉時代から戦国時代の平子氏関連文書二七通) / 一冊(二七丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・三×一五・五 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地七宝繋ぎ模様後補表紙 楮紙 / タ〇本 / 筆跡から伊佐早謙による筆写と推定 / 229

1626 「伊達系図 津軽系図」(仙台藩主伊達家、天御中主尊から藤原北家魚名流伊達慶寿まで、弘前藩主津軽家、藤原秀郷から津軽承昭まで) / 一冊(八一丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・七×一八・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地後補表紙 楮紙 / タ本 林泉文庫 / 表紙に「国史系譜 一 写本」の貼紙あり、付箋「伊達津軽二経一」「伊達系図 津軽系図」、下小口「伊達津軽系図」の墨書あり、慶寿は藩主就任後慶邦と改名 / 229

1629-01 「富樫家譜記 上」(加賀国の武士富樫家に関する年代記、南北朝時代まで) / 一冊(三六丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・三×一七・〇 / 冊 包背装素紙原表紙 機械漉紙 / 二九 三冊 / 「米沢市史編纂用紙」使用、1629は伊佐早謙の筆と推定 / 229

1629-02 「富樫家譜記 中」(加賀国の武士富樫家に関する年代記、南北朝時代後期から戦国時代後期まで) / 一冊(四九丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・三×一七・〇 / 縦帳 紙紐綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙 / 二九ノ二 / 「米沢市史編纂用紙」使用 / 229

1629-03 「富樫家譜記 下」(加賀国の武士富樫家に関する年代記、戦国時代

後期から江戸時代初期まで) / 一冊(五五丁) / 近代(年月日未詳) / 二五・三×一七・〇 / 縦帳 紙紐綴冊子装 素紙原表紙 機械漉紙 / ト〇本 / 「米沢市史編纂用紙」使用、「ト〇本」ラベルの下に上・中と同じラベルあり、墨付五四丁 / 229

1638 伊佐早謙筆「結城系図」写(藤原鎌足から宗家下総結城氏朝、白河結城義綱、小山義政、小峰朝脩まで結城一族の系図) / 一枚(二紙) / 明治甲辰(明治三十七年)一月旬七 / 一〇〇・六×五三・五 / 継紙 楮紙 / 読史堂主人 / 正木氏が所蔵していたものを明治三十七年に伊佐早謙が書写した旨の注記あり、原本の紙の形状を記載 / 229

1716-01 新井白石「古史通説法凡例」写(原本作成年代は正徳六年三月上澁) / 一冊(二六丁) / (明治三五年頃) / 二五・七×一八・一 / 縦帳 袋綴冊子装 焦茶地小葵原表紙 楮紙 / コ〇本 小田氏蔵書之印・林泉文庫 / 朱書き校正あり / 無

1716-02 新井白石「古史通卷之二」写 / 一冊(三八丁) / (明治三五年頃) / 二五・六×一八・〇 / 縦帳 袋綴冊子装 焦茶地小葵原表紙 楮紙 / コ〇本 小田氏蔵書之印・林泉文庫 / 途中まで朱書き校正あり / 無

1716-03 新井白石「古史通卷之二」写 / 一冊(三五丁) / (明治三五年頃) / 二五・七×一八・一 / 縦帳 袋綴冊子装 焦茶地小葵原表紙 楮紙 / 小田氏蔵書之印・林泉文庫 / 無

1716-04 新井白石「古史通卷之三」写 / 一冊(四五丁) / (明治三五年頃) / 二五・六×一八・一 / 縦帳 袋綴冊子装 焦茶地小葵原表紙 楮紙 / 小田氏蔵書之印・林泉文庫 / 無

1716-05 新井白石「古史通卷之四」写 / 一冊(五〇丁) / (明治三五年頃) / 二五・七×一八・一 / 縦帳 袋綴冊子装 焦茶地小葵原表紙 楮紙 / 小田氏蔵書之印・林泉文庫 / 末尾に「壬寅十一月十二日披閱畢 謙」、「乙卯三月旬八夜再読畢 謙」の朱書きあり / 無

伊佐早謙関係―筆写史料―江戸中後期

0418 「片山系譜 蘭室行状 完」(0418-01、02の表紙) / 一冊 / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一五・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地後補表紙 / カラ〇本 / 4 18-01、02合綴 / 049

0418-01 「片山系譜」写(米沢藩儒者片山家の明和年間までの家譜、原本成立は文政一一年二月) / 一冊(三四丁) / 明治三二年五月 / 二三・七×一五・四 / 縦帳

袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／418—01—02合綴／表紙に「国史系譜 一 写本」の貼紙、末尾に「片山家譜以原本校之 明治三十二年五月初午 謙」の朱書きあり／049

0418—02 滋野則親筆「蘭室神保先生行状」写（神保蘭室の事績）／一冊（一五丁）／明治二年九月／二三・七×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／滋野則親／418—01—02合綴／作成者は立岩則親カ／049

0737—01 伊佐早謙「困勉録 荻戸善政請救書簡」（錢八八貫文余不足につき、越後の渡辺嘉六へ救金請願）／一冊（三一丁）／昭和二年嘉平月（二月）旬九／二四・七×一七・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／樞軒老生謙／コ〇本／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、末尾に中条町渡辺庄助所持の軸物を書写した旨の伊佐早謙の跋文あり／117

0737—02 伊佐早謙「困勉録 紀先生国字讀」（片山紀兵衛他宛の細井平洲書状九通を書写）／一冊（一七丁）／昭和二年一〇月念三／二五・一×一七・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／樞軒老人謙／「上杉氏編纂所」の原稿用紙使用、末尾に中山小太郎の所持品を書写した旨の伊佐早謙の跋文あり／117

0997—01 「先勤前論 上」（五十騎組と御馬廻組の上覧鉄砲の先勤争一件関連資料を集成）／一冊（二五丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／セ〇本 林泉文庫／160

0997—02 「先勤後論 中」（五十騎組と御馬廻組の先勤争一件、元御馬廻組宰配頭飯田家所蔵記録の写）／一冊（四六丁）／明治二七年／二三・五×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／セ〇本 林泉文庫／明治二七年二月二日付の編纂掛の序文あり／160

0997—03 「先勤後論 下」（五十騎組と御馬廻組の先勤争一件の関連資料を集成）／一冊（三三丁）／近代（年月日未詳）／二三・五×一五・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／挟込文書あり／160

0997—03—01 戯文（七五調で先勤争一件を風刺）／一通（二紙）／江戸中期（年月日未詳）／一四・五×三・七・三／切紙 楮紙／明和七年正月元日：其心ハ跡はかりかいたひ／997—03に挟込／160

1651 「二先生評論 赤穂四十六士論 全」写（赤穂浪士に関する評論四種、太宰純「赤穂四十六士論」、五井純禎「駁太宰純赤穂四十六士論」他）／一冊（二〇丁）／大正己未（大正八年）一月二八日／二三・七×一六・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／ア〇本 羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙・林泉文庫・□□堂蔵／本文中に「大

正己未一月念八以他本校了 読史堂主人謙」の朱書き、裏表紙見返しに「由迪蔵」の墨書あり、筆写は伊佐早謙カ／230

伊佐早謙関係—筆写史料—幕末維新时期

0628—01 「新発田藩戊辰紀事 地」写（慶応三年一〇月一五日／明治元年一〇月二七日）／一冊（五一丁）／明治二九年八月／二三・二×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地函朶に花角模様後補表紙 楮紙／二〇本 林泉文庫／縦罫線紙使用、本文末に「明治二九年八月新発田ニ於テ謄写セシム 謙」の朱書きあり、後補表紙の題箋は「日記 江戸之部」、ラベルの下に「一七六一」と推定される別ラベルあり／100

0628—02 「新発田藩戊辰紀事 天」写（慶応三年一〇月一日／明治元年八月九日、新発田藩の京都での動向）／一冊（三五丁）／近代（年月日未詳）／二三・三×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地函朶に花角模様後補表紙 楮紙／一七六ノ2 林泉文庫／罫紙使用、小口に「新発田藩戊辰書上 上」とあり、後補表紙の題箋は「日記 京都之部」／100

1273 「越後御出勢日記」写（色部家中石山源内の日記、他に森長義手続書、新庄方面戊辰雜記写）／一冊（九一丁）／近代（年月日未詳）／二四・二×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／エ〇本 林泉文庫／越後御出勢日記は「上杉氏編纂所」、戊辰雜記は「東村山郡史編纂原稿用紙」使用、森の手続書は明治初期の控カ／170

伊佐早謙関係—曆

1483—01 「読史堂存曆 二」（宝永二年乙酉の曆）／一冊（四丁）／宝永元年／二六・八×九・一／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田箕曲作大夫／林泉文庫／木版／210

1483—02 「読史堂存曆 三」（正徳三年癸巳の曆）／一冊（四丁）／正徳二年／二六・七×九・二／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田箕曲作大夫／林泉文庫／木版／210

1483—03 「読史堂存曆 四」（享保一七年壬子の曆）／一冊（六丁）／享保一六年／二八・九×一〇・一／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡

山田箕曲作大夫／林泉文庫／木版／210

1483-104 『読史堂存曆 五』(元文二年丁己の曆)／一冊(五丁)／元文元年／二九・二×一〇・〇／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田箕曲主水甚大夫／林泉文庫／木版／210

1483-105 『読史堂存曆 六』(寛保二年壬戌の曆)／一冊(五丁)／寛保元年／二九・四×一〇・一／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田野呂吉大夫／林泉文庫／木版／210

1483-106 『読史堂存曆 七』(延享二年乙丑の曆)／一冊(四丁)／延享元年／二九・五×九・九／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田野呂吉大夫／林泉文庫／木版／210

1483-107 『読史堂存曆 八』(寛延二年己巳の曆)／一冊(五丁)／(寛延元年)／二九・九×九・八／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田保利田山城／林泉文庫／木版／210

1483-108 『読史堂存曆 九』(宝暦五年乙亥の曆)／一冊(五丁)／宝暦四年／二八・六×九・五／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田中村織部／林泉文庫／木版／210

1483-109 『読史堂存曆 十』(宝暦一〇年庚辰の曆)／一冊(四丁)／宝暦九年／三〇・〇×一〇・二／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田箕曲主膳／林泉文庫／木版／210

1483-110 『読史堂存曆 十一』(明和四年丁亥の曆)／一冊(五丁)／明和三年／二九・七×一〇・〇／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田保利田山城／林泉文庫／木版、表紙裏に説明書きあり／210

1483-111 『読史堂存曆 十二』(安永三年甲午の曆)／一冊(五丁)／安永二年／二九・五×九・八／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-112 『読史堂存曆 十三』(天明三年癸卯の曆)／一冊(五丁)／天明二年／三〇・二×九・八／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-113 『読史堂存曆 十四』(寛政一一年巳未の曆)／一冊(五丁)／寛政一〇年／二九・〇×一〇・九／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会

郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-114 『読史堂存曆 十五』(享和三年癸亥の曆)／一冊(五丁)／享和二年／二九・三×一〇・〇／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-115 『読史堂存曆 十六』(文化二年乙丑の曆)／一冊(五丁)／文化元年／二九・五×一〇・〇／折帳 紺疋繫ぎ地に牡丹唐草後補表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-116 『読史堂存曆 十七』(文政五年壬午の曆)／一冊(五丁)／文政四年／二九・五×一〇・〇／折帳 紺疋繫ぎ地に菊原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-117 『読史堂存曆 十八』(天保四年癸巳の曆)／一冊(五丁)／天保三年／二九・八×一〇・四／折帳 紺地牡丹唐草原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版、表裏表紙裏に化粧紙／210

1483-118 『読史堂存曆 十九』(天保五年甲午の曆)／一冊(五丁)／天保四年／二九・六×一〇・二／折帳 紺地牡丹唐草原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-119 『読史堂存曆 二十』(弘化四年丁未の曆)／一冊(四丁)／弘化三年／二九・五×一〇・二／折帳 紺地牡丹唐草原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／裏打あり／木版、表紙剥れ／210

1483-120 『読史堂存曆 二十一』(嘉永六年癸丑の曆)／一冊(五丁)／嘉永五年／二九・五×一〇・〇／折帳 紺地牡丹唐草原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-121 『読史堂存曆 二十二』(安政四年丁巳の曆)／一冊(五丁)／安政三年／二九・二×一〇・二／折帳 紺地原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田箕曲主水／木版、表紙補修あり／210

1483-122 『読史堂存曆 二十三』(安政四年丁巳の曆)／一冊(六丁)／安政三年／二九・六×一〇・八／折帳 紺地菊葉原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483-123 『読史堂存曆 二十四』(万延二年辛酉の曆)／一冊(五丁)／万延元年／二九・五×一〇・二／折帳 紺地菊葉原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛

／林泉文庫／木版／210

1483―24 『説史堂存曆 二十五』(文久三年癸亥の曆)／一冊(四丁)／文久二年／二九・五×一〇・二／折帳 紺地菊葉原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版、九月一〇月分曆欠落／210

1483―25 『説史堂存曆 二十六』(文久四年甲子の曆)／一冊(四丁)／文久三年／二九・五×一〇・〇／折帳 紺地菊葉原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483―26 『説史堂存曆 二十七』(元治二年乙丑の曆)／一冊(四丁)／元治元年／二九・五×一〇・六／折帳 紺地菊葉原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版／210

1483―27 『説史堂存曆 二十八』(慶応四年戊辰の曆)／一冊(四丁)／慶応三年／二九・四×一〇・八／折帳 紺地菊葉原表紙 楮紙／伊勢度会郡山田山口右兵衛／林泉文庫／木版、表紙変色／210

典籍—上杉家—軍記

- 1043 源忠韶「永享記 上杉憲実記」写（永享の乱前後の情勢をまとめた軍記）／一冊（七五丁）／明治一四年二月一日／二三・二×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／源忠韶／ウ〇本 林泉文庫／題箋墨書「永享記 上杉憲実記」、表紙に墨書「国史 一 写本」の貼紙あり／164
- 0905-01 「上杉軍記 五 六」写（主に上杉景勝の事績を中心とした軍記物、大坂夏の陣の事及び上杉家中永井氏の事績）／一冊（五〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・二×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／ウ本 林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 七」の貼紙あり、九冊のみで一〇四欠、0905はいずれも表紙及び裏表紙の見返し等に「南町金子治郎右衛門主」とあり／137
- 0905-02 「上杉軍記 七 八」写（上杉家中夏目氏歴代の事績）／一冊（六五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・〇×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 二」の貼紙あり／137
- 0905-03 「上杉軍記 九 十」写（上杉景勝の事績、天正年間中期）／一冊（六四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 三」の貼紙あり／137
- 0905-04 「上杉軍記 十一 十二」写（上杉景勝の事績、天正一〇年代初期）／一冊（七四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 縹地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 四」の貼紙あり／137
- 0905-05 「上杉軍記 十三 十四」写（上杉景勝の事績、天正一〇年代前期）／一冊（七四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 五」の貼紙あり／137
- 0905-06 「上杉軍記 十五 十六」写（上杉景勝の事績、天正一〇年代前期）／一冊（七二丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 六」の貼紙あり／137
- 0905-07 「上杉軍記 十七 十八」写（上杉景勝の事績、天正一〇年代中期）／一冊（七四丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 七」の貼紙あり／137
- 0905-08 「上杉軍記 卷第十九 廿」写（上杉景勝の事績、天正一〇年代末、文禄年間、慶長年間初期）／一冊（六六丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 八」の貼紙あり／137
- 0905-09 「上杉軍記 廿一 廿二」写（上杉景勝の事績、慶長五年）／一冊（六八丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・縹地後補表紙 楮紙／林泉文庫・金□・□右衛門／表紙に墨書「五十七号十二冊 九」の貼紙あり／137
- 1095-01 『越後軍記 序』（上杉謙信の生涯をまとめた軍記、序文、家系図、総目録他）／一冊（三一丁）／元禄一五年八月良辰／二七・一×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-02 『越後軍記 二』（景虎廻国修行他）／一冊（二〇丁）／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-03 『越後軍記 三』（景虎頸実験の法式を問う事他）／一冊（三三丁）／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-04 『越後軍記 四』（景虎甲州発向軍令の事他）／一冊（三二丁）／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-05 『越後軍記 五』（景虎河田豊前守を越中へ差遣事他）／一冊（二〇丁）／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168

典籍—上杉家—伝記

- 1095-06 『越後軍記 六』(長尾政景陰謀 附溺死の事他)／一冊(二〇丁)／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-07 『越後軍記 七』(相州小田原攻、謙信上洛の事他)／一冊(二〇丁)／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-08 『越後軍記 八』(川中島並軍法決断の事他)／一冊(二四丁)／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-09 『越後軍記 九』(謙信松山へ後詰他)／一冊(二三丁)／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-10 『越後軍記 十』(宇佐神駿河守病死の事他)／一冊(二〇丁)／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・五／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-11 『越後軍記 十一』(謙信北条氏康と和睦相調事他)／一冊(二〇丁)／元禄一五年八月良辰／二七・三×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1095-12 『越後軍記 十二 大尾』(参州岡崎の城主より使者到来の事他)／一冊(二七丁)／元禄一五年八月良辰／二七・二×一八・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／版元 大坂 野村長兵衛・京都 野村善兵衛／林泉文庫／1095-01-12たとう入／木版／168
- 1700 「関原軍記大成抄録」(豊臣秀吉の事跡と「関原軍記大成」のうち上杉勢の山形攻め部分)／一冊(三三丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地疋繫ぎ模様後補表紙 楮紙／図書第二四号 林泉文庫／表紙に「国史雑史一 写本」の貼紙あり／無
- 0036 『史籍集覧 上杉家譜 全』(上杉憲実から上杉憲房までの歴代の事跡、上杉略譜)／一冊(五六丁)／明治一七年三月／一八・四×二二・四／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／ウ本／活版、内表紙は木版カ、著者は「故人 無名人」、出版人は近藤瓶城／003
- 1062 「平姓白井長尾之記録」写(白井長尾家の大永年間までの事跡)／一冊(四五丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 紫地七宝繫ぎ原表紙 楮紙／ナ本／表紙に「国史雑史一 写本」の貼紙あり／166
- 1092 「信越雜記 全」写(村上氏・上条氏等の系譜や上杉氏重臣の伝記他)／一冊(二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・二×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 紙原表紙・紫地七宝繫ぎ模様後補表紙 楮紙／乙第四七号古文書図書経巻佛像□ 信越雜記一冊倉庫階下□段第欄□書箱上杉伯爵家蔵書・林泉文庫／表紙に「国史雑史一 写本」の貼紙あり／168
- 1754 「日本伝聞書」写(諸芸、軍事他に関する上杉謙信著述と称するもの)／一冊(九二丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一七・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／二〇本 林泉文庫／原本は永禄三年上洛時に後陽成天皇・正親町天皇の天覽に供したと称するもの、墨付八三丁、頁の中に挟込一点あり／無
- 1031 荏戸善政「好古堂隨筆 弟子則」写(荏戸政以宛 荏戸善政書状、弟子や教師の心得)／一冊(二三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 黒地墨流し紋原表紙 楮紙／カ〇本 安田蔵書／墨付一一丁／163
- 1032 荏戸善政「好古堂隨筆」写(「寡婦利」、藩内外の主将軍や大名に関する逸話集)／一冊(六〇丁)／天保二年四月／二三・三×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／カ本 林泉文庫／163
- 1033 楡井忠栄筆 荏戸善政「好古堂隨筆」写(「寡婦利」、藩内外の逸話集、1032と類似)／一冊(五七丁)／嘉永三年九月／二三・四×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地草花紋後補表紙 楮紙／楡井忠栄書之カ〇本 伊佐早蔵本／163

1034 荻戸善政「好古堂隨筆」写（今はむかし）、年寄や父母から聞いた家造、履物等に関する風俗）／一冊（一三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二八・四×一八・三／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／カ本 本間／題箋一部欠損、本間平次による書写カ／163

1035 柿崎筆 荻戸善政「寡婦利」写（藩内外の逸話集、1032と類似）／一冊（四六丁）／天保四年一月／二四・二×一七・二／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地唐草紋後補表紙 楮紙／柿崎氏／ク本・一八九／巻末に「于時天保四癸巳年正月申於東都写之 柿崎氏」と記載、柿崎家範による書写カ／163

1437-01 荻戸善政「三重年表 上」（享禄三年一月〜正保元年二月）／一冊（六九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二六・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／荻戸九郎兵衛善政／サ〇本 御記録所／天明二年五月付の序文あり、胸郭・魚尾がある木版刷りの専用用紙を使用／178

1437-02 荻戸善政「三重年表 中」（正保二年一月〜延享二年一月）／一冊（八五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二六・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／荻戸九郎兵衛善政／サ〇本 御記録所／「サ〇本」ラベルの下に別のラベルあり／178

1437-03 荻戸善政「三重年表 下」（延享三年三月〜文化一一年一〇月）／一冊（一一九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二六・九×一八・三／縦帳 袋綴冊子装 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／荻戸九郎兵衛善政／一一一 御記録所／178

典籍—家臣団—編著書—年表・参考書

1436 笹生相秀「上杉家年表」（享禄三年〜明和三年、上杉氏歴代を月ごとに記載、記事は少ない）／一冊（五三三丁）／江戸中期（年月日未詳）／二五・三×一八・九／縦帳 袋綴冊子装 焦茶地原表紙 斐紙／笹生相秀／ウ〇本・六五 林泉文庫／在国している月は墨文字、京や江戸などに在住している月は朱文字で区別／178

1438-01 探史月表 上（享禄三年〜寛文三年、上杉氏歴代の事績を月ごとに記載）／一冊（八五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二八・八×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／三七／作者は甘粕継成、冒頭に上杉氏に関する日本国図・越後国略絵図、上杉氏・長尾氏略系図を付す、墨付八一丁、一丁目に「元治元年甲子春三月十二日起稿」と墨書あり／178

1438-02 「探史月表 中」（寛文四年〜明和三年、上杉氏歴代の事績を月ごと

の年表風に記載）／一冊（五二二丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・一×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／夕〇本 林泉文庫／挟込二点あり、享保一九年六月〜明和三年は本文無し／178

1438-03 「探史月表 下」（明和四年〜慶応二年、上杉氏歴代の事績を月ごと年表風に記載）／一冊（五五五丁）／江戸後期（年月日未詳）／二九・〇×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／夕本／墨付五三丁／178

1439-01 「藤林年表 四」（上杉綱勝の略年譜、寛永一五年二月二日〜寛文四年六月二日）／一冊（一一〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・六×一八・一／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／ト〇本 林泉文庫／墨付九八丁／178

1439-02 「藤林年表 七」（上杉宗憲の略年譜、正徳四年一月二日〜寛延四年六月二〇日）／一冊（一一五五丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・四×一八・六／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／墨付一一五丁／178

1439-03 「藤林年表 八」（上杉宗房の略年譜、享保三年六月二七日〜延享三年一〇月一四日）／一冊（一三五五丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・四×一八・六／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／ト〇本 林泉文庫／墨付一二六丁／178

1439-04 「藤林年表 十」（上杉鷹山の略年譜、寛延四年七月二〇日〜天明七年一月二五日）／一冊（二〇二丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・四×一八・四／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／墨付一八三丁／178

1439-05 「藤林年表 十一」（上杉治広の略年譜、明和元年七月一日〜文化四年一〇月一九日）／一冊（四八五丁）／江戸後期（年月日未詳）／一四・五×一八・五／横半帳 長帳綴 茶地原表紙 楮紙／墨付四三九丁／178

1601 片桐忠成「大統一覧」（徳川家康から家定に至る歴代将軍、その正室・側室・子女の親族関係や履歴・事跡他の表）／一帖（七紙）／弘化二年三月／一七・四×一一・四／継紙 折本 縹地菊入亀甲・龍模様原表紙 斐紙／羽州米沢片桐忠成謹書（落款）／表裏それぞれ三枚程度の薄い斐紙を貼合せ、落款「片□□□□」あり／225

典籍—家臣団—編著書—文芸他

1037 木滑政徳「豫游紀行」（文政一二年八月一七日〜二五日、下長井郷巡覧に関する漢文体の紀行文）／一冊（二七丁）／文政一三年二月／二五・六×一七・五／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／木滑政徳／日新堂蔵書／木滑は文化二年より旅作事に

勤仕／163

1041-01 河野錦尚綱「佩蘭集 一」写(漢詩集、主に江戸で詠んだものが多く、神保蘭室や樺島石梁に関する作を含む)／一冊(五五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・六×一八・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・灰地後補表紙 楮紙／米沢 河野錦尚綱著／ハ〇本 伊佐早兼古書之宝・林泉文庫・伊佐早藏本／題箋に朱字で「先生手書珍本」、表紙に「国史詩集 共一 著者手写」の貼紙あり、冒頭の記述から河野は米沢の人物、河野長吉カ／163

1041-02 河野錦尚綱「佩蘭集 二」写(漢詩集、神保蘭室のハ〇才を祝う作や、文政一年八月の天災を詠んだ作など)／一冊(四一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・六×一八・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・灰地後補表紙 楮紙／米沢 河野錦尚綱著／伊佐早兼古書之宝・林泉文庫・伊佐早藏本／題箋に朱字で「珍本」とあり／163

1051 平安頼 長尾景虎家督篡奪虚説考(米沢藩庫所蔵の古史を参照の上、長尾一族の事跡の混乱を正す)／一冊(三三丁)／文久三年六月／二七・二×一九・六／縦帳 紙綴綴冊子装 茶地巾繫ぎ原表紙 楮紙／平安頼復／五二・フ〇本 林泉文庫／巻末に「文久三年六月平安頼復識未定稿」とあり、安頼については未詳だが仮に家臣団の著作とした／165

1595-01 歌道口伝(歌道における出雲八重垣の神縁と和歌の心構え)／一卷(三紙)／(宝暦年間カ)／一七・七×二四二・四／切継紙 卷子本 表紙無し 雁皮／1595-01-05 風呂敷入／225

1595-02 高津唯恒歌道口伝書(百首のうち人麻呂他の五首、菅原道真他の七首を上手として解説)／一卷(四紙)／宝暦八年／一八・一×三五三・九／切継紙 卷子本 金と緑地市松模様原表紙 雁皮／高津□醉亨縁之 唯恒(花押)／一部剥離／1595-01-05 風呂敷入／225

1595-03 高津唯恒歌道口伝書(和歌の十義)／一卷(六紙)／宝暦十二年／一八・三×四三九・二／切継紙 卷子本 表紙無し 雁皮／高津七郎兵衛唯恒(花押)／1595-01-05 風呂敷入／225

1595-04 高津唯恒歌道口伝書(和歌の四品・六員)／一卷(三紙)／宝暦十二年／一八・四×二五六・三／切継紙 卷子本 金と緑地市松模様原表紙 雁皮／高津七郎兵衛唯恒(花押)／表紙剥離／1595-01-05 風呂敷入／225

1595-05 高津唯恒歌道口伝書(伊勢物語の密説の伝授)／一卷(六紙)／宝暦十三年／一八・一×四五三・三／切継紙 卷子本 金と緑地市松模様原表紙 雁皮／高

津七郎兵衛唯恒(花押)／1595-01-05 風呂敷入／225

1607 山吉盛実筆「長尾記 朝鮮役記」写(桓武天皇と天文一九年の長尾家由緒書と文禄・慶長の役、文禄三年まで)／一冊(六八丁)／嘉永四年／二三・五×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／甲第四九号古文書図書経巻佛佛長尾記朝鮮役記倉庫階下善書御記録所・上杉伯爵家蔵書／墨付六三丁、長尾記は嘉永四年一月一日、朝鮮役記は嘉永四年の筆写、泉崎賢■所持のものを山吉盛実が写し、(寺島)貞経が記録したと記述あり／226

1697 窪田茂遂『三余堂詩抄 三卷合本』(興讓館提学窪田茂遂作の詩文集、原本は天保一四年九月作成)／一冊(三三丁)／明治四年九月二三日／二三・八×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 黄茶地斜刷毛目原表紙 機械漉紙／著作者 故人 窪田茂遂／発行者 小森沢長政、印刷所 東陽堂／無

1701 『張旭法帖』(上杉鷹山の隠居所餐霞館にあった張旭の真跡を、寛政一〇年に小田切盛敏が上梓、さらに小田切盛徳が復刻)／一帖(一五紙)／近代(年月日未詳)／三三・一×二〇・一／縦帳 折本 板表紙 楮紙／板表紙、ラベルは一部のみ残存、鉛筆書き「四三二」 墨書「四」、寛政九年神保行簡と小田切盛敏の跋、明治二年小田切盛徳の跋あり／無

1703 窪田茂遂「從雛余險 単」(文久三年正月の上杉齊憲上洛供奉した際の漢文体の紀行文「西上紀行」と「東還紀程」、元治二年自序)／一冊(八一丁)／元治二年頃／二〇・二×一三・一／縦帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／窪田茂遂／墨付八〇丁、上下二か所に紙綴綴じの跡あり、数名がわけて筆写したものカ／無

1706 松木秀実「玄鑑録 全」(儒学書からの逸話書抜)／一冊(五七丁)／天保七年三月／二九・〇×二二・一／縦帳 袋綴冊子装 黄地原表紙 楮紙／臣松木秀実(朱印)／無

1713 「官遊漫草」(1713-01-10の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二六・〇×一七・六／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙／貴ク〇本／1713-01-10合綴／後補表紙題箋に「官遊漫草 伺暮先生朱点」、原表紙と思われる紙に「朱 伺暮先生□□□」の墨書あり／無

1713-01 小見親純詩集(巴調(寄懷銀台友人)他一〇一首、駿陽遊草(高輪他二三首)、駿中雜志(散文)、駿河從遊記(散文)その他)／一冊(五九丁)／文政八年頃／二五・四×一六・四／縦帳 袋綴冊子装 表紙欠カ 楮紙／小見親純／林泉文庫／1713-01-10合綴／前頁欠カ／無

1713-02 中湘□詩文批評(東国各地の旅先で賦した漢詩に対する批評か、旅の

間に奇事無くべきも勝情の詩文にあふるるは賞玩すべきか云々) / 一冊(二丁) / 天保一四年三月 / 二五・五×一六・七 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 中湘 / 1713-01-10合綴 / 無

1713-03 小見親純「草稿」(「東都三十勝」(「金川台」他三四首) / 一冊(二丁) / 天保一四年秋 / 二五・六×一六・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 小見甚内 / 1713-01-10合綴 / 一頁目の紙の綴の内側に一枚紙が挟込、紫濱劉夫の朱点あり、天保一四年秋、江戸の宮島頼母に遣わす / 無

1713-04 小見親純「瓊林世子詩稿」題辭(上杉顯孝が白銀邸にて詠んだ直筆の詩稿に小見親純が寄せたもの) / 一通(一紙) / 嘉永六年二月 / 二五・六×一六・五 / 豎紙 楮紙 / 臣麻績親純 / 立岩秀隆奉一冊 : 比之甘棠邪 / 1713-01-10合綴 / 一頁目の紙の綴の内側に一枚紙が挟込 / 無

1713-05 「銀台吟社稿」(吟社同人たちの詩集、詩題は「冬夜讀書」「送人遊京」等) / 一冊(一七丁) / 安政二年五月頃 / 二六・二×一七・三 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1713-01-10合綴 / 墨付四四丁、銀台吟社は「公(齊憲カ)」「麻溪老公(勝義カ)」及び神保彦左衛門、若林麟、関龍八他の江戸詰の藩士による詩の結社カ / 無

1713-06 「草稿」(「春雪」はじめ六三余首、江戸藩邸における吟社の詩集カ) / 一冊(二八丁) / 天保二、一四年 / 二六・二×一七・三 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1713-01-10合綴 / 参加者は麻山老公(勝義カ)、若林文瑞、堀内忠竜他、天保二、一三年分は林大学頭、一、三年分は古賀侗庵の添削 / 無

1713-07 「甲辰泊船門南松灣舎草稿」(「題桃源図」他四〇首、江戸藩邸における吟社の詩集カ) / 一冊(二三丁) / 弘化元年 / 二六・二×一七・四 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1713-01-10合綴 / 参加者は公(齊憲カ)、麻山恬養軒老侯(上杉勝義)、若林文瑞、関元静、堀内忠亮 / 無

1713-08 「弘化丙午詩草」(古賀侗庵の課した詩題で門下の米沢藩士たちが賦した詩に、古賀茶溪が批評を加えたもの、「新竹」他四首) / 一冊(三三丁) / 弘化三年 / 二六・二×一七・四 / 豎帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙 / 1713-01-10合綴 / 無

1713-09 「庚子泊船門漫草」(「同僚須田君雅為市尹帰府為贈一言」他一首、未定稿) / 一冊(六丁) / 天保一一年 / 二六・〇×一七・四 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 竹紙カ / 1713-01-10合綴 / 表紙の綴の内側に一枚紙が挟込 / 無

1713-10 小見親純「拙詩」(「歳晚茂松清泉書堂雅集分得白字」他二三首) / 一

冊(二二丁) / 嘉永五年頃カ / 二五・八×一七・五 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 麻績親純肅真 / 1713-01-10合綴 / 墨付一二丁 / 無

1720 志賀宜親「水明楼詩稿」(漢詩集、竹枝歌、文化丁卯客中新年他) / 一冊(二八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二八・七×一八・二 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 青岡 賀宜親 / ス〇本 伊佐早藏本 / 補修あり、表紙に墨書「国史 詩集一 著者手写」の貼紙、題箋に「先生手書 珍本」の朱書き、本文朱書きの校正あり / 無

1728 「桐崖先生遺稿」(遊南山紀、河野長吉未定稿他五種の漢詩文) / 一冊(三〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二五・六×一六・八 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 貴ト〇本 林泉文庫 / 本紙に「文化己巳夏六月」の墨書、裏見返しに「奉請 慈関 拙十六〇 河野長吉拜」の墨書、題箋史料名横に「精宝古賀先生朱批」の墨書あり、七種合綴 / 無

1729 「桐崖先生遺文」(藩内外の人に贈った漢詩文、「外姻譜略序」、意見書他) / 一冊(三九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二三・三×一六・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 重ト〇本 伊佐早之蔵書 / 七種合綴、河野錦、桐崖は長吉の号カ / 無

1734-01 坂蘭溪「蘭溪詩鈔卷之上」写(漢詩集、板谷新道歌、明治十五歲壬午十月遊山形他) / 一冊(三四丁) / 近代(年月日未詳) / 二七・一×一九・六 / 豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / ラ〇本 林泉文庫 / 原本は羽前米沢坂蘭溪著、森長義纂 / 無

1734-02 坂蘭溪「蘭溪詩鈔卷之下」写(漢詩集、訪伊佐早君益林泉亭他) / 一冊(三七丁) / 近代(年月日未詳) / 二六・九×一九・二 / 豎帳 紙綴綴冊子装 原表紙 楮紙 / 七〇二 林泉文庫 / 原本は羽前米沢坂蘭溪著、森長義纂 / 無

1735-01 坂蘭溪「蘭溪詩鈔」(漢詩集、板谷新道歌、訪小田切日新他) / 一冊(一二丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・四×一六・一 / 豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 七〇三 林泉文庫 / 1735-01-03紙綴一括 / 墨付九丁、料紙青の野紙、一部1734-01「蘭溪詩鈔卷之上」写に記載の漢詩文あり / 無

1735-02 坂蘭溪「蘭溪詩鈔 卷之二」(漢詩集、秋懷、赤湯路上他) / 一冊(四〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二二・六×一六・〇 / 豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1735-01-03紙綴一括 / 料紙青の野紙、1734-01に無内容を含む / 無

1735-03 坂蘭溪「蘭溪詩鈔 卷之二」(漢詩集、明治十六年二月二十五日発米沢至板谷駅他) / 一冊(四二丁) / 近代(年月日未詳) / 二・七×一五・七 / 豎帳紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / 林泉文庫 / 1735-01-03紙縫一括 / 料紙青の野紙、1734-02に無い内容を含む / 無

典籍一家臣団一武門要鑑抄関連

1535-01 滋野正相「参考 要門管窺抄 一 国政伝」 / 一冊(七五丁) / 安永二年二月 / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 滋野正相 / 図書第八〇号 / 墨付七三丁、1535は「武門要鑑抄」の記事抄出と注釈、正相の序によれば大河原重方の門人、別に或問を記すとあり、1535-23に相当カ、正相の父は恒広で享保年間の江戸奉行とあり、作者は平林正相(号霞吹)と推定 / 222

1535-02 滋野正相「参考 要門管窺抄 二 将権伝」 / 一冊(七〇丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付六八丁、「秘戒」の解釈に関する挟込一点 / 222

1535-03 滋野正相「参考 要門管窺抄 三 司令伝」 / 一冊(五七丁) / (安永二年) / 三〇・九×二〇・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付五五丁 / 222

1535-04 滋野正相「参考 要門管窺抄 四 卒令伝」 / 一冊(四〇丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付三八丁 / 222

1535-05 滋野正相「参考 要門管窺抄 五 一騎伝」 / 一冊(八一丁) / (安永二年) / 三〇・九×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付七九丁 / 222

1535-06 滋野正相「参考 要門管窺抄 六 武候伝」 / 一冊(四四丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付四二丁 / 222

1535-07 滋野正相「参考 要門管窺抄 七 号令伝」 / 一冊(四四丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付四二丁 / 222

1535-08 滋野正相「参考 要門管窺抄 八 手組伝」 / 一冊(三三丁) / (安

永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付三一丁 / 222

1535-09 滋野正相「参考 要門管窺抄 九 内試伝」 / 一冊(四二丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付三九丁 / 222

1535-10 滋野正相「参考 要門管窺抄 十 備押伝」 / 一冊(二二丁) / (安永二年) / 三一・一×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付一九丁 / 222

1535-11 滋野正相「参考 要門管窺抄 十一 陣取伝」 / 一冊(三四丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付三二丁 / 222

1535-12 滋野正相「参考 要門管窺抄 十二 城取伝」 / 一冊(四二丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付四〇丁 / 222

1535-13 滋野正相「参考 要門管窺抄 十三 備立伝」 / 一冊(二五丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付三二丁 / 222

1535-14 滋野正相「参考 要門管窺抄 十四 手配伝」 / 一冊(二六丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付二四丁 / 222

1535-15 滋野正相「参考 要門管窺抄 十五 備捌伝」 / 一冊(三六丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付三四丁 / 222

1535-16 滋野正相「参考 要門管窺抄 十六 防戦伝」 / 一冊(四四丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付四二丁 / 222

1535-17 滋野正相「参考 要門管窺抄 十七 船軍伝」 / 一冊(三〇丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付二八丁 / 222

1535-18 滋野正相「参考 要門管窺抄 十八 夜軍伝」 / 一冊(二九丁) / (安

永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付二七丁 / 222

1535-19 滋野正相「参考 要門管窺抄 十九 地戦伝」 / 一冊(二八丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付二六丁 / 222

1535-20 滋野正相「参考 要門管窺抄 二十 軍旅伝」 / 一冊(三二丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付三〇丁 / 222

1535-21 滋野正相「参考 要門管窺抄 二十一 穿鑿伝」 / 一冊(三〇丁) / (安永二年) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 墨付二八丁 / 222

1535-22 滋野正相「参考 要門管窺抄 二十二 安全伝」 / 一冊(三五丁) / 安永二年四月 / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 要門九代之末学滋野正相欽誌 / 墨付三三丁、跋文あり / 222

1535-23 滋野正相「要門管窺抄或問 完」(武門要鑑抄)の概略と「要門管窺抄」の作成背景、異本他) / 一冊(三八丁) / 安永二年三月 / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 七十童滋野正相欽記 / 墨付三六丁 / 222

1536 「要鑑 単的一巻之書私抄」(武門要鑑抄)に関する大河原家秘伝の書を上杉綱憲に献上、上杉勝延所蔵の原本を書写し、注釈を付す) / 一冊(二九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1536-1542は一連、序あり / 223

1537 「要鑑 印可之巻私抄」(因結之采幣)、「運紐上帯忍之緒」他四か条の解説) / 一冊(三〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1536-1542は一連 / 223

1538 「要鑑 実検伝授之巻私抄」(武門要鑑抄)のうち首実検、首察関係の注釈) / 一冊(二三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1536-1542は一連 / 223

1539 「要鑑 免簡之巻私抄」(武門要鑑抄)のうち小返のこと他二三か条の注釈、御武具召初に関する私見) / 一冊(五六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1536-1542は一連、押前行列・首実検、陣小屋庵敷の図他八図は別に記載とあり / 223

1540 「要鑑 車懸口決私抄」(車懸の注釈) / 一冊(一六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三〇・九×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1536-1542は一連 / 223

1541 「要鑑 押前行列」(武門要鑑抄)のうち旗本押前、五十騎押前の行列書二種) / 一冊(二九丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1536-1542は一連 / 223

1542 「要鑑 武禱之式私抄」(武門要鑑抄)のうち武禱式の凶入り注釈) / 一冊(三三丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三一・〇×二〇・三 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1536-1542は一連 / 223

1543 滋野正相「管窺抄或問 全」写(武門要鑑抄)の概略と「要門管窺抄」の作成背景、異本他、1535-23と同内容) / 一冊(二六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二四・二×一六・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 七十童滋野正相欽記 / 1543-1545は一連 / 223

1544-01 「免簡私抄 上」写(1539と同内容、「武門要鑑抄」のうち小返のこと他二三か条の注釈) / 一冊(四〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二四・三×一六・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1543-1545は一連 / 223

1544-02 「免簡私抄 下」写(1541と同内容、「武門要鑑抄」のうち旗本押前、五十騎押前の行列書二種) / 一冊(四六丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二四・三×一六・八 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1543-1545は一連 / 223

1545 「単的私抄 単」写(1536と同内容、「武門要鑑抄」に関する大河原家秘伝の書を上杉綱憲に献上、勝延所蔵の原本を書写し、注釈を付す) / 一冊(二二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二四・三×一六・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 1543-1545は一連 / 223

1550 「印可私抄 完」(1537、1540他と同内容、「武門要鑑抄」のうち「因結之采幣」他) / 一冊(四二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二四・二×一六・七 / 豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙 / 223

典籍一家臣団一伝記

1025 矢尾板三印「瓢翁居士伝」(平姓の武士、瓢翁の人となり)／一卷(三紙)／貞享元年六月／二八・四×二六七・六／切継紙 紺地市松に丸文散し後補元紙 雁皮／羽峯後学拙齋撰書／居士姓平家世士族：終南捷徑々徒乎／へ本・七〇門一三〇号全伊佐早謙／矢尾板拙谷は米沢藩の儒医、矢尾板三印、袖印谷拙齋、落款拙谷之印／163

1028-01 「名臣録 乾」(上杉鷹山治世の家臣、竹俣当綱、荏戸善政他二名の事跡)／一冊(五一丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 紫地花紋二重亀甲繋ぎ後補表紙 楮紙／メ〇本 小黒蔵書・林泉文庫／1029「本藩中興名臣録」と同内容／163

1028-02 「名臣録 坤」(藁科松柏、高津唯恒他八名の事跡)／一冊(五五丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・七／豎帳 袋綴冊子装 紫地花紋二重亀甲繋ぎ後補表紙 楮紙／小黒蔵書・けさ・林泉文庫／墨付五三丁、1029「本藩中興名臣録」と同内容／163

1029-01 甘粕継成撰「本藩中興名臣録 一」写(竹俣当綱の事跡)／一冊(四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／ホ〇本 土肥蔵書・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／巻二、四欠本、龍口蔵書の墨書を二重線で消す／163

1029-02 甘粕継成撰「本藩中興名臣録 三」写(荏戸善政の事跡)／一冊(四〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／ホ〇本 土肥蔵書／龍口蔵書の墨書を二重線で消す／163

1029-03 甘粕継成撰「本藩中興名臣録 五」写(上杉鷹山治世の家臣、佐藤文四郎他八名の事跡)／一冊(五一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一六・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目後補表紙 楮紙／土肥蔵書・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／龍口蔵書の墨書を二重線で消す／163

典籍一家臣団一資料集

1103 「加治遠江守拾書 全」写(上杉領における支城の城主や近世初期の役職名簿他)／一冊(六六丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地七宝繋ぎ模様後補表紙 楮紙／図書第二六号 林泉文庫／表紙に「国史雑史 一 写本」貼紙あり／169

1498-01 「長尾古翰 乾」(元禄八年〜天明七年、長尾家先祖につき双林寺と同家との往復書状写他)／一冊(五一丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫七宝繋ぎ模様後補表紙 紺網目模様後補裏表紙 楮紙／乙第一一四号古文書図書経巻佛像佛■長尾古翰上下二冊ノ内上倉庫階下書籍一号■欄／江戸後期に成立したものを近代に書写カ／219

1498-02 「長尾古翰 坤」(元禄八年〜享和三年、一部明治二年、長尾家先祖につき双林寺・空恵寺と同家との往復書状写他)／一冊(四九丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 紫七宝繋ぎ模様後補表紙・共紙原表紙 紺網目模様後補裏表紙 楮紙／乙第一一四号古文書図書経巻佛像佛■長尾古翰上下二冊ノ内下倉庫階下書籍一号■欄／江戸後期に成立したものを近代に書写カ／219

1500 「諸薬方書 直江城州手抄」(様々な薬の製法と用法)／一冊(五五丁)／江戸前期(年月日未詳)／二三・七×一七・五／冊 列帖装 共紙原表紙 楮紙／貴シ〇本 伊佐早兼古書之宝／題箋に朱印あり、一部異筆、墨付五〇丁／219

1001 島倉泰通筆「没収録」写(慶長五年一〇月五日〜天明八年に改易や減封になった大名の記録)／一冊(四九丁)／(文久元年)／二三・五×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／図書第九号 御記録所／島倉泰通は米沢藩士御馬廻組、末尾に多功尚蔵が文久元年に島倉に書写させた旨の寺島貞経の識語あり／160

典籍一家臣団一系図

0906-01 「諸士系図」(加治氏、甘粕氏、樋口氏、洪谷氏、相浦氏、猿橋氏、井上氏の系譜関係資料)／一冊(五七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／シ〇本 林泉文庫／一部に江戸中期のものを含む、複数の史料を合綴し後補表紙を付す／138

0906-02 「諸士系図」(平田氏、杉原氏、猪苗代衆の系譜関係資料)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／シ本 林泉文庫／複数の史料を合綴し後補表紙を付す／138

0907 「諸士系図 附一 全」(0907-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／九・二×一七・八／横帳 長帳綴 茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／シ〇本／0907-01〜02合綴／138

0907-01 系図(清野、芋川、児玉、本庄の略系図)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／七・五×一七・八／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0907-1

0102合綴／138

0907-02 諸士略系図(松木他三二家の略系図)／一冊(三六丁)／江戸後期(年月日未詳)／九・二×一七・八／横帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0907-10102合綴／138

0908 「青木系図」(利仁流藤原氏に属する米沢藩士青木家の文政年間までの系図)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×一九・〇／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／ア〇本／138

0909 長尾景孝筆「宇佐美系譜」写(上杉氏家臣宇佐美氏の系譜、大坂の陣で豊臣方についた勝興まで)／一冊(五九丁)／明治三〇年四月／二三・二×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地七宝繫模様後補表紙 楮紙／長尾景孝／ウ〇本／表紙に墨書「国史系譜一写本」の貼紙、伊佐早の朱書きあり／138

0910-01 宇野西生寺系図写(上杉氏家臣宇野景実(閑齋)が信夫郡福島に建立し慶長一五年米沢に移転した西生寺の由緒、原本は享保元年八月承運律師筆)／一冊(四丁)／弘化三年二月／一五・〇×三七・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／西生寺↓寺社御奉行所/夫西生寺者:宇野家ヲ相続スト云々/ウ〇本/0910-0105合綴/柱題「宇野西生寺系図之写」／138

0910-02 徳間家系図(米沢藩士徳間家、延享三年生まれの宣就まで)／一冊(一三丁)／嘉永七年二月／一五・〇×三六・七／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0910-0105合綴/安永七年の徳間安喜の序文あり、柱題「家譜之序」、系図は嘉永七年二月に書写、裏表紙は嘉永七年二月一日付登坂吉摩宛 佐藤敬作達書の紙背を転用／138

0910-03 湯野川善造勤書(天明二年〜文政二年の奉公記録)／一冊(七丁)／文政二年二月／一五・五×三八・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／湯野川善造／一式百石 湯野川善造:兼帯被仰付相勤申候／0910-0105合綴/柱題「勤書」／138

0910-04 福王寺彦八「先祖掃部之介由緒書」(米沢藩士福王寺家の祖長重(応永二年没)から景重(慶長一五年没)の子息までの系図)／一冊(五丁)／寛政七年九月一七日／一五・五×三六・八／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／福王寺彦八／0910-0105合綴／138

0910-05 佐藤鴨左衛門由緒書(伊達領の時代より板谷に在住し二人半扶持を与えられている佐藤鴨左衛門家の由緒)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×三七・七／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0910-0105合綴／138

0911 「内田氏代々之家譜」写(内田氏は武田氏旧臣で米沢藩士となる、天明三年まで)／一冊(四四丁)／近代(年月日未詳)／二三・〇×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地七宝繫模様後補表紙 楮紙／ウ〇本／表紙に墨書「国史系譜一写本」の貼紙あり／138

0912 色部隆長「平姓牛屋氏家系」(色部氏から鎌倉時代後期に分かれた米沢藩士牛屋氏の系図、寛政年間まで)／一卷(七紙)／江戸後期(年月日未詳)／一五・七×二一〇・九／切継紙 楮紙／端裏書「牛屋家系草案 平隆長誌」／ウ〇本／柱題「平姓牛屋氏家系」、本家の色部隆長から宝暦三年三月に与えられた系図の写しに寛政年間までの記事を書継ぐ／138

0913-01 色部隆長・色部至長「庶子色部氏家系」(色部憲長次男長継から始まる色部氏庶子家の系図)／一卷(九紙)／寛政一二年六月／二二・三×三〇八・五／切継紙 楮紙／平隆長(朱印)・平至長(朱印)／平憲長:令書写与之者也/カ〇本/0913-0102貼継/、宝暦三年に色部隆長が記し、寛永一二年に色部至長が書継ぐ、紙の継目裏に色部隆長と色部至長の朱印あり、柱題「庶子色部氏家系 本名崑山」／138

0913-02 色部至長「庶子色部家系」(色部安長三男長徳から始まる色部氏庶子家の系図)／一卷(二紙)／寛政一二年六月／一六・一×八二・三／切継紙 楮紙／平至長/平安長 又四郎:依無美子相続/端裏書「庶子色部家系草案 平至長誌」／0913-0102貼継/柱題「庶子色部家系」／138

0914 「片桐家譜 地」(清和源氏の末流で信濃国伊那郡片桐を苗字の地とする米沢藩士片桐家の家譜、明治時代中期までの記事あり)／一冊(一一二丁)／近代(年月日未詳)／二六・八×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙/カ本/冒頭に家紋、各種の旗、伝来の宝物、墓所等詳細な絵図あり、一部補修あり／138

0915 清野氏系図(米沢藩士清野氏の嫡流及び庶流の系図、他に香坂氏、平林氏、春日氏の系図含む)／一冊(三四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×一九・四／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙/キ〇本/清野氏一九丁、平林氏墨付三丁、春日氏八丁、春日系図の作成年代は天保一五年五月で筆写は春日半五郎／138

0916 「源姓嶋津氏系図 全一写」(清和天皇から米沢藩士侍組嶋津行忠まで)／一冊(三〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・八×一九・五／横半帳 長帳綴 縹地原表紙 楮紙/ケ〇本 林泉文庫/表紙に「国史系譜 一写本」の貼紙あり、挟込二点あり、墨付二七丁／138

0917 源姓清野氏系譜(信州清野城主康祐から米沢藩士侍組嫡流清野邦秀まで)／一冊(六八丁)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・八×二〇・二／縦帳 紙綴綴冊子装

共紙原表紙 楮紙／ケ○本／源姓清野氏系図と書かれた紙一枚付属、最終丁に明治生まれの清野氏の記述を書継ぐ／138

0918 「源姓清野氏系図」(清和天皇から米沢藩士侍組嫡流清野秀祐の早世した治祐まで)／一冊(八丁)／江戸中期(年月日未詳)／三一・八×二一・〇／折帳 共紙原表紙 楮紙／一六折、へら跡あり／138

0919 「西條 夜交 江口 安部系図」写(米沢藩士侍組、西条家・夜交家、五十騎組江口家、津軽氏系図)／一冊(八五丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地後補表紙 楮紙／サ○本／表紙に墨書「国史系譜 一 写本」の貼紙あり、安部氏系図の内容は津軽氏系図になっている、江口系図は伊佐早謙による写し／138

0920 笹生氏系図(米沢藩士与板組、藤原秀郷から実秀まで)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×一八・八／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／サ○本／墨付九丁、原稿カ／138

0921 「山本寺・飛田・三段崎三家系図 完」(米沢藩高家山本寺家説、米沢藩五十騎組平姓飛田氏系図俊乗まで、米沢藩士与板組三段崎系図景敬まで、掃部頭鮎川君之碑文)／一冊(四七丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 紫地七宝模様後補表紙 楮紙／サ○本／表紙に墨書「国史系譜 一 写本」と貼紙あり／138

0922-01 「信州諸家系 七冊」(0922-01-01-29の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・五／横半帳 長帳綴 素紙原表紙／ヤ○／0922-01-01-29合綴／表紙に「山吉 山田 丸山 松本 篠井 計見 舟橋 福王寺 福崎 降旗 小森沢 寺島 山田」の墨書あり、ラベル一部剥がれ／138

0922-01-01 山田氏系図(米沢藩士馬廻組、信州系、平姓山田氏系図、忠通から上杉定勝小姓の満照まで)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／墨付六丁／138

0922-01-02 山田氏系図(米沢藩士五十騎組、信州系、長尾房景に仕えた宗元から明和二年死去の元柄まで)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／墨付二丁／138

0922-01-03 丸山氏系図(米沢藩士五十騎組、信州系、嵯峨天皇から弘化四

年死去の俊明まで)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×一八・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／墨付五丁／138

0922-01-04 松本氏系図(米沢藩士与板組、信州系、藤原房前から文化二年家督の高政まで)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一七・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／138

0922-01-05 篠井氏系図(米沢藩士与板組、信州系、直江景綱弟正信から上杉鷹山の奥御用人信美まで)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一七・七／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／墨付二丁／138

0922-01-06 計見氏系図(米沢藩士、信州系、海野幸昌から文化二年家督の補精まで)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×一八・七／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／138

0922-01-07 舟橋氏系図(米沢藩士馬廻組、信州系、天武天皇から安政五年死去の栄次家親まで)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一七・七／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／138

0922-01-08 福王寺氏系図(米沢藩士五十騎組、信州系、宇多天皇から明和五年死去の繁祐まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・三／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-01-01-29合綴／138

0922-01-09 福崎氏系図(米沢藩士五十騎組、信州系、足利義国から秀邦まで、庶流正秀については不詳)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×一八・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／墨付四丁／138

0922-01-10 降旗氏系図(米沢藩士与板組、信州系、滋野姓降旗氏系図、清和天皇から天保一四年相統の源次郎忠起まで)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×一八・三／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／墨付五丁／138

0922-01-11 小森沢氏系図(米沢藩士馬廻組、信州系、重継から宝暦四年死去の正倫まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・二／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-01-01-29合綴／墨付三丁／138

0922-011-12 寺島氏系図(米沢藩士、信州系、藤原秀郷から文化一三年家督の意政まで)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・二×一八・五／横半帳
長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-011-011、29合綴／138

0922-011-13 寺島氏系図(米沢藩士、信州系、橘姓寺島氏系図、橘諸兄から胤奥まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・二×一八・五／横半帳
長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-011-011、29合綴／138

0922-011-14 須田氏系図(米沢藩士侍組、信州系、源頼信から嘉永六年死去の義迢まで)／一冊(二三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一八・五／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／表紙墨書「須田井上 島田 岩井 岩井 甘粕 大室 保科 仁科」／138

0922-011-15 井上氏系図(米沢藩士侍組及び庶流の井上氏系図、信州系、頼季から満耀・光成まで)／一冊(八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×一八・一／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／原表紙の表題は「井上島田藤卷系図」／138

0922-011-16 島田氏系図(米沢藩士侍組、信州系、天文八年死去の信満から幕末期の信賢まで)／一冊(九丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×一七・五／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／墨付八丁／138

0922-011-17 岩井氏系図(米沢藩士侍組、信州系、源頼信から明暦二年死去の忠行まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・五／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／原表紙の表題は「岩井系図」／138

0922-011-18 「横田伝記略」(米沢藩士侍組、信州系、藤原鎌足末葉俊道から又助まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・五／横半帳
長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-011-011、29合綴／墨付三丁／138

0922-011-19 横田氏系図(米沢藩士五十騎組、信州系、頼季から元和九年死去の俊忠まで)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・一×一八・〇／横半帳
長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-011-011、29合綴／墨付二丁／138

0922-011-20 仁科氏系図(米沢藩士侍組、信州系、清和天皇から盛国まで)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・四×一八・二／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／原表紙の表題は「仁科系図」／138

0922-011-21 大滝氏系図(米沢藩士馬廻組、源姓大滝氏、信州系、文安元年死去の持平から嘉永六年相続の小太郎安仁まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・五／横半帳
長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-011-011、29合綴／138

0922-011-22 「岩井氏系図」(米沢藩士侍組、源姓岩井氏系図、信州系、奥州梁川城番満政から幸職まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×一八・五／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／墨付三丁／138

0922-011-23 金内氏系図(新発田家落城時討死した金内氏系図、信州系、藤原鎌足から家範まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×一八・五／横半帳
長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-011-011、29合綴／138

0922-011-24 「香坂氏系図」(米沢藩士侍組、信州系、滋野香坂氏系図、貞保親王から昌象までと、「花沢香坂氏系図之写」与板組香坂氏系図、貞保親王から香坂伝三郎の子の伝之助まで)／一冊(五九丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一七・五／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／墨付四二丁／138

0922-011-25 香坂氏系図(米沢藩士侍組、信州系、滋野香坂氏系図、貞保親王から嘉永二年死去の昌(昌象力)まで)／一冊(二四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一七・六／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／原表紙表題「香坂氏滋野源姓 甘粕氏 上泉氏系図」と墨書「立岩(朱印)」あり／138

0922-011-26 香坂氏系図(米沢藩士侍組、信州系、上杉定勝に殉死の親昌から文化五年家督の至昌まで)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一七・六／横半帳
長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-011-011、29合綴／138

0922-011-27 甘粕氏系図(米沢藩士侍組、信州系、甘糟備後系の系図、満快から継通・某(継成力)まで)／一冊(一六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×一八・五／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／墨付一六丁／138

0922-011-28 甘粕景継略系譜(天正五年四月、甘粕家相続から卒去まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×一八・五／横半帳
長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-011、29合綴／138

0922-011-29-01 上泉氏系図(米沢藩士侍組、藤原姓上泉氏系図、信州系、藤原秀郷から天保三年家督の秀俊まで)／一冊(一一丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-01-29合綴／表紙「大室氏系図」／138

0922-011-29-02 上泉氏系図(米沢藩士侍組、信州系、藤原秀郷から長谷堂で討死の上泉泰綱、秀綱まで)／一冊(三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-011-01-29合綴／墨付一丁、表紙「大室氏系図」／138

0922-02 日賀多他系図綴(0922-02-01-08の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一九・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙／0922-02-01-08合綴／138

0922-02-01 日賀多他系図(米沢藩御用絵師、藤原姓日賀多氏、村上氏他六氏)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×一九・三／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-02-01-08合綴／墨付一六丁／138

0922-02-02 清水氏系図(米沢藩士五十騎組、藤原姓清水氏系図、天正一年死去の義秀から寛延三年家督の秀興まで)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×一八・七／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-02-01-08合綴／墨付八丁／138

0922-02-03 矢尾板氏他系図(米沢藩医、源姓矢尾板家四氏、村山他八氏系図)／一冊(四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一二・〇×一六・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-02-01-08合綴／墨付二二丁／138

0922-02-04 「畠山系図 二本松」(米沢藩高家衆、清和天皇から天保一四年家督の義方まで)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・六×一九・〇／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-02-01-08合綴／138

0922-02-05 樋口氏系図(米沢藩士五十騎組、安寧天皇から上杉齊憲副役の兼周まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×三七・〇／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-02-01-08合綴／四紙の長さは三五〜二七cmほど異なる、末尾に樋口諸家、三郎兵衛流、主水介流の系譜が付随／138

0922-02-06 「下系図」(米沢藩士侍組、大神姓下氏系図、姥嶽大明神から上杉齊憲・茂憲夫人傳役の敏政まで)／一冊(一三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・四×一八・五／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-02-01-08合綴／墨付九丁／138

0922-02-07 来次氏系図(米沢藩士侍組、清原姓来次氏系図、慶長一六年死去の時秀から天保一〇年家督の守秀まで)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一七・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-02-01-08合綴／138

0922-02-08 河田氏系図(米沢藩士馬廻組、上杉謙信家臣となった元親から基親まで)／一冊(二三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一九・〇／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-02-01-08合綴／138

0922-03-01 大室氏系図(米沢藩士侍組、清和源氏源満仲から諏訪七家大室左衛門頼高、初名高貞まで)／一冊(二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-03-01-06紙綴綴／138

0922-03-02 穴沢氏系図(米沢藩士五十騎組、新羅三郎源義光から上杉定勝側室付の信秀・上杉宗房の御小姓長史まで二流)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×一八・五／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-03-01-06紙綴綴／墨付五丁／138

0922-03-03 小杉氏系図(米沢藩士五十騎組、宇多源氏某から文化年間の秀美まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一二・三×一六・八／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-03-01-06紙綴綴／138

0922-03-04 宇佐美氏系図(米沢藩士馬廻組、宇佐美在次から文政年間の駿太郎有次まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・三×一八・〇／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-03-01-06紙綴綴／138

0922-03-05 留守氏系図(米沢藩士馬廻組、留守相模守から戊辰戦争で討死の隆太郎宣秀まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・六／横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／0922-03-01-06紙綴綴／138

0922-03-06 越後三条山吉氏系図(米沢藩士五十騎組、桓武天皇から文化一年死去の景能の子女まで)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・八／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0922-03-01-06紙綴綴／138

0922-04 「上松島津志駄」(0922-04-01-03の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／一五・〇×一八・三／横半帳 長帳綴 共紙原表紙／0922-04-01-03合綴／138

0922-04-01 上松氏系図(米沢藩士、源義家から天保年間の仙太郎義道の子、蔵之進まで 木曾義昌末裔) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×一八・〇 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 0922-04-01、03合綴 / 138

0922-04-02 島津氏系図(米沢藩士侍組、源頼朝から元治元年より江戸家老の教忠まで) / 一冊(二八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・四×一九・二 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 0922-04-01、03合綴 / 138

0922-04-03 「志駄系図」(米沢藩士侍組、清和天皇から安政四年より荒砥役屋将の義勝まで) / 一冊(二五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・四×一九・五 / 横半帳 長帳綴 素紙原表紙 楮紙 / 0922-04-01、03合綴 / 138

0923 白井氏系図(米沢藩士、藤原冬嗣から文化二二年家督の都栄まで) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×一九・二 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / シ〇本 / 綴じ穴跡あり / 138

0924 「須田沢根系図 照陽寺縁起 完」写(米沢藩士侍組の須田・沢根系図、須田系図は源頼信から梁川城主の満義まで、沢根系図は本間遠江守賢察から寛永五年家督の恒高まで) / 一冊(三九丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・七×一五・四 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙 / ス〇本 林泉文庫 / 表紙に「国史系譜一 写本」の貼紙あり、墨付三七丁 / 138

0925-01 関原氏系図(米沢藩士侍組、藤原秀郷から某(富五郎・秀債カ)まで) / 一冊(二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・七×一八・五 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / セ〇本 / 0925-01、03紙綴綴 / 墨付一二丁 / 138

0925-02 佐伯氏家譜・系図(米沢藩士侍組、斎木尚重から義重までの系譜と分家三流、盛重から重昌まで、張芝から政貫まで、親治から恒治まで) / 一冊(二九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・〇×一九・〇 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 0925-01、03紙綴綴 / 138

0925-03 近藤氏系図(米沢藩士侍組、藤原秀郷から弘化四年家督の和親まで) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・九×一八・八 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / 0925-01、03紙綴綴 / 138

0926 浅見省吾筆「長家譜」写(本国能州、米沢藩士馬廻組長氏先祖由緒、信直から高通まで) / 一冊(五〇丁) / 明治二九年一〇月 / 二三・二×一五・四 / 縦帳 袋綴冊子装 紫地七宝模様原表紙 楮紙 / チ〇本 / 「国史系譜一 写本」とあり、長大隅守の記載あり、原書は前田侯爵蔵本、筆者浅見省吾、明治二九年一〇月付の伊佐早謙の記

載あり / 138

0928-01 荻戸氏系図(米沢藩士馬廻組から侍組となった源姓荻戸氏、天正期の某(左京)から慶応二年死去の政養まで) / 一冊(二四丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・三×一九・三 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / ノ〇本 / 0928-01、02合綴 / 138

0928-02 富所氏系図(米沢藩士馬廻組から侍組となった源姓富所氏、源頼国から明治元年より高畑城代の小太郎重英まで) / 一冊(六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・六×一八・八 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / 0928-01、02合綴 / 138

0929 「藤原姓小田氏系図」(米沢藩士、藤原鎌足から万治元年死去の寄親まで) / 一冊(八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・一×一九・〇 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 厚紙後補表紙 楮紙 / フ〇本・一三三 / 138

0930 「平姓登坂氏系図」(米沢藩士五十騎組、桓武天皇から寛保二年家督の治好まで) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二〇・五×一四・〇 / 縦帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙 / ヘ本 / 138

0931 本庄・色部・鮎川氏系図(米沢藩士侍組、本庄氏は桓武天皇から昌長まで、色部氏は為長から久長まで、鮎川氏は藤長から寿長まで) / 一冊(五五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・三×一八・〇 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / イホア〇本 / 138

0932 片桐忠成「毛利氏略系譜 全」(米沢藩士侍組、大江広元から嘉永二年家督の業広まで) / 一冊(九五丁) / 天保七年夏 / 二八・〇×一八・四 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 片桐忠成 / マ本 毛利蔵書 / 墨付八五丁 / 138

0933 村山氏系図(米沢藩士馬廻組、源頼季から宝永四年誕生の義春まで、米沢藩士五十騎組、源頼季から寛政七年死去の秀心までの二流) / 一冊(二二丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一四・七×一八・八 / 横半帳 長帳綴 表紙無し 楮紙 / ム本 / 墨付一四丁 / 139

0934 「安田姓本氏毛利系図」(米沢藩士侍組、平城天皇から元和八年家督の安田俊広まで) / 一冊(二二丁) / 享保二三年一月下旬 / 二二・三×一八・二 / 横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙 / ヤ図 林泉文庫 / 0934-01合綴 / 139

0934-01 勘定書(田沢産薪の代金につき) / 一通(一紙) / 嘉永七年 / 一四・五×一九・五 / 切紙 楮紙 / 田沢薪□□尋：二メ八百二拾八文ツ、／端裏書「岩間家書

付 嘉永七年卯年」／0934合綴／139

0935 「吉江系譜 吉田一無記」(0935-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二三・三×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地後補表紙 楮紙／日本／表紙に「国史系譜一 写本」の貼紙あり／139

0935-01 「吉江家系譜」(米沢藩士侍組、桓武天皇から享保二〇年家督の吉江長軋まで)／一冊(二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・三×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／0935-01-03合綴／139

0935-02 吉田秀篤「吉田一無一代記」(五十騎組、吉田秀序の生涯を子息秀篤が記した年譜)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・三×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／吉田盛衛秀篤書／0935-01-03合綴／墨付一七丁／139

0935-03 橋本峰之他二名「秀序記 橋本 江部 土田」(米沢藩士五十騎組、吉田秀序の門人橋本峰之、江部幾助・土田建徳三氏の挿話)／一冊(二四丁)／天明二年／二三・三×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／橋本新兵衛峰之他二名／0935-01-03合綴／139

0936 「米沢藩諸士系図」(0936-01-11の表紙)／一冊／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 朱地縦刷毛目原表紙 楮紙／ヨ本／墨付七〇丁／139

0936-01 甘糟氏系図(米沢藩士侍組、白石城代の景継から慶応二年相続の継述まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0936-01-11合綴／139

0936-02 中条氏系図(米沢藩士侍組、平宗実から天保一〇年家督の明資まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0936-01-11合綴／139

0936-03 泉沢氏系図(米沢藩士五十騎組、藤原鎌足から江戸後期の忠次まで)／一冊(六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0936-01-11合綴／139

0936-04 「平姓飛田氏系図案」(米沢藩士、桓武天皇から慶長一年誕生の俊乗まで)／一冊(一一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0936-01-11合綴／墨付九丁／139

0936-05 徳間氏他二九家系図(米沢藩士、徳間氏は主税から永久まで、梅澤氏は角兵衛から綱敦まで他二八家)／一冊(三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0936-01-11合綴／墨付三〇丁／139

0936-06 鈴木氏系図(大御番組五〇〇石、政之から政孝まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0936-01-11合綴／墨付二丁／139

0936-07 長尾諸氏系図(村岡忠通から長尾諸氏に分流)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／0936-01-11合綴／139

0936-08 清水氏系図系譜(米沢藩士五十騎組、天正年間の義秀から寛文一七年家督の秀重まで)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二二・〇×三三・〇／切紙 楮紙／0936-01-11合綴／挟込あり／139

0936-09 吉江長直「寛政七年九月依御尋書上系図抄」(米沢藩士侍組、魚津城で戦死の宗信父景宗から上杉景勝御近習の長忠まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・二×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／吉江与橋長直／0936-01-11合綴／139

0936-10 古河氏系図(米沢藩士与板組、正徳六年死去の古河益澄から天明二年家督の吉信まで、益澄妻の家元・津田氏の系図も附属)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三九・六×三一・六／豎帳 楮紙／0936-01-11合綴／139

0936-11 板屋氏系図(米沢藩士与板組、長尾為景家臣重胤から寛文一三年死去の胤光まで)／一通(四紙)／寛政七年九月／二七・九×一三六・〇／継紙 楮紙／板屋藤九郎↓香坂右仲殿／端裏書「板屋藤九郎書上」／0936-01-11合綴／139

0937-01 小幡氏系図(米沢藩士五十騎組、藤原冬嗣から正徳二年死去の小幡忠直まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／一七・五×一一・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ヨ本／0937-01-02合綴／139

0937-02 上村氏系図(米沢藩士五十騎組、平良望から寛政五年家督の上村重陳の子重政まで)／一冊(五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一七・五×一一・五／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ヨ本／0937-01-02合綴／139

0939-01 福王寺氏系図(米沢藩士五十騎組、宇多天皇から八弥信繁跡式、享保

二〇年死去の繁貞まで)／一卷(一一紙)／江戸中期(年月日未詳)／一六・七×五〇
 ○・三／切継紙 楮紙／裏打あり、軸頭下方欠損／139

0939-102 福王寺氏系図(米沢藩士五十騎組、源頼朝から感状を賜った盛継から
 明和五年死去の繁祐まで)／一卷(二三紙)／江戸後期(年月日未詳)／一八・〇×六
 二八・八／切継紙 間似合紙力／定綱以前の系図は紙継を境に欠損、その上で装丁／1
 39

0940 「渋谷系図 全」(米沢藩士、源為義から光春まで、後掲に延享三年までの
 渋谷氏の先祖略記が付属)／一冊(五〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二五・二×一
 六・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／シ〇本／13
 9

0941 「渋谷家統系由諸書」(米沢藩士、善兵衛から弥兵衛まで)／一冊(八丁)
 ／文政三年二月／三一・〇×一九・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／シ
 ○本 林泉文庫／校正の朱書きあり／139

0942 清水氏系図(源義家から、上杉景勝より感状を賜った清水康徳まで)／一通
 (一紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×三七・〇／切紙 楮紙／シ〇本／綴じ
 穴跡あり／139

0943 平子氏系図写(桓武天皇から、上杉謙信麾下の平子房長まで)／一通(二紙)
 ／嘉永三年六月二三日／九〇・〇×三三・五／切継紙 楮紙／端裏書「下伊佐沢百姓平
 子七郎右工門所蔵系図 嘉永三年六月廿三日写」／139

0973 「由緒書 三」(侍組の安田家他一五家の系図集)／一冊(二二丁)／江戸
 後期(年月日未詳)／二五・〇×一六・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／
 二〇本／149

1767 五十騎組樋口氏略系譜(直江兼統の生家樋口氏一族、阿曾幸喜の弥惣兼則ま
 で)／一卷(四紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・四×一〇四・九／切継紙 表紙
 無し 楮紙／前欠／無

典籍—米沢関係—一般

0281 「府内供連書上 外二種 完」(0281の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)
 ／二三・八×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黄地後補表紙 楮紙／図書第
 一三号 伯爵上杉家／0281-01-03合綴／表紙に「旧藩史料 政事 一 写本」

の貼紙あり／042

0281-1 「上杉氏 御府内供連書上覧」(江戸留守居役額田盛清所持の江戸府内
 における供廻関係記録他七種)／一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二三・七×一
 五・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／0281-01-03合
 綴／表紙は合綴後の裏表紙に張り付け／042

0281-2 「原々端々家数改帳」写(武芸所が天保七年一〇月に米沢の原方・城下
 内の屋敷数を町毎に集計)／一冊(五丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・五
 ／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／0281-01-03合綴／042

0281-3 東照宮御遺状御宝蔵入百箇条他写(「東照宮御遺状」と称される記録及
 び江戸幕府の軍役規定他)／一冊(二八丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一五・
 五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／0281-01-03合綴／
 嘉永五年二月一日に江戸留守居棚橋正長が書写させたものの写し／042

0282 「桜田経始考・若松江被遣衆御賄留・天正十四年景勝公年譜抜書并御書・直
 江山城守書面留」写(0282-01-03の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二
 三・三×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 紺地網目原表紙／一八〇・サ〇本／0282-1
 01-03合綴／表紙に「旧藩史料 政事 一 写本」の貼紙あり／042

0282-01 「桜田経始考」写(米沢藩の江戸桜田上屋敷の江戸前期の歴史)／一
 冊(七丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 表紙無し
 楮紙／0282-01-03合綴／042

0282-02 「今度若松江祝遣候衆御賄方留帳」写(寛永二〇年保科家の会津移封
 時に米沢藩から派遣した家臣の人数と経費、原本は正保四年二月一九日付)／一冊(二
 六丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙
 楮紙／0282-01-03合綴／042

0282-03 「景勝年譜書抜 兼続書面留写」写(慶長一四年の上杉景勝米沢帰国
 時関連、天正一四年・慶長三年の景勝関係、原本は嘉永五年二月七日書写)／一冊(一
 七丁)／近代(年月日未詳)／二三・三×一五・三／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙
 楮紙／林泉文庫／0282-01-03合綴／写しの写し／042

0417 千坂宮門筆「細井平洲先生御講書」写(興讓館再興等につき、上杉鷹山宛
 細井平洲意見書と大石綱豊書状他一通)／一冊(二八丁)／江戸後期(年月日未詳)／
 二七・二×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 茶地花文原表紙 楮紙／千坂宮門／049

0564 「火災備考」(寛永九年、天保八年の米沢城内火災詳細他御家中町家、宿場の火災状況)／一冊(二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・八×一八・四／横半帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／ク〇本 林泉文庫／墨付二〇丁、表紙に「旧藩史料政事 一 写本」の貼紙あり／085

0738 「夜光の壁」写(江戸前期からの藩制の推移と上杉鷹山治世下における藩政改革、原本作成年は天明四年二月付)／一冊(三八丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・一×一七・三／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・厚紙後補表紙 楮紙／貴ヤ〇本／表紙に「旧藩史料 政事 一 写本」の貼紙あり、墨付三六丁／117

1666 「御国恩家業鑑」(米沢城下の商家の見立番付)／一枚(二紙)／文久元年三月出版／五一・二×三七・七／縦紙 楮紙／版元 釜屋金之助和泉屋弥兵衛／木版、封筒あり、封筒墨書「文久元年版 米沢城下家業鑑 壹枚」／231

1667 「米沢通鑑要 卷二」(正保二年、天和三年の行状)／一冊(六〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×一五・七／縦帳 袋綴冊子装 紺布目地に網目原表紙 楮紙／ヨ〇本／231

1686 沙門碧厚「赤湯村温泉記大全」(米与惣右衛門が弘法大師のお告げにより温泉を開く、寺社名他一覽)／一帖(八紙)／元禄一四年七月／三五・二×二六・四／折帖 茶地原表紙 雁皮／沙門碧厚／232

1690-01 細井平洲『をしまのとまや 上』(米沢松島間の紀行文、往路塩釜まで)／一冊(三六丁)／天保辛卯暢月(二年一月)／二六・五×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地丸に海松原表紙 楮紙／細井徳昌／ヨ〇本 林泉文庫／表紙に「国史地理 共二 天保二年版」の貼紙あり、木版／232

1690-02 細井平洲『をしまのとまや 下』(米沢松島間の紀行文、往路塩釜、松島、松島からの復路)／一冊(三五丁)／天保辛卯暢月(二年一月)／二六・五×一八・一／縦帳 袋綴冊子装 白茶地丸に海松原表紙 楮紙／細井徳昌／林泉文庫／木版／232

1691 「東奥海道記」(日本橋から米沢までの宿場町、本陣、里程、名所、歴史他の記事)／一帖(九紙)／江戸中期(年月日未詳)／二三・八×一三・四／縦帳 折本素紙丸に松原表紙 斐紙／林泉文庫・御記録所／表紙に「国史地理 一 写本」の貼紙あり／232

1693 「枝葉のしげみ 尚承建議」(「枝葉のしげみ」「尚承建議」は上杉家内の庶子等待遇をめぐる議論、後半は鉄砲関係の規定)／一冊(六五丁)／江戸後期(年月日未詳)／一三・〇×一六・五／横半帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙／一七二 林泉文

庫／墨付五二丁、表紙一部破損、表紙に「旧藩史料 政事 一 写本」の貼紙あり、「枝葉のしげみ以下」の下札あり／無

1707 登坂高尚筆「和漢真俗雜記 第四」写(御堂年中行事、成島八幡宮の縁起等、米沢藩・上杉家にゆかりの寺社の記録六種)／一冊(五九丁)／嘉永六年／二三・六×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／登坂高尚／墨付五八丁、もとの作者は慶祭、法音寺の自筆本を登坂高尚が書写し、嘉永六年三月に(寺島)貞経が表紙を付す／無

典籍—米沢関係—赤穂事件

1646 「修史叢書 式 地印」(1646-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・八×一七・〇／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／シ〇本／裏打ちあり／1646-01、02合綴／「野本氏吉良邸ヨリノ手翰 吉良断滅記 二種 合本 修史叢書 式 地印」の墨書あり、「須田数馬先祖野本忠左衛門江戸詰合之節御共な□夜討のあらましを調候書面之写」と記された1646-01の元表紙を袋綴じにし全体の表紙とする／230

1646-01 「野本忠左衛門書面写」(赤穂浪士の吉良邸討入の顛末につき、原本は野本忠左衛門筆)／一冊(九丁)／天保二年閏正月／二六・八×一七・〇／縦帳 袋綴冊子装 表紙無し 楮紙／伊佐早蔵本・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／一部裏打ちあり／1646-01、02合綴／230

1646-02 親宣筆「吉良断絶記」写(吉良邸討入の顛末とその後)／一冊(二六丁)／文化元年／二八・二×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／親宣(花押)／伊佐早蔵本・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／一部裏打ちあり／1646-01、02合綴／末尾に筆写の詳細を記載／230

1647 清水国松筆 戸狩英次覚書写(吉良邸討入の状況とその後の経過)／一冊(二三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・九×二〇・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／櫻井□澍・さくら井・林泉文庫／表紙墨書「元禄十五年十二月 本所二而夜討之節英次在江戸則日今御用本所被相詰候付而… 但戸狩甚五兵衛英次御使番之節歎」、後補の裏表紙あり、元の裏表紙に「忠臣蔵実録終り 清水国松」の墨書あり／230

1648 頭楨筆 室鳩巢「赤穂義人録」写(赤穂事件の経緯、討入した赤穂浪士の略伝)／一冊(一〇九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・五×一八・二／縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／東都自然堂門下 頭楨写之／ア〇本 窪田蔵書・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／230

16649 大地昌言「赤穂義人録後語 七」(「赤穂義人録」関係者の略伝他)／一冊(三三丁)／(嘉永六年カ)／一八・三×一・九／豎帳 袋綴冊子装 小豆地原表紙 楮紙／大地昌言／ア○本 窪田蔵書／表紙裏に記載あり、木版／230

1650101 青山延光「赤穂四十七士伝 上」(大石良雄他二五名の伝記)／一冊(三〇丁)／嘉永庚戌(嘉永三年)／二五・四×一七・六／豎帳 袋綴冊子装 深緑地唐草模様原表紙 楮紙／青山延光／ア○本 林泉文庫・斎藤蔵書／見返しに「嘉永庚戌新鐫」
「珮弦齋雜著」
「水府珮弦齋蔵版」とあり、木版、表紙は蠟引き／230

1650102 青山延光「赤穂四十七士伝 下」(儀具正久他二九名の伝記、付録として関連人物七名)／一冊(三〇丁)／嘉永辛亥(嘉永四年)／二五・四×一七・六／豎帳 袋綴冊子装 深緑地唐草模様原表紙 楮紙／青山延光／林泉文庫・斎藤蔵書／木版、表紙は蠟引き、版元は東都日本橋通二丁目須原屋茂兵衛他一件／230

1652 中川富義筆「義臣対話 全」写(熊本藩土堀内伝右衛門による赤穂浪士一七名の預かり記録、塩井家伝来の書状類、野本忠左衛門書面)／一冊(八五丁)／嘉永三年一月／二三・五×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／物書助書組付御扶持方中川英助書写也／キ○本 伊佐早蔵本・林泉文庫・□□蔵本・□□蔵本・□□蔵本／一丁目表に「広居蔵書」、最終丁裏に「北追手広居蔵書」の墨書、表紙に「国史雜史 一 写本」の貼紙、「修史用書」の朱書きあり／230

1653 「義士忠臣録」写(泉岳寺一〇世承天禪師による赤穂事件記録)／一冊(三一丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／キ○本 羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／墨付二九丁、裏表紙見返しに「東京謹慎之節写」墨書あり、享和三年書写されたものを弘化五年に写しさらに明治期に写す、後補表紙の表題は「義士夜討高名晰 全」／230

1654 「元禄十五年吉良邸夜討記」写(野本忠左衛門書簡写、俳人其角義人復讐の手札他)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・三×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紫地七宝繋ぎ後補表紙 楮紙／キ○本 林泉文庫／表紙に「国史雜史 一 写本」の貼紙あり、後補表紙の表題は「吉良邸夜討記」／230

1655 「四十七士論 熊沢伯繼伝」(1655-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二六・七×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／シク○本 兼印・□□蔵／1655-01、02合綴／「熊沢伯繼伝一篇幽谷藤田翁手稿本也可珍藏 謙」の墨書貼紙あり／230

1655101 「赤穂士論」写(太宰春台による赤穂浪士に対する批判「赤穂四十六士論」)／一冊(七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・七×一九・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／1655-01

1655102合綴／墨付二〇丁、末尾に朱書「大正己未一月念八以他本一校了 読史道人謙」とあり／230

1655102 「熊沢伯繼列伝」写(藤田幽谷による熊沢蕃山の伝記)／一冊(二五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・六×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙・兼印・□□蔵／1655-01、02合綴／末尾に朱書「大正己未一月念八読史道人謙」として、異本がない旨の伊佐早謙の書込あり／230

1656101 「三月友 上」写(赤穂浪士一七人を預かった熊本藩の記録)／一冊(四三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一六・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・小豆地後補表紙 楮紙／サ○本 林泉文庫／熊本藩に伝わったものを細川重賢から出羽松山藩世子酒井忠躬が写、宝暦八年秋に妻木重教が写書したものの写本、表紙蠟引き／230

1656102 「三月友 下」写(赤穂浪士一七人を預かった熊本藩の記録、末尾に討入時の赤穂浪士の口上書と吉良方の死傷者氏名他を付す)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・九×一六・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・小豆地後補表紙 楮紙／林泉文庫／表紙蠟引き／230

1657 「三月之友」写(赤穂浪士一七人を預かった熊本藩の記録)／一冊(八九丁)／文政六年四月／二五・八×一七・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／サ○本 羽前国鶴岡書林 地文・荘内 鶴岡 □文・林泉文庫／末尾に筆写の経緯を記載、1652-02にある口上書・吉良方の死傷者の記載は無し、松平多宮久成蔵とあり／無

典籍一系図一将軍家

1600101 「徳川縣廳譜 上」(貞純親王から徳川家慶代までの系図)／一冊(二七丁)／文化五年／二九・〇×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／図書第三六号 御記録所／墨付一二三丁、挟込み四点あり、冒頭に文化五年秋に花阜陳人田亨が桜田邸の客舎にて選んだ旨の記載あり、ラベル上部破損／225

1600102 「徳川縣廳譜 下」(徳川家康から家斉までの徳川家外戚他の系図)／一冊(三五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・一×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／御記録所／墨付三四丁／225

1604 徳川家系譜(徳川家康から家斉まで)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一一・一×一六・六／横半帳 袋綴冊子装 黄茶地後補表紙 楮紙／徳川一門

系譜 ■・林泉文庫／墨付三九丁／226

1608 「足利家系図 但」(足利尊氏から義昭まで)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二一・六×一六・三／縦帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／麻谷蔵書／226

1619 「江金譜系」(新田義重から徳川綱吉まで、前田利春から綱紀まで)／一冊(二五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二三・六×一七・五／縦帳 袋綴冊子装 縹地後補表紙 楮紙／カ本 林泉文庫・杉本蔵書／補修あり、裏表紙見返しに「鳳至軒蔵書」の墨書あり、墨付二四丁、最終頁に秀忠の系図の書きかけあり／227

1746 「御枝之記」(徳川吉宗以降文化年間までの一橋徳川家、田安徳川家の系図)／一枚(四紙)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・〇×一五九・〇／切継紙 折畳装 黄地花文二重亀甲繫ぎ模様原表紙 楮紙、木版／無

典籍一系図一他大名家等

1058 「長尾系図」(鎌倉・足利長尾氏の系図、桓武平氏長尾景通から景次まで)／一卷(八紙)／江戸後期(年月日未詳)／二九・七×三三・五・七／継紙 楮紙／二四ノ2ナ〇本／冒頭に「十月十八日 松尾梨子 土屋但馬守様」とある包紙断簡を貼継、宣景―俊景―景次と続き、古河藩土井家家臣と推定／166

1059 「長尾系図」(桓武天皇から平将門まで、良文から長尾流等)／一卷(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／三六・九×五三・五／縦紙 楮紙／ナ〇本／良文以後の長尾氏の記載は無し／166

1612 「秋田系図 湊系図」写(安倍貞任の末裔安部守季から盛岡藩士となった秋田季雄の子弟まで、及び支流の盛岡藩士湊家、目臣から季通の子弟まで)／一冊(三三丁)／明治三十七年二月／二六・七×一九・一／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／ア本 林泉文庫／湊季道蔵本の写し／227

1613 「岡谷繁実」秋元家譜」(藤原道兼流秋元家の子爵秋元興朝まで)／一冊(四〇丁)／明治二年四月／一八・七×一二・五／洋装本 列帖装 黒地原表紙 機械漉紙／岡谷繁実／ア〇本 林泉文庫／活版、出版者稲田佐兵衛／227

1614 「武田系図 葦名系図」写(武田信義から信玄の子弟まで、および桓武天皇から葦名盛定まで)／一冊(三二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・八×一九・〇／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／夕本 林泉文庫／末尾に葦名刑部から富田二

左衛門へ家系図を渡した旨の書状の写し記載あり／227

1615 田那道格利和筆「織田系図」写(桓武天皇から天童藩二代藩主織田信学の子弟まで、および高島織田家の格式帳)／一冊(四二丁)／安政五年／二三・三×一五・五／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地七宝繫ぎ模様後補表紙 楮紙／田那道格利和／オ本 林泉文庫／原表紙に他に「東郡叢書 織田氏世家 佐野誠一郎所蔵 □家格式帳」とあり、後補表紙に「國史系譜 一 写本」の貼紙あり／227

1616 編集所筆「大江系図」写(平城天皇から大江氏、長井氏及び幕末の長州藩三代藩主毛利慶親まで)／一冊(一〇〇丁)／明治二八年七月／二三・〇×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・紺地七宝繫ぎ模様後補表紙 楮紙／編集所／オ本 林泉文庫／後補表紙に「國史系譜 一 写本」の貼紙あり、「大江系図」の墨書の下札あり、最終頁に「原本福原実君所蔵 明治二八年七月写了 編集所」の墨書あり／227

1617 「太田氏系図」(清和天皇から浜松藩二代藩主太田資次まで、及び太田道灌の傍流子孫系図ながら実名不詳)／一冊(五丁)／江戸前期(年月日未詳)／一五・四×一八・六／横半帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／227

1618 「大友系図」(大友能直から義親まで、義親妹は上杉長員の妻)／一卷(四紙)／江戸前期(年月日未詳)／三三・五×一七六・〇／継紙 素紙後補表紙 楮紙／二四ノ4／後補表紙は包紙の転用／227

1620 「菊池家惣系図」(藤原道隆流、天御中主尊から菊池家最後の当主義武まで、及び支流の赤星家、藤原有隆から親高まで)／一冊(四丁)／江戸後期(年月日未詳)／三六・五×三七・八・二／継紙 折本 白地砂子模様後補表紙 楮紙／キ〇本／後補表紙は和紙風の現代に近いもの／227

1623 「佐竹氏古系 完」(清和源氏佐竹氏の系図、清和天皇第六皇子貞純親王から出羽国久保田藩初代藩主義宣まで)／一卷(五紙)／江戸前期(年月日未詳)／三四・三×一九三・四／継紙 素紙後補表紙 楮紙／サ〇本・二二四ノ3 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／後補表紙は包紙から転用／227

1628 下沢保躬「津軽系図略 完」(弘前藩津軽家、秀栄から昭徳まで)／一冊(七丁)／明治一〇年四月／二二・二×一五・一／冊 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／下澤保躬／ツ〇本 羽前米沢市林泉寺前伊佐早謙／木版、出版人は青森県士族下沢保躬他、挟込一点あり／229

1631 「八戸系図」(八戸南部家の祖南部実長から八戸丑之助までと縁戚にある新田系南部政持から常幸まで)／一冊(二九丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一九・七／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／ハ本 堅百・□□□□／八

戸丑之助は信精、信徳と称す／229

1635 「源姓系図 全」(清和源氏・信濃国高梨家の系図、清和天皇から長尾能景の娘を正室とした澄頼まで)／一巻(二二紙)／江戸中期(年月日未詳)／三三・四×五〇・九／継紙 卷子本 表紙無し 楮紙／裏打あり／墨書「林泉文庫」の貼紙あり、紙縫で留められている／229

典籍一系図一系図集

0927 「仁科 金沢 山内 首藤系図 山内居城来由 横田通常伝」写(仁科氏は平重盛から盛保まで、金沢氏は貞保親王から信茂まで、山内首藤氏は藤原俊通から氏庸まで)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／二〇本 林泉文庫／原表紙に「飯砂明神旧社務 仁科甚十郎」とあり／138

1443 「相馬系図 奥州近津社古文 小手濫觴」(桓武天皇から相馬義胤まで、及び高望王から相馬義胤までの系図二種、八槻近津別当宛書状写他一三点)／一冊(八七丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／サ〇本 林泉文庫／墨付八五丁、本文中の表題は「奥州近津社社人古文」で、末尾に旧昌平坂学問所蔵本を明治四一年一月に贈写との記載あり／180

1605 「御系図」(尾張徳川家、紀伊徳川家他四〇家)／一冊(二四六丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・九×一一・三／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／コ本／木版／無

1621 「源家けいず」(清和天皇から守邦親王、足利義晴、古河公方足利晴氏、新田義貞嫡子義宗、守護大名畠山義就、武田晴信まで)／一冊(二二丁)／江戸前期(年月日未詳)／一八三・八×二九・七／折帖 茶地原表紙 斐紙／ケ本／補修あり、裏表紙は素地散らし模様、「源氏系図全」の下札あり／227

1622 藤原春村筆「西園寺秘本 完」写(近衛経忠から経重までの系図及び位階任官の一覧他、六八家の公家、武家も同様に所収)／一冊(九一丁)／嘉永二年二月／二六・九×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地横刷毛目模様後補表紙 楮紙／藤原春村／サ本／墨付九〇丁、「西園寺秘本」の下札あり／227

1624-01 「編纂本朝尊卑分脈図」一(清和天皇源氏、源満仲息男、頼光、頼親、頼平、頼範等の流れ)／一冊(四六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・三×二〇・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／シ本 林泉文庫／16

24は全て版元は皇都書林 野田藤八、広橋兼秀家本を定本とする木版本、表紙の題箋は「諸家大系図 一」／228

1624-02 「編纂本朝尊卑分脈図」二(陽成天皇、光孝天皇、宇多天皇より発する子孫の系図)／一冊(四七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・三×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／木版、表紙の題箋は「諸家大系図 二」／228

1624-03 「編纂本朝尊卑分脈図」三(醍醐天皇、村上天皇他八件より発する子孫の系図)／一冊(五五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・三×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 三」／228

1624-04 「編纂本朝尊卑分脈図」四(嵯峨天皇他一二件から発する源氏系図他、桓武天皇他二件から発する平氏系図、菅氏他一〇件から発する橘氏系図)／一冊(七二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・四×二〇・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 四」／228

1624-05 「編纂本朝尊卑分脈図」五(藤原諸流元祖、藤原鎌足から室町後期の藤原氏まで)／一冊(五二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・四×二〇・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 五」／228

1624-06 「編纂本朝尊卑分脈図」六(藤原師輔、兼家、道長の子孫の系図他)／一冊(六九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・四×二〇・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／木版、表紙の題箋は「諸家大系図 六」／228

1624-07 「編纂本朝尊卑分脈図」七(藤原高藤子孫系譜で上杉氏の祖上杉重房に通じる)／一冊(四九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・五×二〇・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／木版、表紙の題箋は「諸家大系図 七」／228

1624-08 「編纂本朝尊卑分脈図」八(藤原不比等一男武知磨の子孫系図)／一冊(五五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・三×二〇・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 八」／228

1624-09 「編纂本朝尊卑分脈図」九(藤原北家房前の子真楯の子内磨の子孫系

図)／一冊(五八丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・四×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／木版、表紙の題箋は「諸家大系図 九」／228

1624-110 『編纂本朝尊卑分脈図』十(藤原北家忠平嫡男実頼の子孫系図)／一冊(四二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・三×二〇・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 十」／228

1624-111 『編纂本朝尊卑分脈図』十一(閑院流の祖藤原公季の子孫系図他)／一冊(三九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・三×二〇・七／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 十一」／228

1624-112 『編纂本朝尊卑分脈図』十二(清和源氏源満仲の弟満政の子孫系図)／一冊(四九丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・二×二〇・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 十二」／228

1624-113 『編纂本朝尊卑分脈図』十三(清和源氏源義家子孫の系図、足利義昭まで)／一冊(四七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・二×二〇・六／豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花模様原表紙 楮紙／藤原公定／林泉文庫／補修あり、木版、表紙の題箋は「諸家大系図 十三」／228

1632 『続史籍集覽 秀郷流藤原氏諸家系図』写(藤原秀郷を祖とする小山家他、庶流も含め一五家)／一冊(一一四丁)／近代(年月日未詳)／二四・三×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／ヒ〇本 林泉文庫／本来は上下にわかれていたものを合綴し新たに表紙をつける、以前の綴じ穴あり、「秀郷流系図」の下げ札あり／229

1634 「平家けいず」(桓武天皇から平清盛孫代までおよび坂東の平氏上総広常、千葉盛胤、三浦泰村他)／一冊(二丁)／江戸前期(年月日未詳)／二九・三×一八・六／折帖 焦茶地原表紙 斐紙／へ本 補修あり／表紙裏表紙は「1621」源氏けいず」と同時期の作成カ／229

1636 「本間系図 諸家系図纂」(中世、佐渡を治め江戸時代は幕府旗本だった本間氏他と、清和天皇から忠義までの安房国里見氏と村瀬貞氏から上野国の高家旗本由良貞房まで)／一冊(九一丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一九・〇／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／ホ本／墨付九〇丁、「本間系図外」の下札あり／229

1637 「留守氏 亘氏 岩城氏系図 全」(藤原道兼から留守村任まで、千葉常胤から亘理元宗まで、桓武天皇から岩城宗規まで)／一冊(二二丁)／近代(年月日未詳)／二七・〇×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／ル本 林泉文庫／「留守 守亘 岩城 系図一」の下札あり／229

典籍—総記・学問・文学

1340 『中外新聞』(横浜出版新聞の明治元年二月第一号、三月第七号の抄出綴)／一冊(四五丁)／明治元年／二二・四×一五・五／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／裏打あり／木版／174

1349 「巳己雜糅 全」(絵画・和歌・東鑑写他雑感・雑記)／一冊(三七丁)／巳己(明治二年カ)／二四・三×一六・五／豎帳 袋綴冊子装 灰地漉紙原表紙 楮紙／貴キ〇本 林泉文庫・阿波国文庫・不忍文庫／175

1454 「経子序集 完」(「近思録」、「御製性理四書大全」等儒学関連書籍の序文集)／一冊(一五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二五・四×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙／ケ〇本／墨付一四丁／181

1596-101 「後水尾帝御講釈伊勢物語 一二三」(後水尾院による六度目までの講釈、一段から六〇段まで)／一冊(五二丁)／(寛保二年)／一五・九×二〇・八／横半帳 袋綴冊子装 茶地朱唐花模様原表紙 楮紙／イ〇本 林泉文庫／表紙に「国史和文 共二 寛保二年写」の貼紙あり／225

1596-102 「後水尾帝御講釈伊勢物語 四五」(御水尾院による一二度目までの講釈、六一段から一二四段まで)／一冊(四五丁)／寛保二年／一五・七×二〇・九／横半帳 袋綴冊子装 茶地朱唐花模様原表紙 楮紙／林泉文庫／元文二年三月二〇日に伴部八重垣翁が写したものを、寛保二年正月一七日に再写／225

1709 「横舟齋書目」写(古賀侗庵の蔵書目録)／一冊(九四丁)／近代(年月日未詳)／一八・二×一四・二／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙原後補表紙 楮紙／キ〇本 清水尚志堂蔵書／元表紙に「清水」の墨書あり、表紙裏に「祠官 清水彦介」の黒印あり、後補表紙の表題は「横舟齋書目」／無

1711 青山延寿筆「壘篋集 全」写(青山延光、延之、延寿の水戸学に関する詩文の集録)／一冊(六七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・〇×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 白茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／青山鉄鎗／ク〇本 林泉文庫・羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／裏打あり／表紙に墨書「青山鉄鎗手写本 可珍藏 縦軒(兼印)」

□)、「朱書」延光延之延寿三子之文也」の貼紙、表紙見返しに「拝義公廟詩序 彰考館賜宴詩序」の墨書あり／無

1712 「荒曆御記」写(康暦三年、永徳三年、関白一条経嗣の日記『荒曆』の抄出本カ)／一冊(一五丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・七×一八・八／縦帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／ク本・三四 阿波国文庫・林泉文庫／表紙に墨書「国史古写本 一」の貼紙、「荒曆御記」の下札あり／無

1723 「宗祇集」写(宗祇の和歌集、弁園が永正三年五月下旬に写したものの写)／一冊(二九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・八×二〇・二／縦帳 袋綴冊子装 浅葱地打曇り後補表紙 楮紙／ソ本 伊佐早兼古書之宝・林泉文庫／裏打あり／表紙に「国史 和歌 永正三年写」の墨書あり、本奥書として最終丁に弁園が永正三年五月上旬に写した旨の墨書あり、内表紙あり／無

1731 『新版改正 天明武鑑 西御丸附 卷之四』(武家の姓名、知行高他の名鑑)／一冊(一六丁)／天明七年／一五・九×一一・三／縦帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／フ本／木版、版元は須原屋茂兵衛／無

1732 近藤守重「楓山書庫目録」写(紅葉山文庫の蔵書目録写、原本は文化一一年一月一日)／一冊(四二丁)／(文化一三年) 壬月四月／二三・七×一六・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／書物奉行近藤守重／フ三三 御記録所／楓山は紅葉山の別称／無

典籍—仏教—経典

1741 『妙法蓮華経 第七』(常不軽菩薩品第二十から妙音菩薩品第二十四まで)／一巻(二一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二五・一×八九七・三／継紙 卷子本 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／木版、本紙五紙目剥離、本紙一枚目に「百十部之内」の黒印あり、表紙には墨書で「古板妙法蓮華経 七」とあり／無

1742-01 大般若波羅密多経 第二百三巻 写／一巻(一五紙)／室町時代(年月日未詳)／二五・五×六一九・九／継紙 卷子本 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／裏打あり／1742-01-03袋一括／料紙は黄肌染、黒漆塗切軸、綴紐あり、本紙は前後欠失／無

1742-02 大般若波羅密多経 第七十九巻 写／一巻(一五紙)／室町時代(年月日未詳)／二五・一×六五九・三／継紙 卷子本 素紙後補表紙 楮紙／裏打あり／1742-01-03袋一括／出羽国寒河江庄長登寺常住経と奥書あり、料紙は黄肌染、

綴紐あり、黒漆塗切軸本紙前中欠失、九紙目後に欠損あり／無

1742-03 大般若波羅密多経 第五十五巻 写／一巻(一一紙)／室町時代(年月日未詳)／二四・九×三三二・一／継紙 卷子本 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／裏打あり／1742-01-03袋一括／出羽国寒河江庄長登寺常住経と奥書あり、料紙は黄肌染、綴紐あり本紙は前中後欠失、軸芯無し、二、三、五紙目の後に欠損あり／無

典籍—仏教—縁起・由緒

0245 寺院由緒書(高野山無量光院・越後の本成寺・雲洞庵・常安寺他・信濃の法華寺の由緒と所蔵文書類)／一冊(一〇六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・五×一五・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／御記録所／小口に「寺院由緒」の墨書あり、万延元年、文久二年の記事あり／034

1641 山科檀林了光山護国寺縁起(寛永二〇年に創建された京都の日蓮宗寺院の縁起)／一通(五紙)／江戸後期(年月日未詳)／三五・三×二三七・五／継紙 楮紙／護国講寺居城州：御而可信□／裏打あり／229

1739 「上州那波郡満善寺縁起」(大江広元以来の柴山満善寺縁起)／一巻(一一紙)／江戸前期(年月日未詳)／三一・六×三六六・八／継紙 素紙後補表紙 楮紙／上野ノ国那波之郡：無比類幕紋矢弭成給也云々／端裏書「寛文九乙酉那波譜代力丸三益致所持候書物」／林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／軸芯無し、前半は楮の打紙か、本紙と表紙部分に「伊佐早兼古書之宝」の割印あり、「米沢少将とのへ」とある封紙を表紙に転用／無

典籍—仏教—伝記

中に天明三年の記事あり／003

1104 「種月開山南英禪師語録 完」(1104-01、02の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二四・〇×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 朱地横刷毛目原表紙／貴シ〇本／1104-01-02合綴／169

1104-01 「種月開山南英禪師語録示■」写(種月寺の開山となった南英謙宗の語録・文章)／一冊(二七丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／林泉文庫／1104-01-02合綴／「上杉氏編纂所」の原稿用紙を使用／169

1104-02 「年代自記」写(天武天皇治世と文化五年の庄内地方の年代記)／一冊(一五丁)／近代(年月日未詳)／二三・九×一六・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／1104-01-02合綴／表紙に「原本 伊藤品氏所蔵」の墨書あり／169

1105 「曇英禪師録 全」写(林泉寺開山の僧侶曇英恵心(文章)／一冊(二七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・四×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 朱地横刷毛目後補表紙・共紙原表紙 楮紙／貴ト〇本／裏打あり／元の料紙はすべて補修あり、原表紙は裁断され欠損、墨付二三丁／169

1715-01 「景德伝灯録 二」写(禅宗等の僧の伝記、四と六巻)／一冊(六四丁)／江戸前期(年月日未詳)／二七・七×一九・九／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／米沢蔵書・林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／一部裏打あり／補修あり、後補表紙の題箋は「古写景德博灯録 共式」、原表紙に「初冊欠」の墨書あり／無

1715-02 「景德伝灯録 三」写(禅宗等の僧の伝記、七と九巻)／一冊(五四丁)／江戸前期(年月日未詳)／二七・七×二〇・一／縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／ケ貫〇本 米沢蔵書・林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／補修あり／後補表紙の題箋は「古写景德博灯録 共式」、原表紙に「三」の墨書あり、原表紙の題箋剥離／無

典籍—歴史

0041-01 堀季雄「御系譜参考 一」(庄内藩酒井家の中世と近世中期の事跡)／一冊(四六丁)／天明二年秋／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／年代は凡例によるが文

0041-02 堀季雄「御系譜参考 二」(庄内藩主酒井家の祖忠次の元龜三年までの事跡)／一冊(四〇丁)／(天明二年秋)／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／題箋に角朱印あり／003

0041-03 堀季雄「御系譜参考 三」(庄内藩主酒井家の祖忠次の元龜三年と天正一〇年の事跡)／一冊(三五丁)／(天明二年秋)／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／題箋に角朱印あり／003

0041-04 堀季雄「御系譜参考 四」(庄内藩主酒井家の祖忠次の天正一〇年と慶長元年の事跡)／一冊(四三丁)／(天明二年秋)／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／題箋に角朱印あり／003

0041-05 堀季雄「御系譜参考 五」(庄内藩主酒井家の祖忠次の異母弟酒井恒城及び実子家次の事跡)／一冊(四八丁)／(天明二年秋)／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／題箋に角朱印あり／003

0041-06 堀季雄「御系譜参考 六」(酒井家次の兄弟及び一族、庄内藩初代藩主忠勝の事跡)／一冊(五二丁)／(天明二年秋)／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／題箋に角朱印あり／003

0041-07 堀季雄「御系譜参考 七」(庄内藩初代藩主酒井忠勝の兄弟及び庄内藩二代藩主忠当及び兄弟の事跡)／一冊(五五丁)／(天明二年秋)／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／題箋に角朱印あり／003

0041-08 堀季雄「御系譜参考 八 大尾」(庄内藩二代藩主酒井忠当の兄弟及び三代藩主忠義と七代藩主忠徳他の事跡)／一冊(五二丁)／(天明二年秋)／二七・九×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／堀季雄撰／小田氏蔵書之印・裏高蔵書□・林泉文庫／挟込書付二点あり、うち一点は伊佐早謙の手筆、題箋に角朱印あり／003

1054 「中古治乱 信長記并北越記 上杉家系 全」(「中古日本治乱記」は足利基氏と義満、「織田平信長卿」、「北越記」、越後長尾氏系図)／一冊(一一二丁)／江戸

中期(年月日未詳)／二三・〇×一六・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／チ
 ○本 伴信友文庫・林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／中古治乱は元禄九年十一月一日、系
 図は享保二年九月九日の写本／165

1093-01 小田嶋允武「越後野志」一写(越後国の国・郡・郷・郷庄堡谷・租
 税・検地につき)／一冊(二三丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳
 袋綴冊子装 共紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／角に「共五」の墨書あり／168

1093-02 小田嶋允武「越後野志」編年二写(神代から承久三年)／一冊(三
 二丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・
 素紙後補表紙 楮紙／角に「共五」の墨書あり、末尾に「天保九年戊戌五月三日校文徳
 実録続日本後記」の朱書きあり、後補表紙の標題は「越後野志」／168

1093-03 小田嶋允武「越後野志」承久編年三写(承久三年〜永禄元年)／
 一冊(三六丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共紙
 原表紙・素紙後補表紙 楮紙／角に「共五」の墨書あり、後補表紙の標題は「越後野志
 三」／168

1093-04 小田嶋允武「越後野志」永禄編年四写(永禄二年〜天正一六年)
 一冊(三九丁)／近代(年月日未詳)／二三・五×一五・九／豎帳 袋綴冊子装 共
 紙原表紙・素紙後補表紙 楮紙／角に「共五」の墨書あり、後補表紙の標題は「越後野
 志」四、天正一六年以降の出来事を記した「五」が亡失／168

1094-01 「越後一統志 卷之上」写(永禄年間後期まで)／一冊(九三丁)／
 近代(年月日未詳)／一八・一×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／
 エ○本 林泉文庫／裏打あり／表紙表紙に「国史共三 写本」の紙貼付あり、表紙見返
 しに「重忠」の墨書、裏表紙に墨書あり／168

1094-02 「越後一統志」写(天正五年〜天正六年)／一冊(七九丁)／近代(年
 月日未詳)／一八・七×一三・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮
 紙／林泉文庫 裏打あり／表紙下表紙見返しに「重忠 □□」、裏表紙に「飯田」の墨
 書あり、後補表紙の標題は「越後一統志 卷之中」／168

1094-03 「越後一統志 卷之下」写(天正八年〜元和九年)／一冊(二〇八丁)
 近代(年月日未詳)／一八・一×一四・七／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙
 林泉文庫／裏表紙見返しに「重嗣」の墨書あり／168

1096-01 「越後古城志 乾」写(越後国頸城郡・古志郡他四郡内の古城の由緒)
 一冊(六〇丁)／近代(年月日未詳)／二六・九×一八・三／豎帳 袋綴冊子装 茶
 地木目模様原表紙 楮紙／エ○本 越後平林□□氏・□堂蔵書・木村氏／原本の作者は

思惟之感者とあり、補修あり／168

1096-02 「越後古城志 坤」写(越後国蒲原郡・岩船郡の城郭・陣屋、所在地
 不明の中世の古城、古戦場の由緒)／一冊(六二丁)／近代(年月日未詳)／二六・七
 ×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地木目模様原表紙 楮紙／越後平林□□氏・□堂蔵
 書・木村氏／原本の作者は思惟之感者とあり、補修あり、六二頁目裏表紙見返しに張付
 いている／168

1097 滋野幸盛「越後古城跡」一写(越後国内の古城の由緒等を「増補越後名寄之古
 城跡」より抜粋)／一冊(五〇丁)／近代(年月日未詳)／二三・二×一五・四／豎帳
 袋綴冊子装 紫地七宝模様後補表紙 楮紙／エ○本 林泉文庫／安政三年三月のものを
 書写、表紙に「国史雑史 一 写本」の貼紙あり／168

1098-01 越後国図／一鋪(二二紙)／明治元年／一一九・六×二〇九・一／楮
 紙／裏打あり／版本着色、木製の表紙に「于時慶応四年仲夏旬二会公賜此図」の墨書と
 「エ○本」のラベルあり／168

1098-02 佐渡国図断簡／一鋪(一紙)／明治元年／二八・〇×四五・一／楮紙
 裏打あり／版本着色／168

1098-03 「凡例」(1098-01越後国図分)／一鋪(一紙)／明治元年／
 二一・〇×二八・八／楮紙／伊佐早蔵本／裏打あり／168

1602-01 「御先祖記 卷」写(得川義季から永禄六年の徳川家由緒)／一冊(四
 八丁)／(天保一一年二月)／二三・四×一六・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷
 毛目原表紙 楮紙／コ○本 南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書 共一九
 の朱書、墨書」廿年買入 国史共九 太田南畝旧蔵可珍」の貼紙あり、補修あり／22
 5

1602-02 「御先祖記 卷之式」写(永禄六年九月〜元龜三年一二月の徳川家由
 緒)／一冊(五九丁)／(天保一一年二月)／二三・六×一六・六／豎帳 袋綴冊子装
 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書」の
 朱書、墨書「百五番」の紙貼付あり、補修あり／225

1602-03 「御先祖記 卷之三」写(元龜三年一二月〜天正九年三月の徳川家由
 緒)／一冊(五三丁)／(天保一一年二月)／二三・六×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装
 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書」の
 朱書、墨書「百五番」の紙貼付あり、補修あり／225

1602-04 「御先祖記 卷之四」写(天正九年五月〜同二年二月の徳川家由緒)／一冊(五〇丁)／(天保一年二月)／二三・五×一六・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書」の朱書、墨書「百五番」の紙貼付あり、補修あり／225

1602-05 「御先祖記 卷之五」写(天正一三年八月〜慶長四年三月の徳川家由緒)／一冊(三九丁)／(天保一年二月)／二三・四×一六・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書」の朱書あり、補修あり／225

1602-06 「御先祖記 卷之六」写(慶長四年閏三月〜同五年九月の徳川家由緒)／一冊(九〇丁)／(天保一年二月)／二三・五×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書」の朱書、墨書「百五番」の紙貼付あり、補修あり／225

1602-07 「御先祖記 卷之七」写(慶長五年九月〜同一年七月の徳川家由緒)／一冊(九一丁)／(天保一年二月)／二三・一×一六・六／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書」の朱書、墨書「百五番」の紙貼付あり、補修あり／225

1602-08 「御先祖記 卷之八」写(慶長一九年〜元和元年五月の徳川家由緒)／一冊(六九丁)／(天保一年二月)／二三・五×一六・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／表紙に「修史用書」の朱書、墨書「百五番」の紙貼付あり、補修あり／225

1602-09 「御先祖記 卷之九」写(元和元年五月〜寛永一六年の徳川家由緒)／一冊(七一丁)／(天保一年二月)／二三・六×一六・八／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目原表紙 楮紙／古橋敬■／南畝・林泉文庫・伊佐早蔵本／六九頁と七〇頁一部接着、表紙に「修史用書」の朱書、補修あり／225

1603-01 「御年譜附尾」写(清和天皇〜永禄五年の徳川家由緒)／一冊(三〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／コ〇本 佐久間氏・林泉文庫／裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ、御年譜附尾一〜三の写し／226

1603-02 「御年譜附尾 四五六一」写(永禄六年〜元龜二年の徳川家由緒)／一冊(三三丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・一×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ／226

1603-03 「御年譜附尾 七八」写(元龜三年〜天正一〇年の徳川家由緒)／一冊(二六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ／226

1603-04 「御年譜附尾 九十」写(天正九年〜同一年の徳川家由緒)／一冊(二〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ／226

1603-05 「御年譜附尾 十一十二」写(文禄元年〜慶長五年の徳川家由緒)／一冊(二二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ／226

1603-06 「御年譜附尾 十三十四十五十六」写(慶長五年の徳川家由緒)／一冊(三五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ、一三巻写しのと一四巻は内容重複のため除いた旨の記載あり／226

1603-07 「御年譜附尾 十七十八」写(慶長五年〜同一年の徳川家由緒)／一冊(二二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・三×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ／226

1603-08 「御年譜附尾 十九二十廿一廿二」写(慶長一六年〜慶長一九年の徳川家由緒)／一冊(四六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ／226

1603-09 「御年譜附尾 廿三廿四廿五」写(慶長一九年〜元和三年の徳川家由緒)／一冊(四二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二二・一×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／佐久間氏・林泉文庫 裏打あり／最終丁裏左下に「松下房忠」とあり書写した者の自署カ／226

1606 「士林沂泗 後藤 全」(徳川家陪臣後藤家の系譜と徳川宗睦由緒書)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二六・三×一八・七／豎帳 袋綴冊子装 白茶地茶横刷毛目模様原表紙 楮紙／シ〇本 旧刻既朽 内藤 新刻斯□・尾張邸□□曹 図書・林泉文庫／ラベルの他に題箋あり／226

1610 「会津正之公言行録」(保科正之の言行録)／一冊(八六丁)／寛保元年／一五・二×二四・〇／豎帳 袋綴冊子装 茶地菱形十字模様原表紙 楮紙／「土津之宮言行録追加」、「土津之宮言行録 乾」、「土津之宮言行録 坤」から構成／227

1611 「文恭院様御行状」(竹本佐渡守の話による徳川家斉の正月三日の行状他)／一冊(三九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二八・九×一八・一／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／題簽には「大統継世給ひし一巻 并秋田凶荒條目」の墨書、「文恭院様御行状」朱書あり／227

1630 「南部諸士由緒記」(二戸氏、長牛氏等、南部藩家臣二四三家)／一冊(三四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二七・五×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地後補表紙 楮紙／ナ本 林泉文庫／「南部書記由緒記」の下札、後補表紙に張り付けられた元の表紙あり、原表紙とはいえず／229

1639 「諸家伝」(難波忠教から宗建、飛鳥井雅経から雅重、野宮定逸から定之の各当主略歴)／一冊(五〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・〇×二一・二／冊袋綴冊子装 白茶地茶波刷毛目模様原表紙 斐紙／シ〇本 伊佐早兼古書之宝／補修あり、墨付五二丁／229

1704 「奥州後三年記」写(後三年合戦の軍記物「奥州後三年記」の序・上・中・下巻)／一冊(三九丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／御記録所／無

1708 「大坂騒動記」(1708-1704の表紙)／一冊／現代(年月日未詳)／二三・六×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙／オ本／背の部分くるんでいる、表紙に三冊合綴の鉛筆書きあり、表紙は現代の紙／無

1708-01 「大坂一揆記」(大塩平八郎の乱に関する覚書・風説書)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×二六・八／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／□□□□・日向／一部裏打あり／1708-01-04合綴／表紙に「日向蔵書」の墨書あり、裏表紙に後筆の書込あり、文字カスレ読めず／無

1708-02 「大坂騒動風聞録」(大塩平八郎の乱の顛末)／一冊(二七丁)／天保二年／二二・八×一五・四／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・黒地縦刷毛目後補表紙 楮紙／伊佐早兼本／1708-01-04合綴／表紙に「林泉書院修史用書 国書」の朱書あり、後補表紙の題箋には「大坂騒動記」、裏表紙に「天保十二年辛丑孟冬 十日黄堂蔵本 乙〇山人」の墨書あり、大塩平八郎関連の書状、書付、落首など綴込あり／無

1708-03 「天保八年大坂賊徒風説」(大塩平八郎の乱の経緯及び大坂城の警護

状況等)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一四・四×三六・九／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／1708-01-04合綴／無

1708-04 「柏崎小嘯」(生田万が柏崎陣屋を襲撃した事件の関連史料一六件)／一冊(四二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・六×一六・八／豎帳 袋綴冊子装 黄地後補表紙 楮紙／伊佐早兼古書之宝・羽前米沢市林泉寺町伊佐早兼 裏打あり／1708-01-04合綴／表紙に目次のな事項と「八月一三日艸釘」、「塩匪罪案邸抄」の貼紙あり／無

1710 大久保英尚筆「補正儀記事 全」(駿台雑話、「有斐録」他の諸資料の抄出)／一冊(四七丁)／天保三年卯月／二三・三×一六・四／豎帳 袋綴冊子装 茶地横刷毛目後補表紙 楮紙／七十三翁 大久保英尚写之／重ク〇本・□二一(朱書で背面に十五・伝紀部第十四(朱書で背面に十五)共 伊佐早兼古書之宝・温故堂文庫・内藤恥叟・□□□記／補修あり、末尾に明治三八年七月に購入し校正した旨の伊佐早謙の書込あり、楠氏に関する紙片を最終丁の後に綴じ込む、最終頁に「文淵甲五号四百十番」の赤の判子、表紙に「史余」の貼紙、「二十七」の朱書き、原表紙に「白石先生述」の墨書あり／無

1719-01 烏丸光栄筆「三長記」写(建久九年一月の藤原長兼の日記)／一冊(四七丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・一×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／光栄／烏丸家蔵・林泉文庫／墨付四五丁、補修あり、表紙に「国史 共四古写本」の貼紙、「後鳥羽天皇御代」の朱書あり、一巻欠／無

1719-02 烏丸光栄筆「三長記」写(建仁元年七、八月の藤原長兼の日記)／一冊(二六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・二×一九・七／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／光栄／烏丸家蔵・林泉文庫／墨付二四丁、補修あり、表紙に「土御門天皇御代」の朱書あり、一巻欠／無

1719-03 烏丸光栄筆「三長記」写(元久三年二月と建永元年四、六月の藤原長兼の日記)／一冊(七二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・一×一九・四／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／光栄／烏丸家蔵・林泉文庫／墨付六九丁、補修あり、表紙に「土御門天皇御代」の朱書あり、一巻欠／無

1719-04 烏丸光栄筆「三長記」写(建永元年七、八、九、一、一月の藤原長兼の日記)／一冊(七二丁)／江戸中期(年月日未詳)／二八・一×一九・六／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／光栄／サ本 烏丸家蔵・林泉文庫／墨付七〇丁、補修あり、表紙に「土御門天皇御代」の朱書あり、一巻欠／無

1724-01 川口長孺編「台湾鄭氏紀事 卷之上」写（慶長一七年〜慶安四年）／一冊（三三丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 小豆地菊花二重亀甲繫ぎに竜後補表紙 楮紙／夕本 香坂維直・林泉文庫／1724-01-03 帙入り／補修あり、表紙に「国史 共三 写本」、「鄭氏記事三冊 興讓館総監衛山香坂先生手写 林泉文庫珍藏」の貼紙あり／無

1724-02 川口長孺編「台湾鄭氏紀事 卷之中」写（承応元年〜寛文二年）／一冊（二八丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・二×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 小豆地菊花二重亀甲繫ぎに竜後補表紙 楮紙／香坂維直・林泉文庫／裏打あり／1724-01-03 帙入り／題箋には「台湾鄭氏紀事 地」とあり／無

1724-03 川口長孺編「台湾鄭氏紀事 卷之下」写（寛文三年〜元禄一三年）／一冊（二七丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・一×一六・一／豎帳 袋綴冊子装 小豆地菊花二重亀甲繫ぎに竜後補表紙 楮紙／香坂維直・林泉文庫／裏打あり／1724-01-03 帙入り／題箋には「台湾鄭氏紀事 人」とあり／無

1727 「朝鮮征伐志」写（文禄・慶長の役の経緯を漢文体で記載）／一冊（四一丁）／近代（年月日未詳）／二七・三×一八・八／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／テ本 富□之印・林泉文庫／補修あり／無

1733 「妙法寺記」写（河口湖地方を中心とした富士山北麓地域の年代記）／一冊（五八丁）／近代（年月日未詳）／二五・五×一八・二／豎帳 袋綴冊子装 紫地七宝繫ぎ後補表紙 楮紙／メ本 林泉文庫／墨付五七丁、表紙に「国史 一 史局写本」墨書の貼紙あり、原表紙と後補表紙の間に挟込み資料あるが取り出し不可、妙法寺記乾・坤二冊合綴（共紙原表紙あり）、原本（刊本）は文政九年成立／無

1736 大道寺友山「落穂集 卷之四」写（江戸時代初期の政治他の見聞記、制外の家の事他五件）／一冊（二四丁）／江戸中期（年月日未詳）／二六・九×一七・九／豎帳 袋綴冊子装 紺地原表紙 楮紙／補修あり、享保年間の成立／無

1752 「御転領付諸記」（天保一二年の三方領知替、庄内藩領での反対一揆に関する史料集）／一冊（六九丁）／江戸後期（年月日未詳）／二三・八×一六・九／豎帳 袋綴冊子装 紺地布目地に網目原表紙 楮紙／コ〇本・下に長方形のラベル二重に貼付 林泉文庫／無

1759 石原重俊「庄内藩主国替阻止運動」（昭和二年三月、維新史研究会における三方領知替反対一揆等に関する講演要旨）／一冊（二四丁）／近代（年月日未詳）／二四・六×一八・六／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 機械漉紙／庄内史編纂会委員石原重俊／シ〇本／墨付二二丁、謄写版、一部は「庄内史編纂会」の罫紙を使用／無

1760 川上広樹「足利学校事蹟考」（足利学校創建由来と附録）／一冊（二八丁）／明治一三年九月／二二・三×一五・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地布目原表紙 楮紙／栃木県野州足利郡小俣村川上広樹／木版、発売は野州足利郡足利町三丁目和洋舎／無

典籍—政治・法制・経済

0267 「御宣下御大札御用掛御役人付 全」（徳川家慶の將軍宣下に関わる幕府・朝廷関係者の姓名・役職他）／一冊（四一丁）／天保八年九月／九・一×一二・五／横半帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／出雲寺幸次郎板／木版／036

0271 「御上洛御供奉御用掛 全」／一冊（五九丁）／文久四年二月／七・〇×一六・三／横半帳 長帳綴 浅葱地原表紙 楮紙／出雲寺万次郎板／コ〇本 林泉文庫／木版、御書物師／出雲寺万次郎板／042

0272 「御上洛御供奉御用掛 全」／一冊（五九丁）／文久四年二月／七・〇×一六・三／横半帳 長帳綴 浅葱地原表紙 楮紙／出雲寺万次郎板／コ〇本 林泉文庫／木版、江戸横山町彦丁目、出雲寺万次郎板、表紙貼紙「国史系譜 一 写本」／無

0623 「文久行幸記 全」（文久三年三月一日の賀茂社行幸の行列図）／一冊（二四丁）／文久三年三月／九・四×一九・三／横半帳 長帳綴 浅葱地波目原表紙 楮紙／菱屋孫兵衛他一〇名／木版／097

1592 「武家必撃 殿居囊 完」（武家年中行事、武家諸役班列、服忌令公案集成、武家心得草他）／一冊（四丁）／（天保八年）二月／一九・六×六・四／折帖 茶地縦刷毛目原表紙 三極カ／東都詞書堂蔵梓／木版／224

1609-01 「諸家秘聞集 一」（明和九年、水野和泉守家中から牧野越中守へ領内の寺院不届一件他）／一冊（五〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・一×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地後補表紙 楮紙／1609は全て大名等から幕臣への問合せと回答の先例集／226

1609-02 「諸家秘聞集 二」（天明元年、南部右近家中から道中奉行へ参勤交代の準備につき他）／一冊（五二丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・〇×一七・一／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙／墨付五二丁／226

1609-03 「諸家秘聞集 三」（天明四年閏正月、留役甲斐庄武助へ逐電と欠落、勘当と久離等の使い分けにつき他）／一冊（四一丁）／江戸後期（年月日未詳）／二四・一×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙／墨付四

〇丁/226

1609-04 「諸家秘聞集 四」(天明五年一月、阿部能登守家中から勘定奉行桑原伊予守へ旅行中の病氣対応他) / 一冊(四六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・一 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/226

1609-05 「諸家秘聞集 五」(天明八年六月、土岐老之助家中から桑原伊予守へ不義による自害一件吟味対応他) / 一冊(五〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/226

1609-06 「諸家秘聞集 六」(寛政元年五月、御用番鳥居丹波守へ領地を跨いだ盗賊の処分一件他) / 一冊(六六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/226

1609-07 「諸家秘聞集 七」(寛政四年一月、戸田因幡守家中から道中奉行根岸肥前守へ火事で宿場の高札焼失一件他) / 一冊(四九丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/226

1609-08 「諸家秘聞集 八」(寛政六年二月、青山大膳亮家中から勘定奉行根岸肥前守へ、宿での傷害事件に係る取計一件他) / 一冊(五一丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/226

1609-09 「諸家秘聞集 九」(寛政七年三月、松平丹波守から戸田采女正へ高出村の百姓間の刀傷一件他) / 一冊(四六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/226

1609-10 「秘聞集 十」(寛政九年五月、土屋但馬守家中から甲斐庄武助へ寺院の者が領主に会う際の服装につき他) / 一冊(五五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/226

1609-11 「諸家秘聞集 十一」(寛政一二年四月、松平上野介家中より勘定奉行石川左近将監へ、水油の値段高騰の対策として菜種と綿実の確保他) / 一冊(三〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/補修あり、勘定奉行石川左近将監は石川忠房カ/226

1609-12 「諸家秘聞集 十二」(寛政一二年六月、井上河内守家内から寺社奉行松平周防守へ、寺社の門に煉瓦、鯨等を掲げること他) / 一冊(三八丁) / 江戸後期

(年月日未詳) / 二四・〇×一七・〇 / 豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・茶地唐花模様後補表紙 楮紙/寺社奉行松平周防守は松平康定カ/226

1633-01 「陸奥守殿知行付」(仙台藩伊達家家中の分限帳、一五八〇人の名前と知行高、正保年間前後と推定) / 一冊(一六四丁) / 江戸前期(年月日未詳) / 三〇・二×二二・一 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地鱗模様後補表紙 楮紙/裏打あり/後補表紙外題は「伊達分限帳 上」/229

1633-02 「丹羽左京殿知行付」(二本松藩士丹羽家家中の分限帳、正保年間前後と推定) / 一冊(四二丁) / 江戸前期(年月日未詳) / 三〇・一×二二・一 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地鱗模様後補表紙 楮紙/裏打あり/後補表紙外題は「伊達分限帳 下」/229

1643-01 武鑑(慶応年間、土屋家から遠藤家まで、下巻と推定) / 一冊(二一八丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・五×一一・三 / 冊 袋綴冊子装 表紙欠落 楮紙/刊本/229

1643-02 武鑑(慶応年間、徳川家から宗家まで、上巻と推定) / 一冊(二二七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 一五・五×一一・三 / 冊 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙/刊本、裏表紙欠落、表紙に墨書あり、背に「慶応三丁寅江戸二而歳八月中求之」の朱書あり/229

1698 「牧民忠告」(元時代の官僚・儒学者の張養浩公作、民衆をおさめる政治家や役人が持つべき信念、道徳を説いた書) / 一冊(四七丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二六・八×一九・五 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙/米沢蔵書/木版、版元、発行年等の記載はなし、返り点・送り仮名あり、国内での刊行/無

1722-01 「践祚題嘗祭儀 上」(践祚題嘗祭の儀式につき) / 一冊(二七丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・三×一九・七 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙/細川家蔵・林泉文庫/裏打あり/1722-01-03 帙入り/墨付二六丁、帙は紙に布張り、灰色地黒渦巻文に蓮/無

1722-02 「践祚題嘗祭儀 中」(践祚題嘗祭の儀式につき) / 一冊(二六丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・二×一九・九 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙/細川家蔵・林泉文庫/1722-01-03 帙入り/墨付二五丁/無

1722-03 「践祚題嘗祭儀 下」(践祚題嘗祭の儀式につき) / 一冊(三五丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・三×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙 楮紙/細川家蔵・林泉文庫/1722-01-03 帙入り/墨付三四丁/無

1751 「京都古記録抜書 付仮名手本難問葛野原」(元和〜寛文年間の京都町触、仮名文字の成り立ち、「葛野原」茶道の由来)／一冊(三〇丁)／安政六年頃／二三・三×一六・二／豎帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙 楮紙／貴キ〇本 伊佐早之蔵本・水原蔵(一三丁表)・水原蔵書車(二四丁表)／表紙貼紙「国史雑史」一 写本、三点の異なる写本を合綴、表紙に鉛筆書き「644」、「葛野原」は安政六年五月真弓日、片田舎主人津斎の跋文あり／無

1753 『武鑑 西御丸附』(西丸附の旗本および幕府要職の履歴)／一冊(二七丁)／江戸中期(年月日未詳)／一五・九×一一・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／二〇本 林泉文庫／木版／無

典籍—教育

0231 「神祖御遺状御宝蔵入百箇条 全」写(徳川家康の「御遺状」と称する徳川家関連の条目)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・七×一七・〇／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／034

0402 「西明寺殿百首之詠歌」写(北条時頼が息子に伝えたとされる教訓)／一冊(五〇丁)／江戸中期(年月日未詳)／二〇・二×一六・〇／豎帳 袋綴冊子装 白茶地原表紙 楮紙／七十一番之内一冊 稽古堂蔵書／ラベルは「七十一番」を削除し赤字で「四拾八番」に修正／048

1725-01 「町人囊 仁」写(商人の倫理、階級論につき他一五項目)／一冊(一七丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／チ〇本 林泉文庫／表紙に「国史 教訓 共五 写本」の墨書の貼紙あり、原本は享保四年年刊／無

1725-02 「町人囊 義」写(礼法につき他一七項目)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／補修あり、原本は享保四年年刊／無

1725-03 「町人囊 礼」写(町人詞につき他一一項目)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／原本は享保四年年刊／無

1725-04 「町人囊 智」写(厄年につき他一六項目)／一冊(二〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／原本は享保四年年刊／無

1725-05 「町人囊 信」写(烏鷲の論につき他一六項目)／一冊(二六丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・八×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／林泉文庫／補修あり、原本は享保四年年刊／無

典籍—曆

1717 「古曆」(1717-01-04の表紙)／一冊／近代(年月日未詳)／二一・六×一五・一／豎帳 袋綴冊子装 朱地後補表紙／1717-01-04合綴／無

1717-01 諏訪神社「宝曆四甲戌曆」(宝曆四年の会津曆)／一冊(二六丁)／宝曆三年／一六・二×一二・九／豎帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／諏訪神社／1717-01-04合綴／裏表紙に「態□孫□」の墨書あり／無

1717-02 水嶋相模正「明治二己巳曆」(明治二年の曆)／一冊(二四丁)／明治元年／一五・九×一一・二／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／土御門門人 水嶋相模正／1717-01-04合綴／無

1717-03 大学星学局「明治五年壬申領曆」(明治五年の曆)／一冊(二四丁)／明治四年／一五・二×一一・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／大学星学局／1717-01-04合綴／弘曆者は岩代国会津佐久神方紹、裏表紙に「弘通所 岩代若松 福田屋宜平」とあり／無

1717-04 「明治六年太陽曆」(明治六年の曆)／一冊(一三丁)／明治五年／一二・五×一五・〇／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 機械漉紙／不明印あり／1717-01-04合綴／無

典籍—芸術・諸芸—茶道

1576 富吉道哉「裁品謔話目録」(磁器濫觴、裁品の文字、人、三要、土品類、菓品类、瀬戸竈在処他)／一冊(六六丁)／宝曆三年五月／三一・六×二三・〇／豎帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／竿直庵道載／図書第五八号／224

1577-01 森利真宛 富吉道哉「行之真台子 全」(茶道書、行の台子の作法を真行草に分け記載)／一冊(一五丁)／宝曆五年三月／二九・九×二一・二／豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙／竿直庵宗正道載(花押) ↓森平右衛門殿／図書第六十号 □□／墨付一四丁、竿直庵、「道載」の朱印あり／224

1577-02 森利真宛 富吉道哉茶道書(茶の点て方、座敷飾り等の心得) / 一冊(六五丁) / 宝暦二年中秋 / 三〇・〇×二一・四 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押)(朱印三顆) ↓ 森平右衛門殿 / □□ / 「竿直庵」道載、「宗正」の朱印あり、末尾に仙台より書写し云々の記載あり / 224

1577-03 森利真宛 富吉道哉「伝授表具集 全」(表具のこと、掛物他の表具に関する伝書) / 一冊(二〇丁) / 宝暦五年三月 / 二九・八×二一・四 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押)(朱印二顆) ↓ 森平右衛門殿 / ■ / 墨付一九丁、「竿直庵」、「道載」の朱印あり / 224

1577-04 森利真宛 富吉道哉茶道書(花筒伝授身の曲尺、茶杓身の曲尺) / 一冊(六丁) / 宝暦二年二〇月 / 二九・九×二一・二 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押)(朱印二顆) ↓ 直狝軒一鶴殿 / □□ / 「竿直庵」、「道載」、「宗正」の朱印あり / 224

1577-05 森利真宛 富吉道哉茶道書(極真台子、台子飾、大台子寸法) / 一冊(一五丁) / 宝暦五年三月 / 二九・八×二一・二 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押)(朱印二顆) ↓ 森平右衛門殿 / □□ / 墨付一二丁、「竿直庵」、「道載」の朱印あり / 224

1577-06 森利真宛 富吉道哉茶道書(茶道の様々な口伝書) / 一冊(四七丁) / 宝暦二年 / 二九・九×二一・三 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押)(朱印三顆) ↓ 森平右衛門殿 / □□ / 「竿直庵」、「道載」、「宗正」の朱印あり / 224

1577-07 富吉道哉茶道書(四畳半での点て方二種、風爐、二種立箱の寸法) / 一冊(五丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二九・八×二一・二 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / □□ / 「竿直庵」、「道載」、「宗正」の朱印あり / 224

1577-08 茶道書(濃茶と薄茶の点て方) / 一冊(二四丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三〇・三×二一・二 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 224

1577-09 茶道書(炭仕様、風呂の炭仕様、後炭仕様) / 一冊(一二丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三〇・三×二一・三 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 224

1577-10 森利真宛 富吉道哉茶道書(爐台子の事) / 一冊(九丁) / 宝暦五年三月 / 二九・八×二一・二 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押) ↓ 森平右衛門殿 / □□ / 墨付八丁、「竿直庵」、「道載」の朱印あり

/ 224

1577-11 森利真宛 富吉道哉茶道書(寛保二年一月に宗正が、若い時から習い覚えたものを書き上げた覚書と、珠光や利休等仏に当てはめた「数寄屋五佛」) / 一冊(六一丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 三〇・〇×二一・二 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載二書之 ↓ 直狝軒一鶴殿 / □□ / 墨付六〇丁、「竿直庵」、「道載」、「宗正」の朱印あり / 224

1577-12 森利真宛 富吉道哉茶道書(草之真一八条、中仕舞九条、客より道具所望一〇条他) / 一冊(二二丁) / 宝暦二年八月三日 / 二九・八×二一・一 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押) ↓ 森平右衛門殿 / □□ / 「竿直庵」、「道載」の朱印あり / 224

1577-13 森利真宛 富吉道哉茶道書(茶祖伝、相阿弥伝、能阿弥伝等、茶の系図) / 一冊(一八丁) / 寛延庚午(寛延三年) 初冬 / 二八・五×一九・八 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道載(花押) ↓ 直狝軒一鶴殿 / □□ / 「竿直庵」、「道載」、「宗正」の朱印あり / 224

1577-14 森利真宛 富吉道哉「三百箇條淑問」(道哉七六歳による茶道に関する一〇〇ヶ条の講釈) / 一冊(三四丁) / 宝暦三年三月 / 二七・八×一九・九 / 豎帳 袋綴冊子装 浅葱布地唐花模様原表紙 楮紙 / 富吉道哉吉豊(花押)・竿直庵宗正道 ↓ 直狝軒一鶴殿 / □□ / 墨付三三丁、「竿直庵」、「道載」、「宗正」の朱印あり / 224

1578 富吉道哉他二名「名物香合を知る事并あしらいの事」(知らない人のために名物香合の一覧と解説を冊子としたもの) / 一冊(五丁) / 宝暦四年一月 / 二五・一×一七・七 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地唐花原表紙 楮紙 / 竿直庵宗正道(花押) 他二名 / □□ / 「竿直庵」、「道載」の朱印あり / 224

1579 「茶祖珠光伝并増補 大徳寺系譜 全」(珠光の伝記とその茶系、禅宗と大徳寺の系譜写、珠光の伝記は元禄一二年) / 一冊(二〇丁) / 江戸後期(年月日未詳) / 二七・三×二〇・一 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 手本 □津蔵書 裏打あり / 題箋に朱印あり / 224

1580 「茶人系譜 異本 全」(珠光から武野紹鷗らを経て宝暦頃の茶人の系図) / 一冊(四〇丁) / 江戸中期(年月日未詳) / 二〇・〇×一三・四 / 豎帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 手本 林泉文庫 / 裏打あり / 墨付一九丁 / 224

典籍—芸術・諸芸—鷹書

- 1588 鷹書写(あら鷹をしたつる事他、鷹関係の間書き、特に養生薬について豊富な内容を含む)／一冊(四四丁)／江戸中期(年月日未詳)／二七・九×二〇・〇／縦帳 袋綴冊子装 白地後補表紙 楮紙／墨付三四丁、原本は戦国期のものか、表紙はクリーム色の和紙調の現代のもの／224
- 1589 「鷹書」写(鷹に関わる事柄を、人から聞いたままに書き留めた書)／一冊(二六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二九・九×二〇・〇／縦帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 楮紙／墨付三五丁／224
- 1590 長江「鷹書」下」写(鷹飼育由来他)／一冊(四六丁)／江戸中期(年月日未詳)／二四・九×一八・三／縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／裏打あり／表紙／224
- 1591 「はいたかのきつかけ」(ハイタカの飼育方法)／一冊(三五丁)／江戸中期(年月日未詳)／二四・四×一六・〇／縦帳 袋綴冊子装 白茶地内曇模様原表紙 楮紙／墨付三四丁／224

典籍—芸術・諸芸—諸芸

- 1587 「直道 下」(疵付薬の事、矢の根のとまりたるを抜薬の事、太延一箇葉の事、諸之眼病の薬)／一卷(五紙)／桃山時代(年月日未詳)／一六・六×一七七・一／切継紙 卷子本 紺地後補表紙 楮紙／裏打あり／元の端裏に「直道」の墨書あり／224
- 1702 「簞盞」(方角や当たり日等の占いに關する書物の抄出)／一冊(三三丁)／江戸後期(年月日未詳)／一五・五×二〇・六／横半帳 長帳綴 深緑地後補表紙 楮紙／雲母紙、墨付三二丁／無
- 1737 土肥博筆「中村敬字先生自叙千字文写」(中村敬字著『自叙千字文』の部分、原本の制作は明治二〇年三月)／一冊(二六丁)／昭和三年一月／二七・二×一八・六／縦帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 楮紙／土肥博／怯〇本／本紙には鉛筆で枠引き、本紙は機械漉か、本文末尾に「昭和三年十一月書之 友人土肥博(朱印)、(朱印)」の墨書あり／無

典籍—武学・武術—兵学

- 1549-001 吉池常右衛門宛 斎藤重伴「軍用目録」(石上流の兵法伝書目録、木村段四郎勝政、斎藤喜右衛門重伴を経て、吉池常右衛門に伝授)／一冊(一八丁)／元文四年八月一日／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／斎藤喜右衛門 重伴(花押)(朱印) ↓吉池常右衛門殿／1549 帙入り／1549の帙側面墨書「是石上流軍書林政綱」 嘉永三年十月中市中二出依之子孫為見習置」、その他墨書多数、冊子冒頭に「石上流血脈」を貼付／223
- 1549-002 「軍用全備太意集 全」(太意集の意義と各巻の概要他)／一冊(三丁)／(元文四年)／一九・二×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223
- 1549-003 「軍用全備問答集 全」(木村勝政と高巢正義の問答、石上流の由来と軍法詳細につき)／一冊(二一丁)／(元文四年)／一九・二×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223
- 1549-004 「軍用受用全集 一」(豊臣秀吉時代の古法と当法の軍役定、役職名配置図)／一冊(二〇丁)／(元文四年)／一八・三×二三・二／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223
- 1549-005 「軍用受用全集 二」(一番槍等の功名と非功名の解説)／一冊(六丁)／(元文四年)／一八・四×二三・二／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223
- 1549-006 「軍用受用全集 三」(武者奉行や使番他六つの役職の役割)／一冊(六丁)／(元文四年)／一八・五×二三・二／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223
- 1549-007 「軍用受用全集 四」(九種類の物見の解説と物見心得)／一冊(五丁)／(元文四年)／一八・四×二三・二／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223
- 1549-008 「軍用受用全集 五」(走廻之巻)、大将と一騎武者の学ぶべき軍法、行軍の心得他)／一冊(一四丁)／(元文四年)／一八・四×二三・二／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223
- 1549-009 「軍用全備集 一」(采幣之巻)、采配の構造と階層別の仕様)／一冊(三丁)／(元文四年)／一九・三×二三・八／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮

／1549 帙入り／末尾に嶋田宣秀、斉藤重伴、吉池貴達の名を記載／223

1549-110 「軍用全備集 二」(「扇之巻」、軍扇の階層別の仕様)／一冊(四丁)／(元文四年)／一九・二×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-111 「軍用全備集 三」(「団之巻」、軍配の仕様)／一冊(六丁)／(元文四年)／一九・三×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-112 「軍用全備集 四」(「策之巻」、兵杖の仕様と材質別の使い分け他)／一冊(三丁)／(元文四年)／一九・二×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-113 「軍用全備集 五」(「武羅之巻」、武羅の仕様、籠と袋、掛け方)／一冊(四丁)／(元文四年)／一九・二×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-114 「軍用全備集 六」(「幕之巻 上」、天幕の仕立て方と仕様)／一冊(五丁)／(元文四年)／一九・三×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-115 「軍用全備集 七」(「幕之巻 下」、各種幕の仕立て方と仕様)／一冊(七丁)／(元文四年)／一九・三×二三・五／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-116 「軍用全備集 八」(「旗之巻」、旗の仕立て方と仕様)／一冊(七丁)／(元文四年)／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／末尾に斉藤重伴、吉池貴達の名を記載／223

1549-117 「軍用全備集 九」(「鳴物之巻」、太鼓と鐘・法螺・拍子木等の仕様)／一冊(六丁)／(元文四年)／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-118 「軍用全備集 十」(「甲之巻」、兜の各部分称と形状別の種類他)／一冊(五丁)／(元文四年)／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-119 「軍用全備集 十一」(「鎧之巻」、鎧の各部分称、着用法、威し方の種類他)／一冊(六丁)／(元文四年)／一九・二×二三・六／横半帳 単葉装 縹地

原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-120 「軍用全備集 十二」(「六具之巻」、頬当・喉輪・脛当他の各部分称他)／一冊(六丁)／(元文四年)／一九・三×二三・五／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-121 「軍用全備集 十三」(「着具之巻」、直垂・陣羽織・小袴他の仕様)／一冊(八丁)／(元文四年)／一九・二×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／末尾に嶋田宣秀、斉藤重伴、吉池貴達の名を記載／223

1549-122 「軍用全備集 十四」(「小道具之巻」、刀鎗類と刀装具、床几、細々とした持ち物の仕様他)／一冊(二三丁)／(元文四年)／一九・三×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／末尾に嶋田宣秀、斉藤重伴、吉池貴達の名を記載／223

1549-123 「軍用全備集 十五」(「馬具之巻」、鞍・鐙・轡・障泥他の各部分称と仕様)／一冊(五丁)／(元文四年)／一九・二×二三・六／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-124 「軍用全備集 十六」(「火葉之巻」、狼煙・松明・火繩他の材料と製法)／一冊(五丁)／(元文四年)／一九・二×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-125 「軍用全備集 十七」(「喰物之巻」、兵糧・兵糧丸・馬の餌・調味料・酒・菓の心得他)／一冊(八丁)／(元文四年)／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／末尾に他見を禁止する旨と林政成、林政敦の名を記載／223

1549-126 「軍用全備集 十八」(「仕寄道具之巻」、梯子・盾・縄・獄門木、首桶と首札、首帳と戦死した味方の過去帳他)／一冊(二二丁)／(元文四年)／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／223

1549-127 「軍用全備集 十九」(「軍船之巻」、階級別の船の仕様、旗・櫓・狭間、備える兵器の心得他)／一冊(四丁)／(元文四年)／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／末尾に嶋田宣秀、斉藤重伴、吉池貴達の名を記載／223

1549-128 「軍用全備集 二十」(「籠城之巻」、備蓄品、心得、竹木、堀や馬出等の城郭構造、罾の仕掛け方他)／一冊(六丁)／(元文四年)／一九・三×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／末尾に桃井直常、嶋田宣秀、

齊藤重伴、吉池貴達の名を記載／223

1549—29 『軍用全備集 二十一』(天門之巻)、兵具仕立て他の吉日と日取り、天体の動きや自然現象ごとの吉凶、呪法他)／一冊(二四丁)／(元文四年)／一九・二×二三・七／横半帳 単葉装 縹地原表紙 雁皮／1549 帙入り／末尾に桃井直常、嶋田宣秀、齊藤重伴、吉池貴達の名を記載／223

1551 益田或政「魔団扇之図記」(兵学伝書、各種軍配の図と部分名称、彩色あり)／一卷(三紙)／天明五年六月一日／一七・五×一八・六／切継紙 雁皮／益田十左衛門成政(花押)(朱印)／抑御軍配団之儀者：奉捧者也仍如件／木箱入り、木箱側面貼紙「一七四、摩団扇之図記 一軸」、木箱ラベル「甲第五十四号 古文書図書籍経卷仏像仏器 摩団扇ノ図記 小箱入一卷 北倉庫階下…」、料紙は泥間合紙／223

典籍—武学・武術—武具

1569 甲冑解説書(具足の着脱法、甲立、形状や部分ごとの名称の解説を軍記物等諸書から抜粋、一部は図示)／一冊(七五丁)／文化四年／一四・七×一九・四／横帳長帳綴 素紙原表紙 楮紙／表紙に江戸にて細井道助より写した旨の記載あり／223

1572 刀工系図(大宝から文和期頃の刀工諸流派の系図)／一冊(九一丁)／室町時代(年月日未詳)／三二・七×一九・五／縦帳 表紙無し 雁皮／継目の剥離多数／表紙に「小田嶋徳」とあり／224

1573 田中一賀齋『金工鑢寄 全』(金工の人名辞典)／一冊(七九丁)／天保一〇年五月／八・二×一八・八／横帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／七十六翁田中一賀齋(花押)／キ〇本 林泉文庫／木版／224

1574 田中忠八郎『古刀銘集録 全』(刀工の解説書、名順に配列)／一冊(一五三丁)／文政一一年七月／八・三×一八・二／横帳 長帳綴 黄茶地原表紙 楮紙／コ〇本 羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／木版、東都田中忠八郎蔵板(花押)、裏表紙見返しに「山森佐四郎」の墨書あり／224

1748—01 仰木弘邦『古刀銘尽大全 卷之一』(序文、目録、凡例、初心目利手引他一三項目)／一冊(三三三丁)／寛政四年正月／二五・七×一八・六／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／洛東 仰木伊織菅原弘邦／吉江印／補修あり、裏表紙見返しの裏に黒印あり、木版、版元は田中汲古齋／無

1748—02 『古刀銘尽大全 卷之二』(東国の鍛冶系図)／一冊(二四丁)／寛

政四年正月／二五・七×一八・六／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江印／木版、版元は田中汲古齋、表紙見返しは元は卷之三に製本されていたものか／無

1748—03 『古刀銘尽大全 卷之三』(西国の鍛冶系図)／一冊(三六丁)／寛政四年正月／二五・八×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江印／木版、版元は田中汲古齋、表紙見返しは元は卷之二に製本されていたものか／無

1748—04 『古刀銘尽大全 卷之四』(番鍛冶、同名寄、鍛冶上中下作、古代名物)／一冊(一八丁)／寛政四年正月／二五・七×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江印／木版、版元は田中汲古齋／無

1748—05 『古刀銘尽大全 卷之五』(刀剣見様のこと)／一冊(一七丁)／寛政四年正月／二五・六×一八・五／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江印／木版、版元は田中汲古齋／無

1748—06 『古刀銘尽大全 卷之六』(刀剣見様のこと)／一冊(一六丁)／寛政四年正月／二五・九×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江印／木版、版元は田中汲古齋／無

1748—07 『古刀銘尽大全 卷之七』(焼刃・中心押形と彫物)／一冊(三六丁)／寛政四年正月／二五・九×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江印／木版、版元は田中汲古齋／無

1748—08 『古刀銘尽大全 卷之八』(東国の中心銘押形)／一冊(三三三丁)／寛政四年正月／二五・八×一八・七／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江印／木版、版元は田中汲古齋／無

1748—09 『古刀銘尽大全 卷之九』(西国の中心銘押形、後序)／一冊(四四丁)／寛政四年正月／二五・七×一八・四／縦帳 袋綴冊子装 茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／仰木伊織菅原弘邦著／吉江印／補修あり、表紙見返しに「□惠氏」の墨書あり、木版、版元は田中汲古齋／無

1749 『今古 新刀銘鑑 完』(慶長以降の刀工の番付)／一枚(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／七五・二×五〇・三／切継紙 折疊装 黄茶地正繋ぎ原表紙 楮紙／吉江・吉江蔵書／木版、「応需東琳書」とあり／無

典籍—琉球

1714 「官語」(中国語学習の参考書である琉球官話の一種)／一冊(四四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二四・四×一四・一／豎帳 袋綴冊子装 焦茶地原表紙 竹紙／ク本 林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／裏打あり／補修あり、外題「官語」は後筆、表紙に「鄭烈銘」の朱書きあり／無

1721-01 『雪堂集 乾』(程順則の旅行記で「中山詩文集」の一部を抜粋、雪堂燕草序、雪堂雜組の漢詩集)／一冊(四二丁)／近代(年月日未詳)／二五・四×一四・四／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 竹紙／林泉文庫・兼印・君氏益／裏打あり／墨付三九丁、表紙に「□琉獲得」の朱書きあり、木版／無

1721-02 『雪堂集 坤』(雪堂贈言、翠雲樓詩箋他の漢詩文集)／一冊(三〇丁)／近代(年月日未詳)／二五・一×一四・五／豎帳 袋綴冊子装 朱地原表紙 竹紙／七本・七〇門一二六号・全伊佐早謙内二二二 林泉文庫／墨付二八丁、木版／無

1744 「咨文 卷之二」(首里王府における対中国・日本の政治・外交方針の案文集、三一項目)／一冊(五五丁)／第二尚氏(年月日未詳)／二三・九×一八・九／豎帳 袋綴冊子装 焦茶地原表紙 竹紙／第一二〇／裏打あり／墨付五三丁、古本屋の敦賀屋為七郎の挟込あり、表紙に「咨文 共冊」の墨書きあり／無

1745 沖繩県『林政八書』(琉球王国時代に出された森林に関する法令・文書他)／一冊(一〇三丁)／明治一八年二月上流／一九・九×一四・三／豎帳 袋綴冊子装 黄地疋繫ぎ模様原表紙 機械漉紙／沖繩県／一八〇二丁目は袋綴、活版印刷／無

典籍—漢籍

1730-01 范仲庵「大范 一之五」写(「范文正公集」一〇五卷)／一冊(一一〇丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・六×一七・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／林泉文庫・兼印・樅軒／1730-01-02 帙入り／原表紙・原裏表紙を後補紙で包む、帙は紙に布張り灰色地黒蝶散し模様、「八本」のラベルと「范文正公集 雲井龍雄書写」の題箋あり、1730-02、1726と一連の写本と推測されるが前半の筆跡は異なる／無

1730-02 范仲庵「大范 六之八」写(「范文正公集」六〇八卷)／一冊(八二丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・七×一七・三／豎帳 袋綴冊子装 白茶地後補表紙 楮紙／林泉文庫・兼印・樅軒／1730-01-02 帙入り／原表紙・原裏表紙を後補

紙で包む、1726、1730-01と一連の写本か／無

1726-01 范仲庵「大范 十八之二十」写(「范文正公集」一八〇二卷)／一冊(六四丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・六×一七・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／夕本／表紙に「雲井龍雄手書范文正公集」墨書と「珍本」朱書きの貼紙あり／無

1726-02 范仲庵「大范 廿一之廿四」写(「范文正公集」二一〇二四卷)／一冊(一〇一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二五・六×一七・二／豎帳 袋綴冊子装 黄茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／補修あり、表紙見返しに「三〇蔵書」の墨書きあり／無

典籍—一枚刷

0624 「御築地内図 全」(禁裏、仙洞御所、寺社、撰家、華族屋敷割絵図)／一冊(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三八・〇×四九・七／浅葱地原表紙 楮紙／寿徳堂印／木版彩色あり、表紙に「親仁」の墨書きあり／097

1485 外題無し(1485-01-07の表紙)／一枚／現代(年月日未詳)／三七・五×二一・〇／豎紙 楮紙／1485-01-07貼紙／210

1485-01 「御国恩家業鑑」(米沢城下の商家の見立て番付)／一枚(二紙)／文久三年／五二・四×三七・五／豎紙 楮紙／板元 和泉屋弥兵衛／林泉文庫／1485-01-07貼紙／裏に「岩間」の押印あり、木版／210

1485-02 「万国地名競」(日本から諸外国までの里数の見立て番付)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／四九・四×三七・二／豎紙 楮紙／顛文堂知利／林泉文庫／1485-01-07貼紙／木版／210

1485-03 「出羽奥州大増補道中駅案内図」(江戸街道、湯殿山道等にある城下や町の地名、距離)／一枚(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・五×七七・五／豎紙 楮紙／羽州山形十日町 北條忠兵衛(朱印)／林泉文庫／1485-01-07貼紙／木版／210

1485-04 「新刀名鑑」(京都五鍛冶等刀工の名前と刀名、値段)／一枚(一紙)／文化一三年六月／三一・三×四七・二／豎紙 楮紙／輯者 上條邦救(花押)・永寿堂 東都書林 西村屋与八蔵／林泉文庫／1485-01-07貼紙／木版／210

1485-05 大名等見立番付(大名・交代寄合・高家の石高、初官位家格、金紋先箱の家等)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／四六・五×三一・八／豎紙 楮紙／林泉文庫／1485-01-07 貼継／木版／210

1485-06 大名等見立番付(三御山、御成日ならびに名代、布衣以上の御役高等)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／四一・九×三一・一／豎紙 楮紙／林泉文庫／1485-01-07 貼継／木版／210

1485-07 「新撰年八掛」(易占い、易経)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・四×三八・五／豎紙 楮紙／林泉文庫／1485-01-07 貼継／木版／210

1756-01-01 「相州浦賀表江上陸行歩之図」(ペリー上陸、アメリカ言葉一覽)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二四・一×三四・八／切紙 楮紙／林泉文庫／1756-01-01-12 貼継／木版、裏に「諸番附類 天」墨書の貼紙あり／無

1756-01-02 ペリー拝謁図(ペリー拝謁の様子)／一枚(二紙)／(嘉永六年)／二四・三×三一・三／切紙 楮紙／世界六九州ノ内北あめりか州ハ：天下太平之御代而是□下□／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-01-03 「信濃国善光寺略絵図」／一枚(二紙)／(弘化、嘉永頃頃)／三五・一×五三・八／切紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版、深斎英泉画、蔦屋伴五郎板／無

1756-01-04 「御猪狩小金原御場所図」／一枚(二紙)／(嘉永二年)／三〇・九×四五・八／豎紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-01-05 老中以下幕府役職者一覽(老中は阿部伊勢守と牧野備前守、役職、領国、石高、家紋を記載)／一枚(一紙)／天保一四年、安政四年頃／三四・八×四八・九／豎紙 楮紙／江戸馬喰町二丁目 万屋龜右衛門蔵□／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-01-06 「蒸気船之図」(アメリカカ船の図、寸法、諸外国の里数)／一枚(一紙)／(嘉永六年)／四二・一×三三・六／豎紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-01-07 「海陸御固御役人附」(浦賀奉行以下、大名毎の持ち場と人数、領国、石高)／一枚(一紙)／(嘉永六年)／二〇・九×三三・八／切紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-01-08 「古今頭量一覽」(様々な分野に優れた人を二人一組で記載した見立て番付)／一枚(一紙)／嘉永二年／四四・六×三三・九／豎紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版、菊栄堂板／無

1756-01-09 歌舞伎役者見立番付(市川団十郎、中村歌右衛門他)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三四・一×四八・二／豎紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-01-10 「希世高名一覽」(高麗七ヶ年の陣、富士の牧狩他、見立て番付)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／四七・一×三四・七／豎紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-01-11 「三幅対」(三社、三筆等見立て番付)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／五三・一×三六・四／豎紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版、花山堂板／無

1756-01-12 「諸国持○長者鑑」(鴻池善左衛門、三井八郎右衛門以下、金持ち見立て番付)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三五・七×五二・〇／豎紙 楮紙／1756-01-01-12 貼継／木版／無

1756-02-01 「□□(御大カ)礼御轅行列附」(二条大納言他、公家の行列図)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二二・四×二八・八／切紙 楮紙／林泉文庫 一部破損／1756-02-01-16 貼継／木版／無

1756-02-02 「將軍宣下御大札」(行列図)／一枚(一紙)／安政五年／二三・〇×二八・八／切紙 楮紙／1756-02-01-16 貼継／木版／無

1756-02-03 將軍宣下御大札(1756-02-02の続き、上杉弾正大弼も記載あり)／一枚(一紙)／安政五年／二三・一×二八・七／切紙 楮紙／1756-02-01-16 貼継／木版／無

1756-02-04 「諸国繁昌の地道のり案内」(江戸から諸国への距離の見立て番付、東の前頭に米沢の記載あり)／一枚(一紙)／(安政三年)／二九・七×二三・九／切紙 楮紙／1756-02-01-16 貼継／木版、「千時安政三丙辰歳七月□立 大町 岩間蔵書」墨書あり／無

1756-02-05 「くにくに名物つくし」(諸国名産品の見立て番付、前頭に最上紅花の記載あり)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／四二・一×三〇・一／豎紙 楮紙／1756-02-01-16 貼継／木版、泉永堂／無

1756-02-06 「当世大相撲力士鏡」(剣山谷右衛門、秀の山雷五郎等力士の肖像と略歴) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 三〇・一×八五・一 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版 / 無

1756-02-07 「日本名所旧跡数望」(名所の見立て番付) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四三・一×三〇・一 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版、横山町二丁目 和泉屋永吉 / 無

1756-02-08 「江戸呉服太物大商人名集番附」(呉服屋の見立て番付) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四〇・〇×三〇・五 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版 / 無

1756-02-09 「盛衰記三国志取組番附」(東方に源平盛衰記の登場人物、西方に三国志の登場人物) / 一枚(二紙) / 天保三年秋 / 四二・二×三〇・三 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版、江戸馬喰町三丁目吉田小吉板 / 無

1756-02-10 江戸町火消纏一覽(纏の図、担当地域、人足数等) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 三一・四×四五・五 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版、上部欠 / 無

1756-02-11 「奥州会津柳津之図」 / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 三一・六×五〇・五 / 切継紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版、平安法橋中和再画 / 無

1756-02-12 「丹青鏡」(文化年間頃までの日本の絵師の見立番付、活躍した和暦と名称を記載) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四四・三×三二・三 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 墨書 / 無

1756-02-13 刀工見立番付(刀鍛冶の名称と居住国名) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四三・一×三二・六 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 墨書、枠外左側の文字が切れている / 無

1756-02-14 「嘉永二年小金ヶ原御用掛御役人附」(役人と眷狩の略図) / 一枚(二紙) / (嘉永二年) / 三二・五×七一・二 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版 / 無

1756-02-15 歌舞伎役者見立番付(尾上多見蔵、沢村訥升他) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 三二・六×二三・五 / 切紙 / 楮紙 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版 / 無

1756-02-16 「丙午歳生れの子のさとし書」(丙午に生まれた子供が良くないという俗説の否定、出産を推奨) / 一枚(二紙) / 弘化二年七月 / 二三・二×三四・三 / 豎紙 / 楮紙 / 和州駒塚東福寺六十歳此岳謹誌 / 1756-02-01 / 16貼継 / 木版 / 無

1756-03-01 「焼場方角明細図」(安政五年一月一日の江戸大火の範囲等) / 一枚(三紙) / 安政五年 / 三三・一×六七・六 / 豎紙 / 楮紙 / 林泉文庫 / 一部破損、裏打あり / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版、裏に「諸番附類 地」墨書の貼紙あり / 無

1756-03-02 江戸近辺稻荷神社見立番付 / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 二九・九×三二・四 / 切紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版、上部欠 / 無

1756-03-03 江戸常盤津見立番付(常盤津節の番付) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四五・六×三一・九 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-04 豊臣家大名一覽(御家門、五大老、五奉行、中老、七手組、譜代、外様等) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 三一・八×三四・九 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-05 「名譽一覽」(劍、鎗、柔、軍学等武芸者の見立て番付) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四三・八×三四・五 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-06 「忠孝仇討鏡」(仇討の見立て番付) / 一枚(二紙) / 弘化三年 / 三三・一×四〇・七 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-07 「俳諧江戸評判くらべ」(江戸在住の俳人の番付) / 一枚(二紙) / 弘化四年 / 四五・八×三四・六 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版、西寿堂蔵刻 / 無

1756-03-08 「武者鑑」(直江兼続等、戦国時代の大名を除く武士の番付) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 五八・一×三四・七 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-09 「川中嶋」(東を武田方、西を上杉方とした武將見立て番付) / 一枚(二紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四六・五×三三・三 / 豎紙 / 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-10 「浄瑠璃外題競」(見立て番付) / 一枚(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 四五・九×三三・四 / 縦紙 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版、仙鶴堂版 / 無

1756-03-11 「数定将士鑑」(平安から戦国期までの高名な大名家臣の列挙、四天王、七党等記載、廉水亭応山述) / 一枚(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 三三・〇×四五・八 / 縦紙 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-12 「賢徳信義忠孝貞操」(行状を基準にした女性の見立て番付) / 一枚(一紙) / 弘化三年仲夏 / 四四・二×三三・〇 / 縦紙 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版、版元 釜屋金之助 / 無

1756-03-13 「古今丹青競」(戦国時代以降の絵師の見立て番付、東洋片駒文晁三先生鑑定) / 一枚(一紙) / (文化年間頃) / 四七・六×三三・四 / 縦紙 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-14 「江戸現在画家品評」(江戸在住の絵師の見立て番付、山水、人物、花鳥等、喜多武清、大西椿年他) / 一枚(一紙) / 嘉永己酉(嘉永二年) 秋 / 三五・三×二四・二 / 切紙 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版 / 無

1756-03-15 「漬物見立番付」 / 一枚(一紙) / 江戸後期(年月日未詳) / 三五・四×二七・八 / 切紙 楮紙 / 1756-03-01 / 15貼継 / 木版、南伝馬三丁目川村与兵衛 / 無

典籍—近代活版本

0250 『錦杉 別格官幣社上杉神社彙報 第二号』(「謙信公御贈位索命文」や上杉神社の動向他) / 一枚(四紙) / 昭和二年二月五日 / 三一・九×二三・四 / 菊8つ切り菊4つ切りの2つ折り 機械漉紙 / 上杉神社 / ケ〇本 / 印刷発行物、「ケ〇本」ラベルの下に別ラベルあり / 034

1042-01 浅見省吾 『飯峰文鈔 一』(「上旧藩主請輯史料書」、「上文部某公書」他三三題) / 一冊(四八丁) / 明治三六年二月 / 二三・九×一四・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 浅見省吾 / 1042-01 / 〇3紙継一括 / 活版 / 163

1042-02 浅見省吾 『飯峰文鈔 二』(「重野成斎先生七十寿序」、「南摩羽峰先生七十寿序」他三三題) / 一冊(三四丁) / 明治三六年二月 / 二三・九×一四・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 浅見省吾 / 1042-01 / 〇3紙継一括 / 活版 / 1

63

1042-03 浅見省吾 『飯峰文鈔 三』(「細井平洲先生伝」、「種林檮説」他三三題) / 一冊(三四丁) / 明治三六年二月 / 二三・九×一四・八 / 縦帳 袋綴冊子装 茶地原表紙 楮紙 / 浅見省吾 / 1042-01 / 〇3紙継一括 / 活版 / 163

1049 『上杉謙信公略履歴』(享祿三年の誕生から天正六年三月) / 一冊(五〇丁) / 近代(年月日未詳) / 二三・九×一六・三 / 縦帳 袋綴冊子装 浅葱地原表紙 機械漉紙 / ウ〇本 / 活版 / 164

1627 東京美術倶楽部 『もく録』(大正五年七月開催の仙台伊達家所蔵美術品売立て目録、写真図版入り) / 一冊(八六丁) / 大正五年 / 二一・八×一四・七 / 洋装本 金銀雀と竹模様原表紙 機械漉紙 / 東京美術倶楽部 / 夕本 / 活版、印刷は株式会社審美書院、第二回仙台伊達家御蔵品入札、ホチキス・糊留め / 229

1750 菊池清 『名所案内』(山形県内の名所の写真と説明) / 一冊(一〇四丁) / 明治三一年三月 / 二一・〇×一八・〇 / 紐綴冊子装 印刷原表紙 機械漉紙 / 菊池清 / 発行所は菊池写真館、活版、表紙は多色刷 / 無

1761 財団法人斎藤報恩会 『産業に関する懸賞論文』(東北地方の産業発展と金融策をテーマとして募集した論文の受賞作品集、渡辺東雄「東北地方における水産金融策」他計五編) / 一冊(六六九頁) / 昭和三年九月一〇日発行 / 二一・九×一四・七 / 洋装本 素紙原表紙 機械漉紙 / 財団法人斎藤報恩会産業及び社会総務部 / 活版 / 無

1762 人口問題研究所 『人口政策と国土計画』(第五回人口問題全国協議会の報告、美濃口時次郎「人口政策確立要綱に就て」他) / 一冊(三六九頁) / 昭和一七年一月一五月初版発行 / 二五・六×一八・一 / 洋装本 素紙原表紙 機械漉紙 / 人口問題研究所編 / 見返し表に鉛筆書「478」、活版 / 無

1763 内務省地方局 『欧米自治救済小鑑』(各種公共団体の経営事績と公益事業に関する資料集、「グラスゴー市の斉整」他、計一〇〇篇) / 一冊(二一八頁) / 明治四三年一〇月一九日発行 / 二二・九×一五・六 / 洋装本 深緑地金横線原表紙 機械漉紙 / 内務省地方局編纂 / 表紙裏に鉛筆書「479」、活版 / 無

1764 内務省地方局 『感化救済小鑑』(日本の感化救済事業に関する資料集、「貧窮花下に娛しむ観桜会」他、計一一三篇) / 一冊(二六〇頁) / 明治四三年一〇月一九日発行 / 二二・八×一五・七 / 洋装本 深緑地金横線原表紙 機械漉紙 / 内務省地方局編纂 / 表紙裏に鉛筆書「480」、活版 / 無

1765 内務省地方局 『地方行政史料小鑑』(日本の民治行政上の事績集、「徳川頼宣

ノ庶民教育」他、計七五編)／一冊(一三八頁)／明治四三年一〇月一九日 発行／二
二・八×一五・八／洋装本 深緑地金横線原表紙 機械漉紙／内務省地方局編纂／表紙
裏に鉛筆書「481」、活版／無

1766 若菜貞爾『府県郡区改正一覽』(日本全国郡区改正一覽、郡区役所の位置、
郡区長委任の条件)／一帖(二〇紙)／明治一二年一二月一八日出版／一六・三×七・
六／折帖 黄茶地布目地原表紙 楮紙／福岡県平民若菜貞爾／一六一 林泉文庫／出版
人・東京府平民村上真助、依田次右衛門他二〇名／活版／無

諸家文書—色部家—文書

- 1063-01-01 色部文書(1063-01の表紙)／一卷／現代(年月日未詳)／三一・三×二八・五／卷子装 茶地後補表紙／1063-01-01-18卷子装／166
- 1063-01-01 関東下知状案(越後国小泉庄内における色部公長と荒河景秀の境相論)／一通(一紙)／建長七年一〇月二四日／三一・二×一四・二／豎紙 楮紙／相模守平朝臣在御判／越後国小泉庄内：將軍家仰下知如件／欠損、錯簡甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四二一／166
- 1063-01-02 河村けうしん讓状案(所領を河村小二郎方へ讓渡し、けうしんは妨げあるべからず)／一通(一紙)／文永三年六月一日／二九・五×八一・三／豎紙 楮紙／かわむらのけうしんありはん／(前欠)つる(中欠)この：あなかしく／端裏書「此讓状大破文字不詳、又子細トモニ不分明」／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四二(一)号、重書案につき書繼、02-04法量一括／166
- 1063-01-03 河村某讓状案(越後国荒川内兒島・小岩内二村の所領を「あらた四郎」に讓与)／一通(一紙)／延慶三年九月一八日／豎紙 楮紙／□□□□ありはん／ゆつりわたす：くたんのことし／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四二(二)号、重書案につき書繼、02-04法量一括／166
- 1063-01-04 沙弥道性讓状案(沙弥道性の所領を「たかはわ」に讓渡)／一通(一紙)／鎌倉時代(年月日未詳)／豎紙 楮紙／ししゆんの事：あるへから(後欠)／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四二(三)号、重書案につき書繼、02-04法量一括／166
- 1063-01-05 色部公長讓状案(色部公長による所領の讓渡し)／一通(一紙)／文永七年八月二五日／三一・一×三一・四／豎紙 楮紙／沙弥行忍在判／(前略)他妨任先例：可令致其(後欠)／端裏書「狀古案一通」／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四三三／166
- 1063-01-06 色部公長讓状案(越後国小泉庄内粟島地頭職を色部公長から平長信に讓与)／一通(一紙)／文永七年八月二五日／二九・五×三二七・〇／豎紙 楮紙／沙弥行忍／右所讓与(後欠)：無懈怠(後欠)／端裏書「惣領家讓状」／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四四号、案文につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-07 関東下知状案(越後国小泉庄内粟島地頭職を色部公長から平長信に讓与することを認める)／一通(一紙)／文永七年二月一四日／豎紙 楮紙／左京権大夫平朝臣判・相模守平朝臣／可令早長信：依仰下知(後欠)／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四五号、案文につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-08 某讓状案(越後国色部条内の作田を思庵房に任ず)／一通(一紙)／鎌倉時代(年月日未詳)／豎紙 楮紙／讓渡右越後国：田四段八除之畢／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四六号、案文につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-09 色部忠長讓状案(越後国小泉庄色部条地頭職を嫡孫長綱に讓与)／一通(一紙)／永仁七年三月七日／豎紙 楮紙／淨忍判／右所領者重代：之状如件／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四七号、案文につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-10 色部忠長讓状案(長信を物領として手繼証文を讓与)／一通(一紙)／建治二年六月九日／豎紙 楮紙／平忠長在判／右以子息孫三郎：其沙汰之状如件／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四八号、案文につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-11 色部忠長讓状案(子息長綱に手繼証文と忠長自筆の書状を讓渡)／一通(一紙)／永仁三年四月六日／豎紙 楮紙／讓渡越(後欠)：知之状如件／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四九号(一)、重書案につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-12 関東下知状案(色部長綱に某領の地頭職相伝を認める)／一通(一紙)／正安元年五月二日／豎紙 楮紙／(前欠)平朝臣、相模守平朝臣判／可令早長綱：領掌之状依仰(後欠)／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四九号(二)、重書案につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-13 色部長綱讓状案(越後国小泉庄内色部条地頭職を子息長倫に讓渡)／一通(一紙)／正和五年四月九日／豎紙 楮紙／平長綱判／讓渡越後国小泉庄：可令致其沙汰之(後欠)／欠損甚大／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九四九号(三)、重書案につき同一紙にて、06-13法量一括／166
- 1063-01-14 色部氏長讓状案(越後国牛屋条内地頭職を子息若童丸に讓渡)／一通(一紙)／建治二年八月三日／三一・七×三八・〇／豎紙 楮紙／平氏長在判／

讓渡越後國小泉庄：いたすへき状如件／欠損あり／1063-01-01-18卷子装
 『新潟県史 資料編四』一九五〇号／166

1063-01-15 関東下知状案（越後国荒河保雜掌と色部光忍の境相論につき和
 与にて解決）／一通（一紙）／正応三年九月／三〇・八×三一・六／豎紙 楮紙／陸奥
 守平朝臣在御判・相模守平朝臣在御判／越後国荒河保：鎌倉殿仰下知如件／欠損あり、
 上下裁断あり／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九五二
 号／166

1063-01-16 関東下知状案（越後國小泉庄牛屋条内地頭職等の所職を色部長
 直に讓渡）／一通（一紙）／正応五年一〇月二〇日／三〇・七×二九・七／豎紙 楮紙
 ／陸奥守平朝臣在御判・相模守平朝臣在御判／可令早平長直：依仰下知如件／欠損、上
 下裁断あり／1063-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九五二号
 ／166

1063-01-17 関東下知状案（色部清長と忠長による色部公長の遺領をめぐる
 相論）／一通（四紙）／弘安二年一〇月二六日／三一・八×七八・〇／豎紙 楮紙／相
 模守平朝臣／（前欠）長同三郎：鎌倉殿仰下知如件／端裏書「忠長公御代將軍家ヨリ裁
 許状二通一継」／欠損、上下裁断あり／1063-01-01-18卷子装／『新潟県
 史 資料編四』一九五三号（一）／166

1063-01-18 関東下知状案（年貢未進につき領家雜掌と色部忠長、光忍、阿
 忍と相論）／一通（三紙）／正応元年一二月二日／三一・八×七〇・三／豎紙 楮紙
 ／（前欠）平朝臣／越後國小泉庄領家：鎌倉殿仰下知如件／欠損、上下裁断あり／10
 63-01-01-18卷子装／『新潟県史 資料編四』一九五三号（二）／166

1063-02 色部文書（1063-02の表紙）／一卷／現代（年月日未詳）／三
 五・一×二七・七／卷子装 茶地後補表紙／1063-02-01-03卷子装／16
 6

1063-02-01 色部為長・預所盛光中分状案（越後國小泉庄内の作付内訳）／
 一通（二紙）／永仁四年四月二〇日／二七・〇×三四・三・四／繼紙 楮紙／地頭為長
 在判・預所盛光在判／（前欠）泉庄（後欠）：令左右之状如件／端裏書「永仁四年為旧
 □不引合」／欠損、一部錯簡あり／1063-02-01-04卷子装／『新潟県史
 資料編四』一九五四号／166

1063-02-02 色部為長・預所盛光中分状案（越後國小泉庄内の作付内訳）／
 一通（三紙）／永仁四年四月二〇日／二九・八×一四・二・三／繼紙 楮紙／（前欠）長
 在判、（後欠）／（前欠）まゝに南へふな：令左右之状如件／欠損、錯簡あり／106
 3-02-01-04卷子装／1063-02-01-01と同内容（一部欠）／166

1063-02-03 色部為長・預所盛光中分状案（越後國小泉庄内の作付内訳）／
 一通（三紙）／（永仁四年四月二〇日）／二八・五×七四・三／繼紙 楮紙／（前欠）
 四百苅弥平太：弥五郎入道（後欠）／欠損大／1063-02-01-04卷子装／1
 063-02-01-01と同内容（一部欠）／167

1063-02-04 色部忠長讓状（色部長秀へ所領を讓渡）／一通（一紙）／延慶
 二年□月一日／二六・〇×三七・八／豎紙 楮紙／淨忍（花押）／四郎太郎（後欠）：
 これをもてすへし／端裏書「忠長□御代」／欠損／1063-02-01-04卷子装
 ／『新潟県史 資料編四』一九五五号／166

1063-03 色部文書（1063-03の表紙）／一卷／現代（年月日未詳）／三
 五・八×二七・七／卷子装 茶地後補表紙／1063-03-01-11卷子装／16
 6

1063-03-01 関東下知状案（蓮觀遺跡の田畠・在家等を長行に認める）／一
 通（一紙）／正和二年一二月二七日／三一・三×一四・九／豎紙 楮紙／右就訥（中
 欠）之座：依鎌倉殿仰下知如（後欠）／端裏書「宿田長行代所領相論之節鎌倉ヨリ裁
 許状大破文法不詳」／欠損甚大／1063-03-01-11卷子装／『新潟県史 資料
 編四』一九五六号／166

1063-03-02 関東下知状案（病氣につき対決不参の罪科および年貢押領分の
 札返を裁決）／一通（一紙）／正和五年三月二日／三〇・五×三八・〇／豎紙 楮紙
 ／相模守平朝臣在御判・陸奥守平朝臣在御判／（前欠）之間同七月：依鎌倉殿仰（後欠）
 ／欠損甚大／1063-03-01-11卷子装／『新潟県史 資料編四』一九五七号
 ／166

1063-03-03 関東下知状案（越後國小嶋村を惣領長直分として承認）／一通
 （二紙）／元亨二年一二月三日／二九・二×二七・三／豎紙 楮紙／相模守平朝臣在□、
 修理（後欠）／（前欠）三□□三答状：依鎌倉殿（後欠）／欠損甚大／1063-03
 -01-11卷子装／『新潟県史 資料編四』一九五八号／166

1063-03-04 色部長綱讓状写（長綱遺領は一期分として女房相統の後、三郎
 と又藤に分割相続）／一通（一紙）／正和五年一月二〇日／三〇・一×三一・七／豎
 紙 楮紙／長綱在判／（前欠）候とほりなり：状くたんのことし／端裏書「任此状可令
 領掌之由依」／欠損甚大／1063-03-01-11卷子装／『新潟県史 資料編四』
 一九五九号／166

1063-03-05 性空讓状案（越後國小泉庄内色部条の田・在家役を比丘尼祖誓
 に讓与）／一通（一紙）／延文二年三月八日／三〇・二×四四・四／豎紙 楮紙／沙弥
 尼性空在判／讓与越後國小泉庄：すへき状如件／中央部欠損／1063-03-01-11

11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六〇号 / 166

1063-03-06 祖誓讓状案 (越後国小泉庄内色部条の田・在家役等を姪清空に譲与) / 一通 (一紙) / 嘉慶二年三月一日 / 三〇・二×四五・一 / 豎紙 楮紙 / 悟了庵比丘尼祖誓在判 / 譲与越後国小泉之庄 : 為後日讓状如件 / 中央部欠損 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六一号 / 166

1063-03-07 清可讓状案 (越後国小泉庄内色部条の田・在家役等を弟子祐椿に譲与) / 一通 (一紙) / 応永三一年一月一日 / 三〇・二×四二・四 / 豎紙 楮紙 / 悟了庵清可比丘尼在判 / 譲与越後国小泉庄 : 為後日讓状如件 / 一部欠損 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六二号 / 166

1063-03-08 祐椿讓状案 (越後国小泉庄内色部条の田・在家役等を弟子祐崇に譲与) / 一通 (一紙) / 室町時代 (年月日未詳) / 三〇・四×四四・九 / 豎紙 楮紙 / 悟了祐春比丘尼在判 / 譲与越後国小泉之庄 : 仍讓状如件 / 奥部分欠損 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六三号 / 166

1063-03-09 誓仏置文 (御堂の修理等は別当がすべき) / 一通 (一紙) / 元応元年一月九日 / 二九・八×二一・五 / 豎紙 楮紙 / 比丘尼誓仏 (花押) / (前欠) のりやうはう : くだんのことし / 前半欠損 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六四号 / 166

1063-03-10 誓仏讓状 (越後国小泉庄内色部条内の誓仏の所領を孫朝長に譲与) / 一通 (一紙) / 正中二年閏正月一日 / 三一・五×四三・〇 / 豎紙 楮紙 / あませいふつ (花押) / ゆつりわたす : くだんのことし / 端裏書 ■ 法印 ■ 其子細不分明 / 一部欠損 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六五号 / 166

1063-03-11-01 色部長行讓状案 (越後国牛屋条地頭職を孫彦七に譲与) / 一通 (三紙) / 正慶二年三月二日 / 三〇・六×二二・〇 / 豎切紙 楮紙 / さへものせう長行在判 / (前欠) のちとうしきの事 : ゆつり状如件 / 欠損甚大 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六六 (一) 号、重書案につき書繼、01-05 法量一括 / 166

1063-03-11-02 色部長行讓状案 (越後国牛屋条内の田・在家を孫「おとな」に譲与) / 一通 (一紙) / 正慶二年三月二日 / 豎切紙 楮紙 / さへものせう長行在判 / ゆつりあたう : くだんのことし / 前半欠損 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六六 (二) 号、重書案につき書繼、01-05 法量一括 / 166

1063-03-11-03 色部長行讓状案 (越後国牛屋条内の田・在家を孫「いぬ坊女・せんす女」に譲与) / 一通 (一紙) / 正慶二年三月二日 / 豎切紙 楮紙 / さへものせう長行在判 / ゆつりあたう : くだんのことし / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六六 (三) 号、重書案につき書繼、01-05 法量一括 / 166

1063-03-11-04 色部長行讓状案 (越後国牛屋条内の田・屋敷を孫娘「こせん」に譲与) / 一通 (一紙) / 正慶二年三月二日 / 豎切紙 楮紙 / さへものせう長行在判 / ゆつりあたう : くだんのことし / 上部欠損 / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六六 (四) 号、重書案につき書繼、01-05 法量一括 / 166

1063-03-11-05 色部長行讓状案 (越後国牛屋条内の田・屋敷を「たけま御せん」に譲与) / 一通 (一紙) / 正慶二年三月二日 / 豎切紙 楮紙 / 長行在判 / ゆつりあたう : くだんのことし / 1063-03-01-11 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六六 (五) 号、重書案につき書繼、01-05 法量一括 / 166

1063-04 色部文書 (1063-04 の表紙) / 一卷 / 現代 (年月日未詳) / 三五・一×二七・七 / 卷子装 茶地後補表紙 / 1063-04-01-07 卷子装 / 166

1063-04-01 覺置文 (諸上寺の住持に関する遺教・遺言につき) / 一通 (一紙) / 康永四年 / 三一・六×九四・三 / 豎紙 楮紙 / 覺 (花押) / 諸上寺 (途中欠) 円浄庵主 : 仍遺教遺言如件 / 一部欠損 / 1063-04-01-07 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六七号 / 166

1063-04-02 色部宗長讓状 (色部長高知行分の田二〇〇〇疇を妹いぬ房に譲渡) / 一通 (一紙) / 文和三年一月一日 / 二九・〇×三四・七 / 豎紙 楮紙 / 沙弥宗長 (花押) / 譲渡所領之事 : 仍讓如件 / 前半欠損 / 1063-04-01-07 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六八号 / 166

1063-04-03 色部資長讓状 (越後国瀬波郡の所領を色部一族の彦童丸に譲渡) / 一通 (一紙) / 応安三年九月二日 / 三〇・五×三三・七 / 豎紙 楮紙 / 平資長 (花押) / (前欠) 八日市田在家 : 為後日讓状如件 / 前半欠損 / 1063-04-01-07 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九六九号 / 166

1063-04-04 色部長忠讓状 (所領讓渡、資料大破につき解説不可) / 一通 (一紙) / 応永一六年 □月一日 / 二九・一×三七・八 / 豎紙 楮紙 / 平長忠 (花押) / (前欠) 之事 (後欠) : 異乱妨之状如件 / 欠損甚大 / 1063-04-01-07 卷子装 / 『新潟県史 資料編四』一九七〇号 / 166

1063-04-05 色部長忠寄進状(越後国内の某所領を某寺へ寄進)／一通(一紙)／応永一七年一月二〇日／三四・一×四四・五／豎紙 楮紙／惣領長忠(花押)／(前欠)寄進(後欠)：寄進状如件／前半欠損／1063-04-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七一号／166

1063-04-06 源重綱讓状(重綱所有の田畠・屋敷を子息みの松丸に譲与)／一通(一紙)／文永六年六月一日／二五・〇×三三・〇／豎紙 楮紙／源重綱(花押)／(前欠)むいね四百疋：為後日讓状如■／前半欠損／1063-04-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七二号／166

1063-04-07 評定衆宛 色部朝長申状案(飯岡五郎右衛門尉による色部領の押領につき訴え申立て)／一通(八紙)／文明六年八月一日／三〇・二×三〇〇・〇／楮紙 楮紙／朝長在判↓御評定衆御中／(前欠)御(中欠)申之間：恐々謹言／冒頭部分欠損／1063-04-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七三号／166

1063-05 色部文書(1063-05の表紙)／一卷／現代(年月日未詳)／三五・七×二七・七／巻子装 茶地後補表紙／1063-05-01-13巻子装／166

1063-05-01 長尾能景封紙(一点(一紙)／明応九年／二六・二×四三・四)／楮紙／長尾能景↓越□守殿／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七四号／166

1063-05-02 色部修理亮宛 上杉顕定断簡(解説困難)／一通(一紙)／室町時代(年月日未詳)／一八・〇×一七・〇／豎紙 楮紙／可諄(花押)↓色部修理亮殿／(解説困難)：(解説困難)／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七五号／166

1063-05-03 評定衆宛 色部朝長申状案(飯岡五郎右衛門尉の主張の基となる証拠文書の提出を求む)／一通(一紙)／(文明六年)六月二七日／三〇・四×四四・四／豎紙 楮紙／朝長在判↓御評定衆御中／悟了庵之文書：恐々謹言／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七六号／166

1063-05-04 評定衆宛 色部朝長申状案(飯岡五郎右衛門尉の証拠文書不所持につき裁許を求む)／一通(一紙)／(文明六年)七月二六日／二九・九×四〇・〇／豎紙 楮紙／朝長在判↓御評定衆御中／飯岡五郎右衛門：恐々謹言／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七七号／166

1063-05-05 三郎宛 某書状(解説困難)／一通(一紙)／室町時代(年月

日未詳)／二八・八×二六・四／豎紙 楮紙(花押)↓三郎殿(前欠)持も候哉少々：候て□き(後欠)／欠損甚大／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七八号／166

1063-05-06 色部勝長カ宛 直江実綱書状(使者布施入道を通じて透具を届けため披露されたく)／一通(一紙)／室町時代(年未詳)一〇月二六日／一四・二×四一・三／折紙 楮紙／大和守実綱(花押)↓色部殿御報／就耕雲寺□事：恐々謹言／一部欠損、折紙を裁断か／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九七九号／166

1063-05-07 大嶋与四郎宛 宮寿丸書状(大嶋与四郎分の所領として二貫五〇〇地および屋敷二間を安堵)／一通(一紙)／永禄元年九月二八日／二八・九×四一・三／折紙 楮紙／宮寿丸↓大嶋与四郎殿／鵜渡路之内：相渡候仍如件／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九八〇号／166

1063-05-08 大嶋十右衛門尉宛 鮎川盛長宛行状(奉公につき加恩として横野外記助跡を拝領)／一通(一紙)／永禄六年四月一日／三一・二×四四・三／折紙 楮紙／盛長(花押)↓大嶋十右衛門尉殿／其方事頃牢籠：之者也仍如件／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九八一号／166

1063-05-09 北条氏照書状(出馬した氏政が戦功をあげたことにつき伝達したことを報告)／一通(一紙)／桃山時代(年未詳)四月二八日／三三・五×二九・〇／豎切紙 楮紙／陸奥守氏照(花押)／急度申達候：恐々謹言／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九八二号／166

1063-05-10 長松寺月牌供養料注文(聴覚伝春庵主、月窓慶張大姉他一三本の供養料二四文目)／一通(二紙)／天正一六年／二七・六×六〇・五／豎紙 楮紙／月牌聴覚伝春：文目の分也／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九八三号／166

1063-05-11 関東下知状断簡(越後国小泉庄牛屋条内作路及び出雲国飯生庄地頭職を長茂に任じる)／一通(一紙)／(文永七年二月一日)／三三・四×九・五／元豎紙 楮紙／庄牛屋条内：出雲目飯生(後欠)／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九八四号／166

1063-05-12 色部勝長宛 本庄繁長起請文(小河長資の切腹をめぐる本庄繁長と鮎川清長の仲裁につき、異議あらば申談すべきこと)／一通(一紙)／(天文二〇年)十一月■／二一・九×三三・五／豎紙 楮紙／長(略押)↓□□弥三郎殿／右(中欠)慮外連続：仍起請文如件／1063-05-01-13巻子装／『新潟県史 資料編四』一九八五号／166

1063—05—13 沙弥寛念筆書写（儀式の際の料理に関する故実か、原本は文永一年八月一日付）／一通（判断不能）／康永四年五月三日／二八・四×一五三・九／継紙 斐紙カ／沙弥寛念／御器物 棒持：を御存□あるへ□□／1063—05—01—13 卷子装／『新潟県史 資料編四』未収、「可諄様御書 文字破不見 平隆長改之」と記された包紙と思われ断簡を末尾に貼付、表面に破損防止のため薄い紙を貼付／166

諸家文書—色部家—冊子類

1030 「当家云伝之品々覚書」（色部家由緒書、保呂羽権現の安置、紋所、所蔵の宝物類、屋敷の構成、色部家中の由緒他）／一冊（六〇丁）／江戸後期（年月日未詳）／一九・〇×一四・二／堅帳 列帖装 共紙原表紙 楮紙／タ〇本 羽前米沢市林泉寺町伊佐早謙／表紙に「隆長公御直筆也」、「下書也」とあり／163

1040 「色部氏年中行事 永禄年中 全」（色部氏の年始歳暮の上納物及び年始における親類・家風の儀礼他）／一冊（五二丁）／（宝曆年間カ）／二二・六×一五・六／堅帳 列帖装 焦茶布目地原表紙 楮紙／イ〇本 伊佐早兼古書之宝／墨付五二丁／163

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—綱憲

0389 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸前期（年未詳）一月一日／四三・三×五七・三／折紙／（花押印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀太刀：一腰到来傾■候也／047

1346—01—32 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／三九・九×五五・四／折紙 楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀：縫殿可申也／1346—01—01、02の元台紙／174

1346—01—41 安田弥八郎宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙 楮紙／（花押印）↓安田弥八郎とのへ／為年頭之祝儀：兵四郎可申也／1346—01—07の元台紙／174

1346—01—45 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ

き御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／三九・九×五五・七／折紙 楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀：勘解由可申也／1346—01—13、14の元台紙、綴じ穴部分に墨書ある紙が貼られている／174

1346—01—46 安田弥八郎宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・七／折紙 楮紙／（花押印）↓安田弥八郎とのへ／為年頭之祝儀：又四郎可申也／1346—01—15、16の元台紙／174

1346—01—47 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙 楮紙／（花押印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀：到来欣然候也／1346—01—17の元台紙／174

1346—01—51 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・五／折紙 楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀：右近可申也／1346—01—20の元台紙、綴じ穴部分に墨書ある紙が貼られている／174

1346—01—52 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・四／折紙 楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀：兵部可申也／1346—01—20の元台紙／174

1346—01—54 安田弥八郎宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・八／折紙 楮紙／（花押印）↓安田弥八郎とのへ／為年頭之祝儀：図書可申也／1346—01—22、24の元台紙／174

1346—01—57 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・七／折紙 楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀：兵部可申也／1346—01—28の元台紙／174

1346—01—59 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・九／折紙 楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀：権四郎可申也／1346—01—29の元台紙／174

1346—02—46 市川孫二郎宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・三／折紙楮紙／（花押印）↓市川孫二郎とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／174

1346—02—49 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀…右衛門可申也／1346—02—05の元台紙／174

1346—02—50 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／四〇・〇×五五・五／折紙楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀…右近可申也／1346—02—05、06の元台紙／174

1346—02—51 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—02—07、08の元台紙／174

1346—02—52 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・四／折紙楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀…右近可申也／1346—02—08の元台紙／174

1346—02—56 安田弥八郎宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙楮紙／（花押印）↓安田弥八郎とのへ／為年頭之祝儀…太郎左衛門可申也／1346—02—14、15の元台紙／174

1346—02—62 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／三九・九×五五・六／折紙楮紙／（花押印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—02—1の元台紙／174

1346—02—63 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／四〇・〇×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—02—1の元台紙／174

1346—02—66 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ

き御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙楮紙／（花押印）↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—02—25、26の元台紙／174

1346—02—69 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／四〇・〇×五五・七／折紙楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／1346—02—28、29の元台紙／174

1346—02—70 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／四〇・〇×五五・七／折紙楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／1346—02—9の元台紙／174

1346—02—79 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／四〇・〇×五五・六／折紙楮紙／（花押印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—02—35、36の元台紙／174

1346—02—82 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／黒印は「藤」、上杉綱憲カ、一346—02—39、40の元台紙／174

1346—02—83 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／四〇・〇×五五・六／折紙楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／1346—02—1の元台紙／174

1346—02—84 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／三九・九×五五・六／折紙楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／1346—02—1、42の元台紙／174

1346—02—85 安田兵庫宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸前期（年未詳）正月二日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／（黒印）↓安田兵庫とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／1346—02—42の元台紙／174

1346—02—88 安田和泉宛 上杉綱憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—吉憲

き御礼)／一通(二紙)／江戸前期(年未詳)正月一日／三九・九×五五・四／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田和泉とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346-02-4
 4の元台紙／174

1346-01-31 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・八×五五・三／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／1346-01-0
 1の元台紙／174

1346-01-35 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・八×五五・五／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…対馬可申也／1346-01-0
 3の元台紙／174

1346-01-36 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・九×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…藏人可申也／1346-01-0
 3、04の元台紙／174

1346-01-38 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・八×五五・五／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／1346-01-
 04の元台紙／174

1346-01-60 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・八×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…又四郎可申也／綴じ穴部分に墨書
 ある紙が貼られている／174

1346-02-47 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／林泉文庫／134
 6-02-01、02の元台紙、蔵書印は本紙が貼られている側に押されている／17
 4

1346-02-48 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ

き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…又四郎可申也／1346-02-
 03、04の元台紙、綴じ穴部分に墨書ある紙を貼付／174

1346-02-71 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・九×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…勘解由可申也／1346-02-
 30の元台紙／174

1346-02-72 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・九×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…対馬可申也／1346-02-3
 0の元台紙／174

1346-02-73 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…又四郎可申也／1346-02-
 30、31の元台紙／174

1346-02-74 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・九×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…修理可申家也／1346-02-
 31の元台紙／174

1346-02-75 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／三九・九×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…又四郎可申也／1346-02-
 31、32の元台紙／174

1346-02-80 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…又四郎可申也／1346-02-
 37の元台紙／174

1346-02-81 安田上総宛 上杉吉憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ
 き御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳)正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙
 楮紙／(花押印)↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…又四郎可申也／1346-02
 -38の元台紙／174

1346—02—86 安田上総宛 上杉吉憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／（花押印）↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／1346—02—42の元台紙／174

1346—02—87 安田上総宛 上杉吉憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／（花押印）↓安田上総とのへ／為年頭之祝儀…修理可申家也／1346—02—43の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—宗憲

1346—01—37 安田上総宛 上杉宗憲書状（家督の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／（享保七年）七月一日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／（花押印）↓安田上総とのへ／為家督之祝儀…縫殿可申也／1346—01—04の元台紙／174

1346—01—48 安田若狭宛 上杉宗憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵庫可申也／1346—01—18の元台紙／174

1346—01—49 安田若狭宛 上杉宗憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・八／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…内膳可申也／1346—01—18の元台紙、綴じ穴部分に墨書ある紙が貼られている／174

1346—01—50 安田若狭宛 上杉宗憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—01—18、19の元台紙／174

1346—02—57 安田若狭宛 上杉宗憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵庫可申也／1346—02—16の元台紙／174

1346—02—58 安田若狭宛 上杉宗憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につ

き御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—02—17、18の元台紙／174

1346—02—67 安田若狭宛 上杉宗憲書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／四〇・〇×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵庫可申也／1346—02—17の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—宗房

1346—01—33 安田若狭宛 上杉宗房書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・六／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／貼付文書なし／174

1346—01—42 安田若狭宛 上杉宗房書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／1346—01—08の元台紙／174

1346—01—44 安田若狭宛 上杉宗房書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵庫可申也／1346—01—10、12の元台紙／174

1346—01—53 安田若狭宛 上杉宗房書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・八／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵部可申也／1346—01—20、21の元台紙／174

1346—01—55 安田若狭宛 上杉宗房書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・八×五五・八／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／1346—01—25、26の元台紙、綴じ穴部分に墨書ある紙を貼付／174

1346—01—56 安田若狭宛 上杉宗房書状（家督の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／（享保一九年）八月五日／三九・八×五五・八／折紙楮紙

／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為家督之祝儀…兵部可申也／1346—01—27の元台紙、綴じ穴部分に墨書ある紙を貼付／174

1346—02—53 安田若狭宛 上杉宗房書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…内膳可申也／1346—02—109、110の元台紙／174

1346—02—54 安田若狭宛 上杉宗房書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三九・九×五五・五／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵庫可申也／1346—02—11の元台紙／174

1346—02—55 安田若狭宛 上杉宗房書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／四〇・〇×五五・五／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵庫可申也／1346—02—12、13の元台紙／174

1346—02—60 安田若狭宛 上杉宗房書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／1346—02—19の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—重定

1345—01—100 安田内匠宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三一・一×四三・八／折紙楮紙／(花押印) ↓安田内匠とのへ／為年頭之祝儀…竹俣美作可申也／1345—01—1三の元台紙／174

1345—02—137 安田内匠宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三一・三×四三・六／折紙楮紙／(花押印) ↓安田内匠とのへ／為年頭之祝儀…典膳可申也／1345—02—150、51の元台紙／174

1346—01—34 安田内匠宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三九・八×五五・六／折紙楮紙／(花押印) ↓安田内匠とのへ／為年頭之祝儀…对馬可申也／貼付文書なし／17

4

1346—01—39 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三九・八×五五・八／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…長門可申也／1346—01—44、05の元台紙／174

1346—01—40 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三九・九×五五・六／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…右京可申也／1346—01—06の元台紙／174

1346—01—43 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／1346—01—09の元台紙／174

1346—01—58 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／三九・八×五五・七／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…長門可申也／1346—01—29の元台紙、綴じ穴部分に墨書ある紙が貼られている(補強のためか)／174

1346—02—59 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／四〇・〇×五五・七／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…長門可申也／1346—02—18の元台紙／174

1346—02—61 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／四〇・〇×五五・七／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…内膳可申也／1346—02—1〇の元台紙／174

1346—02—64 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／四〇・〇×五五・六／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…縫殿可申也／1346—02—22の元台紙／174

1346—02—65 安田若狭宛 上杉重定書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 正月一日／四〇・〇×五五・五／折紙楮紙／(花押印) ↓安田若狭とのへ／為年頭之祝儀…筑後可申也／1346—02—12

3、24の元台紙／174

1346—02—68 安田若狭宛 上杉重定書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭の祝儀：長門可申也／1346—02—28の元台紙／174

1346—02—76 安田若狭宛 上杉重定書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭の祝儀：筑後可申也／1346—02—33の元台紙／174

1346—02—77 安田若狭宛 上杉重定書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭の祝儀：長門可申也／1346—02—30の元台紙／174

1346—02—78 安田若狭宛 上杉重定書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）正月一日／三九・九×五五・七／折紙楮紙／（花押印）↓安田若狭とのへ／為年頭の祝儀：縫殿可申也／1346—02—35の元台紙／174

1346—02—89 安田若狭宛 上杉重定書状（家督の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／（延享三年）一〇月二六日／三九・八×五五・三／折紙楮紙／（黒印）↓安田若狭とのへ／為家督之祝儀：内膳可申也／1346—02—45の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—鷹山

1345—01—108 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：竹俣美作可申也／1345—01—19の元台紙／174

1345—01—112 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：広居図書可申也／1345—01—23、24の元台紙／174

1345—01—136 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・六／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：与市可申也／1345—01—42の元台紙／174

1345—01—165 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・五／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：図書可申也／1345—02—73の元台紙／174

1345—02—84 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・八／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠殿／為年頭の祝儀：喜四郎可申也／1345—02—01、02の元台紙／174

1345—02—98 安田内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・五／楮紙／（花押印）↓安田内匠とのへ／為年頭の祝儀：伊豆申可也／1345—02—12、14の元台紙／174

1345—02—102 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・四／楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：図書可申也／1345—02—17、18の元台紙／174

1345—02—105 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・七／楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：伊豆申可也／1345—02—24の元台紙／174

1345—02—106 安田内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・六／楮紙／（花押印）↓安田内匠とのへ／為年頭の祝儀：典膳可申也／1345—02—24、25の元台紙／174

1345—02—139 毛利内匠宛 上杉鷹山書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・四×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：図書可申也／1345—02—15、2、53の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—治広

1345—01—192 毛利内匠宛 上杉治広書状（入部の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸後期（年未詳）六月三日／三一・三×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為入部の祝儀：図書可申也／1345—01—06の元台紙／174

1345—01—195 毛利内匠宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（二紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：図書可申也／1345—01—09の元台紙／174

1345—01—101 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：中條豊前可申也／1345—01—13、14の元台紙／174

1345—01—104 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：広居図書可申也／1345—01—16、17の元台紙／174

1345—01—119 毛利内匠宛 上杉治広書状（家督相続の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／（天明五年）廿八日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／家督之祝儀：中條豊前可申也／1345—01—28の元台紙／174

1345—01—125 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・三×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：九郎兵衛可申也／1345—01—33の元台紙／174

1345—01—126 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：広居図書可申也／1345—01—34、35の元台紙／174

1345—01—129 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・五／折紙

楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：中條豊前可申也／1345—01—38、39の元台紙／174

1345—01—134 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：図書可申也／1345—01—42の元台紙／174

1345—01—138 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・六／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：権四郎可申也／1345—01—43の元台紙／174

1345—01—139 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：図書可申也／1345—01—43の元台紙／174

1345—01—141 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）（正月）一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／年頭の祝儀：□郎兵衛可申也／1345—01—45、46の元台紙／174

1345—01—148 毛利弥八郎宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・二／折紙楮紙／（花押印）↓毛利弥八郎とのへ／為年頭の祝儀：典膳可申也／1345—01—54、55の元台紙／174

1345—01—150 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・六／折紙楮紙／（花押印）↓毛利若狭とのへ／為年頭の祝儀：左京可申也／1345—01—58、59の元台紙／174

1345—01—168 毛利内匠宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・一×四三・六／折紙楮紙／（花押印）↓毛利内匠とのへ／為年頭の祝儀：豊前可申也／1345—01—577の元台紙／174

1345—01—170 毛利若狭宛 上杉治広書状（年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼）／一通（一紙）／江戸後期（年未詳）正月一日／三一・二×四三・六／折紙

楮紙／(花押印) ↓毛利若狭とのへ／為年頭之祝儀…権四郎可申也／1345—01—78の元台紙／174

1345—02—90 毛利若狭宛 上杉治広書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・二×四三・九／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利若狭とのへ／為年頭之祝儀…兵庫可申也／1345—02—07、08の元台紙／174

1345—02—91 毛利若狭宛 上杉治広書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・二×四三・八／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利若狭とのへ／為年頭之祝儀…権四郎可申也／1345—02—08、09の元台紙／174

1345—02—109 毛利若狭宛 上杉治広書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三一・一×四三・六／楮紙／(花押印) ↓毛利若狭とのへ／為年頭之祝儀…図書可申也／1345—02—26、27の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—斉定

1345—01—93 毛利上総宛 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・三×四三・七／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…弥三郎可申也／1345—01—07の元台紙／174

1345—01—106 毛利上総宛 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…市川豊後可申也／1345—01—18の元台紙／174

1345—01—109 毛利上総宛 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…九郎兵衛可申也／1345—01—19、20の元台紙／174

1345—01—115 毛利上総宛 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…市川豊後可申也／1345—01—

—25—02、03の元台紙／174

1345—01—122 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三一・二×四三・七／折紙 楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…大石左膳可申也／1345—01—30、31の元台紙／174

1345—01—137 毛利若狭宛 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・一×四三・六／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利若狭とのへ／為年頭之祝儀…左京可申也／1345—01—2の元台紙／174

1345—01—152 毛利上総宛 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・一×四三・六／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…弥三郎可申也／1345—01—62の元台紙／174

1345—01—153 毛利上総宛 上杉斉定書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・一×四三・七／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…蔵人可申也／1345—01—62、63の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—歴代藩主書状—斉憲

1345—01—110 毛利治部宛 上杉斉憲書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利治部とのへ／為年頭之祝儀…千坂琢磨可申也／1345—01—21、22の元台紙／174

1345—01—124 毛利上総宛 上杉斉憲書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・四×四三・六／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀…広居出雲可申也／1345—01—30の元台紙／174

1345—01—128 毛利熊太郎宛 上杉斉憲書状 (年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳) 正月一日／三一・二×四三・七／折紙楮紙／(花押印) ↓毛利熊太郎とのへ／為年頭之祝儀…平林内蔵助可申也／1345—01—37、38の元台紙／174

1345—01—151 毛利上総宛 上杉齊憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)(正月)一日／三一・一×四三・五／折紙 楮紙／(花押印)↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀：□刀可申也／1345—01—59 61の元台紙／174

1345—01—164 毛利上総宛 上杉齊憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)正月一日／三一・一×四三・六／折紙 楮紙／(花押印)↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀：内蔵助可申也／1345—02—71 73の元台紙／174

1345—01—166 毛利上総宛 上杉齊憲書状(家督相続の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(一紙)／(天保一年)正月一日／三一・二×四三・七／折紙 楮紙／(花押印)↓毛利上総とのへ／為家督之祝儀：出雲可申也／1345—01—73、74の元台紙／174

1345—01—167 毛利上総宛 上杉齊憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)正月一日／三一・一×四三・五／折紙 楮紙／(花押印)↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀：□刀可申也／1345—01—74、75の元台紙／174

1345—01—171 毛利上総宛 上杉齊憲書状(年頭の祝儀にて太刀一腰到来につき御礼)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)正月一日／三一・一×四三・四／折紙 楮紙／(花押印)↓毛利上総とのへ／為年頭之祝儀：内蔵助可申也／1345—01—79の元台紙／174

諸家文書—毛利安田家—その他

1345—02—138 起請文(頂いた除目の趣を心がけること他四件)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三一・二×四二・九／堅紙 楮紙／一就仰出御除目：右条々於相背者 爵文／柱題「敬白起請文之事」、1345—02—51、52の元台紙／174

1346—02—190 土岐丹後守宛 松平乗包他三名書状(上杉宗房を従四位下侍従に推薦の手続きを調えるよう伝奏衆に申入の指示)／一通(一紙)／享保一九年二月一日／三九・八×五四・九／折紙 楮紙／松平左近将監乗包他三名↓土岐丹後守殿／上杉民部大輔：申入候恐々謹言／控カ、裏表紙部に往来物断簡の貼り込みの元台紙／174

諸家文書—齊藤家—冊子類

0619 齊藤庸信「日帳」(弘化四年一月五日〜二月三〇日、米沢新田藩主家老から昌寿院様傳役に転じた齊藤庸信の勤役関係)／一冊(三七丁)／弘化四年／二四・〇×一七・〇／堅帳 紙綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／庸信(花押)／二〇本 林泉文庫／「二〇本」ラベルの下に別のラベルあり／097

0992 齊藤庸信「糠野目御役屋将勤を勝道公御家老被仰付候前後之留」(天保一四年七月の糠野目御役屋将就任前後の記録)／一冊(一九丁)／天保一四年／二四・二×一六・五／堅帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙・共紙原表紙 楮紙／齊藤庸信(花押)／カ〇本・一八五 林泉文庫／160

0993 齊藤庸信「江戸表江御内用登道中往返日記」(天保一五年九月二六日〜一月二三日)／一冊(五六丁)／天保一五年／三三・八×一六・六／堅帳 袋綴冊子装 茶地後補表紙・共紙原表紙 楮紙／齊藤庸信／エ〇本 林泉文庫／160

0993—01 齊藤庸信覚書(米沢新田藩家老としての屋敷における行事や勤務場所他)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二七・〇×三四・三／折紙 楮紙／庸信／一高家衆参上：いたさしむへき事／0993に挟込／柱題「麻布御家老勤役参考」／160

0994 齊藤庸信「就御内用江戸表江出府被 仰付候留」(天保一五年九月四日〜一月二一日)／一冊(一三丁)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×一六・〇／堅帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙・共紙原表紙 楮紙／齊藤庸信／シ〇本・一八六 林泉文庫／表紙に「出府留」と貼紙あり、0993の内容を抄出したものか／160

1335 「戊辰雜纂」(諸藩歎願書、会津開城関係記録、齊藤篤信「戊辰越戦実記」)／一冊(七四丁)／近代(年月日未詳)／二三・八×一六・三／堅帳 袋綴冊子装 共紙原表紙・朱地横刷毛目後補表紙 楮紙／ホ〇本 林泉文庫・□□包芳／「戊辰越戦実記」は明治二〇年の序あり、恐らく齊藤自身の筆／172

1344 齊藤篤信「戊辰越戦実記」(戊辰戦争のうち北越戦争の経緯・体験)／一冊(六三丁)／明治二〇年二月／二五・〇×一七・五／堅帳 袋綴冊子装 茶地斜刷毛目原表紙 楮紙／齊藤／ホ〇本／1335にも同内容あり、1344は写本カ／174

1738 「故師範学校長齊藤篤信詩帖」(三条実美、松方正義他政府高官や清国公使、古賀茶溪等親交のあった人物のために詠んだ漢詩集)／一帖(一二紙)／(明治一六年六月頃)／三一・七×二四・一／折帖 茶地原表紙 楮紙／林泉文庫／一九詩それぞれ折本に貼付、書の漢詩を記した本紙は一点を除き楮紙、台紙は機械漉紙／無

諸家文書—齊藤家—状物

- 0273-01 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書（上杉齊憲京都より江戸表着座につき）／一通（二紙）／亥（文久三年）一〇月二〇日／一四・八×三七・五／切紙 楮紙／御役屋↓青梅川斎右衛門殿他二名／去ル十日江戸出立：可被相達候以上／端裏書一部朱書「亥十月十日 屋形様從京師江戸表御着座被遊御達面」／0273-01-06紙縫一括／端裏書一部朱書き／042
- 0273-02 御役所意見書（新の代銭等につき民のためなる方策の相談）／一通（二紙）／亥（文久三）一〇月二〇日／一五・〇×八七・六／切紙 楮紙／御役所／糠目御役屋より此通申聞二御座候：山林方江も申達候方と奉存候／端裏書「糠目薪浮銭之条二付荏戸政以大夫深思慮を被籠候直書」／0273-01-06紙縫一括／042
- 0273-03 齊藤篤信宛 達書（御役屋附御扶持方改めて軍役勤めるところ八匁筒一〇挺拝借の申立につき貸し渡す）／一通（二紙）／慶応二年二月／一四・五×二七・三／切紙 楮紙／齊藤主計殿／右之御役屋附御扶持方：御借渡之方相濟候事／端裏書「慶応二寅十二月…八文筒拾挺当一通御借渡之御濟」／0273-01-06紙縫一括／柱題「覚」／042
- 0273-04 竹俣久綱宛 齊藤篤信伺書（齊憲の入間田村止宿につき御様態伺い）／一通（二紙）／（慶応二）三月一六日／三〇・六×三七・八／折紙 楮紙／齊藤主計篤信（花押）↓竹俣美作様／一筆致啓上候：奉願候恐惶謹言／端裏書「三月十六日入間田村御止宿二付：」／0273-01-06紙縫一括／端裏朱書き、「紙面之趣令承知達上聞候」と付札あり／042
- 0273-05 新保朝綱宛 齊藤篤信伺書并答書（屋形様今日出殿廻覧のところ不例につき延引のこと承知）／一通（二紙）／（慶応二）三月四日／一五・一×八三・二／切紙 楮紙／主計様↓左馬之助様／一輪拝啓仕候先以屋形様：可得貴意如此御座候以上／端裏朱書「急御延引二付奉恐案態と使差立：」／0273-01-06紙縫一括／端裏朱書き、答書の記載あり／042
- 0273-06 意見書（御役屋用水の普請、武芸所・馬乗場・勝手座敷等普請願）／一通（二紙）／慶応二年四月／一五・〇×六一・〇／切紙 楮紙／御役屋用水之儀水筋：願入申候以上／端裏書一部朱書「慶応二年寅四月作事之持合御普請方江引合候手控草案：」／0273-01-06紙縫一括／端裏一部朱書き、柱題「御普請方相招及引合候手控」／042
- 0808-01 三役中宛 御役屋達書（公儀改政に準じ、元日詰番および三が日の酒遣・行灯の延引他一二ヶ条省略のこと）／一通（六紙）／（文久二年）二月／一四・六×一五七・七／切紙 楮紙／御役屋↓手控もの三役中江／此度公儀御改政：相濟可申事／端裏朱書「文久二年非常之此節二付御役屋年数省略之達面」／0808-01-12紙縫一括／123
- 0808-02 糠野目御役屋將宛 達書（手附の者油断なく廻勤のこと）／一通（二紙）／（文久三年）四月／一四・五×三二・二／切紙 楮紙／糠野目御役屋將／右者屋代郷：可被申達置候事／0808-01-12紙縫一括／柱題「覚」／123
- 0808-03 齊藤篤信宛 長尾景直書状（屋代郷の百姓騒動につき仙台へ越す旨承知す）／一通（二紙）／（文久三年）四月七日／一四・六×三一・五／切紙 楮紙／長尾権四郎（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「文久三年四月七日、屋代郷百姓共騒有候二付心得御達書」／継目剥離／0808-01-12紙縫一括／123
- 0808-04 齊藤篤信宛 源兵衛書状（福沢村他五カ村の者騒動に対し善処への謝礼、その後の処置につき）／一通（二紙）／（文久三年）五月一六日／一四・八×六八・〇／切紙 楮紙／源兵衛↓主計殿／御紙面拝見仕候：以手紙申上候以上／端裏朱書「亥年五月、扱下水争之節代官佐藤分返書」／0808-01-12紙縫一括／123
- 0808-05 達書（亀岡村他一二ヶ村の支配および中田村他一七ヶ村の糠野目役屋支配解除につき）／一通（三紙）／慶応元年六月／一四・七×七二・八／切紙 楮紙／屋代郷亀岡村：御除被仰付之／0808-01-12紙縫一括／柱題「覚」／123
- 0808-06 齊藤篤信宛 色部久長書状（預所屋代郷を私領同様取扱いにし、役屋は寛延以前同様に高島に移す）／一通（二紙）／（慶応元年）六月八日／一四・七×四七・五／切紙 楮紙／色部長門久長（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「慶応元丑六月齊藤主計代高島御役屋支配村改而被仰出候事」／0808-01-12紙縫一括／123
- 0808-07 青海川玄右衛門二名宛 役所書状（玄米二〇俵下賜の通知を命令）／一通（二紙）／（慶応元年）一〇月五日／一四・八×三四・五／切紙 楮紙／御役屋↓青海川玄右衛門殿他二名／去ル四日於竹俣：通達可給候以上／端裏書「慶応元年丑十月五日於竹大夫宅：支配下江之吹聴」／0808-01-12紙縫一括／123
- 0808-08 竹俣久綱宛 齊藤篤信書状（年々玄米二〇俵成し下さるにつき拝借の訴文取下げたく）／一通（二紙）／（慶応元年）一〇月五日／一四・七×三四・一／切紙 楮紙／齊藤主計篤信（花押）↓竹俣美作様／一筆致啓上候：恐惶謹言／端裏書「慶応元年丑十月玄米拝借之願申節」／0808-01-12紙縫一括／一〇月二日付の付札にて承知の旨を伝達／123

0808-09 竹俣久綱宛 齊藤篤信書状(年々玄米二〇俵成し下さるにつき拝借の訴文取下げたく)／一通(二紙)／(慶応元年)一〇月五日／一五・一×四五・七／切紙 楮紙／齊藤主計篤信(花押)↓竹俣美作様／一筆致啓上候：恐惶謹言／端裏書「慶応元年十月玄米廿俵拝借の願書申御」／0808-01-12紙縫一括／123

0808-10 齊藤篤信宛 竹俣久綱書状(上杉齊憲屋代郷巡覽につき貞泉寺にて送迎のこと)／一通(二紙)／(慶応二年)二月三日／一五・一×五一・九／切紙 楮紙／竹俣美作久綱(花押)↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「慶応二年二月廿三日屋代郷御巡覽初度之御達面齊藤代」／0808-01-12紙縫一括／123

0808-11 齊藤篤信伺書(上杉齊憲屋代郷巡見に伴う止宿と通行での送迎他三条につき)／一通(二紙)／(慶応二年)二月四日／一五・〇×八九・九／切紙 楮紙／齊藤主計殿／一筆月月上旬：被下度存候以上／端裏書「慶応二年二月齊藤代、御巡覽ニ付勤方取量：尚又旅□申出」／0808-01-12紙縫一括／柱題「御伺之覚」、出迎えに係る伺いは付札にて回答／123

0808-12 齊藤篤信宛 竹俣久綱書状(上杉齊憲屋代郷巡覽につき出城・帰城の日付を伝達)／一通(三紙)／(慶応二年)三月二日／一五・〇×五〇・六／切紙 楮紙／竹俣美作久綱(花押)↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「六」、同朱書「三月十四日御巡覽御出城之旨：」／0808-01-12紙縫一括／123

0809-01 達書(諸事は大俵中の通り略式にて執行のこと)／一通(三紙)／(文久二年)一月／一四・七×四二・二／切紙 楮紙↓徒組頭之列筆頭／公儀御改政之儀：可有覽達候事／端裏書「文久二年戌十一月御家御改革」／0809-01-11紐一括／123

0809-02 齊藤篤信宛 嶋田多門書状(屋代郷の百姓を御境堅めとして仙台領へ差向かわせたく)／一通(二紙)／江戸後期(年未詳)四月二日／一四・六×五二・八／切紙 楮紙／嶋田多門↓齊藤主計様／一筆啓上仕候：恐惶謹言／端裏書「屋代郷騒立之節嶋田多門今人数差向候儀申来」／0809-01-11紐一括／123

0809-03 齊藤篤信宛 竹俣久綱達書(預所屋代郷を元禄以前の私領同様に取扱うべきこと)／一通(三紙)／(元治元年)二月二日／一四・六×五〇・一／切紙 楮紙／竹俣美作久綱(花押)↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「元治元年十二月十二日高島表江早速引移候様：」／0809-01-11紐一括／123

0809-04 齊藤篤信宛 毛利業広達書(糠野目御役屋の高島引移りにつき茂憲発駕に伴う参府御免のこと)／一通(二紙)／(慶応元年)五月三日／一四・三×五八・

五／切紙 楮紙／毛利上総業広(花押)↓齊藤主計殿／糠野目御役屋：恐惶謹言／端裏書「高島引移二付二月七日差留様御発駕参府御免慶応元年」／0809-01-11紐一括／123

0809-05 齊藤篤信宛 竹俣久綱達書(屋代郷不穩につき着城参府御免のこと)／一通(三紙)／(慶応元年)五月七日／一四・六×四四・六／切紙 楮紙／竹俣美作久綱(花押)↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「慶応元年五月当御着城参府御免」／0809-01-11紐一括／123

0809-06 遠山利左衛門・平沢初蔵宛 御役屋達書(屋代郷不穩につき着城参府の延引を承知すべきこと)／一通(二紙)／(慶応元年)五月三日／一五・二×四四・一／切紙 楮紙／御役屋↓遠山利左衛門殿奉、平沢初蔵殿奉／屋代郷于今不穩：此段申達候以上／端裏書「慶応元年五月屋代郷悪徒獄門有之為御締御下之参府御免」／0809-01-11紐一括／123

0809-07 青海川宇右衛門宛 御役所達書(金原村庄左衛門他三人の裁許につき高島はじめ諸所の警衛を嚴重に勤めるべし)／一通(二紙)／(慶応元年)五月三日／一四・六×二六・〇／切紙 楮紙／御役所↓青海川宇右衛門殿／御書面申達候：如此御座候以上／端裏書「慶応元年五月齊藤代、郷中之悪徒三人御裁許二付：」／0809-01-11紐一括／123

0809-08 齊藤篤信宛 色部久長書状(高島役屋渡しの薪急増につき再応申立て相叶わず)／一通(二紙)／(慶応元年)一〇月三日／一五・一×四二・一／切紙 楮紙／色部長門久長(花押)↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「慶応元年十月御渡之薪急増之儀再応之申有、御吟味合不相叶」／0809-01-11紐一括／123

0809-09 竹俣久綱宛 齊藤篤信書状(上杉齊憲の屋代郷巡覽に際し拝領品への御礼)／一通(二紙)／(慶応二年)三月八日／三〇・六×三八・二／折紙 楮紙／齊藤主計篤信(花押)↓竹俣美作殿／一筆致啓上候：恐惶謹言／端裏書「御意拝領物御礼状」／0809-01-11紐一括／付札「紙面之趣達上聞候」／123

0809-10 齊藤篤信書状(上杉齊憲の巡覽につき高島役屋止宿、通交筋筋の取量他五ヶ条申出)／一通(二紙)／(慶応二年)寅三月／一五・〇×六九・二／切紙 楮紙／齊藤主計殿／一筆御役屋御止宿：此段申出候以上／端裏書「慶応二年三月十四日齊藤代御巡覽ニ付御送迎：」／0809-01-11紐一括／柱題「覚」／123

0809-11 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書(上杉齊憲の巡覽につき辻固役、通交筋筋の取量他八ヶ条申出)／一通(五紙)／(慶応二年)三月三日／一五・一×一七〇・六／切紙 楮紙／御役屋↓青海川宇右衛門殿奉他二名／来ル十四日屋形様：

可被下取量候以上／端裏書「慶応二寅三月御巡覽ニ付支配下勤方夫々役付申達候条、齊藤代」／0809-0111紐一括／朱書きにて訂正／123

0810-01 達書（屋代郷三万石の他打出高七二四八石を拝領、米沢着城につき迎動心得るべし他二件）／一通（二紙）／（慶応二年九月）／一四・六×九五・〇／切継紙 楮紙／從江戸之飛脚：申達候以上／端裏書「慶応二寅九月中屋代郷三万石外打出高：返高御拝領齊藤主計代」／810-0116紙綴一括／123

0810-02 達書（二五石以下の少知少扶持の者に別段手当金一面を成し下す）／一通（二紙）／（慶応二年）七月／一四・四×四五・四／切継紙 楮紙／御組頭之一列筆頭／今度屋代郷：可被申達候事／端裏書「慶応二寅七月廿五日齊藤代、屋代郷三万石被遊御拝領候ニ」／0810-0116紙綴一括／123

0810-03 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書（預地の内三万石を込高に下す旨を支配下に申達すこと）／一通（二紙）／（慶応二年）七月三日／一五・二×七五・五／切継紙 楮紙／御役屋↓青海川宇右衛門殿奉他二名／從江戸之飛脚：可被申達候以上／端裏書「屋代郷三万石御込高ニ御拝領之御触面」／0810-0116紙綴一括／123

0810-04 齊藤篤信宛 毛利業広達書（色部長門へ別紙の通り申渡す旨につきありがたき事と申し上げる）／一通（二紙）／（慶応元年）九月一〇日／一四・五×四八・六／切継紙 楮紙／毛利上総業広（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「慶応元年九月十日齊藤主計代、屋代郷御物成被遊御頂」／虫損あり／0810-0116紙綴一括／123

0810-05 上杉齊憲宛 達書写（容易からざる時勢にて精勤につき預所収納高を下さる、京都警衛につき相勤むべきこと）／一通（二紙）／（慶応元年）／一四・七×四九・〇／切継紙 楮紙／年来精勤其上：相勤候様可被致候／端裏書「屋代郷御収納高御拝領之御書付御用番色部大夫ヨリ申来」／0810-0116紙綴一括／123

0810-06 齊藤篤信宛 色部久長達書（屋代郷収納高拝領につき郷中へ申達すべし）／一通（二紙）／（慶応元年）四月／一四・七×四六・八／切継紙 楮紙／色部長門久長（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「慶応元年四月屋代郷御収納高被遊御拝領候御達面」／0810-0116紙綴一括／123

0810-07 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書（上杉齊憲の足痛につき茂憲へ家督譲渡し隠居のこと）／一通（二紙）／（慶応元年）三月一日／一五・一×七五・七／切継紙 楮紙／御役屋↓青海川宇右衛門殿奉他二名／從江戸之飛脚：可被相達候以上／端裏書「慶応元年丑ノ三月屋形様御隠居御頼之処重々御差留被蒙仰候御達面」／0810-0116紙綴一括／123

0810-08 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書（入費嵩みにつき金一万兩拝領の旨、支配下へ達すべし）／一通（三紙）／（元治元年）六月一日／一四・九×四八・六／切継紙 楮紙／御役屋↓青海川宇右衛門殿奉他二名／從江戸之飛脚：可被申達候以上／端裏書「元治元年子六月金一万兩御拝領之御達面」／0810-0116紙綴一括／123

0810-09 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書（八月一八日の京地不穩につき御所向の守衛行届けにより鞍鍔拝領のこと）／一通（三紙）／（文久三年）十一月八日／一四・七×八五・六／切継紙 楮紙／御役屋↓青海川宇右衛門殿奉他二名／從江戸之飛脚：可被申達候以上／端裏書「文久三年十月廿八日、八月十八日京地不穩形勢之節」／0810-0116紙綴一括／123

0810-10 齊藤篤信宛 千坂高明書状（昇進祝いとして御役屋へ酒を成し下す）／一通（一紙）／（文久三年）十一月五日／三〇・〇×三七・九／折紙 楮紙／千坂伊豆高明（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「文久三年十一月、御昇進ニ付御祝之御酒於御役屋被成下候御達面」／0810-0116紙綴一括／123

0810-11 達書（預所屋代郷を私領同様に取扱うべき旨を組中へ申達すべし）／一通（二紙）／（文久三年二月）／一四・七×四八・九／切継紙 楮紙／從江戸之飛脚：可被申達候以上／端裏書「文久三年亥二月、屋代郷御私領同様御取扱之旨御同済之公達」、同墨書「齊藤主計」／0810-0116紙綴一括／123

0810-12 齊藤篤信宛 千坂高明書状（重ねて拝領につき祝いの酒を支配下の者に成し下すべし）／一通（三紙）／（文久二年）二月二日／一四・七×七二・一／切継紙 楮紙／千坂琢磨高明（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「文久二年戌二月齊藤主計代、重御拝領物ニ付御祝之御酒支配下一統へ被成下候御達面」／0810-0116紙綴一括／123

0810-13 齊藤篤信宛 竹俣久綱達書（預所のうち三万石を込高に下す旨を申達す）／一通（二紙）／（慶応二年）九月二九日／一四・三×三三・六／切継紙 楮紙／竹俣美作久綱（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「慶応二年寅六月廿九日：從奉行所御達面」／0810-0116紙綴一括／挟込文書一点／123

0810-14 齊藤篤信宛 千坂高明書状（昇進祝いとして御役屋へ酒を成し下す）／一通（一紙）／（文久二年）二月二日／三一・二×三八・七／折紙 楮紙／千坂琢磨高明（花押）↓齊藤主計殿／一筆令啓達候：恐々謹言／端裏書「文久二年二月、重御拝領物ニ付御祝之御酒被成下候御達」／0810-0116紙綴一括／123

0810-15 青海川宇右衛門他二名宛 御役屋達書（常々出精勤向につき鞍鍔拝領）

／一通(三紙)／(文久元年)一月五日／一四・六×七〇・二／切継紙 楮紙／御役屋
↓青海川宇右衛門殿他二名／從江戸之飛脚：可被申達候以上／端裏朱書「文久元酉十二
月廿二日、御鞍鏡御拝領之触」、同墨書「齊藤主計代」／081010116紙綴一
括／123

0810116 達書(上杉齊憲の少将昇進につき申達)／一通(四紙)／(安政三年)
三月二日／一四・五×九六・六／切継紙 楮紙／從江戸之飛脚：可被申達候以上／端
裏書「安政三辰十二月十五日日本間孫四郎代、屋形様御昇進被遊御達面」／081010
116紙綴一括／123

0812101 齊藤篤信宛 竹俣久綱書状(江戸表への御届相済まざるにつき高島移
転差控えのこと)／一通(二紙)／(慶応元年)二月二十九日／一四・六×五二・五
切継紙 楮紙／竹俣美作久綱(花押) ↓齊藤主計様／一筆令啓達候：入候恐々謹言／端
裏朱書「高島御引不容易：大不都合ニ付至」／123

0812102101 齊藤篤信宛 竹俣久綱書状(重き請願につき別紙返却のこと)
／一通(一紙)／江戸後期(年未詳)二月九日／一四・六×二七・〇／切紙 楮紙
竹俣美作↓齊藤主計様／御手紙致啓達候：可否成候以上／端裏朱書「從竹大夫 三組重
キ歎願答返却之来翰」／123

0812102102 肝煎・名代・長百姓人名書(増淵武兵衛、新座卯右衛門他一八
名)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・九×五四・七／切継紙 楮紙
一肝煎増淵：同庄之助／0812102101に挟込／柱題「覚」／123

0812103101 齊藤篤信宛 竹俣久綱達書(御役屋附の面々高島移転につき運
送人馬の手当三両成し下し)／一通(二紙)／(慶応元年)二月二十九日／一四・五×
四〇・九／切継紙 楮紙／竹俣美作久綱(花押) ↓齊藤主計様／一筆令啓達候：恐々謹
言／端裏書「慶応元丑十二月為運送料三組分金三両増御手当被成下」／123

0812103102 達書(御役屋附の面々の高島移転につき転宅料・普請料相当の
手当として三両成し下し相済み)／一通(二紙)／(慶応元年)二月／一四・四×四
〇・四／切継紙 楮紙／右者御役屋：方相済候事／端裏朱書「慶応元丑十二月高島引
移運送料一税分金三両被成下御済口」／0812103101に挟込／柱題「覚」／1
23

0812104 達書草案(江戸表における大改革への米沢藩の対応を評議すべき事他)
／一通(五紙)／(文久三年)一〇月／一四・八×二七・〇／切継紙 楮紙／此度江
戸表：願度被叶候事／端裏書「文久三亥十月齊藤代」／柱題「口達手控 三役中る」／
123

0812105 齊藤篤信宛 竹俣久綱達書(御役屋の高島移転を早急に実施すべし)
／一通(二紙)／(慶応元年)二月一日／一五・三×五九・〇／切継紙 楮紙／竹
俣美作↓齊藤主計様／御状致拝見：如是御坐候以上／端裏朱書「高島表早急可引移旨御
達之節生憎不快二而及御届候之処」／123

0812106 齊藤篤信宛 竹俣久綱達書(御役屋の高島移転成就まで御軍役鉄砲延
引のこと)／一通(二紙)／(慶応元年)二月一日／一五・三×四八・二／切継紙
楮紙／竹俣美作久綱(花押) ↓齊藤主計様／一筆令啓達候：申達候恐々謹言／端裏朱書
「高島御成就迄ハ御軍役鉄砲を始都而表立候諸勤向尽く延引候様被仰出事」／123

0812107 青梅川宇右衛門宛 御役所達書(高島への御役屋移転に伴う転宅料を
成し下さる)／一通(二紙)／(慶応元年)二月二日／一五・〇×四八・九／切継
紙 楮紙／御役所↓青梅川宇右衛門殿／一筆申入候：御坐候恐々謹言／端裏朱書「高島
引移ニ付御役屋附三組江転宅料被成下御達」／123

0812108 齊藤篤信宛 竹俣久綱書状(早速高島役屋へお移りなられたく内達す)
／一通(三紙)／(元治元年)二月一日／一五・四×六三・九／切継紙 楮紙／美作
↓主計様／御書面申入候：内々申入候以上／端裏朱書「元治元年十二月齊藤代、糠野目
御役屋御領高島江御移之内達」／123

0812109 齊藤篤信宛 竹俣久綱書状(高島陣屋移転は差控えに及ばず早速移る
べく申達す)／一通(二紙)／(慶応元年)二月一日／一四・五×四二・九／切継紙
楮紙／竹俣美作久綱(花押) ↓齊藤主計様／一筆令啓達候：申達候恐々謹言／端裏書「高
島引移御達を以兼控候処早速可引移旨御達ニ付早急取運」／123

0812110 御役屋書状(高島への御役屋移転につき心得、全七箇条)／一通(三
紙)／(慶応元年)丑二月六日／一五・〇×一〇八・四／切継紙 楮紙／御役屋／此度
高島表江：通達可有之候以上／端裏書「丑二月二日糠野目御役屋出立高島表江引移候刻
」／123

0830 元締所宛 鈴木源四郎受取書(齊藤主計と共に大崎方面への御用に要した費
用の清算書)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)五月／一四・九×四七・八／切継
紙 楮紙／鈴木源四郎↓御元締所／一式貫八百八拾文：右之通請取申処実正成仍如件
／柱題「十九日夜大崎迄御用相勤申ニ付被成下入料請取申事」／123

1129 齊藤篤信届書(旗の模様)／一通(一紙)／(明治元年)閏四月／一四・三
×一七・四／切紙 楮紙／齊藤主計／旗：右之通ニ御座候／柱題「覚」／170

1161 軍事教練書(行軍集合等の号令、退軍放火、側面放火の方法)／一通(二紙)
／江戸後期(年月日未詳)／一五・二×四七・〇／切継紙 楮紙／直線二伍十分之：装

填スベシ／齊藤篤信の筆カ／170

1195 齊藤篤信達書写（年頭御内書諸規式の節、奉行中同様のこと他動方）／一通（三紙）／明治元年八月／一四・五×五九・〇／切継紙 楮紙／齊藤主計／一年頭の御内書：可被得其意候事／柱書「覚」、「明治元年八月」とあることから後に筆写、または年月日の誤りである可能性あり／170

1382-01 齊藤篤信・御頭役宛 千坂高雅書状（旧主家の厚義遺惠の義社払糶破約金紛紜一件につき相談依頼）／一通（一紙）／明治二年二月五日／三〇・〇×三六・八／切紙 楮紙／山形県士族千坂高雅／齊藤篤信殿・御頭役中殿／払糶破約金：及御依頼候也／1382-01-02紙縫一括／177

1382-02 上杉家趣意書（義社、商社払糶売買破談金につき士族中一同協和の旨懇議相尽す）／一通（一紙）／（明治二年）／三〇・〇×三七・〇／切紙 楮紙／先般義商兩社：御趣意二有之候事／1382-01-02紙縫一括／柱題「今般高雅旧君家ヨリ被仰含御趣意之大旨」、千坂高雅筆／177

1515 上村大目付宛 書状案（九日夜より非常の烈風雨江戸中の損害莫大、拝借金につき苦慮の状況説明）／一通（七紙）／江戸後期（年未詳）八月九日／一五・三×二三六・一／切継紙 楮紙／此表至于今以之外：御自愛右余期後丁候以上／端裏書「上村大目付江之案書」／文中に弘化四年、昌寿院様伝役仰せ付けられとあり、作者は齊藤庸信と推定／221

1517 齊藤篤信宛 正十郎書状（屋代郷騒動の概要、河井継之助が先生に叱られたこと、待詔院出仕の時期につき伺他）／一通（四紙）／近代（年未詳）十一月二日／一六・一×一七八・八／切継紙 楮紙／正十郎馬陵先生 玉案下／前条度記及別の御文：何も右ニ申上候以上／朱書による返答あり／221

諸家文書—齊藤家—維新書簡集

1380-01 維新手翰集 一（1380-01-01〜37の表紙）／一卷／現代（年月日未詳）／二一・一×二四・五／卷子装 茶地唐草紋後補表紙／1380は旧箱入り、箱ラベル「井本」「維新書翰集 井本 二軸」「維新書翰 三十七」／177

1380-01-01 齊藤篤信宛 三宮義胤書状（来訪ならびに種々頂戴御礼につき返礼品進上）／一通（三紙）／（明治二年）二月二〇日／一六・五×七八・一／切継紙 楮紙／三宮耕庵／齊藤主計様侍史／唯今御来訪何之御愛敬も：先ハ勿々如是以上／三宮が会津若松に出征中、かつ齊藤が国許にいたことから年代を推定、明治二年三月一日

付の竹太郎宛甘糟継成書簡（「甘糟備後継成遺文」、宮島誠一郎の「東京日記 三」明治二年四月二七日条他を参照／177

1380-01-02 齊藤篤信宛 木滑政愿書状（豚兒岡山県一等巡查に採用、宮小出の新築学校長に採用予定だが設置は見合わせ、山形師範学校に採用願う）／一通（四紙）／（明治四年）二月九日／一六・一×九七・二／切継紙 楮紙／木愚隠拜↓齋先生玉床下／寸簡奉拝呈候：童子御附奉願候也頓首／二白に「伊佐早生其御校御採用二相成居候由」とあり、伊佐早謙の山形県師範学校三等助教論採用は明治四年、宮小出に長井小学校が建設されたのは明治一五年五月／177

1380-01-03 齊藤篤信宛 新宮藩士水野慎八郎書状（御下問の品は印紙にして差し出したので、岩倉公は御拝調等なく、非蔵人なりにこのままお差し出し願う）／一通（三紙）／（明治三年五月）九日／一六・八×四八・〇／切継紙 楮紙／水野慎八郎↓齊藤賢兄／昨日者態々御光来：御差上偏二奉希候頓首／文中に歯痛の記載があり、宮島誠一郎の日記「明治三年庚午日記」の五月一日条に関連記載があり時期を推定／177

1380-01-04 齊藤篤信書状草稿（官職採用の可否は推薦者が権を握る者といかに親しいか次第、私はあなたと親しく、郡政に意あること知るので要請がなくとも推薦するが、その成否は知らず）／一通（一紙）／（明治一八年カ）三月二日／一八・一×五一・七／切紙 楮紙／篤信／春寒料峭時交飛雪：為道自愛卒直不宣／全文漢文、宛先は旧米沢藩士佐藤志郎と推定、文中に「雖老猶可有為況在不感乎」とあり、宛先の人物が四〇才と分かる、佐藤志郎履歴（大阪経済大学所蔵「杉田家文書」）を参照／177

1380-01-05 齊藤篤信宛 太田源二書状（昨宵御陳述の義につき明朝再度御参殿下されば（岩倉具視が）お会いするのでお返事申し入れる）／一通（二紙）／（明治二年カ）二月一日／一八・二×四一・二／切継紙 楮紙／太田源二↓齊藤篤信殿／昨宵ハ御参殿：為其如此御坐候／太田源二は岩倉の家職、齊藤が岩倉と日常的に接触していた待詔院時代（明治二年八月四日〜明治三年閏一〇月九日）と推定／177

1380-01-06 齊藤篤信宛 寛書状（小生、帰田の計をなさず慚愧、昨春旧稿を増補し別冊を活版に致す、校正二巻呈し御斧正を願う）／一通（二紙）／近代（年未詳）三月三日／一六・四×七九・九／切継紙 楮紙／寛↓篤信先生降帷下／一月廿日之雲籌：如此候頓首再拜白／177

1380-01-07 齊藤篤信宛 今井潜書状（上杉茂憲・齊憲へ拝謁のこと先生の執成万謝、山田嬖堂詩集一部、学館へ献備につき執成願う）／一通（三紙）／（明治四年）五月五日／一五・四×七九・〇／切継紙 楮紙／潜拜↓馬陵先生／淋雨困入申候：何事も後雁二附ス／包紙には「米沢様 齊藤先生 玉床 足利 今井潜 詩集添」とあ

り、前半と後半の順序が逆に貼込、今井潜は米沢出身の足利藩儒者で「蝶堂遺稿」を編纂、『上杉家御年譜二〇』明治四年五月二日条に関連記載あり／177

1380-01108 齊藤篤信宛 庄内藩士松本十郎書状（昨日御懇話の趣を藩邸に帰り相談、菅善太右衛門（実秀）は病氣なれど、少々御内話のことあり、重役共よりは熟評の上返答）／一通（三紙）／（明治二年）八月二八日／一五・九×六六・八／切継紙 楮紙／松本生百拝↓齊藤先生 玉几下／一翰拝呈仕候：申上候頓首百拝／封筒に「齊藤主計様 松本十郎」とあり、文面から齊藤も松本も東京滞在中、松本は明治元年一二月に上京、明治二年八月一五日開拓判官の辞令をうけて、九月に東京を出立、この間のものとして推定／177

1380-01109 齊藤篤信宛 津田仙書状（御地滞在中の御礼、雑誌を一部拝呈するので、有志諸君にお示し下されたし）／一通（二紙）／（明治一〇年）九月七日／一四・六×五四・一／切継紙 楮紙／津田仙↓齊藤篤信様／一翰拝呈仕候：右御厚配被下度々頓首／料紙は浅葱の染紙、巻封に「第十大区置賜区役所 齊藤篤信様 侍史 津田仙」とあり、齊藤の第十大区長在任中と推定、冒頭に「ユノ川」の朱印／177

1380-01110 齊藤篤信宛 重野安釋書状（賤息へ贈序下さり感謝す、高文結構の出来、清写下されば余人の詩文と彼の地へ持参す）／一通（二紙）／（明治）一九年四月五日／一七・八×四三・三／切継紙 楮紙／重野安釋↓齊藤篤信様 高梧下／肅啓 賤息へ御贈序被下：小生分も願上候也／包紙には「齊藤篤信殿 親展」とあり、「賤息」は重野紹一郎、フランスに一三年間留学し、外国語学校教授となった、1380-12をうけてのもの／177

1380-01111 齊藤信一宛 重野安釋書状（別紙二綴、尊大人文稿を返上するので宜しくお伝え下されたし）／一通（二紙）／（明治）一八年一月二八日／一七・八×三一・二／切継紙 楮紙／重野安釋↓齊藤信一殿／別紙二綴尊大人文稿返上：此段御頼申上候也／信一は篤信の次男、東京に分家／177

1380-01112 齊藤篤信宛 重野安釋書状（賤息へ外遊につき贈序をお示し下され御礼、熟覧のうえ文面につき意見あれば仰せの通り申し上げる）／一通（二紙）／（明治）一九年三月二四日／一六・四×二八・九／切継紙 楮紙／重野安釋↓齊藤篤信先生 侍史／貴墨拝読賤息へ外遊御贈序：一先御礼詞迄早々頓首／賤息は紹一郎／177

1380-01113 書状（御書拝読、書中の趣承知、とくと拝見すべし）／一通（二紙）／近代（年未詳）七月八日／一六・五×二二・五／切継紙 楮紙／拝読御書中之趣拝承：貴酬迄早々頓首／齊藤篤信宛カ／177

1380-01114 齊藤篤信宛 正直書状（宮島翁（一郎左衛門、誠一郎の父）の

（七〇歳の）賀詩、拙劣を顧みず差し出す、延引し恐縮の至り、寛恕を乞う）／一通（二紙）／（明治）一六年四月九日／一六・六×三七・五／切継紙 楮紙／正直↓齊藤様／其後者從小生大御無音申上恐入候：先者右等申上度早々頓首／差出人は中村正直カ／177

1380-01115 齊藤篤信宛 山田顕義書状（明日はハワイへ出発する杉孫七郎の送別のため横浜へ行くので、一三日七時まで御来臨下されたし）／一通（二紙）／（明治五年）二月一日／一九・五×四四・二／切継紙 楮紙／明十二日御来臨被下度：御来臨被成下度候為其拜具／巻封には「齊藤様 山田」とあり、封筒には「山形県学務課長：齊藤信一方 齊藤篤信殿 急親展 山田顕義」とあり、山田は参議兼司法卿、杉孫七郎が太政大臣に宛てた明治一五年二月二日付「起程御届」（国立公文書館所蔵「公文録・明治十六年・第十五巻・明治十六年七月〜九月・外務省」）に関連記載あり／177

1380-01116 齊藤篤信宛 山田顕義書状（明朝お出で下さるとのことだが、同刻は外へ出仕につき一二日早朝に御来車下されたし）／一通（二紙）／（明治一五年）二月九日／一七・八×五一・六／切継紙 楮紙／毎度御来訪被下忝存候：右申上度如此御坐候頓首／巻封に「齊藤篤信様 山田顕義」とあり、1380-115と一連のものと考えられる／177

1380-01117 齊藤篤信宛 岡谷繁実書状（昨日、面晤の節頂いた上杉茂憲様からの贈り物、嚴重の御沙汰もあり受納ならず返却す）／一通（三紙）／（明治二年）六月九日／一八・〇×六五・四／切継紙 楮紙／岡谷鈕吾↓齊藤主計様／昨日者初而御面晤：右申上度如斯く御坐候也／巻封に「齊藤主計様 岡谷鈕吾」とあり、書状は岡谷の会津若松在職時で、かつ齊藤が国許にいた時期と推定、岡谷の履歴を含め時期を推定／177

1380-01118 齊藤篤信宛 杉孫七郎書状（帰京報告遅引を陳謝、拙吟もその後出来ず、上京中の深津無一書記官へ三島県令への伝言を頼む他）／一通（三紙）／（明治一三年）二月五日／一七・二×九四・九／切継紙 楮紙／杉孫七郎↓齊藤先生 研北／華墨拝読亦以御多祥：先ハ御報迄草々頓首／封筒に「山形県山形師範学校 齊藤篤信殿 御返報」とあり、年代は消印より推定、料紙は罫紙／177

1380-01119 齊藤篤信宛 高山悌次郎書状（文題未だ差し上げず面目なし、昨春より他人事にて裁判沙汰となり遷延す、旧正月中には作文持参す）／一通（二紙）／明治一八年一月三日／一四・九×六五・二／切紙 楮紙／高山悌次郎（朱印） 拝白↓齊藤尊師様 玉机下／新年之吉祥万里同泰：不悪御思召被下度奉願候頓首／177

1380-01120 齊藤篤信宛 三条実美家扶書状（この一折の内、粗末なりしが、過日の差出の品への御礼として三条実美の指示によりお贈りす）／一通（三紙）／近代

(年末詳)三月一三日/一五・六×八六・八/切継紙 楮紙/三条実美家扶↓齊藤篤信様/拜啓仕候得者：被成下度存し如此御坐候也/書状の前に張り込まれた封筒は消印の日付から1380-21のもの、封筒表に「文部省二而 齊藤篤信殿 直 三条家々扶」、裏に「六月三十日 午後」とあり/177

1380-01-21 齊藤篤信宛 三条実美家扶書状(かねがねお申し出の揮毫が出来たので今明日中に御入来下されたし)/一通(二紙)/明治一八年六月三〇日/一五・八×四二・三/切継紙 楮紙/三条家々扶↓齊藤篤信様/兼々御申出二被成揮毫：今明日中二御入来被成度/1380-20の前に張り込まれた封筒は消印の日付から本書状のもの、年代は消印による/177

1380-01-22 齊藤篤信・湯野川忠国宛 久留清隆書状(不用につき駕籠一挺返却、駕籠人足賃金は帰県の折に支払うので、相当の賃金を差し出させ置きたく依頼す)/一通(二紙)/明治一〇年七月一三日/一六・〇×四六・六/切継紙 楮紙/久留四等属↓齊藤区長殿・湯野川戸長殿/加籠三丁之内 志挺：御依頼方認候敬白/柱題「記」、巻封に「齊藤区長殿 湯野川戸長殿 急キ 久留清隆」とあり、宛名記載から齊藤が第十大区長だった時期と推定、明治一一年七月の「官員録」では久留清隆の肩書は山形県三等属、本書状の宛名は「久留四等属」なので、明治一〇年と推定/177

1380-01-23 齊藤篤信宛 青山延寿書状(高作二章の御礼、致仕後、活計の途なく、雨漏りのため自費をもって屋敷を修繕、郷里に赴き門人・故旧に揮毫し、潤筆料を得て帰り云々、今、高作に和し返書す)/一通(四紙)/明治二二年六月九日/二二・一×七四・一/切継紙 楮紙/眷弟青山延寿拜首↓齊藤大兄 侍史/客歳僕北游帰路：為道千万自重/全文漢文、封筒表に「山形県米沢元馬口旁町 齊藤篤信様 貴酬」、裏に「東京麹町区四番丁九番地 青山延寿」とあり/177

1380-01-24 齊藤篤信宛 青山延寿書状(大兄の第二子信一君が弊宅に著作の売却代金を持参す、官吏となった信一は勤勉、長子(善信)は蕩尽し蔵書を散逸すれども惜しむに足らず他)/一通(二紙)/己丑(明治二二年)八月二〇日/二二・一×六三・九/切継紙 楮紙/青山延寿拜啓↓齊藤大兄 座前/本月一日大兄二子信一君来訪：為国千萬自愛/全文漢文、1380-23と一連のもの/177

1380-01-25 齊藤篤信宛 高崎五六書状(先聖御参詣云々につき参詣の趣向を告げんがため拙文一則を起草、文意疎漏、御斧正下されく)/一通(一紙)/明治五年二月二〇日/二二・一×三一・四/切継紙 楮紙/五六再拜↓齊藤篤信先生 侍史/爾後益御多祥：御参考奉願候恐々不宣/「置賜県」の野紙を使用しており高崎が置賜県参事の時期と推定、高崎の置賜県在勤中より、明治五年と推定/177

1380-01-26 書状(昨日御相談の細井平洲先生始め配享のことは、上京し齊憲君へ御相談のつもり、右配享文の作文と、四月二二日の謙信神祭文も上杉家と土民一

統からのもの各一通を起草願う)/一通(四紙)/明治五年二月三日/一五・九×一五七・七/切継紙 楮紙/昨日粗御相談仕候：此旨奉得高意候也/筆跡および前後の書状(25・27)から窪田茂達・齊藤篤信宛 高崎五六書状、「上杉家御年譜 二〇」明治五年三月二四日条に関連記載あり/177

1380-01-27 窪田茂達・齊藤篤信宛 高崎五六書状(共祭祭主は学校教頭との議論変わり、大乘寺が士民に代わり祭主となり戸長が手伝いをするのが至当と決す、祭文の体裁は士民一統にて祭ること御起草下されたし)/一通(二紙)/明治五年二月頃/一五・八×四八・五/切継紙 楮紙/共祭主ハ学校教頭可然と：拜候可申上尽候事/封筒に「窪田齊藤両君 高崎拜 侍史要」とあり、1380-26と一連のもので同時期と推定/177

1380-01-28 齊藤篤信宛 再醉未及書状(過る句三、四頃御帰省、明日頃は御帰校、二五日より開業の積り、新築落成は僕等にはわからぬが、来月中には引き移りとのこと他)/一通(四紙)/明治一五年二月三日/一四・八×一三四・三/切継紙 楮紙/再醉未及拜↓桃庵陣先生 玉膝下/逐日春暖相迎之候：来日ありとなし玉ふな恐懼頓首/文中に木滑政愿の学校への就職について言及があり、1380-01-02と一連のものと考えられ、時期を推定/177

1380-01-29 齊藤篤信宛 柴拙書状(明後日、南木会につき登堂のことお知らせ下され方謝、故障あり、お揃いにてお催しならば登堂、拜話仕るべし、御延会を希望奉る)/一通(三紙)/近代(年末詳)六月二七日/一四・九×六四・五/切継紙 楮紙/柴拙↓南仁兄/芳墨御投被下：少し奉希候頓首/巻封に「主計様 長門」とあり/177

1380-01-30 齊藤篤信宛 三条実美公務人書状(明日一時後、御参朝あるべき旨、御同列へも御伝達ありたし)/一通(三紙)/明治三年一月四日/一九・六×六七・五/切継紙 楮紙/右大臣殿公務人↓待詔士齊藤三郎右衛門殿/以手紙致啓達候：別段可申入旨御達候事/巻封の宛名に「待詔士齊藤三郎右衛門」とあり、齊藤が待詔院に出仕していた期間(明治二年八月四日、明治三年閏一〇月九日)から時期を推定/177

1380-01-31 甘糟継成・齊藤篤信宛 市原義兵衛書状(今夕石原邸へ御来臨のところ、御不例にてお断りの段、御念書成し下され、委細その旨申し上ぐ、追って御用暇お伝えすべし)/一通(三紙)/明治二年八月カ)一八日/一八・〇×五四・七/切継紙 楮紙/市原義兵衛拜↓甘糟備後様・齊藤主計様 貴酬/朶雲拜誦仕候処：貴報迄草々頓首/甘糟の経歴から明治二年と推定、宮島誠一郎の日記の明治二年八月一八日条には「甘粕参謀不快之よし」とあり、本書状の内容と一致/177

1380-01-32 齊藤篤信宛 宮島誠一郎書状(過日は存じ寄らず左院大議生に

宣下、ありがたし、上杉茂憲も洋行動学に決議、行き先は英国か米国か今日拙宅にて決議のつもり也) / 一通(二紙) / (明治四年) 一〇月二〇日 / 一八・〇×六八・一 / 切継紙 楮紙 / 誠一郎 / 篤信兄 玉几下 / 一別山河杳然: 余者付後雁候頓首不一 / 宮島誠一郎の左院大議生任命は、明治四年一〇月五日、宮島の日記の明治四年一〇月二〇日条に關連記載あり / 177

1380-01-33 齊藤篤信宛 日下部鳴鶴書状 (兼ねてお望みの巖谷一六の کوچک、紛れ込み別の切に認め越せしゆえ、そのまま送付す、拙者へも尊作数首お恵み下され、近日西京四老への寿詩四首認め高覧に供すべし) / 一通(二紙) / (明治二〇年) 四月一七日 / 二二・一×二五・一 / 切紙 斐紙 / 日下部東作 / 馬陵先生 / 本月五日附華翰接手: 右御報旁勿々頓首 / 封紙カあり「日下部鳴鶴氏之來翰 式通」、料紙は紫の染紙、彦根藩の元家老、儒者岡本黄石は、明治二〇年四月、京都に遊び、東山四老(頼支峰、谷鉄臣他)の尚齒会に出席、この時に日下部は四老への寿詩を岡本に託したか(武田庸二郎「正伝岡本黄石の生涯」、漢詩人岡本黄石の生涯、世田谷区立郷土資料館、二〇〇五年) / 177

1380-01-34 齊藤篤信宛 日下部鳴鶴書状 (錦地來訪時に初めて拝芝、その後、金玉御恵投、御次韻に及ぶべき心得も遅延、隣家巖谷一六へも速やかに伝致、和作出來のうえ差し上ぐべきはず) / 一通(二紙) / (明治一九年カ) 一二月二九日 / 一六・四×四九・四 / 切継紙 楮紙 / 日下部東作 / 齊藤馬陵老台 / 過日ハ辱華墨多謝候: 多罪万謝勿々頓首 / 1380-01-33と一連のものか、料紙は野紙 / 177

1380-01-35 齊藤篤信宛 青山延寿書状 (先月四日、荊妻死去、拙批、その責を埋むのみ、字句は他に得手もあり、御用捨を願う他) / 一通(二紙) / (明治二二年) 一二月三〇日 / 一七・一×六〇・五 / 切継紙 楮紙 / 延寿 / 齊藤賢兄 玉几下 / 呈一書候: 目出度可申上候謹白 / 延寿の妻きくは、明治二二年一月四日に病没、木戸之都子「青山延寿研究」(茨城大学コミュニケーション学論集) 第三号、二〇〇七年) / 177

1380-01-36 吉井友実宛 川路利良書状 (旧会津藩士沢全秀儀、尊君お話しの際大久保(利通)氏に承る、同人居所お知らせ下されたし、警保寮へ参り僕へ引き合わせの取計願う) / 一通(二紙) / (明治七年カ) 一月二二日 / 一六・二×三四・六 / 切継紙 楮紙 / 川路拜 / 吉井様 / 旧会津 沢次郎 実名全秀: 別テ多幸奉存候 / 宮島誠一郎の「明治七年日誌」一月二二日条から時期を推定、この年、佐川官兵衛らが警保寮に出仕、宛名部分別貼、縦一六・一cm、横六・三cm / 177

1380-01-37 齊藤篤信宛 高崎五六書状 (昨日の懇請の御添削、出来ればこの者に頂戴仰せ付け下されたし、斯様のもの出さんよりは止むるにしかずとの思召ならば取りやむべし他) / 一通(四紙) / (明治五年カ) 一月二二日 / 一五・一×一三一・三 / 切継紙 楮紙 / 高崎拜 / 齊藤先生 / 昨日ハ打付自由之: 如此ニ御座候恐々頓首 / 料

紙は浅葱の染紙、巻封に「齊藤先生 高崎拜」とあり、1380-01-26、27と一連と考えられ、年代を推定 / 177

1380-02 維新書翰集 二(1380-02-101-43の表紙) / 一巻 / 現代(年月日未詳) / 二二・二×三四・五 / 卷子装 茶地唐草紋後補表紙 / 177

1380-02-01 伊佐早謙宛 正直書状 (清川氏の風呂敷包、日曜日なれば、今日あたり先方より取りに参るとも存せしゆえ申し上げる、今一篇墓碑銘の代作願いたし他) / 一通(二紙) / 近代(年月日未詳) / 一六・五×四〇・四 / 切継紙 楮紙 / 正直 / 伊佐早君 / 清川氏之書類風呂敷包ミ: 大慶之至二候也 / 差出は中村正直カ / 177

1380-02-02 青山勇宛 内藤耻叟書状 (迂老、既に世外の棄物なれば、親睦会へ臨席すべきものにあらず、罪を旧君(徳川慶篤)に得て赦免を賜らざる罪人なれば今更君門(水戸徳川家)に入入りすべき身分にあらず他) / 一通(二紙) / (明治一五年) 一月二七日 / 一六・一×一〇一・五 / 切継紙 楮紙 / 碧海 / 静幽先生 / 先日懇々御教戒ヲ蒙リ: 是限りニ仕候也恐懼々々百拜 / 消印より時期を推定、封筒に「本郷弓町 式町目 青山勇殿 碧海」とあり、碧海は内藤耻叟の号 / 177

1380-02-03 齊藤篤信宛 書状 (御約束の揮毫拝呈、その夜不意の近火にて混雑いたしお責を埋むるまでに認めしゆえ悪しからずお許し願う) / 一通(三紙) / 近代(年未詳) 一二月二五日 / 一八・一×七八・一 / 切継紙 楮紙 / 拜 / 齊藤先生 / 過日者御光駕被下候処: 萬縷期其節候多罪 / 封筒に「齊藤篤信殿 □□□□ 拙毫在中」と記載あり / 177

1380-02-04 齊藤篤信宛 書状 (采雲拜読、明日は御昇堂の通りにや、必ず御來駕願ひ奉る) / 一通(一紙) / 近代(年未詳) 一二月二日 / 一六・〇×二七・五 / 切紙 楮紙 / □□拜 / 齊藤様 / 采雲泰奉拜読候: 御來駕奉希候以上 / 封筒に「齊藤様 □□□□」と記載あり / 177

1380-02-05 齊藤篤信宛 毛利恭助書状 (一月八日に上程、昨日当県(静岡県)到着、発途前御熟談を約すも多忙に取り紛れ拜語を得ず、着県につき篤と取り調べ、両案のうち熟考し申し上ぐべし) / 一通(二紙) / (明治七年) 一月二二日 / 一五・一×六一・五 / 切継紙 楮紙 / 毛利恭助 / 齊藤篤信様 / 拜啓愈御清勝奉候: 寸楮ヲ呈候也 / 巻封に「齊藤篤信様 毛利恭助 御親折」とあり、「公文録 着発忌服之部 明治七年一月 全」(国立公文書館所蔵)の一月一七日付の三条実美宛 毛利恭助届書から年代を推定 / 177

1380-02-06 齊藤篤信宛 吉井友実書状 (御建言の条々なお拝見、一々御尤もの御趣旨、一日も早くお差し出し下されたし) / 一通(二紙) / (明治二年) 一月二五日 / 二〇・七×四九・七 / 切継紙 楮紙 / 吉井彈正少弼 / 齊藤主計殿 / 過日者御來

訪被下：此旨奉得御意度如此候也／巻封に「齊藤主計殿 吉井彈正少弼」とあり、吉井の彈正少弼在任中（明治二年八月二十五日、明治三年四月一日）により年代を推定／177

1380-02-07 藩制取調書類写（男女、身分別の皇国総人員、藩数、知事家祿、士族卒家祿、士族・卒族戸数、士族・卒族・庶民・社家人口、諸藩惣高新調）／一通（六紙）／（明治三年カ）／一七・二×二七・三／切継紙 楮紙／皇国惣人員：武鑑千八百三十七万九千九百六十九石余／紙は楮紙だが雲英をすき込む、齊藤は明治二年八月四日待詔院下院に出仕、同三年五月に藩政改革取調に従事しており、書類はこの時のものか、卒族は明治三年九月公布の藩制で設置、待詔院は明治三年一月に廃止／177

1380-02-08 齊藤篤信宛 南摩綱紀書状（二月二日付貴東拜読、拙作高和の御礼、妄言書き加え返上す、足立氏より喪兒御弔詞廻り拝評す、愚評のことは足立氏に譲る、本年暑中には展墓のため帰国の心得他）／一通（二紙）／（明治二〇年）六月二十七日／一六・一×四五・五／切継紙 楮紙／綱紀再拜↓馬陵詞宗台下／去ル二月十二日附貴東：後音縷陳可仕取急勿々不尽／消印より時期を推定／177

1380-02-09 齊藤篤信宛 南摩綱紀書状（昨日は酔後伺い認め置く一書、帰後七日と認めしか、九日と記せしか不明につき、念のため申し上ぐ、七日水曜午後三時、御来車下されたし）／一通（一紙）／（明治一九年カ）四月三日／一六・一×二六・七／切紙 楮紙／綱紀↓齊藤先生侍史／今朝ハ態々貴答被下：右之段進テ申上候也／他の史料と近い年代で、四月七日が水曜日なのは明治一九年、齊藤の経歴から明治一九年四月七日には東京在住、当時南摩は東京在住／177

1380-02-10 齊藤篤信宛 南摩綱紀書状（九月二十九日の齊藤書状への返書、在京中ご厄介の御礼、詩稿妄批、坂蘭深君へ御返却下されたし、重野安禪氏は貴地に参り文酒御佳興と拝察す他）／一通（三紙）／（明治二〇年）一月三〇日／一六・七×九〇・〇／切継紙 楮紙／綱紀↓馬陵賢台／昨年ハ度々御懇東被下：猶其内縷陳可仕候也／料紙は薄い小豆色の染紙、文中の「丁亥新年」の第三首の結句「又迎二首六身春」の「二首六身」は七三歳を意味するが、南摩はこの年六三歳、南摩の誤りか／177

1380-02-11 齊藤篤信宛 南摩綱紀書状（庭前の小桜開き初め、七日第三時より御来話願う）／一通（一紙）／（明治一九年カ）四月二日／一五・九×二五・八／切紙 楮紙／南摩綱紀↓齊藤先生／前略仕候：呉々願上候也／1380-02-109にある「昨日ハ酔後相伺勿々認置候一書」がこの書状と推定／177

1380-02-12 齊藤篤信宛 吉井友実書状（過宵、御尋訪の折、承りし人物へ川路警保助が面会致したき旨別紙の通り、右の段、先方へお伝え下されたし）／一通（二紙）／（明治七年カ）一月二日／一七・二×五九・八／切継紙 楮紙／吉井↓齊藤殿／過宵ハ御尋訪被下候得共：御話之人ニ相違無之候／巻封に「齊藤殿 吉井」とあり、

文中にある別紙は1380-01-36と推定、宛名部分を切貼か、文中の川路警保助は川路利良／177

1380-02-13 齊藤篤信宛 国分高胤書状（非職にて困窮ゆえ、調達の節は差し上ぐべき積りだが、それまで延引にて相済まざるにつき、右周旋のため神奈川県下まで参る訳、お願いの額面の文章認め願う）／一通（四紙）／明治一九年七月一日／一六・七×一四・三／切継紙 楮紙／高胤↓篤信様／拜啓近頃ハ御無沙汰申上候：方縷可申陳候頓首／料紙は野紙／177

1380-02-14 齊藤篤信宛 小林貢書状（母親御不快のため御帰省、遠行、永訣につき御愁傷察し奉る、この地御来着の上、御悔み申し述べし）／一通（三紙）／（明治三年）四月二日／一五・二×六一・二／切継紙 楮紙／眷弟小林貢頓首謹白↓齊藤篤信様侍史御中／曩ニハ大孺人御不快：不取敢拜啓仕候也／料紙は野紙、篤信の母は明治一三年四月二〇日に没／177

1380-02-15 齊藤篤信宛 小森沢長政書状（粟子隧道に關し去月一九日、三島通庸より電報あり、その夜、宮島家にて上杉茂憲に拜謁、万歳祝賀の盃を挙ぐ、杉孫七郎が開墾地見分のため福島に参る由他）／一通（二紙）／（明治一三年）一月一日／一六・六×五五・二／切継紙 楮紙／長政拜↓馬陵先生閣下／逐日冷気相加候得共：余者付後雁候早々頓首／1380-02-115と1380-02-116は同紙に記載、料紙は野紙、粟子隧道の貫通は明治一三年一〇月一九日、杉が福島差遣を命じられたのは明治一三年一〇月二七日（国立公文書館所蔵「公文録・明治十三年・第三百三十卷・官吏進退（宮内省・開拓使）」）／177

1380-02-16 齊藤篤信宛 宮島誠一郎書状（貴兄、伊藤博文参議が山形下向に際し、書を致し、教育の方法を謀るに参議感動す、このたび伊藤の最知己杉孫七郎、新道見分のため発向他）／一通（三紙）／（明治一三年）一月一日／一六・六×七九・一／切継紙 楮紙／誠一郎↓齊藤先生／今也我老父少數病む：方々付後鴻／料紙は野紙、1380-02-115にある「委曲者家兄より可得貴意候」とあり、本書簡が該当と推定、本文中の「舎弟ノ書」は、1380-02-115と推定／177

1380-02-17 齊藤篤信宛 岡千仞書状（今朝御出懸けか、錢別の御礼、愚詩苦吟高覽に呈すべし、御出京御来訪を待つ他）／一通（二紙）／（明治一四年三月カ）二三日／二二・〇×三二・八／切紙 楮紙／岡千仞↓齊藤先生／拝展昨夕啓所：勿々略陳不宣／巻封に「齊藤先生 岡千仞 拝復」とあり、明治一四年、岡は東北・北海道を遊歴、その途上、山形にて齊藤と面会（『北遊詩草』）、及位には天長節に到着し、東根・尾花沢・山形などを経て米沢へ行き、そこから再び北上、山形へ戻り、齊藤と面会、この日程から時期を推定／177

1380-02-18 齊藤篤信宛 岡千仞書状（『北遊詩草』上を上梓し献上、この

集は両羽での諸作を収録、近く旧著『渉史偶筆』『退公録話』を校正す、上木のうえは清覧に供す)／一通(二紙)／(明治一四年)七月九日／一七・一×三七・七／切継紙楮紙／岡千仞首言／齊藤先生閣下判襷以来：為道自玉不宣／料紙は野紙、『北遊詩草』は明治一四年七月一四日に版權免許を得て刊行／177

1380-02-19 齊藤篤信宛 岡千仞書状(貴稿を添削、その可なるものを採用せられんことを請う、御出立の期日が迫るも面会を得ず、拙著一部を呈上す)／一通(二紙)／(明治一四年三月カ)／一六・二×三一・二／切継紙 楮紙／岡千仞↓齊藤先生閣下／前日辱来顧謝：請旅安不宣登刻／巻封に「齊藤先生閣下 岡千仞」とあり、齊藤の出立の記述があり、1380-02-17と同時期と推定／177

1380-02-20 齊藤篤信宛 岡千仞書状(今日昇堂のところ高木秀明より求められ右に出かけ、不本意ながら約束に違背す、明日、御発路、告別せざるを得ず、一評仕るべしと存じ持たせ差し上ぐ他)／一通(一紙)／(明治一四年三月カ)二二日／一五・一×三一・二／切紙 楮紙／岡千仞↓齊藤篤信殿／今日昇堂と申上候処：奉拝願候専用如此不具／巻封には「齊藤篤信殿 岡千仞」とあり、齊藤の出立の記述があり、1380-02-17と同時期と推定／177

1380-02-21 坂田潔宛 薩摩藩土吉井友実書状(唯今、宮様(仁和寺宮)御帰宮し齊藤篤信歎願の次第を上申す、上杉茂憲君の孝心上よりの歎願ご尤との思召、この旨、齊藤氏へお伝え下されたし)／一通(一紙)／(明治元年)一〇月一日／一七・五×四六・五／切紙 楮紙／吉井幸輔↓坂田潔様／唯今宮様御帰宮被為在：御通シ可被下候以上／「木滑要人日記」坤(1482-06-03) 明治元年一〇月一三日条に關連記載あり／177

1380-02-22 齊藤篤信宛 北沢正誠書状(九月一三日付と二三日付の書状への返書を認め、新国君に託す、象山刀一件につきその後石黒氏に面会の機会を得ず、高文お預かり置く)／一通(二紙)／(明治一四年)一月二〇日／一五・八×一五・三・三／切継紙 楮紙／北沢正誠再拜↓齊藤老先生侍史／唯今新国義方君御尋を被下：御自愛奉祈上候以上／巻封に「米沢 托新国君 齊藤篤信様 拜復」とあり、「新国君」は新国義方、文面からコレラの蔓延時、明治一四年は夏から秋に感染拡大、文中の石黒氏は石黒忠恵と推定、「枢密院文書・高等官転免履歴書三・昭和十二年、昭和二十二年」(国立公文書館所蔵)の石黒に履歴によれば、石黒は明治一四年九月に檢疫事務のため横浜に出張／177

1380-02-23 齊藤篤信宛 三島通庸書状(鶏二羽親父様へ差し上げたく、明後お持ち帰り下されたし)／一通(一紙)／近代(年月未詳)七日／一五・八×二〇・六／切紙 楮紙／三嶋↓齊藤篤信様／鶏式羽御親父様江差上度：御持帰り被下度奉希候也／巻封に「齊藤篤信様 三嶋 庭鳥相添」とあり、齊藤篤信の父庸信の没年は明治一一年五月二七日なのでこれ以前／177

1380-02-24 齊藤篤信宛 六戸璣書状(一三日は先約ありて他行につき、一五日午後四時より御来話下されたし)／一通(一紙)／(明治一八年カ)一二月二二日／一六・六×二七・九／切紙 楮紙／璣↓篤信様／先日ハ御来貴奉謝候：御来話被下度相埃候也頓首／巻封に「土手三番町二十五番地小森沢方二而 齊藤篤信様 六戸璣 拜答」とあり、齊藤の在京中であり、経歴から年代を推定／177

1380-02-25 齊藤篤信宛 六戸璣書状(先日來訪時の鶏卵一箱の御礼、返礼品を送付、先日宮島君にも噂致し置く、いづれ御同伴下されたし)／一通(二紙)／(明治一四年カ)一月二八日／一六・七×六九・八／切継紙 楮紙／璣↓齊藤様／拜啓先夜ハ態卜御来貴：御同伴被下度相願候／巻封に「齊藤様 璣」とあり、齊藤の在京中であり、経歴から年代を推定／177

1380-02-26 齊藤篤信宛 六戸璣書状(一五日御差し障りの由、一八、一九日は差し障りあり、また都合を伺うゆえ御承知下されたし)／一通(二紙)／(明治一八年カ)一二月一四日／一六・六×二八・二／切継紙 楮紙／璣↓齊藤君拜答／拜読十五日ハ御差し障之由：先ハ拜酬草々裁箋頓首／巻封に「齊藤君 璣 拜答」とあり、齊藤の在京中であり、経歴から年代を推定／177

1380-02-27 齊藤篤信宛 六戸璣書状(明後一八日、巢鴨別荘へ御来貴の義申し上げ置きしところ、この炎熱中ゆえ同所は差し止め、同日午後五時過より四谷本宅へ御来臨下されたし)／一通(二紙)／(明治一八年カ)七月一七日／一五・九×六四・二／切継紙 楮紙／璣↓齊藤様／今朝ハ御入臨被下：一寸御回報被下度候以上／巻封に「齊藤様」とあり、齊藤の在京中であり、経歴から年代を推定／177

1380-02-28 齊藤篤信宛 渋谷啓蔵書状(今体詩一首に妄評加え返却す、新県令(柴原和)は頗る文字を解し、安井息軒の門人の由、御県下の文運隆盛を祈る、当地学習院も西洋主義に傾き困却他)／一通(二紙)／明治一四年一〇月四日／一五・九×七五・六／切継紙 楮紙／渋谷啓蔵↓齊藤馬陵先生台座／尊翰捧読然者先生：如此余者讓後信候／封筒に「羽州米沢元中馬口旁町三十四番地 中町三十四番地 齊藤篤信様 東京牛込 渋谷啓蔵 無事貴酬、封筒の消印は「牛込 東京・一九・一〇・五・八」／177

1380-02-29 齊藤篤信宛 渋谷啓蔵書状(昨日より感冒症にて頭痛、発熱、平臥す、断書差し出せど、明日出勤致さざれば、貴君よりお届け方取り計らい下されたし)／一通(一紙)／近代(明治一八、一九年頃カ)一七日／一六・三×三八・八／切紙 楮紙／渋谷啓蔵拜↓齊藤先生梧下／日々好天気倍御励精奉拝賀候：右申上度如此候草々拜／齊藤は明治一八年一月二八日に文部省御用掛を命じられ山形から上京、同年一〇月一五日、学習院教授補に転じ、翌一十九年六月一九日、非職となり米沢に帰っており、この間のものカ／177

1380-02-130 齊藤篤信宛 渋谷啓蔵書状（本年は暑中上州地方へ遊歴するも脚氣により帰宅、このごろ全快ゆえ文債償却の心組、御寄贈の高作は格調高古也）／一通（二紙）／近代（年未詳）一〇月一七日／一六・四×七九・九／切継紙 楮紙／渋谷啓蔵→齊藤馬陵先生／拜別後殊ニ御疎濶ヲ極候処：余期後信候草々不乙拜／文中に「拜別後」とある、齊藤は明治一九年六月一九日、非職となり米沢に帰っており、本書状はその後のものと推定／177

1380-02-131 齊藤篤信宛 渋谷啓蔵書状（小生、昨日より悪寒のため本日だけ撰養のため御助勤下されたし、明日は授業あり出勤す）／一通（二紙）／（明治一八〇九年頃カ）二九日／一六・三×四二・一／切継紙 楮紙／渋谷啓蔵→齊藤先生梧下／冨返り御寒御座候処：此之如ク御座候不具拜／齊藤は明治一八年一月二八日に文部省御用掛を命じられ山形から上京、同年一〇月一五日、学習院教授補に転じ、翌一九年六月一九日、非職となり米沢に帰っており、この間のものカ／177

1380-02-132 齊藤篤信宛 佐々木高行書状（下拙義、去月一四日無事帰着、巡回の節は御懇切、遠方までご同伴下され本懐の至り、東京は悪疫流行、朝鮮變事につきては未だ確報なし他）／一通（二紙）／（明治一五年）八月一三日／一七・二×七九・六／切継紙 楮紙／高行→齊藤先生／御別後酷暑候候：先者右計可申候頓首／日付から1380-02-133のものとして推定される封筒入り、「明治十五年公文録 官吏雜件 七月第二（第二二六卷）」に明治一五年七月一五日付の佐々木の帰京届に「下官儀本日帰京」とある、文中の「朝鮮變事」は同年七月二三日に勃発した壬午軍乱と推定／177

1380-02-133 齊藤篤信宛 佐々木高行書状（荊妻不幸お申し越しのところ無事につきご安心下されたし、過日、大木議長妻逝去致され、右を佐々木と過誤と推察す）／一通（一紙）／（明治二〇年）四月二五日／一七・五×四九・四／切紙 楮紙／高行→齊藤老兄／御懇書被投忝存候：右計可申候不備／『平成新修旧華族家系大成』（霞会館、一九九六年）によると、大木喬任夫人朋子は明治二〇年四月一二日に没、1380-02-132の前に貼込／177

1380-02-134 齊藤篤信宛 佐々木高行書状（福岡孝弟文部卿へ申し遣わせしところ、文部省へ御足勞願いたく、省にて不都合あらば明後日退出後御足勞願いたしとのこと）／一通（一紙）／（明治一四年）五月一五日／一七・〇×二七・八／切紙 楮紙／高行→齊藤老兄／今朝ハ御降来忝存候：先ツ御知まで頓首／福岡の文部卿在任期間は明治一四年四月七日、明治一六年一二月一二日、かつ齊藤の在京中、宮島誠一郎日記の明治一四年五月七日条に「齊藤篤信山形より上京六年振ニ而面会」とある、明治一四年一六年の間で、宮島日記で五月に齊藤の上京が確認できるのは明治一四年のみ／177

1380-02-135 齊藤篤信宛 佐々木高行書状（過日御来光の御礼、その節内話

の義につき拝顔のうえ申し上げたたく、御閑暇の折お立ち寄り下されたし）／一通（二紙）／近代（年未詳）二月二八日／一六・二×三九・七／切継紙 楮紙／高行→齊藤老先生／前略過日ハ御来光被下：先ハ右計草々頓首／177

1380-02-136 齊藤篤信宛 佐々木高行書状（珍しき御高話拝承仕りたく、来る二九日御用暇あらば、午後六時より御降車下されたし）／一通（一紙）／近代（年未詳）五月二六日／一六・四×二六・六／切紙 楮紙／高行→齊藤大兄／拜呈益御清適被成：先ハ右計早々頓首／177

1380-02-137 齊藤篤信宛 吉田晩稼書状（新年の挨拶、即今遠出のところに寄寓、御休神下されたし）／一通（一紙）／明治二二年一月三日／一七・三×一八・二／切紙 楮紙／吉田晩稼→齊藤篤信先生文席下／恭賀新禧：御休神可被下候／177

1380-02-138 齊藤篤信宛 吉田晩稼書状（門客へお申し伝え拜承、御配慮に感謝す、事件、頻りに催促、困却の情態を御推察下されたし）／一通（二紙）／（明治一八〇九年頃カ）二月一三日／一七・三×六五・五／切継紙 楮紙／晩稼→桂華先生御親展／益御清適奉拜賀候：万謝可申上候草々頓首／巻封に「桂華先生 御親展 晩稼」とあり、齊藤の在京中と思われる、齊藤は明治一八年一月に山形から上京、一〇月に学習院教授補に転じ、翌年六月非職となり米沢に帰っており、この間のものカ／177

1380-02-139 齊藤篤信宛 吉田晩稼書状（米沢滞在中の御礼、その節の高話は今に忘れやらず、単身一〇月一〇日に帰京につき御安慮下されたし）／一通（二紙）／（明治二二年）一月二七日／一六・三×四六・八／切継紙 楮紙／吉田晩稼→齊藤老先生閣下侍史／拜啓時下逐日寒冷相加候候：如此御坐候頓首再拜／日付は封筒より、封筒は1380-02-136の前に貼込、東京市麴町区有楽町一丁目の吉田晩稼から、米沢市元馬口町の齊藤篤信宛／177

1380-02-140 齊藤篤信宛 吉田晩稼書状（御賢弟様、御養生叶わせられず、御逝去の由、驚き入る、皆様御愁傷の事と拝察す）／一通（一紙）／（明治一八カ）一月八日／一六・一×三五・六／切紙 楮紙／吉田晩稼→齊藤篤信様玉梧下／肅啓然者御賢弟様御違例：先者如此御坐候頓首再拜／「其内拜趨用詞可奉申上」とあり齊藤の東京在住中と推定、齊藤の経歴から明治一八年と推定／177

1380-02-141 齊藤篤信宛 吉田晩稼書状（昨日の高話・清饗の御礼、拙書一揮す、今日臨時に他へ外出につき、昨日、席上の拙作も拝呈仕る他）／一通（二紙）／（明治一八カ）一〇月五日／一六・三×五一・九／切継紙 楮紙／晩稼→馬陵先生侍史／拜呈昨日者緩々御高話：右勿々頓首再拜／文面から齊藤の在京時であり、齊藤の経歴から明治一八年と推定、料紙に竹の下図あり／177

1380—02—42 齊藤篤信宛 薩摩藩士吉井友実書状（御届書落手、御邸一条、昨日軍務官にて承れば、邸掛へ昨日引合置、明日にも分かるべく、その上は坂田氏まで申し越すよう致すべし）／一通（二紙）／（明治元年）一月六日／一六・八×七九・〇／切継紙 楮紙／齊藤主計様↓吉井幸輔／芳翰拝見仕候：可致此旨貴酬早々／巻封に「齊藤主計様 吉井幸輔 用事」あり、文中に「軍務官」とある、軍務官は明治元年閏四月二日設置、明治二年七月八日に兵部省設置され廃止により、年代を推定／177

1380—02—43 齊藤篤信宛 吉井友実書状（過日は御来訪下され、殊に御名産御患投、御芳志多謝、軽微の至りなれど袴地一反身上仕る）／一通（二紙）／近代（年未詳）七月一日／一六・一×六九・〇／切継紙 楮紙／吉井↓齊藤様／過日者御来訪被下：右為可得貴意如此候敬首／巻封に「齊藤様 吉井」とあり／177

諸家文書—武家—冊子

0595 「寛保元酉七月大御記録」（仙台藩世子伊達宗村の国許における動向を記した日記）／一冊（二〇三丁）／寛保元年七月／二八・〇×一九・二／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／ク・二／一部裏打あり／表紙の表題の左右に墨書「御部屋」「御国」とあり、裏表紙に墨書「羽前置賜原米溪下長井 上伊左沢村片川 渋谷名兵衛主 求之 明治五壬申歳」とあり／092

0615 「■記」（安政四年五月六日、安政五年三月二十九日、詳細未詳の個人の勤務日記、米沢藩江戸屋敷関係）／一冊（二六丁）／安政四年五月六日／二・二×三・五／横帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙／一部裏打あり／後補の表紙は厚紙に共紙原表紙を貼付／097

0616 日記（天保元年、弘化四年の公私日記、政府勤の米沢藩士両人の動向を記載、作者は未詳）／一冊（九七丁）／江戸後期（年月日未詳）／一五・五×一九・〇／横半帳 紙綴綴冊子装 表紙無し 楮紙／一部裏打あり／前欠／097

0633 「日記」（明治四年一月五日、十一月二七日）／一冊（一一二丁）／明治四年一月五日／一・一×一六・〇／横半帳 長帳綴 白茶地茶斜刷毛目原表紙 楮紙／二〇本 林泉文庫／墨付七四丁、小口に「則親記」とあり、立岩則親の日記と推定／107

0982 「御当代様初而御留守之時」書送帳（元文元年四月二四日、寛保元年四月一八日、江戸上屋敷御広間の勤仕記録）／一冊（三八丁）／江戸中期（年月日未詳）／二・三・七×一七・〇／豎帳 紙釘装 共紙原表紙 楮紙／コ〇本・一八八 林泉文庫

／160

1369 「御触留」（幕府と米沢藩、新政府の触達の留、元治元年七月、明治三年四月二九日）／一冊（二三五丁）／近代（年月日未詳）／二五・一×一九・四／豎帳 袋綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／林泉文庫／紙背は分限帳、士族の控カ、一部藤倉富蔵による献立入料の記載あり／176

1755 「水戸様御領内ノ百姓」（1755—01、02の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／二四・八×一七・五／豎帳 紙綴綴冊子装 茶地後補表紙／ミ〇本・下に長方形のラベル二重に貼付 林泉文庫／1755—01、02合綴／外題は鉛筆書き／無

1755—01 「水戸様御領内之百姓麻布飯倉片町ニ而敵討之次第書」（天保十一年四月九日に麻布藩邸前で起きた水戸藩百姓の敵討一件、尾張藩御馬廻組大橋善之丞の上申、元禄一五年吉良邸討入の際の検視記録）／一冊（三三丁）／天保十一年五月／二四・〇×一七・四／豎帳 紙綴綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／1755—01、02合綴／「野本忠左衛門書面之写」の奥書に「右之書面今ニ須田氏ニ存在セリ天保十一年五月写置物也」とあり／無

1755—02 米沢藩関連文書写（御勘定所帳面類の目録と起請文、鍛冶町鉄砲張小山清左衛門所蔵文書他）／一冊（二七丁）／近代（年月日未詳）／二四・九×一六・四／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1755—01、02合綴／無

諸家文書—武家—状物

0680—01 遺言状（上様に対し、最上陣や大坂の陣等における合戦での勲功を伝え、子供の処遇を願う）／一通（二紙）／（元禄年間カ）／三二・七×八四・三／継紙 楮紙／今度上様御他男之右之召出候半と存候処：如此御座候俣ニ御取成奉存候／680—01、04貼継／113

0680—02 本庄政長宛 朝岡助左衛門文書目録（上杉定勝自筆文書等八件一八通を報告）／一通（二紙）／元禄四年九月二九日／四二・三×六四・三／継紙 楮紙／朝岡助左衛門（黒印）↓本庄出羽との定勝様御直筆ニ被下置候御状四通：メ拾八通／680—01、04貼継／柱題「覚」、紙継目に朝岡助左衛門の印あり、本庄は鮎貝城代／113

0680—03 馬頭村宛 吉久左衛門貢割付状（元文二年分）／一通（四紙）／元文二年一月／三四・三×一七八・三／継紙 楮紙／吉久左衛門（黒印）↓右村 名主

惣百姓／一 高六百八十：急度可致皆落者也／680-01-04 貼継／柱題「巳御年貢可納割付之事」、総計の上に古久左衛門の割印あり、継目裏に韻文不明の黒印あり／113

0680-04 竹俣育秀他二名答書（城絵図、国絵図や城付武具の有無等幕府からの質問一五か条につき）／一通（六紙）／享保一〇年五月／三六・五×二六七・五／継紙／竹俣勘解由他二名／一御城絵図御国絵図：右者鉄炮数別紙二差上申候、林泉文庫／0680-01-04 貼継／柱題「御尋之就御書付御答申上候覚」、日付部分で五月の下に「廿四日」を摺り消す、控カ／113

0971 「直江家由緒」（直江政綱から景明まで）／一卷（五紙）／江戸後期（年未詳）閏正月／一五・三×一七九・五／切継紙 楮紙／直江者飯沼家之：書留之通相記候已上／ナ〇本／柱題「直江家由緒」、封紙あり、ラベルは封紙にあり／149

1026 藤倉六兵衛起請文案（九十郎様の江戸登りの御供を疎略なく勤めること他二か条）／一通（一紙）／貞享五年四月四日／三三・八×四六・六／縦紙 楮紙／藤倉六兵衛／一今度九十郎様：御罰可羅蒙者也／柱題「敬白 起請文之事」／163

1071 伝上杉謙信書「天満大自在天神」／一幅（一紙）／近代（年月日未詳）／四八・八×一四・六／斐紙／上杉入道謙信謹書（印）（印）／ケ本／偽作、裏に「上杉謙信天満宮」、「上杉謙信大将：之新規修復ス 寛文二年壬寅二月廿九日 山上氏源為直」の墨書、箱に「謙信公御書天満宮 永森書林送」、「謙信公御書天満宮」の墨書貼紙あり／167

1075 小川可遊斎宛 武田勝頼判物写（本領安堵し藤原の姓を許す他、原本は天正八年七月朔日付）／一通（一紙）／近代（年月日未詳）／三三・〇×四八・八／縦紙 斐紙／沼田河東之本領近年被拘来所：拾八貫文之所出置者也仍如件／柱題「定」／167

1078-01 今井治兵衛・本村監物宛 河瀬次大夫他三名書状写（与板衆二人の援軍を得て五十公野親子を追罰のこと、原本は天正一五年九月二三日付）／一通（六紙）／江戸後期（年月日未詳）／一六・〇×二〇七・三／切継紙 楮紙／今度以矢文を奉励忠通旨：奉頼候仍執達如件／偽文書、柱題「矢文之写」／167

1079 水越源七郎盛次起請文（助二郎と御前奉公につき）／一通（二紙）／文禄二年閏九月二日／二一・五×五八・二／切継紙 楮紙／水越源七郎御前様御披露／右いしゆハ：御罰をかうむるへき 仍如件／裏打あり／柱題「起請文之事」、二枚貼り 継いだ牛王宝印を翻して料紙とする、水越の自署・花押に血判あり／167

1444 「模本穴沢文書 完」（1444-01-09の表紙）／一枚／近代（年月

日未詳）／三八・五×二五・七／縦紙 楮紙／ア〇本 伊佐早兼古書之宝／1444-01-09 貼継／伊佐早謙が明治三六年六月に入手したものを仮装した旨の記載あり／180

1444-01 穴沢小次郎宛 長尾定景直状写（長尾定景が穴沢氏に春原（すはら、須原カ）過（廻カ）在家を安堵する、原本は永正九年一月二日付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／二九・一×四〇・四／折紙 楮紙／春原過在家：先以申付候頓首／林泉文庫／1444-01-09 貼継／180

1444-02 穴沢二郎左衛門尉宛 長尾顕景書状写（見舞いにつき、原本は二二月四日付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／二九・一×四〇・三／折紙 楮紙／其以後底如何様：養生簡要候頓首／1444-01-09 貼継／180

1444-03 穴沢源左衛門尉宛 長尾房長書状写（軍勢の出陣要請につき、原本は一〇月七日付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／二八・九×四〇・四／折紙 楮紙／其郷之者共：具□申候頓首／1444-01-09 貼継／180

1444-04 穴沢源左衛門尉宛 長尾景明書状写（一族を率いて六郎（長尾為景カ）と同心して奥に出陣を要請、原本は六月六日付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／二九・一×四〇・二／折紙 楮紙／十二日二六郎致同心：五郎三郎可申付候頓首／1444-01-09 貼継／180

1444-05 穴沢次郎右衛門尉宛 長尾顕景書状写（伊北勢の到来にあたっての用心を求める、原本は六月二六日付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／二九・〇×四〇・五／折紙 楮紙／伊北の□たく其方へ：いたすべく候頓首／1444-01-09 貼継／180

1444-06 穴沢次郎右衛門尉宛 長尾顕吉書状写（長尾合戦で右兵衛尉が戦死したことを悼み、相続は慎重にはかるよう伝える、原本は四月一八日付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／二八・七×四〇・四／折紙 楮紙／今度一戦二：可相継候頓首／1444-01-09 貼継／180

1444-07 穴沢次郎右衛門尉宛 長尾顕景書状写（六十里山につき指示、原本は二月六日付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／二八・八×四〇・二／折紙 楮紙／態申下候：可及浮流候頓首／1444-01-09 貼継／180

1444-08 穴沢又八宛 某朱印状写（穴沢又八に堪忍分を与え、軍役を命じる、原本は天正九年一月付）／一通（一紙）／江戸中期（年月日未詳）／三三・一×四五・四／折紙 楮紙／為堪忍分北条郷之内：可勤之者也仍如件／1444-01-09 貼継／袖に貼紙朱書「本書ハ保科肥後守様御家中穴沢新八所ニ御座候写」／180

1680-02 地名書上(「大きさ」「やしろ」ほか一〇件の定夫の数や貫高)／一通(一紙)／桃山時代(年月日未詳)／二六・七×三八・三／切紙 斐紙／大きさ定夫：大さはあと／232

1681 千坂兵部少輔宛 絶山勘焉笈書(当年の吉凶占い、当年喜びあり、公事沙汰をなさぬ年なり、疾病に氣遣いなし)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 立春／三七・五×五〇・六／豎紙 楮紙／長井沙門 絶山勘焉(朱印) ↓千坂兵部少輔殿／正当喜之上六：珍重二候／232

1692 外題無し(1692の表紙)／一卷／江戸後期(年月日未詳)／二八・五×二八・〇／卷子本 茶地唐草模様原表紙 楮紙／ヲ〇本／1692-01-04卷子装／232

1692-01 田泰漢詩「送神保子純遊崎陽」(長崎に遊学する神保忠貞に贈った七言律詩)／一通(一紙)／(寛政二年)／二八・二×六二・一／豎紙 楮紙／長府田泰(朱印)「田泰之印」(朱印)／西風蕭瑟黒：福江末句為／1652-01-04卷子装／田泰は長州の人物、漢詩題の「送神保子純遊崎陽」の「崎」は「紫」が表記されているが「崎」と推定できる、末尾に亀井南冥の致仕が近く病氣のため句に及んだ旨の記載あり／232

1692-02 亀井南冥漢詩「贈出羽神子純遊方」(西遊する神保忠貞に贈った二〇二字の漢文、東国と西国の違い、大宰府はじめ九州の様子等)／一通(一紙)／庚申(寛政二年) 仲春日／二八・二×九三・八／豎紙 楮紙／南冥亀井魯(朱印)「亀井魯」(朱印)／謝安没后謝安無怪：因何可比古人觀／1652-01-04卷子装／232

1692-03 安野南岳漢詩「米府 神保君子純遊諸藩適至熊府」(熊本を訪ねた神保忠貞との別離を詠んだ七言排律)／一通(一紙)／(寛政二年)／二八・二×八六・五／豎紙 楮紙／安野肅拜(朱印)「安野肅印」／敝廬乏供給 客車：萬里憂思共連連／1652-01-04卷子装／安野は熊本藩の儒者で細井平洲の門人／232

1692-04 倉成竜渚漢詩文「送 神保子純序」(神保忠貞に贈った遊学の心得、全文漢文体)／一通(一紙)／(寛政二年)／二八・二×一一四・〇／繼紙 楮紙／倉莖頓首(朱印)「朱印」／遊乎遊乎遊亦求益者也：吾説於 子純之遊矣／1652-01-04卷子装／朱印は「倉氏莖印」、「善卿」、倉成は中津藩の儒者／232

1747 書「遊蜂」／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／四六・九×二八・四／豎紙 楮紙／「菴」／本紙劣化、裏打あり／包紙あり、包紙に「本峰様御書」の墨書あり、本紙に「菴」の落款との印首印あり(印文不明)／無

1757 生駒元恕他九名女院御容体書(女院御所の手足厥冷につき、服薬治療を行っ

た際の経過報告)／一通(一紙)／江戸後期(年未詳) 一月晦日／三三・一×四四・七／豎紙 楮紙／生駒元恕他九名／女院御所御容体：奉存候以上／無

1758 小山松濤・神保道寿御簾中様御容体書(七月七日～閏一〇月一〇日死去まで、御簾中様の治療服薬の記録)／一通(七紙)／江戸後期(年未詳) 午閏一〇月／三五・四×三一〇・七／繼紙 楮紙／小山松濤・神保道寿／七月五日：奉愚案候以上／裏に貼紙「御容躰書」、本文表題「御簾中様御容躰書」／無

諸家文書—武芸書—劍術・弓術

1453 芋川元親宛 戸田家通「慶長拾五年劍法書」(戸田一刀流の劍術伝書)／一卷(七紙)／慶長一五年一月二日／一六・七×三二・八／切繼紙 楮紙／戸田一刀(花押) ↓芋川彦三郎様 參／兵法之秘書：努々不可有他見候／軸なし／181

1546 長尾政貞宛 有馬幹信劍術伝書(「実地天道の事」他二六条)／一卷(三紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・三×一一五・〇／切繼紙 縹地原表紙 斐紙／有馬大和守幹信(花押)(朱印) ↓長尾源五政貞／柱題「切紙」、外題には「■上」、「政■」とあり／223

1570 登坂安之丞宛 友光「長刀目録」(塚原ト伝末後流の武術伝書、構えを図示)／一卷(三紙)／貞享四年正月四日／一七・八×二七〇・三／切繼紙 表紙無し 雁皮／友光(花押) ↓登坂安之丞殿／裏に刀劍類の押型写を記した別紙を貼付、「押形写本阿弥秘書ヨリ書取者也：持主米府免許町住人 藤倉義作(花押)」とあり／224

1571-01 甘粕惣七郎「日置流弓目録」(日置流弓術伝書)／一卷(二七紙)／享保二年／一八・三×一三八四・八／切繼紙 縹地原表紙 三楹／甘粕惣七郎／1571-01-02紐一括／224

1571-02 甘粕惣七郎「生つき悪鋪なをし條々」(弓術伝書)／一卷(一八紙)／享保二年／一八・二×九二・八／切繼紙 縹地原表紙 三楹／甘粕惣七郎／1571-01-02紐一括／224

1598 重五郎左衛門宛 いな村弓術伝書(小笠原流弓術、弓と矢の各部名称を图示、細部を三世の諸仏にたとえる)／一通(六紙)／天文二年二月吉日／三三・四×一七七・六／繼紙 楮紙／いな村 ↓重五郎左衛門／九本のちやうと：秘すへし／柱題「小笠原流弓術三しゆいん口伝」／225

諸家文書—武芸書—兵学・砲術

0897 駒木根吉家砲術伝書(位、火挟、火蓋等に関する心得)／一卷(二紙)／慶長二年八月／三五・八×八八・八／継紙 楮紙／駒木根右近尉吉家／西拾式ヶ條之覚心得之次第：西拾式ヶ條之口聞書也／137

0898 小河孫二郎宛 丸田源七郎砲術伝書(鉄砲を撃つ際の心得等)／一冊(一八丁)／慶長七年五月／一〇・二×一・二／横半帳 袋綴冊子装 焦茶地原表紙 楮紙／丸田源七郎↓小河孫二郎／重テ〇本／ラベル消し跡あり、後補外題「鉄砲二関スル書」／137

1547 佐野龍溪寺宛 一宮親長兵法伝書(夜に軍門を出る際の吉凶、夜戦時の心得、人数一〇〇騎の際の武器内訳)／一卷(六紙)／天文八年一月／二八・二×二八・二／継紙 表紙無し 楮紙／一宮左馬之助親長(花押)↓佐野龍溪寺殿／軸芯から外れ／柱題「軍配夜分吉凶之巻」、「甲 古文書 元弘二年北条孝時書 一通：読史堂蔵」とある近代の紙袋入り、紙袋は上杉弾正大弼宛 岡野知英書状の紙背を転用／223

1575 雷火銃火薬製法書(実際に雷火銃の火薬を製造した際の行程と、費用、日数)／一卷(六紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・九×二〇〇・五／切継紙 表紙無し 楮紙／一壹貫九百兩：右大略相認申候／柱題「雷火粉製品付之事」／224

諸家文書—武芸書—馬術

1561 馬術伝書(鞍の名所、い、大、あさ他の解説)／一卷(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・九×八八・五／切継紙 紺地原表紙 楮紙／〇いのしほすくなきハ：み、へ入ルなり／端裏書「鞍之名所」／柱題「鞍之名所」、外題は「孝作之積り」／223

1562 本村勘兵衛宛 小島源兵衛馬術伝書(修羅巻の目録、息合方他)／一卷(三紙)／寛永二〇年極月五日／一七・五×一四六・三／切継紙 表紙無し 雁皮／小島源兵衛(花押)↓本村勘兵衛殿 参/その道者■もろこしより：猶漏脱あらむ事を恐のミ／コ本／端裏に「小島源兵衛 寛永廿年馬之事」の貼紙あり／223

1563-01 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「早遣書」(乗形の次第、馬の足つかい他、一部は図示)／一冊(二丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿／貴ハ〇本／1563-01-21 帙入り／1563は全て八條房繁から黒河四郎右衛門尉に伝授された

八條流馬術伝書、ラベルは帙に貼付、帙の後年の外題は「八條流馬書 天文四年原本式拾壹冊(方形朱印)」、印文は読めず／223

1563-02 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上段第一手綱品」／一冊(二二丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-03 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上段第二手綱品」／一冊(二二丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-04 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上段第三手綱品」／一冊(二〇丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-05 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「下段第一鞍次第同馬立始」／一冊(九丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-06 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「下段第二手綱書 付鞍之事」(鞍の名称等一部図示)／一冊(一三丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-07 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「下段第二手綱寸尺」(手綱と附属品の寸法他)／一冊(一〇丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-08 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上之上第一呪品」(乗馬法、この唱言他)／一冊(九丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-09 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上之上第二呪品」(馬頭、荒神、大日の唱言他)／一冊(五丁)／天文四年四月吉日／二〇・一×一三・九／豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙／房繁(花押)↓参 黒河四郎右衛門尉殿 進候／1563-01-21 帙入り／223

1563-110 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上之上第四呪品」(戦闘時の唱言他) / 一冊(八丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 第三は一八にあり / 223

1563-111 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上之上第五呪品」(年始乗馬の吉日他) / 一冊(九丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-112 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「中段第一曲手綱書」(乗馬方法、曲乗り他) / 一冊(二二丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-113 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「中段第二綱書」(馬の性格等に応じた縄の扱い他) / 一冊(二二丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-114 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「中段第三鞍品」(馬の性格と鞍の種類) / 一冊(一〇丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-115 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「初段第一手綱品」(人前で乗馬する際の心得他) / 一冊(一一丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-116 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「初段第二庭書」(庭の形状や種類に応じた馬の進め方の図) / 一冊(一八丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-117 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「初段第三鞍品」(馬の性格と鞍の種類) / 一冊(七丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-118 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「上之上第三呪品」(馬の性格等に応じた乗馬法と唱言他) / 一冊(六丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 1563-109、110と一連、表紙裏に下札あり / 223

1563-119 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「外物第一厩次第」(厩の作り方、材料や寸法他) / 一冊(一一丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-120 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「外物第二御産次第」(御産屋の置物、墓目の次第他) / 一冊(九丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1563-121 黒河四郎右衛門宛 八條房繁「外物第三針品」(馬の状況に応じた針をうつ部位他) / 一冊(五丁) / 天文四年四月吉日 / 二〇・一×一三・九 / 豎帳 袋綴冊子装 縹地原表紙 楮紙 / 房繁(花押) ↓ 参 黒河四郎右衛門尉殿 進候 / 1563-101 / 21 帙入り / 223

1567-101 色部光長宛 人見宗次「人見流抜覚書 巻第一」(初段第一、一五ヶ条の項目名) / 一帖(四紙) / 慶長一八年一月吉日 / 一六・九×一三・八 / 折帖 茶地原表紙 楮紙 / 人見宗次(花押) ↓ 色部修理進殿 参 / 223

1567-102 色部光長宛 人見宗次「人見流抜覚書 巻第二」(初段第二、二五ヶ条の項目名) / 一帖(三紙) / 慶長一八年一月吉日 / 一六・九×一三・八 / 折帖 茶地原表紙 楮紙 / 人見宗次(花押) ↓ 色部修理進殿 参 / 223

1567-103 色部光長宛 人見宗次「人見流抜覚書 巻第三」(初段第三、三〇ヶ条の項目名) / 一帖(三紙) / 慶長一八年一月吉日 / 一六・九×一三・八 / 折帖 茶地原表紙 楮紙 / 人見宗次(花押) ↓ 色部修理進殿 参 / 223

1567-104 色部光長宛 人見宗次「人見流抜覚書 巻第四」(初段第四、一七ヶ条の項目名) / 一帖(三紙) / 慶長一八年一月吉日 / 一六・九×一三・八 / 折帖 茶地原表紙 楮紙 / 人見宗次(花押) ↓ 色部修理進殿 参 / 貴ヒ〇本 / 223

1567-105 色部光長宛 人見宗次「人見流抜覚書 巻第四」(初段第五、一九ヶ条の項目名、乗馬稽古の重要性他) / 一帖(四紙) / 慶長一八年一月吉日 / 一六・九×一三・八 / 折帖 茶地原表紙 楮紙 / 人見宗次(花押) ↓ 色部修理進殿

参／223

1568 「馬術書」(馬の買い方、乗り方、構え等指南書)／一卷(一一紙)／江戸前期(年月日未詳)／三五・九×九五三・八／切継紙 縹地原表紙 雁皮／ハ〇本／木箱入り、木箱ラベル「ハ〇本」二枚あり、表紙に「大村蔵書」とあり／223

1597-01 「懺悔卷 上」(馬医法、投薬や鍼灸他)／一卷(七紙)／桃山時代(年月日未詳)／一六・九×二五〇・〇／切継紙 卷子本 紺地原表紙 斐紙／第一：らをいむなり／端裏書「懺悔上」／桑島流馬医法カ／225

1597-02 「懺悔卷 下」(馬医法、投薬や鍼灸他)／一卷(六紙)／桃山時代(年月日未詳)／一七・〇×一九九・〇／切継紙 卷子本 紺地原表紙 斐紙／第一：きよく：かいしかさけなり／端裏書「懺悔下」／桑島流馬医法カ／225

諸家文書—武芸書—馬医術

1552 桑島仲綱馬医術書(桑島流馬医法、馬の「チャウカウ」にて薬の叶わない日時)／一卷(二紙)／永禄五年二月吉日／一六・五×三九・二／切継紙 紺地原表紙 楮紙／桑島新右衛門仲綱(花押)／一馬ノチョウカウ：十貫一フリ也／外題は「日取ノ事」／223

1553-01 円鏡 卷十(馬医法、腫物、血を引きまわしたるを知る他)／一卷(八紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・四×三二五・一／切継紙 表紙無し 楮紙／一そく之うく乃かう：又ひしする事なし／端裏書「■」／1553-01-04紙縫、麻紐一括／柱題「円鏡卷第十」、端裏書は破損し判読不能／223

1553-02 円鏡 卷十七(馬医法、こつそさう、にくさうを知る事、そくさう長さを知る事他)／一卷(五紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・五×一八六・五／切継紙 紺地原表紙 楮紙／こつさうにくさうを知る事：又治る事なし／端裏書「円鏡十七」／1553-01-04紙縫、麻紐一括／外題、柱題「円鏡卷第十七」／223

1553-03 桑島平六馬医術書(桑島流馬医法、むし寸白、内ら他の薬の調合法)／一卷(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・六×五三・〇／切継紙 表紙無し 楮紙／桑島平六／一繕馬上中：日に二度可約／1553-01-04紙縫、麻紐一括／冒頭欠損、一括文書のうち1553-01、02とは料紙や筆跡が異なる／223

1553-04 馬医術書(馬医法、せかいかのかいしるの事、中風馬の吉凶他)／一卷(三紙)／江戸後期(年月日未詳)／一四・五×一〇二・七／切継紙 表紙無し 楮

紙／けつ馬の上中下ともに：あらかハ大切／1553-01-04紙縫、麻紐一括／前後欠損カ／223

1554 馬医術書(馬医法、至限の巻、馬の病状ごとの回復の見込み)／一卷(五紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・四×一七〇・〇／切継紙 紺地原表紙 楮紙／一結馬而已薬に：此一日の内之■蔵す／外題は「至銀(ママ)」、柱題「諸病之事 至限之巻」／223

1555-01 網橋 卷四(桑島流馬医法、牙関筋の病、吐血、結馬三段の大事他)／一卷(七紙)／元龜二年二月吉日／一六・三×二七〇・一／切継紙 紺地原表紙 楮紙／桑島新右衛門尉仲綱／一牙関筋の病に寒熱ナシ：平馬のこつく成へし／端裏書「網橋四」／1555-01-04紙縫一括／外題、柱題「網橋 卷第四」／223

1555-02 網橋 卷二(桑島流馬医法、灌頂薬、早業のこと他)／一卷(四紙)／元龜二年二月吉日／一六・四×一六四・〇／切継紙 紺地原表紙 楮紙／桑島新右衛門尉仲綱／一繕馬くわんしやう薬を：加薬はすれは大切也／端裏書「網橋二」／1555-01-04紙縫一括／外題、柱題「網橋 卷第二」／223

1555-03 網橋 卷五(桑島流馬医法、悪相のこと)／一卷(四紙)／元龜二年二月吉日／一六・七×一七一・〇／切継紙 紺地原表紙 楮紙／桑島新右衛門尉仲綱／第一もろもろの病馬の：尾本の血をからす／端裏書「網橋五」／1555-01-04紙縫一括／外題、柱題「網橋 卷第五」／223

1555-04 網橋 卷三(桑島流馬医法、寒熱のこと)／一卷(五紙)／元龜二年二月吉日／一六・六×二一五・〇／切継紙 紺地原表紙 楮紙／桑島新右衛門尉仲綱／一寒病ハ病はけつる：治ると云心也／1555-01-04紙縫一括／外題、柱題「網橋 卷第三」、外題に「元龜二二二の朱書」／223

1556 佐瀬大学助宛 桑島仲綱 桑島流馬医術伝書(鍼術、馬に鍼をうつ部位の図解と解説文)／一卷(二三紙)／永禄元年一月吉日／三一・九×六二三・八／継紙素紙後補表紙 楮紙／桑島新右衛門尉仲綱(花押) ↓佐瀬大学助殿 進覽／此道三分切鍼上：一寸諸病用／後補表紙は往来物の手習を転用、表紙貼紙「療馬書 奥書永禄元年十一月吉日桑島新右衛門尉仲綱佐瀬大学助殿進覽」／223

1557 馬医術伝書(良馬の見分け方の図解、押の次第)／一卷(五紙)／正徳五年六月一七日／三〇・四×一九七・一／継紙 表紙無し 楮紙／一しや■見面と：其様有間敷也／223

1558 馬医術書(馬の耳目鼻等の寒熱、毛色ごとの陰陽他)／一卷(一紙)／近世後期年月日未詳／一六・二×五六・七／切紙 紺地原表紙 楮紙／一眼一耳一鼻：かた

らひたるへし／端裏書「七箇寒熱」／柱題「七箇寒熱之事」／223

1559-02 不伝集 上巻(桑島流馬医法、薬の調合法、修鞍のこと他)／一卷(三紙)／永禄五年二月九日／一七・八×一〇五・五／切継紙 紺地原表紙 楮紙／桑嶋新右衛門尉仲綱／一修平綱：有へからす有口伝／外題は題箋のみ／223

1559-01 不伝集 下巻(桑島流馬医法、薬の調合と投与法、薬五色のこと)／一卷(二紙)／永禄五年二月九日／一七・五×五四・〇／切紙 紺地原表紙 楮紙／桑嶋新右衛門尉仲綱 仲綱(ママ)／一諸之薬飼養：青葉毛吉也／外題は「不伝集 下」、表紙内側に「大村氏」とあり、紙背に小嶋辰三郎作の漢詩記載あり／223

1560 金益集 下巻(桑島流馬医法、馬の種類別の投薬法、虫腹、傷等の治療法他)／一卷(五紙)／元龜二年二月吉日／一七・六×二〇三・〇／切継紙 紺地原表紙 楮紙／桑嶋新右衛門尉仲綱／一法ノ加減：一さい酒なり／末尾に「金伝集上」とあり／223

1581 「三箇秘伝」(馬医術または医術の伝書、五臓六腑の病、ひふくの病、筋の病の治療法)／一卷(三紙)／桃山時代(年月日未詳)／一六・七×六六・八／切継紙 卷子本 紺地原表紙 楮紙／224

1582-01 「本灌頂 巻第二」(桑島流馬医法、尿詰、瘡の治療法)／一卷(三紙)／室町時代(年月日未詳)／一六・七×一三五・五／切継紙 卷子本 紺地原表紙 楮紙／1582-01-03 紐一括／224

1582-02 桑嶋仲綱「本灌頂 巻第五」(桑島流馬医法、手負の治療法)／一卷(二紙)／元龜(年月日未詳) 二二日／一六・二×九四・五／切継紙 卷子本 表紙無し 楮紙／桑嶋新右衛門尉仲綱／虫損大、継目剥離／1582-01-03 紐一括／224

1582-03 桑嶋仲綱「本灌頂 巻第九」(桑島流馬医法、則寒、則冷、刺突、踏抜、諸癩の治療法)／一卷(三紙)／元龜二年八月二日／一六・五×一三一・三／切継紙 卷子本 表紙無し 楮紙／桑嶋新右衛門尉(花押)／1582-01-03 紐一括／端裏に文字の残欠あり／224

1583 「大本儀 第三」(地大病者本葉之事等様々な症状に対する製薬方法)／一卷(三紙)／桃山時代(年月日未詳)／一六・五×一〇五・七／切継紙 卷子本 紺地原表紙 楮紙／巻末に「明治七甲戌歳 四月 求之 大村利四郎 同新吾」の追記あり、表紙裏に墨書あり、本紙裏に「立町口 千坂琢磨主」の墨書あり／224

1584 「五観動脈」(馬医術関係カ、五観動之脈之事、血脈八道之事)／一卷(四紙)／桃山時代(年月日未詳)／一六・三×一一三・六／切継紙 卷子本 紺地原表紙 楮

紙／裏打あり／元の端裏に「脈書」の墨書あり／224

1585 拾八箇 第三(馬の筋骨の病等馬の治療につき、第一三ヶ条から一八ヶ条)／一卷(五紙)／桃山時代(年月日未詳)／一六・七×二二三・八／切継紙 卷子本 紺地原表紙 楮紙／元の端裏に「十八ヶ三」の墨書あり／224

1586 「筋瘡両方」(馬医術伝書カ、瘡之いへ葉、内瘡の寒熱の事、窄熱肉寒の事の直口伝)／一卷(二紙)／桃山時代(年月日未詳)／一六・七×五六・九／切継紙 卷子本 紺地原表紙 楮紙／元の端裏に「筋瘡両方」の墨書あり／224

諸家文書—岩間家—献金受領書

0705-01 岩間勘三郎宛 加藤弥七左衛門他七名受領書(東叡山御普請御手伝につき金一〇〇両請取)／一通(一紙)／宝曆四年一〇月二八日／三二・三×四〇・七／堅紙 楮紙／加藤弥七左衛門他七名↓岩間勘三郎殿／合百両者：実正也仍如件／0705-01-30 貼継／裏書あり、柱題「東叡山御普請御手伝二付而御借上金上納之事」／114

0705-02 岩間勘三郎宛 池内甚右衛門他八名受領書(差上切金四〇両)／一通(二紙)／宝曆一〇年二月三日／三一・〇×四〇・二／堅紙 楮紙／池内甚右衛門他八名↓岩間勘三郎殿／合四十四両者：実正也仍如件／0705-01-30 貼継／柱題「此度差上切金上納之事」／114

0705-03 岩間勘三郎宛 池内甚右衛門他八名受領書(預米札六五俵余分)／一通(一紙)／宝曆一〇年二月三日／三〇・七×三八・四／堅紙 楮紙／池内甚右衛門他八名↓岩間勘三郎殿／合六拾五俵八合老夕：実正也仍如件／0705-01-30 貼継／柱題「今度差上切口代官蔵預米札上納之事」／114

0705-04 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(御借上金三〇両)／一通(一紙)／宝曆一三年八月二日／三二・一×二二・六／堅紙 楮紙／御金蔵(黒印)↓岩間勘三郎殿／合三拾両者：実正也仍如件／0705-01-30 貼継／返済に関する裏書あり、柱題「御借上金上納之事」／114

0705-05 岩間勘三郎宛 那代所受領書(差上切粗三三三俵余)／一通(一紙)／宝曆一三年正月一六日／三一・八×四一・〇／堅紙 楮紙／那代所(黒印)↓岩間勘三郎殿／一三三三拾表老斗五升：実正也仍如件／端裏書「岩間勘三郎」／0705-01-30 貼継／柱題「差上切粗受取之事」／114

0705-06 岩間彦左衛門宛 御金蔵受領書(古手線綿入役銭引当御借上金一〇兩) / 一通(一紙) / 明和二年一〇月二五日 / 三二・四×二七・八 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓岩間彦左衛門殿 / 合拾両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「古手線綿入役銭引当御借上金上納之事」 / 114

0705-07 岩間彦左衛門宛 御金蔵受領書(古手線綿入役銭引当御借上金一〇〇兩) / 一通(一紙) / 明和三年二月二九日 / 三二・三×三一・七 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓岩間彦左衛門殿 / 合百両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「蠟先納御借上金上納之事」 / 114

0705-08 岩間彦左衛門宛 御金蔵受領書(蠟先納戸野村惣左衛門より才覚御借上金四八兩) / 一通(一紙) / 明和三年三月一六日 / 三二・〇×三三・九 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓岩間彦左衛門殿 / 合四拾八両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「蠟先納戸野村惣左衛門才覚御借上金上納之事」 / 114

0705-09 岩間彦左衛門宛 御金蔵受領書(蠟先納戸野村惣左衛門より才覚御借上金一〇兩) / 一通(一紙) / 明和三年三月二〇日 / 三二・〇×三三・二 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓岩間彦左衛門殿 / 合拾両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「蠟先納戸野村惣左衛門才覚御借上金上納之事」 / 114

0705-10 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(西之御丸御普請御手伝に係る錢一八九貫) / 一通(一紙) / 明和七年二月晦日 / 三一・九×三五・四 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿 / 合百八拾九貫式百文: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「西之御丸御普請御手伝二付而差上金上納之事」 / 114

0705-11 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(江戸御屋敷御類焼につき御借上金六兩余) / 一通(一紙) / 明和九年六月二日 / 三一・四×三三・六 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合六兩式分メ: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 柱題「江戸御屋敷御類焼二付御借上金上納之事」 / 114

0705-12 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(江戸御屋敷御類焼につき御借上金四〇兩余) / 一通(一紙) / 安永二年六月二日 / 三一・六×三三・四 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合四拾兩メ: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 柱題「江戸御屋敷御類焼二付御借上金上納之事」 / 114

0705-13 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(江戸御屋敷御類焼につき御借上金二〇兩) / 一通(一紙) / 安永三年二月二六日 / 三一・五×三五・八 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵

(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合式拾両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 柱題「江戸御屋敷御類焼二付御借上金上納之事」 / 114

0705-14 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(江戸御屋敷御類焼につき御借上金二〇兩) / 一通(一紙) / 安永一〇年一月一三日 / 三二・二×三七・三 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合式拾両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「先年江戸御屋敷御類焼二付而御借上金上納之事」 / 114

0705-15 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(当年凶作につき御借上金一五兩) / 一通(一紙) / 天明三年二月四日 / 三二・一×三六・二 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合拾五両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する朱書きの裏書あり、柱題「当年凶作二付御借上金上納之事」 / 114

0705-16 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(江州山門堂舍御普請御手伝に係る錢一〇貫文) / 一通(一紙) / 寛政一〇年二月八日 / 三一・一×一九・六 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合拾貫文: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 柱題「江州山門堂舍御普請御手伝二付而差上金上納之事」 / 114

0705-17 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(文化三年御手伝御買米代錢六兩余) / 一通(一紙) / 文化四年一〇月三日 / 三二・五×二〇・七 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿 / 合六兩者分メ: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「文化三年御手伝御買米代上納之事」 / 114

0705-18 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(紅葉山御手伝普請に係る金三〇兩) / 一通(一紙) / 文化一一年三月二八日 / 三二・四×二〇・七 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合三拾両者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 返済に関する裏書あり、柱題「紅葉山御普請御手伝二付御借上金上納之事」 / 114

0705-19 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(西丸御手伝普請に係る金四兩) / 一通(一紙) / 天保一〇年一月七日 / 三二・二×二一・一 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿 / 合四兩者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 柱題「西丸御普請御手伝二付御借上金上納之事」 / 114

0705-20 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(西丸御手伝普請に係る金四兩) / 一通(一紙) / 天保一一年一〇月一〇日 / 三一・九×二一・〇 / 竪紙 楮紙 / 御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿 / 合四兩者: 実正也仍如件 / 0705-01 / 30 貼継 / 柱題「西丸御普請御手伝二付御借上金上納之事」 / 114

0705-21 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(西丸御手伝普請に係る金四両)／一通(一紙)／天保二年一月一日／三一・九×二一・一／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿／合四両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／柱題「西丸御普請御手伝二付御借上金上納之事」／114

0705-22 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(西丸御手伝普請に係る金四両)／一通(一紙)／天保三年一月二日／三一・二×二一・二／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合四両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／柱題「西丸御普請御手伝二付御借上金上納之事」／114

0705-23 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(西丸御手伝普請に係る金四両取)／一通(一紙)／天保四年一月一日／三一・一×二一・一／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿／合四両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／返済に関する裏書あり、柱題「西丸御普請御手伝二付御借上金上納之事」／114

0705-24 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(御借上金金二七両)／一通(一紙)／弘化四年八月五日／三一・八×二一・〇／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合式拾七両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／返済に関する裏書あり、柱題「明和元年中御借上金上納之事」／114

0705-25 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(御借上金金九両請取)／一通(一紙)／弘化四年八月五日／三一・八×二〇・九／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合九両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／返済に関する裏書あり、柱題「明和二年中御借上金上納之事」／114

0705-26 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(焼失した桜田屋敷向普請寸志金二〇両)／一通(一紙)／安政三年九月二日／三二・四×二一・〇／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合式拾両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／柱題「江戸桜田御屋敷御殿向御焼失御普請二付志金上納之事」／114

0705-27 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(焼失した桜田屋敷向普請寸志金二〇両)／一通(一紙)／安政四年九月二〇日／三一・四×二一・〇／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合式拾両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／柱題「江戸桜田御屋敷御殿向御焼失御普請二付志金上納之事」／114

0705-28 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(焼失した桜田屋敷向普請寸志金二〇両)／一通(一紙)／安政五年九月二三日／三一・三×二〇・九／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合式拾両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／柱題「江戸桜田御屋敷御殿向御焼失御普請二付志金上納之事」／114

0705-29 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(焼失した桜田屋敷向普請寸志金二〇両)／一通(一紙)／安政六年九月晦日／三一・四×二〇・八／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合式拾両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／柱題「江戸桜田御屋敷御殿向御焼失御普請二付志金上納之事」／114

0705-30 岩間勘三郎宛 御金蔵受領書(焼失した桜田屋敷向普請寸志金二〇両)／一通(一紙)／万延元年九月三日／三一・四×二一・三／豎紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓岩間勘三郎殿／合式拾両者：実正也仍如件／0705-011330貼継／柱題「江戸桜田御屋敷御殿向御焼失御普請二付志金上納之事」／114

0706 岩間勘三郎「角御蔵御用覚帳」(請取金銭の書上)／一冊(二五丁)／宝曆六年五月／三二・三×一九・八／豎帳 袋綴冊子装 素紙原表紙 楮紙／大町岩間勘三郎／ス〇本 林泉文庫／墨付一丁、ほぼ白紙／114

諸家文書—岩間家—証文等

0710-01 岩間勘三郎・岩間文五郎宛 渡部茂左衛門・渡部茂助為替証文(大坂本町柏屋八兵衛方にて五四両)／一通(一紙)／宝曆二年一月一日／三一・七×四〇・七／豎紙 楮紙／渡部茂左衛門(黒印)・同茂助(黒印) ↓岩間勘三郎殿・同文五郎殿／金五拾両者：仍而如件／0710-011334貼継／柱題「請取申為替金之事」・端裏貼紙「古証文」、同朱書「岩二」／114

0710-02 岩間彦左衛門宛 後藤与右衛門・後藤与四郎為替証文(新大坂町伊勢屋治右衛門方にて二〇両)／一通(一紙)／宝曆二年二月一日／二九・八×三四・八／豎紙 楮紙／後藤与右衛門(黒印)・同与四郎(黒印) ↓岩間彦左衛門殿／一式拾両：依而如件／0710-011334貼継／柱題「為替金請取申事」／114

0710-03 後藤与四郎宛 岩間利兵衛為替証文(岩間勘三郎方にて代金九〇両勘定)／一通(一紙)／宝曆三年三月一七日／二四・〇×三三・一／豎紙 楮紙／岩間利兵衛(黒印) ↓後藤与四郎殿／合九拾両：依而如件／0710-011334貼継／柱題「為代金請取申事」／114

0710-04 岩間勘三郎宛 後藤与右衛門・後藤与四郎為替証文(与四郎着次第、三〇両渡す)／一通(一紙)／宝曆三年九月二五日／三〇・二×三三・二／豎紙 楮紙／後藤与右衛門(黒印)・同与四郎(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一三拾両者：依而如件／0710-011334貼継／柱題「請取申為替金之事」／114

0710-05 岩間彦左衛門宛 嶋屋佐右衛門為替証文(江戸新大坂町伊勢屋にて二

一五兩)／一通(一紙)／明和三年四月一日／三二・九×三三・二／豎紙 楮紙／嶋屋佐右衛門(黒印) ↓岩間彦左衛門殿／一金式百拾五兩也：依而如件／071000134貼継／柱題「覚」、嶋屋は福島の人／114

0710006 升屋喜兵衛宛 岩間利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて五兩)／一通(一紙)／安永二年四月一日／二四・二×二〇・〇／豎紙 楮紙／岩間屋利兵衛(黒印) ↓升屋喜兵衛殿／一五兩：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替金請取申事」／114

0710007 遠藤源右衛門宛 鈴木利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて五〇兩)／一通(一紙)／安永三年三月／二四・五×二六・八／豎紙 楮紙／鈴木利兵衛(黒印) ↓遠藤源右衛門殿／一五拾兩ハ：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替金請取申事」／114

0710008 渡部文太郎宛 鈴木利兵衛為替証文(岩間勘三郎方にて一〇兩)／一通(一紙)／安永三年三月二日／二四・四×二八・三／豎紙 楮紙／鈴木利兵衛(黒印) ↓渡部文太郎殿／一拾兩ハ：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替金請取申事」／114

0710009 遠藤源右衛門・山本弥十郎宛 鈴木・伊勢屋次右衛門為替証文(岩間勘三郎方にて一〇〇兩)／一通(一紙)／安永五年三月一日／三〇・七×三八・〇／豎紙 楮紙／米沢鈴木(黒印)、江戸新大坂町宿伊勢屋次右衛門(黒印) ↓米沢遠藤源右衛門殿・江戸本材木町山本弥十郎殿／一金百兩也：仍而如件／071000134貼継／遠藤と鈴木は米沢、山本は江戸本材木町、柱題「為替金証文之事」／114

0710010 岩間勘三郎宛 金子十三郎為替証文(京都御本町西川源助方にて五五兩)／一通(一紙)／安永六年一月二日／三〇・八×三六・八／豎紙 楮紙／金子十三郎(黒印) ↓大町岩間勘三郎殿／一五拾五兩者：仍如件／071000134貼継／柱題「為替置証文之事」、川井小路後藤十蔵他一名の金子受取の裏書あり／114

0710011 蓬田利兵衛宛 岩間利兵衛為替証文(岩間勘三郎方にて四〇兩)／一通(一紙)／天明四年三月二日／二四・四×三四・一／豎紙 楮紙／岩間利兵衛(黒印) ↓蓬田利兵衛殿／一金四拾兩ハ：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替金証文之事」、差出の印を抹消／114

0710012 斎藤吉内宛 岩間利兵衛為替証文(岩間勘三郎方にて二〇兩)／一通(一紙)／天明四年三月／二四・二×三〇・六／豎紙 楮紙／岩間利兵衛(黒印) ↓斎藤吉内殿／一合式拾兩ハ：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替金取組申証文之事」、差出の印を抹消／114

0710013 金屋味兵衛宛 富岡藤右衛門・伊勢屋次右衛門為替証文(岩間勘三郎方にて二五兩)／一通(一紙)／天明五年一月／二四・五×二七・八／豎紙 楮紙／富岡藤右衛門(黒印)・伊勢屋次右衛門(黒印) ↓金屋味兵衛殿／一金式拾五兩ハ：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替金請取申事」／114

0710014 岩間利兵衛宛 伊勢屋治右衛門為替証文(飛田茂兵衛方にて四〇兩)／一通(一紙)／享和三年九月五日／二九・八×二六・四／豎紙 楮紙／江戸新大坂町伊勢屋治右衛門(黒印) ↓羽州米沢大町岩間利兵衛殿／一金四拾兩也：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替手形之事」／114

0710015 岩間利兵衛宛 伊勢屋次右衛門為替証文(飛田茂兵衛方にて七〇兩)／一通(一紙)／文化元年三月晦日／二九・六×二二・五／豎紙 楮紙／伊勢屋次右衛門(黒印) ↓岩間利兵衛殿／一金七拾兩也：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替手形之事」／114

0710016 岩間勘三郎宛 嶋屋佐右衛門受領書(大坂本町扇屋次郎兵衛、江戸富沢町小橋屋利三郎方へ御届の各五〇兩)／一通(一紙)／文化二年二月七日／三二・四×二〇・〇／豎紙 楮紙／嶋屋佐右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一金五拾兩入 沓包：依而／071000134貼継／柱題「覚」、嶋屋は福島の人、文末は依而で終っている／114

0710017 岩間勘三郎宛 飛田茂兵衛為替証文(伊勢屋次右衛門方にて二〇兩)／一通(一紙)／文化二年二月二日／三〇・〇×二八・四／豎紙 楮紙／飛田 茂兵衛(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一式拾兩者：仍如件／071000134貼継／柱題「預置申金子之事」／114

0710018 岩間利兵衛宛 伊勢屋治右衛門為替証文(磯屋四郎兵衛方にて五〇兩)／一通(一紙)／文化二年二月晦日／三二・八×三六・六／豎紙 楮紙／江戸新大坂町伊勢屋治右衛門(黒印) ↓羽州米沢大町岩間利兵衛殿／一金五拾兩也：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替証文之事」／114

0710019 岩間勘三郎宛 飛田茂兵衛為替証文(伊勢屋次右衛門へ中橋磯屋より三〇兩渡す)／一通(一紙)／文化二年三月二日／三〇・三×二九・三／豎紙 楮紙／飛田 茂兵衛(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一三拾兩者：仍如件／071000134貼継／柱題「預置申金子之事」／114

0710020 岩間利兵衛宛 伊勢屋治右衛門為替証文(磯屋四郎兵衛より四五兩請取、飛騨屋茂兵衛方の為替に取り組む)／一通(一紙)／文化二年四月四日／三〇・五×二九・二／豎紙 楮紙／江戸新大坂町伊勢屋次右衛門(黒印) ↓岩間利兵衛殿／一金四拾五兩也：仍而如件／071000134貼継／柱題「為替手形之事」／114

0710-21 岩間勘三郎宛 嶋屋佐右衛門受領書(大坂本町扇屋次郎兵衛方へ御届の一通)ノ一通(一紙)ノ文化二年四月三日ノ三二・五×二〇・四ノ竪紙 楮紙ノ嶋屋佐右衛門(黒印)ノ米沢 岩間勘三郎殿ノ一金拾壹兩貳分也；仍而如件ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「覚」ノ114

0710-22 岩間勘三郎宛 嶋屋佐右衛門受領書(江戸富沢町小橋屋利三郎方へ御届の一通)ノ一通(一紙)ノ文化二年一月二十九日ノ三一・五×三〇・〇ノ竪紙 楮紙ノ嶋屋佐右衛門(黒印)ノ米沢 岩間勘三郎殿ノ一金百兩也；依而如件ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「覚」ノ114

0710-23 岩間勘三郎宛 嶋屋佐右衛門受領書(大坂境屋庄右衛門方へ御届の六〇兩)ノ一通(一紙)ノ文化三年二月二十五日ノ三二・九×二一・四ノ竪紙 楮紙ノ嶋屋佐右衛門(黒印)ノ岩間勘三郎様ノ一金六拾兩入苞；仍而如件ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「覚」ノ114

0710-24 岩間勘三郎宛 立山幾四郎金子借用証文(錢五貫文)ノ一通(一紙)ノ寛政四年二月七日ノ三八・八×三一・五ノ竪紙 楮紙ノ立山幾四郎(黒印)ノ岩間勘三郎殿ノ一五貫文；仍如件ノ端裏書「立山幾四郎殿証文」ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「借用申錢之事」ノ114

0710-25 岩間永次郎宛 越後屋吉左衛門買目録(越後屋吉左衛門から買上の松永塩一〇八二俵の金額、付帯費用の書上げ)ノ一通(一紙)ノ寛政六年五月六日ノ三二・八×六〇・〇ノ竪紙 楮紙ノ越後屋吉左衛門(黒印)ノ岩間永次郎殿ノ一松永塩；請取可申候以上ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「買目録」ノ114

0710-26 岩間勘三郎・永次郎宛 越後屋吉左衛門預証文(当地本庄屋蔵入りの松永塩一〇八二俵)ノ一通(一紙)ノ寛政六年五月六日ノ一五・九×三三・二ノ竪紙 楮紙ノ越後屋吉左衛門(黒印)ノ岩間勘三郎殿・同永次郎殿ノ一松永塩；預手形仍而如件ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「塩預覚」、越後屋は酒田の人ノ114

0710-27 岩間永次郎宛 越後屋吉左衛門差勘定書(預かり金四〇兩のうち金二兩余を塩代金として差し引く)ノ一通(二紙)ノ(寛政六年)五月六日ノ一六・三×三三・〇ノ竪紙 楮紙ノ越後屋吉左衛門(黒印)ノ岩間永次郎殿ノ一金四拾兩 御預金；無御座候以上ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「指引覚」ノ114

0710-28 岩間勘三郎宛 舟山伊右衛門奉公人請状(福島より奉公人孫次、三ヶ年)ノ一通(一紙)ノ寛政六年九月二〇日ノ三一・〇×三八・七ノ竪紙 楮紙ノ舟山伊右衛門(黒印)ノ岩間勘三郎殿ノ一内九百文；人頭請合証文仍如件ノ端裏書「福嶋孫次証文 舟山伊右衛門殿ヨリ」ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「福嶋男三年季人頭請合証文之事」、「最上」を訂正し「福嶋」に書き換え、舟山は舟町寄宿ノ11

4

0710-29 岩間勘三郎宛 船山伊右衛門奉公人請状(最上より奉公人又次郎、三ヶ年)ノ一通(一紙)ノ寛政六年一月二十六日ノ三一・三×三八・三ノ竪紙 楮紙ノ船山伊右衛門(黒印)ノ大町岩間勘三郎殿ノ一内九百文御定法之通；人頭請合証文仍如件ノ端裏書「最上又次郎証文 舟山伊右衛門殿ヨリ」ノ次の資料との継ぎ目剥離ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「最上男三年季人頭請合証文之事」ノ114

0710-30 岩間勘三郎宛 遠藤権内奉公人請状(越後より奉公人小太郎、三ヶ年)ノ一通(一紙)ノ寛政二年二月二十九日ノ二九・四×三六・五ノ竪紙 楮紙ノ寄宿遠藤権内(黒印)ノ岩間勘三郎殿ノ一任着；為後日仍如件ノ端裏書「小太郎証文 権内殿ヨリ彦太郎人頭請合証文」ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「越後男三年季人頭請合証文之事」ノ114

0710-31 岩間勘三郎宛 栢屋八兵衛勘定書(元利三三二匁余)ノ一通(一紙)ノ江戸後期(年未詳)午五月二十五日ノ二八・五×二〇・三ノ竪紙 楮紙ノ栢屋八兵衛(黒印)ノ岩間勘三郎殿ノ一三百拾七匁；右之通御座候以上ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「覚」ノ114

0710-32 岩間勘三郎宛 芳賀吉左衛門他三名金子借用証文(金七兩借用、旦那知行所上小菅村より差し向け)ノ一通(二紙)ノ文政二年二月ノ三〇・〇×三七・八ノ竪紙 楮紙ノ山下与内 芳賀吉左衛門(黒印)他三名ノ岩間勘三郎殿ノ一七兩者；請合加判仍如件ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「借用申証文之事」、網島、芋川、山下の陪臣名で借用ノ114

0710-33 岩間勘三郎宛 上小菅村加藤左吉他四名請合証文(上小菅村御地頭綱島様御内高橋吉左衛門様御借金七兩借用につき)ノ一通(一紙)ノ文政二年二月ノ三二・三×四〇・五ノ竪紙 楮紙ノ上小菅村□□百姓頭加藤左吉(黒印)他四名ノ岩間勘三郎殿ノ一七兩者；請合加判仍如件ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「御請合証文之事」ノ114

0710-34 岩間勘三郎宛 遠藤寛左衛門讓渡証文(蠟燭売子八軒株式を一〇ヶ年二四兩にて)ノ一通(一紙)ノ文政七年三月五日ノ三二・六×四一・三ノ竪紙 楮紙ノ遠藤寛左衛門(黒印)ノ岩間勘三郎殿ノ一売子八軒江金式拾四兩受取；仍如件ノ0710-01ノ34貼継ノ柱題「蠟燭売子当中年々十ヶ年季ニシテ双方勝手道を以讓渡申証書之事」、蠟御蔵の奥書ありノ114

0820 儉約心得書(婚礼、行事等、紙背を0820-01ノ05の表紙に転用)ノ一通ノ江戸後期(年月日未詳)ノ三三・四×四四・八ノ折紙 楮紙ノ□広帽子の類；格別つつましやかにすへしノ0820-01ノ05合綴ノ紙背に「天明三年飢饉ノコト、

宝暦五年米沢家中困難ヲ徴スヘキ切紙類…文政三年繰綿仕切書 林泉文庫」と記載し表紙に転用／123

0820-01 岩間勘三郎御留(天明元年から天明七年頃、上申下達の控、巡見使対応他)／一冊(一四丁)／天明七年頃／一五・〇×三三・五／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／林泉文庫／0820-01-05合綴／123

0820-02 岩間勘三郎宛 売渡証文類綴(主に藩士からの刀、馬具等武器の売却買入の証文類一七通)／一綴(一七紙)／江戸後期(年月日未詳)／一六・〇×四〇・八／切紙・切継紙 楮紙／0820-01-05合綴／法量は最大幅を計測／123

0820-03 大木「申道具糶帳」(人名と主に食器等生活用具の品名、値段)／一冊(二二丁)／天保一四年一〇月九日／一四・五×三六・三／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／大木／0820-01-05合綴／墨付一四丁、表紙に伊佐早と思われる筆跡の「商業史料」の貼紙あり／123

0820-04 岩間勘三郎宛 扇屋次郎兵衛繰綿仕切書(白玉(□に石)印在天頭琉球大入分他)／一通(一紙)／文政三年三月二日／一五・六×四四・五／折紙 表紙無し 楮紙／扇屋次郎兵衛(印)↓岩間勘三郎殿／白玉「石」印改：右之通御座候以上／0820-01-05合綴／柱題「繰綿調口覚」、扇屋は大坂本町三丁目の町人／123

0820-05 岩間勘三郎宛 扇屋次郎兵衛繰綿仕切書(白玉(□に石)印在天頭琉球大入分他)／一通(一紙)／文政三年二月一日／一五・四×四五・〇／折紙 楮紙／扇屋次郎兵衛(印)↓岩間勘三郎殿／白玉「石」印改：右之通御座候以上／0820-01-05合綴／柱題「繰綿調口覚」、扇屋は大坂本町三丁目の町人／123

1418 置賜県役所宛 岩間勘三郎金子受取証文(明和三年、明和九年、安永一〇年、文化一二年三月、文久三年一二月の借上金)／一通(三紙)／明治四年一二月／三〇・八×一六・五／切継紙 楮紙／岩間勘三郎(黒印)↓置賜県 御役所／一 壹両壹分 式朱：右之通請取申候処実正也仍如件／柱題「明治二年五月中火事二逢二付先年御借上金御返済被成下二付請取申事」／177

1672-01 岩間彦左衛門宛 川井村草助他四名預証文(はる女の身請に金子支払い済につき)／一通(一紙)／寛文九年一二月五日／三一・五×二九・〇／堅紙 楮紙／河井町宿草助他四名(黒印)↓米沢大町彦左衛門／今度大町彦左衛門：申伝述候仍如件／1672-01-25貼継／端裏貼紙「古証文」、同朱書「岩」／232

1672-02 岩間彦左衛門宛 滝沢卯三郎旅人請状(信夫郡浅川村惣右衛門他二名、文殊参詣につき)／一通(一紙)／寛文一二年六月二七日／三一・八×二五・三／堅紙

楮紙／井上甚四郎内 滝沢卯三郎(黒印)↓大町彦左衛門殿／信夫浅川村惣右衛門：一筆進候以上／1672-01-25貼継／232

1672-03 鈴木拾左衛門宛 岩間彦左衛門旅人請状(信夫郡中野村久四郎、当地にてこたね売につき)／一通(一紙)／延宝三年一二月一日／三一・七×四〇・一／堅紙 楮紙／大町宿 岩間彦左衛門(黒印)↓鈴木拾左衛門殿／拙者旅人信夫：後日仍如件／端裏書「川井村ぬい左衛門分買申島之書物」／1672-01-25貼継／232

1672-04 猪野伝左衛門宛 岩間彦左衛門請合証文(関東旅人衆の江戸古手の借金につき)／一通(一紙)／延宝九年一月二九日／三一・七×三四・〇／堅紙 楮紙／借り主 彦左衛門(黒印)・請人徳兵衛↓猪野伝左衛門殿／関東旅人衆之：証文仍如件／1672-01-25貼継／232

1672-05 岩間彦兵衛宛 大久保五右衛門請状(玉川村吉兵衛の綿荷の宿依頼につき)／一通(一紙)／貞享元年極月七日／三一・〇×四〇・三／堅紙 楮紙／柳町大久保五右衛門(黒印)↓岩間彦左衛門殿／今度玉川村：為其仍如件／1672-01-25貼継／柱題「御請状之事」／232

1672-06 伊藤勘三郎宛 岩間彦左衛門金子借用証文(代物三貫六〇〇文につき)／一通(一紙)／貞享二年一二月二日／二七・六×三五・六／堅紙 楮紙／大町うり主 岩間彦左衛門(黒印)↓伊藤勘三郎殿／一 三貫六〇〇文：後日仍如件／1672-01-25貼継／柱題「借用申代物之事」／232

1672-07 岩間彦左衛門宛 御免町市兵衛金子借用日延証文(一二月までに半分残りは明春への延期につき)／一通(一紙)／元禄九年七月二九日／三〇・七×二八・七／堅紙 楮紙／御免町 市兵衛(黒印)・同町口入 伝左衛門(黒印)↓岩間彦左衛門殿／一 当春中：為後日仍如件／1672-01-25貼継／柱題「日切仕申事」／232

1672-08 岩間彦左衛門宛 御免町長兵衛金子借用日延証文(ベンガラ朱代金の支払いにつき)／一通(一紙)／元禄九年八月一日／三一・〇×三一・六／堅紙 楮紙／御免町借主 長兵衛(黒印)・同町口入 瀬兵衛(黒印)↓岩間彦左衛門殿／一 去年九月中：加判如件／1672-01-25貼継／柱題「書付御訴訟之事」／232

1672-09 岩間彦左衛門宛 四釜伝右衛門他三名請状(上書の儀につき五人組にて相互に吟味致すべく)／一通(一紙)／正徳二年八月晦日／二八・八×三六・一／堅紙 楮紙／四釜伝右衛門(黒印)他三名↓岩間彦左衛門殿／今度被仰出：為後日仍如件／1672-01-25貼継／柱題「御請状之事」／232

1672-110 岩間彦左衛門宛 清塚与兵衛田地売渡証文(川前の田地三枚、五〇〇文にて)／一通(一紙)／享保五年二月一日／二九・三〇・二六・〇／豎紙 楮紙／うり主 清塚与兵衛(黒印)・口入請人 坂井金之丞(黒印) ↓岩間彦左衛門殿／川前之田地：為後日仍如件／1672-101-25貼継／232

1672-111 岩間勘三郎宛 越後高田村由左衛門奉公人請状(子の千代松、二か年奉公につき)／一通(一紙)／享保一四年二月九日／二九・八×三八・五／豎紙 楮紙／越後鯖江領高田村奉公人親由左衛門(黒印)・口入米沢小国領山崎与次左衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一 三両三分：為後日仍如件／1672-101-25貼継／柱題「式年季証文之事」／232

1672-112 岩間勘三郎宛 湯井伝四郎敷売渡証文(表口五間、奥へ二五間、家蔵とも二五両)／一通(一紙)／享保一六年二月二七日／二九・五×三九・一／豎紙 楮紙／売人 湯井伝四郎(印)他二名 ↓岩間勘三郎殿／一 表口五間：証文仍如件／1672-101-25貼継／柱題「永代売渡申家屋敷証文之事」／232

1672-113 寺嶋半七宛 岩間勘三郎他四名旅人請状(拙者ら古手商で江戸行のため通判下された)／一通(一紙)／享保一七年正月／三〇・五×三八・八／豎紙 楮紙／請人岩間勘三郎(黒印)他四名 ↓寺嶋半七殿／拙者弟彦次郎：為後日仍如件／1672-101-25貼継／柱題「旅御請状之事」／232

1672-114 岩間勘三郎宛 猪野清三郎金子借用証文(貯錢より三貫)／一通(一紙)／寛保元年二月一七日／三一・九×三一・七／豎紙 楮紙／猪野清三郎(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一 三貫文 錢：為後日仍如件／1672-101-25貼継／柱題「貯錢借用申事」／232

1672-115 岩間勘三郎宛 小濱万右衛門金子借用証文(三両三分を七か年にて)／一通(一紙)／延享元年一月二五日／三一・六×四一・〇／豎紙 楮紙／小濱万右衛門(黒印)・請合 同 清次郎(黒印) ↓岩間勘三郎殿へ／一 三両三分：年府証文仍如件／1672-101-25貼継／柱題「年府証文之事」／232

1672-116 岩間勘三郎宛 長屋五兵衛田地売渡証文(花沢村、川井村の蔵入地年季売渡につき)／一通(一紙)／延享二年四月／三〇・六×三八・三／豎紙 楮紙／新屋敷田地売主五兵衛(黒印)他五名 ↓大町 勘三郎殿／一 字壱石八合：為後日仍而如件／1672-101-25貼継／柱題「花沢村川井村ヨリ蔵入地年季ニシテ売渡申証文之事」／232

1672-117 岩間勘三郎宛 長屋五兵衛田地売渡証文(花沢村、川井村の蔵入地永代売渡につき)／一通(一紙)／延享二年四月／三〇・六×三八・七／豎紙 楮紙／新屋敷田地売主五兵衛他二名 ↓岩間勘三郎殿／一 高壱石八合：為後日仍如件／1672-

101-25貼継／柱題「花沢村川井村ヨリ蔵入田代永代年季ニシテ売渡申証文之事」／232

1672-118 岩間彦左衛門宛 伊勢山田西福院寺請証文(喜田村の熊吉はキリシタンにあらず)／一通(一紙)／延享三年八月二日／二九・一×三九・二／豎紙 楮紙／勢州山田 西福院 観誓(黒印) ↓米沢大町宿 岩間彦右(ママ) 衛門殿／勢州山田田大夫手代：仍一札如件／1672-101-25貼継／232

1672-119 岩間勘三郎宛 黒沢村平次右衛門他四名身代証文(万太郎が病にて働かず一五貫を一〇年で返済)／一通(二紙)／延享四年三月九日／三〇・五×六〇・二／繼紙 楮紙／黒沢村平次右衛門(黒印)他四名 ↓岩間勘三郎殿／一 拾五貫文：証文仍而如件／1672-101-25貼継／柱題「身之代証文之事」／232

1672-120 岩間勘三郎宛 花沢村肝煎九拾郎物成目録(川井村より花沢村へ飛地の貢租書上)／一通(一紙)／宝暦四年二月九日／三〇・四×三八・一／豎紙 楮紙／花沢村肝煎 九拾郎(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一 高 三石式斗：右同断町銀／1672-101-25貼継／柱題「花沢村川井村ヨリ蔵入地出方事」／232

1672-121 岩間勘三郎宛 長谷兵七田地売渡証文(川井村より花沢村への飛地分)／一通(一紙)／宝暦四年二月二日／三〇・五×三八・七／豎紙 楮紙／花沢村長谷兵七 ↓岩間勘三郎殿／一 高 壱石八合：為後日仍而如件／1672-101-25貼継／柱題「花沢村川井村ヨリ蔵入田地永代年季ニシテ売渡申証文之事」／232

1672-122 岩間勘三郎宛 大木次左衛門他三名田地売渡証文(福田村の田地七升五合年季売渡につき)／一通(一紙)／宝暦五年三月／三一・七×四〇・九／豎紙 楮紙／大木次左衛門(黒印)他三名 ↓岩間勘三郎殿／一 七斗五合：為後日仍如件／1672-101-25貼継／柱題「福田村ヨリ拙者持分ノ内今度勝手道を以て売渡申証文之事」下げ札あり／232

1672-123 岩間勘三郎宛 矢野目村市三郎奉公人請状(九貫の身代金により拙者妻、寅三月まで奉公のこと)／一通(二紙)／宝暦五年三月三日／三〇・六×六三・一／繼紙 楮紙／矢野目村人主 市三郎(黒印)・江俣村請人 宇兵衛(黒印) ↓岩間勘三郎殿／一 九貫文者：為後日仍而如件／1672-101-25貼継／柱題「人頭身売証文之事」／232

1672-124 岩間勘三郎宛 築沢村市兵衛奉公人請状(九貫の質物に孫四郎五八才、三カ年奉公のこと)／一通(二紙)／宝暦六年二月二日／三〇・八×五四・七／繼紙 楮紙／やな沢村人主 市兵衛(黒印)他二名 ↓岩間勘三郎殿／一 九貫文者：為後日仍而如件／1672-101-25貼継／柱題「年季証文之事」／232

1672-25 岩間彦左衛門宛 梓山村利兵衛奉公人請状(八貫余の實物に姉いち二九才、四カ年奉公のこと)／一通(二紙)／宝曆一四年三月/三〇・八×七六・七／継紙 楮紙/梓山村人主 利兵衛(黒印)・同村受合主善ノ丞(黒印) ↓岩間彦左衛門殿／一 八貫二百：為後日仍而如件/1672-01-25貼継/柱題「年季証文之事」/232

1674-01 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より小河屋勤助他七名の船荷荷場につき)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 卯二月晦日/一五・七×三六・五/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/三小河屋勤助：右之通二□□候以上/欠損多数/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

1674-02 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より長宝丸市三郎他七名の船荷新潟に荷場につき)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 卯三月二日/一五・七×四一・〇/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/三 長宝丸市三郎：右之通二御座候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

1674-03 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より西野仁三郎の船荷酒田に荷場につき)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 卯三月二日/一五・六×二五・六/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/三月廿日：右之通二御座候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

1674-04 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より両徳丸八左衛門他三名の船荷新潟に荷場につき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 卯四月一日/一五・七×三三・八/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/高□本之内：右之通二御座候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

1674-05 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より角屋四郎兵衛他一名の船荷新潟に荷場につき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 卯四月三日/一五・七×三二・五/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/三月廿五日：右之通二御座候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

1674-06 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より小虎丸忠八他一名の船荷酒田荷場につき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 卯四月二日/一五・七×三三・一/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/四月二日：右之通二御座候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

附寛」/232

1674-07 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より新屋弥之蔵他一名の船荷酒田荷場につき)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 卯五月二日/一五・七×三二・八/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/五月廿七日：右之通二御座候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

1674-08 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門船荷目録(大坂の古手商小橋屋より政官丸市二郎他二名の船荷酒田荷場につき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 卯五月一七日/一五・七×三三・三/切紙 楮紙/小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿/五月十七日：右之通二御座候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「船附寛」/232

1674-09 岩間勘三郎・斎藤秀蔵宛 扇屋二郎兵衛船荷目録(扇屋より船産丸久次郎他九名の船荷新潟荷場につき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 卯四月/一七・六×七二・九/切紙 楮紙/扇屋次郎兵衛(黒印) ↓岩間勘三郎様・斎藤秀蔵様/白玉「石」印改：御役御免被下候以上/1674-01-09元は貼継、剥離/柱題「積附寛」/232

1682-01 岩間彦左衛門宛 鮎貝村七之丞奉公人請状(四貫五〇〇文の實物に子の万太郎二八才、五カ年奉公のこと)／一通(一紙)／明和元年二月/三二・一×四一・二/豎紙 楮紙/鮎貝村人主七之丞(黒印) 他二名 ↓岩間彦左衛門殿/一 四貫文者：証文仍而如件/端裏書「万太郎年季証文」/1682-01-17貼継/柱題「年季証文之事」、端裏貼紙「古証文」、同朱書「岩四」/232

1682-02 岩間彦左衛門宛 椿村与三郎奉公人請状(一一貫の實物に次左衛門年四九才、三カ年奉公のこと)／一通(二紙)／明和元年二月/三二・一×四八・九/豎紙 楮紙/椿村人主与三郎(黒印) 他二名 ↓岩間彦左衛門殿/一 拾弍貫文者：可被下置候事/1682-01-17貼継/柱題「年季証文之事」/232

1682-03 御役所宛 岩間彦左衛門願書(妻病身のため越後熱海に湯治に参りたく、自らは高いの仕入を兼ね同行したく)／一通(二紙)／明和八年二月/一七日/三一・八×三九・七/豎紙 楮紙/岩間彦左衛門 ↓御役所/拙者妻兼而：奉願存候以上/1682-01-17貼継/柱題「以書付奉願候事」/232

1682-04 鈴木利兵衛宛 佐藤太次郎屋敷売渡証文(表小間口三間、裏行半軒、代金八両にて)／一通(一紙)／明和二年四月七日/三二・一×四〇・二/豎紙 楮紙/売人 佐藤太次郎(黒印) 他四名 ↓鈴木利兵衛殿/我等居屋敷：為後日仍如件/1682-01-17貼継/柱題「永代売券証文之事」/232

1682-05 鈴木利兵衛宛 高村平三郎屋敷売渡証文(表小間口三間、裏行半軒、代金八両にて)／一通(一紙)／明和二年四月七日／三〇・七×三八・三／豎紙 楮紙／売人 高村平三郎(黒印) 他四名↓鈴木利兵衛殿／我等抱屋敷：為後日仍而如件／1682-01-17貼継／柱題「永代売券証文之事」／232

1682-06 鈴木利兵衛宛 屋敷売渡証文(表小間口三間、裏行半軒、代金八両にて)／一通(二紙)／明和二年四月二日／三一・八×四一・二／継紙 楮紙／売人 猪野清三郎(黒印) 他四名↓鈴木利兵衛殿／我等家屋敷：為後日仍而如件／1682-01-17貼継／柱題「永代売券証文之事」／232

1682-07 岩間勘三郎宛 文七・相場六兵衛金子借用証文(繰綿代五両八四二文)／一通(一紙)／明和三年四月／三一・六×三九・五／豎紙 楮紙／預人 相場六兵衛(黒印) 他二名↓岩間勘三郎殿／一 五両ト八百四拾式文：為後日仍如件／1682-01-17貼継／柱題「預置申金子之事」／232

1682-08 桶屋川藤左衛門宛 岩間彦左衛門土地買請証文(七升四合と銀七分余の土地、八貫五〇文にて一〇年季)／一通(一紙)／明和三年八月五日／三〇・四×三七・二／豎紙 楮紙／買人 岩間彦左衛門他四名↓本地主 桶屋川藤左衛門殿他二名／一 七升四合銀七分：為後日仍如件／端裏書「先年返作二致候証文也」／1682-01-17貼継／柱題「貴殿御持分福田村分入作開此年度年季買申二付御定証文」／232

1682-09 岩間彦左衛門旅人請状(伊勢御師三日市太夫次郎の名代田中三左衛門、旦廻のため二〇日頃まで逗留につき)／一通(一紙)／明和三年一月八日／三一・八×三九・七／豎紙 楮紙／渡部利右衛門組 岩間彦左衛門／伊勢之御師：御請状仍如件／1682-01-17貼継／柱題「旅人御請状之事」／232

1682-10 寺島半七宛 岩間彦左衛門旅人請状(伊勢御師三日市太夫次郎の名代田中三左衛門、旦廻のため二〇日頃まで逗留につき)／一通(一紙)／明和三年一月九日／三一・八×三九・八／豎紙 楮紙／渡部利右衛門組 岩間彦左衛門↓寺島半七殿／伊勢之御師：御請状仍如件／1682-01-17貼継／柱題「旅人御請状之事」／232

1682-11 岩間勘三郎宛 西村吉兵衛金子借用証文(昨年借用の繰綿代を一〇年賦としたく)／一通(一紙)／明和三年二月／三一・〇×三八・七／豎紙 楮紙／東丁預人 西村吉兵衛(黒印)・請合 巻野七兵衛↓岩間勘三郎殿／一 金 右之通預置申事：為後日仍如件／1682-01-17貼継／柱題「明和式年十二月日中借置申繰綿代金預之上年府ニテ相改申証文之事」、金額部分は空欄／232

1682-12 岩間勘三郎宛 西村吉兵衛金子借用証文(繰綿代として借用した金子、

年賦での返済に改めにつき)／一通(二紙)／明和三年二月／三一・八×三八・七／継紙 楮紙／東丁拝借人 西村吉兵衛(黒印)・請合 巻野七兵衛↓岩間勘三郎殿／一 金 右之通借置申処：為後日仍如件／1682-01-17貼継／柱題「明和式年十二月日中借置申繰綿代金預之上年府ニテ相改申証文之事」、金額部分は空欄／232

1682-13 岩間勘三郎宛 鈴木利兵衛屋敷売渡証文(表小間口三間、裏行半軒、代金八両にて)／一通(一紙)／明和七年八月四日／三一・八×四〇・二／豎紙 楮紙／売人 鈴木利兵衛(黒印) 他四名↓岩間勘三郎殿／一 我等居屋敷：売券一札仍如件／1682-01-17貼継／柱題「永代売券証文之事」／232

1682-14 岩間清太郎 岩間勘三郎宛 鈴木岩兵衛・鈴木富兵衛金子請取証文(二〇〇貫文)／一通(一紙)／明和七年四月三日／三一・九×四〇・二／豎紙 楮紙／鈴木富兵衛(黒印)・同岩兵衛(黒印)↓岩間勘三郎殿・同清太郎殿／一 貳百貫文：受納仕候以上／1682-01-17貼継／柱題「覚」／232

1682-15 岩間勘三郎宛 船渡村惣右衛門奉公人請状(二五貫余の質物に子の庄五郎三才、三か年奉公のこと)／一通(一紙)／安永四年閏二月四日／三一・六×四〇・二／豎紙 楮紙／舟渡村人主 右本名 惣右衛門(黒印) 他二名↓岩間勘三郎殿／一 八貫五百文：証文仍而如件／1682-01-17貼継／柱題「三か年季奉公人証文之事」／232

1682-16 岩間勘三郎宛 北町仙太郎奉公人請状(七貫の質物に子の清太郎一六才、八か年奉公のこと)／一通(一紙)／安永七年一月二四日／三一・五×四八・六／豎紙 楮紙／北町人主 仙太郎(黒印)・塩野村請合 久兵衛(黒印)↓岩間勘三郎殿／一 七貫文：証文仍而如件／1682-01-17貼継／柱題「年季証文之事」／232

1682-17 岩間勘三郎宛 黒沢村四郎兵衛奉公人請状(九貫の質物に妻ふち五三才、二か年奉公のこと)／一通(一紙)／安永九年二月七日／三一・八×三九・八／豎紙 楮紙／同村人主 四郎兵衛(黒印)↓岩間勘三郎殿／一 九貫文：証文仍而如件／端裏書「黒沢村ふち証文一札」／1682-01-17貼継／柱題「歳季証文之事」／232

1683-01 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門受取証文(金一〇〇両)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 丑一月二日／三〇・三×八・〇／豎切紙 楮紙／小橋屋四郎右衛門(黒印)↓岩間勘三郎殿／一 金五拾両：受取申候以上／1683-01-27貼継／柱題「覚」、端裏貼紙「古証文」、同朱書「岩五」／232

1683-02 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門受取証文(金五〇両)／一通(一紙)／江戸中期(年未詳) 子四月二日／三〇・三×七・七／豎切紙 楮紙／小橋屋四郎右

衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿 / 一 金五拾両: 請取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-03 岩間勘三郎宛 小橋屋四郎右衛門受取証文(金五〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 丑三月四日 / 三〇・四×七・八 / 堅切紙 楮紙 / 小橋屋四郎右衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿 / 一 金五拾両: 請取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-04 斎藤吉内宛 鈴木利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて二両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 三月一六日 / 二四・二×二〇・五 / 切紙 楮紙 / 鈴木利兵衛(黒印) ↓斎藤吉内殿 / 一 二両 文判也: 為後日如件 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「為替金請取申事」 / 232

1683-05 岩間勘三郎・米沢屋源八宛 十一屋兵衛荷受証文(新大坂町伊勢屋次右衛門分へ四〇両と書状御届) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 午三月一〇日 / 二四・六×二六・五 / 切紙 楮紙 / 十一屋兵衛(黒印) ↓岩間勘三郎様・米沢屋源八様 / 一 金四拾両一包: 相届可申上候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-06 金屋味兵衛宛 伊勢屋次右衛門受取証文(岩間勘三郎為替金として三〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 午五月一日 / 二七・七×一七・五 / 堅切紙 楮紙 / 伊勢屋次右衛門(黒印) ↓金谷味兵衛殿 / 一 金三拾両: 受取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-07 遠藤源左衛門宛 鈴木利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて五〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 未二月二九日 / 二四・二×二四・八 / 切紙 楮紙 / 江戸ニテ 鈴木利兵衛(黒印) ↓遠藤源左衛門殿 / 一 金五拾両: 為後日仍而如件 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「為替金請取申事」 / 232

1683-08 遠藤源左衛門宛 鈴木利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて一〇五両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 未三月二九日 / 二四・一×二五・七 / 切紙 楮紙 / 江戸ニテ 鈴木利兵衛(黒印) ↓遠藤源左衛門殿 / 一 金百五両: 為後日仍而如件 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「為替金請取申事」 / 232

1683-09 岩間勘三郎・権兵衛宛 殿村惣左衛門受取証文(練綿代金四五両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 申三月朔日 / 二四・三×一九・〇 / 切紙 楮紙 / 殿村惣左衛門(黒印) ↓岩間勘三郎殿・権兵衛殿 / 一 金四拾五両: 請取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-10 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間勘三郎方にて為替金と

して三〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 申二月五日 / 二四・二×一九・六 / 切紙 楮紙 / 殿村惣左衛門(黒印) ↓彦右衛門殿 / 一 金三拾両: 受取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-11 遠藤彦右衛門宛 利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて五〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 申三月朔日 / 二四・七×一八・六 / 切紙 楮紙 / 江戸ニテ 利兵衛(黒印) ↓遠藤彦右衛門殿 / 一 五拾両也: 為後日仍而如件 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「為替金請取申事」 / 232

1683-12 鈴木吉五郎宛 伊勢屋次右衛門受取証文(岩間勘三郎方にて為替金として三〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 西四月五日 / 二九・五×一八・三 / 堅切紙 楮紙 / 伊勢屋次右衛門(黒印) ↓鈴木吉五郎殿 / 一 金三拾両: 請取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-13 岩間勘三郎宛 金子七兵衛金子借用証文(金一六両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 西四月九日 / 二九・六×一七・七 / 堅切紙 楮紙 / 柳町 金子七兵衛(黒印) ↓岩間勘三郎殿 / 金拾六両也: 為後日以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「預申金子之事」 / 232

1683-14 鈴木吉五郎宛 伊勢屋次右衛門受取証文(米沢岩間勘三郎方にて三〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 西四月九日 / 二九・七×一九・九 / 堅切紙 楮紙 / 伊勢屋次右衛門(黒印) ↓鈴木吉五郎殿 / 一 金三拾両: 請取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-15 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間勘三郎方にて五〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 西六月二九日 / 三〇・三×二〇・〇 / 切紙 楮紙 / 殿村惣左衛門(黒印) ↓遠藤彦右衛門殿 / 一 金五拾両: 請取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-16 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間勘三郎方にて五〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 西七月二日 / 二四・三×二一・三 / 切紙 楮紙 / 殿村惣左衛門(黒印) ↓遠藤彦右衛門殿 / 一 金五拾両: 請取申候以上 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「覚」 / 232

1683-17 鈴木吉五郎宛 岩間利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて二〇両) / 一通(一紙) / 江戸中期(年未詳) 西九月五日 / 二四・一×二七・八 / 切紙 楮紙 / 江戸ニテ 岩間利兵衛(黒印) ↓鈴木吉五郎殿 / 一 式拾両: 為後日依而如件 / 1683-01-27 貼繼 / 柱題「為替金請取申事」 / 232

1683-118 岩間彦左衛門宛 嶋屋佐右衛門荷受証文(江戸新大坂町伊勢屋次右衛門方に金一二両お届)一通(一紙)江戸中期(年未詳)戌六月四日/二四・五×二一・二/切紙 楮紙/嶋屋 佐右衛門(黒印)↓岩間彦左衛門殿/一金拾貳両:相届可申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」その下に「賃 八拾四文」/232

1683-119 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間勘三郎方にて四八両)一通(二紙)江戸中期(年未詳)戌六月三日/二四・三×二七・七/切継紙 楮紙/殿村惣左衛門(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/一金四拾八両:受取申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」/232

1683-120 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間勘三郎方にて五二両)一通(二紙)江戸中期(年未詳)戌六月二日/二四・二×二五・一/切継紙 楮紙/殿村惣左衛門(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/一金五拾貳両:受取申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」/232

1683-121 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間彦左衛門方にて五〇両)一通(一紙)江戸中期(年未詳)戌二月朔日/二四・二×二三・八/切紙 楮紙/殿村惣左衛門(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/一金五拾両:受取申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」/232

1683-122 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間彦左衛門方にて二〇両)一通(一紙)江戸中期(年未詳)戌二月九日/二九・七×二一・二/切継紙 楮紙/殿村惣左衛門(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/一金式拾両:受取申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」/232

1683-123 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(岩間勘三郎方にて五〇両)一通(一紙)江戸中期(年未詳)亥四月九日/二九・六×二二・一/切紙 楮紙/殿村惣左衛門(黒印)↓彦右衛門殿/一金五拾両:受取申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」/232

1683-124 遠藤彦右衛門宛 鈴木利兵衛為替証文(東町彦六が一五両受取、岩間勘三郎方にて受取なざるべく)一通(一紙)江戸中期(年未詳)亥閏九月二日/二四・三×二八・二/切紙 楮紙/江戸 鈴木利兵衛(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/金拾五両也:為後日依而如件/1683-01-27貼継/柱題「為替金受取申事」/232

1683-125 遠藤彦右衛門宛 鈴木利兵衛為替証文(米沢岩間勘三郎方にて五〇両)一通(一紙)江戸中期(年未詳)亥閏九月一日/二四・二×三四・〇/切紙 楮紙/鈴木利兵衛(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/金五拾両也:為後日依而如件/1683-01-27貼継/柱題「為替金受取申事」/232

1683-126 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(金四〇両)一通(二紙)江戸中期(年未詳)亥閏九月二日/二四・〇×二〇・七/切継紙 楮紙/殿村惣左衛門(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/金四拾両也:受取申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」/232

1683-127 遠藤彦右衛門宛 殿村惣左衛門受取証文(金三三両)一通(一紙)江戸中期(年未詳)亥閏一月一日/二四・一×一九・七/切継紙 楮紙/殿村惣左衛門(黒印)↓遠藤彦右衛門殿/金廿三両也:受取申候以上/1683-01-27貼継/柱題「覚」/232

1684 岩間勘三郎宛 筋向橋縫殿正龜書状(嘉例御祈禱大麻等、名代として杉村仁兵衛持参につき)一通(一紙)江戸中期(年未詳)九月吉日/二七・六×三七・五/折紙 楮紙/筋向橋縫殿正龜(花押)↓岩間勘三郎様・米沢屋源八様/態致啓上候:恐惶謹言/232

諸家文書一町方

0600 「宝曆十三年以降記」(宝曆一三年一月二六日、安永二年閏三月三〇日の略記、作者は町医師岩間常左衛門と推定)一冊(六九丁)宝曆一三年/一五・〇×三七・三/横帳 長帳綴 素紙後補表紙 楮紙/林泉文庫/後補表紙の右下に「林泉文庫」とあり/093

0637 「萬留帳」(寺島半七、遠藤彦右衛門ら米沢城下の町人が江戸に出て、紅花取引等をめぐり幕府評定所に訴え出た際の日記)一冊(三三三丁)延享五年/二四・二×一五・八/縦帳 袋綴冊子装 共紙原表紙 楮紙/裏打あり/墨付三二丁/107

0639 遠藤彦右衛門宛「萬留帳」(享保八年五月、享保一七年八月、米沢城下町方の鎌問屋、支配関係)一冊(四八丁)江戸中期(年月日未詳)二三・八×一五・七/縦帳 袋綴冊子装 焦茶地原表紙 楮紙/遠藤彦右衛門/ヨ〇本 林泉文庫/墨付四六丁、冒頭の「一三丁は享保後期から元文二年の法令等の控で本来は別史料、ラベルの剥がれた跡あり/107

0708-101 寺嶋半七宛 遠藤彦右衛門願書(御用金二〇両のうち八両は分納、一二両は御赦免下された)一通(二紙)宝曆一〇年七月/三一・五×六四・〇/継紙 楮紙/遠藤彦右衛門(黒印)↓寺嶋半七殿/此度御用金:奉願上候以上/0708-101-11袋一括/柱題「乍恐以書付奉願上候事」、封紙に「十日ニ返り申分」とあり、袋書「宝曆十辰六月十八日御用金被仰付、同七月分翌年二月迄上納一卷御証文別二有」/114

0708-02 寺嶋半七宛 遠藤権兵衛願書(御用金催促のため明後日まで三両上納につき)／一通(二紙)／辰(宝曆一〇年)七月一〇日／一六・〇×五六・五／切継紙
楮紙／遠藤権兵衛(黒印)↓寺嶋半七殿／先達而被仰付候：奉願上候以上／0708-01511袋一括／封紙あり、柱題「口上之覚」／114

0708-03 寺嶋半七宛 遠藤権兵衛願書(御用金のうち六両三分は盆前上納、一両一分は二月中上納他は御赦免下されたく)／一通(二紙)／宝曆一〇年七月／三一・七×六八・〇／継紙 楮紙／大町 遠藤権兵衛(黒印)↓寺嶋半七殿／此度御用金：奉願上存候以上／0708-01511袋一括／封紙に「九月十四日二返ル 別紙に留有」とあり、柱題「乍恐以書付奉願上候事」／114

0708-04 町奉行所宛 遠藤権兵衛願書案(御用金は分割にし四両を上納したく)／一通(二紙)／辰(宝曆一〇年)六月／一四・七×三六・四／切継紙 楮紙／遠藤権兵衛↓御町奉行所／上納仕度段：可奉存候以上／0708-01511袋一括／114

0708-05 町奉行所宛 遠藤権兵衛願書案(御用金のうち六両三分は盆前上納、一両一分は二月中上納他は御赦免下されたく)／一通(二紙)／宝曆一〇年七月／一四・七×七〇・八／切継紙 楮紙／遠藤権兵衛↓寺嶋半七殿／乍然段々被仰付：奉願上存候以上／0708-01511袋一括／114

0708-06 寺嶋半七宛 遠藤権兵衛願書(御用金二〇両のうち八両は分納、一二両は御赦免下されたく)／一通(二紙)／宝曆一〇年七月／三〇・五×六八・〇／継紙 楮紙／遠藤権兵衛↓寺嶋半七殿／此度御用金：奉願上存候以上／端裏書「七月廿九日二御広間へ直ク上ケ申留」／0708-01511袋一括／柱題「乍恐以書付奉願上候事」、分割支払い部分の後半は本文を抹消／114

0708-07 町奉行所達書(町方御借上につき願書差し戻し、以後検断は取次ぎまじく)／一通(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／一五・〇×三三・九／切紙 楮紙／町奉行所／先達而町方へ：可申含候事／0708-01511袋一括／114

0708-08 内談留書(御用金上納一件、約半年間の経緯と関係書類控え他)／一通(二四紙)／宝曆一一年頃／一四・九×四五・六・九／切継紙 楮紙／宝曆十辰六月十八日朝：御証文相渡り申候／端裏書「始終内証留」／0708-01511袋一括／柱題「覚」／114

0708-09 町奉行所宛 遠藤権兵衛口上書案(御用金二〇両のうち分割にて都合三両を上納したく)／一通(三紙)／辰(宝曆一〇年)六月／一四・八×八一・三／切継紙 楮紙／遠藤権兵衛↓御町奉行所／此度御用金：可奉存候以上／0708-01511袋一括／柱題「口上之覚」、一部本文内容を訂正／114

0708-10 岩間勘三郎他一九名宛 御用金割当帳(芋川縫殿様の御演説委細につき)／一冊(二丁)／宝曆一〇年／一一・三×三〇・二／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／0708-01511袋一括／一部本文内容を貼紙にて訂正／114

0708-11 御用金割当覚書(佐藤甚蔵他二三名、芋川様へ召し出され、御用金御せ付けられにつき)／一通(一紙)／宝曆一〇年六月一七日／八・九×二三・六／折紙 楮紙／宝曆十辰六月十七日：五両 渡部利左衛門／0708-01511袋一括／114

0715-01 小嶋弥左衛門宛 峯村常次書状(錢一〇九貫余借用につき札状)／一通(四紙)／(天明六年)一二月二日／一五・三×一〇三・九／切継紙 楮紙／常次↓弥左衛門様／申慮候無心：如此御座候以上／0715-01503貼継／0715-02の副状／114

0715-02 小嶋弥左衛門宛 峯村常次金子借用証文(荏戸家の手元難渋のため錢一〇九貫余)／一通(一紙)／天明六年一二月／三〇・二×三八・〇／縦紙 楮紙／荏戸八郎内峯村常次(黒印)↓小嶋弥左衛門殿／一百九貫四百八文：仍如件／0715-01503貼継／封紙「借請証文 荏戸八郎内峯村常次」、柱題「借請申錢之事」／114

0715-03 小嶋弥左衛門宛 田代総兵衛金子借用証文(目合物刀一腰と引替えに錢二八貫文)／一通(一紙)／寛政二年一二月／三二・二×四〇・三／縦紙 楮紙／三俣内田代総兵衛(黒印)↓小嶋弥左衛門殿／一式拾八貫文者：仍如件／0715-01503貼継／柱題「預置申証文之事」／114

1431 吉凶留帳(明治九年、同二三年、尾越ツルへ虎蔵婿入他吉凶の目録、参加者他)／一冊(五丁)／(明治九年)／一四・八×三五・七／横帳 長帳綴 表紙無し 楮紙／旧蔵者が武家が町家かは未詳、龍泉寺の檀家／177

1673 遠藤権兵衛宛 宮村弥五左衛門年季証文(三両二分の質物として、子の三郎兵衛が三ヶ年奉公のこと)／一通(一紙)／宝永八年二月一四日／二八・〇×三三・六／縦紙 楮紙／宮村人主 弥五左衛門(黒印)・同村口入 七蔵(黒印)↓遠藤権兵衛殿／合三両二分者：為後日仍如件／裏打あり／柱題「借り置申身之代金之事」／宝永八卯年二月十四日 宮村弥五左衛門子三郎兵衛／232

1687 安彦仙助宛 笹野幸徳院納受契照(金六〇〇疋奉納につき)／一通(一紙)／天保一三年／三二・二×四四・七／縦紙 楮紙／八海山現主 有善(花押)↓護持施主安彦仙助殿／観音大悲為：納受豈唐月乎『笹野観音堂史料集』によれば安彦は米沢の町人／232

1768 御両所宛 田村書状(横麻代金の書上)／一通(八紙)／江戸後期辰(年未詳)七月一日／一四・三〇二・七／切継紙 楮紙／田村↓御両所様／卯四月十二日：被仰下度奉存候以上／林泉文庫／柱題「横麻代算用書」包紙本紙前に貼付「産業参考 林泉文庫」／無

諸家文書—村方—米沢藩領

0667 「椿村検地帳」／一冊(九六丁)／寛永一五年／三二・八×二二・二／豎帳紙綴綴冊子装 白地茶縦刷毛目後補表紙・共紙原表紙 楮紙／オ〇本 林泉文庫／天地と背は近代に裁断されている可能性あり、一丁毎のどに割印あり／112

0670 「山村之内 成島村之内 発智□(破損)」(発智氏知行地の年貢等を百姓毎に記載し集計)／一冊(六丁)／慶長一一年二月三日／三〇・一×二〇・八／豎帳紙綴綴冊子装 共紙原表紙・厚紙後補表紙 楮紙／ヒ〇本／裏打あり、原表紙破損多し／全紙に付箋貼付あり／113

0671 「慶長拾五池黒村年貢出納帳」(慶長一五、一七年分)／一冊(二二丁)／慶長一七年一〇月三〇日／二八・〇×一六・八／豎帳 袋綴綴冊子装 共紙原表紙・黄茶地布目後補表紙 楮紙／林泉文庫・伊佐早兼古書之宝／113

0681-01 「寛保元年改高米銀出方新帳」／一冊(二〇七丁)／寛保元年／三〇・四×一九・五／豎帳 紙綴綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／肝煎 横山宇右衛門代／ク〇本 林泉文庫／表紙に墨書「一番」あり、横山は草岡村肝煎／113

0681-02 「寛保元年改高米銀出方新帳」／一冊(七九丁)／寛保元年／三〇・四×一九・五／豎帳 紙綴綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／肝煎 横山宇右衛門代／林泉文庫／表紙に墨書「貳番」あり／113

0681-03 「寛保元年改高米銀出方新帳」／一冊(二一八丁)／寛保元年／三〇・四×一九・五／豎帳 紙綴綴冊子装 茶地原表紙 楮紙／肝煎 横山宇右衛門代／林泉文庫／表紙に墨書「三番」あり／113

0681-04 「寛保元年改高米銀出方新帳」／一冊(八六丁)／寛保元年／三〇・四×一九・五／豎帳 紙綴綴冊子装 素紙後補表紙 楮紙／肝煎 横山宇右衛門代／林泉文庫／表紙に墨書「四番」あり、一丁目と二丁目の間に挟込あり／113

0688 山口村植木右内御年貢金差引勘定書(明治三、六年分の元利書き上げ)／一通(二紙)／(明治六年頃)／一六・八×四三・八／切継紙 楮紙／：引請約定致候迄

／継目剥離／柱題「山口村植木右内江御年貢金村役加判を以借付之差引」／113

0817 赤湯村肝煎平兵衛他三名宛 深沼村堰主八衛門他三名証文(水路維持修繕につき赤湯村他三ヶ村肝煎へ申入)／一冊(二丁)／元禄一六年一月／二四・四×一六・三／豎帳 袋綴綴冊子装 白地厚紙後補表紙 楮紙／深沼村堰主八衛門他三名↓赤湯村肝煎平兵衛殿他三名／一 堀幅等間深サ当未五月十二日：為其如此証文渡出申候(数文字欠)件／裏打あり／柱題「相渡申証文之事」、元は証文を後世に冊子体に改装／123

0821 名主久右衛門他二名宛 高□村糸右衛門証状(糸右衛門と若者ら騒動につき)／一通(三紙)／寛政一一年一月／二七・八×六九・二／継紙 楮紙／高□村差出人 糸右衛門(黒印) 他五名↓御名主 久右衛門 他二名／一此度私儀：差出申一札依而如件／柱題「差出申一札之事」、紙継ぎ目に差出人六名の割印あり／123

0822 評定所宛 訴訟方・相手方請書雛形(訴訟時の地改めにつき誓約)／一通(三紙)／文化一二年八月四日／三四・〇×一一・二〇／継紙 楮紙／訴訟方・相手方↓御評定所／一私共■入地所：依而御請証文差上申処如件／裏打あり／柱題「差出申一札之事」①和紙で留められている／123

1414 佐藤運吉「萬手控帳」(明治一七年から二一年の金銭出納帳)／一冊(九六丁)／明治一七年／八・七×一七・八／横半帳 長帳綴 素紙原表紙紙 楮紙／山形県南置賜郡綱木村佐藤運吉／赤ラベル表記無 林泉文庫／墨付八一丁／177

諸家文書—村方—屋代郷等

0668 庄田伝右衛門・吉見次右衛門「屋代之内金や村御検地帳」(金谷村検地帳)／一冊(三〇丁)／寛永一六年一月一八日／三一・五×二二・〇／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／庄田伝右衛門(黒印)・吉見次右衛門(黒印)／ヤ〇本 林泉文庫／現在の綴紐の位置とは別に右辺中央部に綴穴跡あり、合計の数値記載の下に担当者と思われる西海枝造酒他三名の署名あり／112

0669-01 「羽州置賜郡塩森村検地水帳 一番」写(原本は元禄五年正月)／一冊(六六丁)／(天保三年三月)／三一・〇×一九・八／豎帳 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／ウ〇本 林泉文庫／0669-01についての解説文と「羽州置賜郡村仮名附帳」の解説文の挟込あり(三五丁と三六丁の間)、表紙に朱字で「五冊之内三冊欠」とあり／112

0669-02 遠藤有隣筆「出羽国置賜郡塩森村検地水帳 五冊之内」写(四番、原本は元禄五年正月付)／一冊(五九丁)／天保三年三月／三一・五×一九・八／豎帳

紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／遠藤有隣（花押）行年五拾八歳写之／林泉文庫／墨付五四丁／112

0677 本間三右衛門他二名宛 高橋村名主庄左衛門他三〇名証文（新たに高力左京領地となり支配に服することを誓う）／一通（二紙）／寛文八年八月／二八・〇×五八・二／継紙 楮紙／庄左衛門（黒印）他三〇名↓福永彦九郎殿他二名／一 当村之儀此度高力左京様へ御知行：形指上ケ申候仍如件／柱題「差上申手形之事」、高橋村は山辺町カ／113

0679 馬頭村総百姓宛 関忠太夫年貢割付状（検見入りの上、享保一九年分、一一年中皆済のこと）／一通（四紙）／享保一九年一〇月／三一・〇×一四三・六／継紙 楮紙／関忠太夫（黒印）↓右村名主・組頭総百姓／一 高六百八石八斗：来ル十一月中急度可皆済者也／端裏書「寅年 享保十九年寅ノ年 馬頭村」／柱題「当寅御年貢可納割付之事」、上部に二カ所割印あり、一カ所は関忠太夫、年記上のものは不明、紙継目裏に韻文不明の黒印三カ所、年記の上の割印と同じ／113

0682 三ヶ村惣百姓宛 小沢武右衛門申渡書控（江戸御蔵前の先代笠倉平十郎の借金、年賦金になるにつき加判の証文差出すこと）／一通（一紙）／宝暦十二年八月／三一・四×四一・九／縦紙 楮紙／小沢武右衛門印↓三ヶ村名主・組頭・惣百姓／一 江戸御蔵所笠倉平十郎方：差上申候為其仍如件／村名は未詳、紙背墨書「表書之趣申付帳大学 印」、小沢は1689の高力家臣と同一カ／113

0794 中田村肝煎庄右衛門他三名宛 新田村名主庄右衛門他二名証文（松川通り若御子御普請所川境相究につき）／一通（二紙）／正徳三年一〇月七日／三一・一×六七・七／継紙 楮紙／御領所新田村名主庄右衛門（黒印）他二名↓中田村肝煎庄右衛門殿他三名／一米沢御料：証文仍如件／柱題「取替申証文之事」、包紙「又 松川河原御境証文 新田村」、紙継目裏に黒印一顆／123

0796 歎願書案（御料所となり負担増のため上知村々騒乱につき）／一通（四紙）／江戸後期（年月日未詳）／二四・四×二二・二／継紙 楮紙／一上知村々：奉存候以上／柱題「乍恐以書付奉願上候」、校訂箇所あり、享和元年の村山一揆関係／123

0797 堤三右衛門宛 上山藩土菅原忠兵衛他三名借用状（金一六〇〇両借用につき領内村々収納引当高）／一通（六紙）／宝暦四年閏二月／三一・五×二三九・六／継紙 楮紙／松平山城守内菅原忠兵衛（黒印）他三名↓堤三右衛門殿／一金子六百両：可被下候已上／柱題「覚」、紙継裏に菅谷右兵衛の押印／123

0798 堤三右衛門・結城次郎兵衛宛 亀岡村大聖寺他六ヶ寺願書（当山文珠寺領を御朱印地にとの奉行所宛願書は成り難く、屋代郷三四ヶ村にて神領・灯明料負担のため才覚下された）／一通（四紙）／元禄九年一〇月一日／三三・九×一八一・三／継紙

楮紙／大聖寺（黒印）他六ヶ寺↓堤三右衛門殿・結城次郎兵衛殿／一当山文珠寺：御才覚頼入申候已上／柱題「以願書申上候事」、内容から冒頭は幕府の寺社奉行宛の願書写と推定／123

0799 高畑村大町内横町小兵衛他三九名市立場定証文（高畑市立場上り・下りの争論につき）／一通（四紙）／享保一一年二月三日／三〇・五×一一九・七／継紙 楮紙／羽州置賜郡高畑村大町内横町小兵衛（黒印）他三九名／一横町出口：申所仍而如件／柱題「大町市立場定証文之事」、紙継裏に押印、本文上部に割印／123

0800 川井村他二カ村宛 川井御役所覚書（在々用水掛引井路等一カ条につき）／一通（五紙）／江戸中期（年未詳）二月／二九・八×一六三・五／継紙 楮紙／川井御役所（黒印）↓川井村（黒印）他二ヶ村／一在々用水：相返候以上／柱題「覚」、紙継裏に川井御役所印、本紙上部に割印／123

0802 高島村名主八郎左衛門他一三二名願書（預所代官柘植佐兵衛死去後の跡役に付き惣百姓の願書の通り訴訟申上ぐ）／一通（九紙）／元禄七年九月／三一・四×三四六・六／継紙 楮紙／羽州米沢御料高畑村名主八郎左衛門（黒印）他一三二名／当御料御代官：可奉存候以上／柱題「羽州米沢御料惣百姓乍恐以願書御訴訟申上候事」／123

0813 山伊右衛門触書（三笠附と句拾い御法度のこと）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）寅四月／三一・二×四三・二／縦紙 楮紙／山伊右衛門（黒印）／一前々申渡：可為重科候以上／0813 01103 貼継／柱題「覚」、貼継部分に裏印あり／123

0813 鎌田村他二六村宛 鎌田役所通達書（三笠附禁止の触書を百姓らに伝達のこと）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）四月／三〇・九×八七・二／継紙 楮紙／鎌田役所（黒印）↓鎌田村（黒印）他二六村／右書付名主所二：可相返候以上／0813 01103 貼継／宛所各村の下に確認を示す黒印あり、貼継裏に印あり、鎌田村他二六村は伊達郡／123

0813 上郡村他七村宛 役所達書（三笠附禁止の触書を百姓らに伝達のこと）／一通（一紙）／江戸中期（年未詳）寅七月／三一・〇×四一・七／縦紙 楮紙／役所（黒印）↓上郡村（黒印）他七村／右書付之趣只今迄：可相守者也／0813 01103 貼継／後欠、宛所各村の下に確認を示す黒印あり、継ぎ目裏印の残闕あり、上郡村他七村は伊達郡／123

0813 岡村他三九村宛 福島領岡村役所達書（三笠附禁止の触書を百姓らに伝達のこと）／一通（三紙）／江戸中期（年未詳）寅九月／三〇・七×一一二・二／継紙 楮紙／福島領岡村役所（黒印）↓岡村（黒印）他二六村及び川井村他一二村

／右者福島領二：可得其意候以上／0813101103貼継／前欠、伊達郡の岡村他二六村は本文の前、屋代郷の川井他二二村は本文の後に記載、各村名の下に黒印あり／123

0813102 触書（被り物の停止、質素儉約の励行他七カ条）／一通（八紙）／天保八年八月／三二・三三・三七・〇〇／継紙 楮紙／一御領内之：可相守者也／端裏書「大町」／0813101103貼継／柱題「掟」／123

0813103 榎村議定書（博奕者への過料、男女の着物・装飾の規定等全一五カ条）／一通（八紙）／天保六年八月一日／二九・八・八・二六・七・〇〇／継紙 楮紙／肝煎伊藤嘉六他九四名／一博奕者致候：仍而如件／0813101103貼継／柱題「村議定書差上申事」／123

0831 野田弥一右衛門御役所宛 高楯村名主六左衛門他三名口上書写（高楯村における郷藏番と御普請につき）／一通（二紙）／江戸後期（年未詳）三月／二九・七・七・四・四／継紙 楮紙／高楯村名主六右衛門他三名↓野田弥一右衛門様 御役所／一高力大学様御知行所：存奉候以上／柱題「乍恐以書付奉願上候」、高楯村は山辺町カ／123

1688 高楯村宛 鈴木宇左衛門年貢割付状（高五九三石余のうち年貢分を割付につき、一二月五日まで納めること）／一通（二紙）／元文三年九月／三〇・七・八五・一／継紙 楮紙／鈴木宇左衛門（黒印）↓羽州村山郡高楯村名主組頭惣百姓中／一高五百九拾：可令皆済者也／柱題「午御年貢可納割付之事」／232

1689 高楯村名主 九右衛門他二名宛 高力修理家臣小沢武右衛門・川名九郎兵衛日延証文（年賦にて借用の金二〇両、日延べし八月晦日としたく）／一通（一紙）／寛政九年七月一四日／三二・六・四七・二／豎紙 楮紙／高力修理内 川名九郎兵衛 小沢武右衛門↓高楯村名主 九右衛門殿 右村之組頭百姓代中／一金式拾両也：証文仍如件／柱題「相定申金子之事」／232

諸家文書—貼継・貼込—古文書集

1065 古文書集（1065101158の表紙）／一冊／近代（年月日未詳）／三二・三・四五・〇〇／浅葱地菊桐雲模様原表紙／166

1065101 配分状（相模国河村他のある家や畠地、瀬、山、野の配分）／一通（一紙）／南北朝時代（年月日未詳）／二六・四・一九・〇〇／裁断 楮紙／前嶋二字 一字 平田：右配分状如件／元は豎紙だが裁断、前欠・後欠／166

1065102 丹治・藤原書狀断簡（発給年月日と差出のみ記載）／一通（一紙）／弘安二年二月八日／一八・八・二六・六／切紙裁断 楮紙／左衛門尉藤原／左衛門尉丹治／無：無／本文なし、宛所なし／166

1065103 時長年貢配分状案（毎年の年貢の分担規定）／一通（一紙）／延元二年一月一日／二五・七・二八・七／豎紙 楮紙／時長 在判／まいねんにあき：むねおまほるへし／166

1065104 義政田地売券案（蒲原郡黒川庄中城羽黒の住人小山の田地売券）／一通（一紙）／応永九年二月二七日／二一・二・二八・七／豎紙 楮紙／義政（花押）／よふく／あるによつて：状くたんのことし／作成者名を墨で抹消／166

1065105 八幡宮牛玉宝印／一通（一紙）／室町時代（年月日未詳）／二八・五・四〇・三／豎紙 楮紙／無：無／166

1065106 拓本（応永四年八月一日付某阿闍梨他が見え、仏具の拓本か）／一枚（一紙）／近代（年月日未詳）／二八・四・四〇・〇〇／豎紙 楮紙／166

1065107 関沢義久置文案（夏井を竹俣寺・宝しやく寺の塔頭龍花庵に寄進）／一通（一紙）／室町時代（年月日未詳）／二五・五・三・〇〇／豎紙 楮紙／彼夏井と申事ハ：なるましき所にて候／端裏書「案」／二五・六・二五・二cmの二紙目あり／166

1065108 明応六 国衛之帳（「な木野」「たかなみ」の領主ごとの年貢の貫高表記）／五枚（五紙）／明応六年／二一・二・二七・九／元冊子 楮紙／料紙中央に折り目ありから、もとは冊子豎折帳、開いて台紙に貼り付け／166

1065109 国衛之日記（「とつちやう」の領主とその年貢の貫高表記）／三枚（三紙）／室町時代（年月日未詳）／二三・三・三〇・〇〇／元冊子 楮紙／料紙中央に折り目ありから、もとは豎折帳、開いて台紙に貼り付け／166

1065110 長尾能景宛 千坂能高奉書（色部修理進と土沢土佐守の所務相論につき色部氏証文の認証伝達）／一通（一紙）／室町時代（年未詳）一二月三日／一五・八・二三・二／切紙 楮紙／能高（花押）↓長尾信濃守殿／色部修理進与土沢：明也依頼達如件／166

1065111 毛利安田氏所領注文（佐橋庄上野分・山東郡内）／一枚（一紙）／室町時代（年月日未詳）／二八・八・四二・〇〇／豎紙 楮紙／佐橋庄上野分：以上／『新潟県史』は御館の乱における神余氏の滅亡後頃のものとして推定／166

1065-12 本領之日記(魚沼郷・蒲原郡内の所領と知行者の注文)／一枚(二紙)／室町時代(年月日未詳)／三〇・四×四二・〇／豎紙 楮紙／本領之日記：以上／166

1065-13 六郎衛門尉宛 能盛書状(まつかう殿に借銭渡しにつき要請)／一通(二紙)／室町時代(年月日未詳) 丑九月二十五日／二五・八×二九・九／豎紙 楮紙／しゆり能盛(花押) ↓六郎衛門尉殿／まつかう殿借銭：へく候恐々謹言／166

1065-14 小向村田帳(古志郡小向村内の年貢額と負担者一覽、貫高表記)／二枚(二紙)／室町時代(年月日未詳)／二六・八×三八・〇／楮紙／小向村□之事：惣以上四十五貫四百七十文／166

1065-15 川中島所領注文(蒲原郡川中島内の所領、貫高表記)／一枚(二紙)／室町時代(年月日未詳)／二六・四×二五・七／豎紙 楮紙／かわなかしま：なつかふん／166

1065-16 米注文(小野小次郎らの年貢高、俵升表記)／一通(二紙)／元龜四年二月一日／二七・九×三六・九／豎紙 楮紙／小野小次郎 こめ：本子共二／166

1065-17 諸氏交名注文(しやう田与七以下二六名)／二枚(二紙)／室町時代(年月日未詳)／二三・三×三一・三／豎紙 楮紙／しやう田与七：ふち田／166

1065-18 所領注文(しろとり以下一か所の領主)／一枚(二紙)／室町時代(年月日未詳)／二九・一×三一・五／豎紙 楮紙／しろとり：いゝむら同／166

1065-19 上田衆交名注文(山田源三以下上杉景勝家中三二名)／一通(二紙)／天正六年二月二十四日／二六・六×四一・四／折紙 楮紙／山田源三：天正六年極月廿四日書之始／166

1065-20 越後要害書(柿崎以下、越後の要害一三か所)／一通(二紙)／室町時代(年月日未詳)／二五・七×四二・三／折紙 楮紙／一 柿崎：水原／折紙折封ウワ書「よふかいの名」／166

1065-21 腰差文注文(腰差の文二八種)／一通(二紙)／室町時代(年月日未詳)／二九・〇×四三・五／折紙 楮紙／一あふき十本：一はうち□／柱題「こしさしものん」／166

1065-22 冠・烏帽子等覚書(冠・烏帽子とそれぞれの装束)／一通(二紙)／

室町時代(年月日未詳)／一七・一×六七・七／繼紙 楮紙／かんむり糸ほし：此外古クいゝたるハ無用／元折紙／166

1065-23 京詠物注文(京都へ発注した金龍丸・今焼茶碗四占)／一通(二紙)／桃山時代(年月日未詳)／二九・八×三四・二／折紙 楮紙／山しな：以上／裁断あり、折紙折封ウワ書「京へあつらへ」／166

1065-24 山田九右衛門・下村角内請取状(奥羽仕置きの帰路、岩船で支給された米・豆)／一通(二紙)／天正一八年一月八日／二九・七×一一・五／豎切紙 楮紙／山田九右衛門(黒印)・下村角内(黒印)／右御高ちやうしゆ：うけとり申候如仍件／166

1065-25 田中将監宛 大滝請取状(奥羽仕置の帰路、浅野衆一五人分の米の受取)／一通(二紙)／天正一八年一月一日／二七・一×一六・三／豎切紙 楮紙／大滝(黒印) ↓田中将監殿参／浅野殿衆十五人：まめ八升如件／166

1065-26 田中将監宛 大滝請取状(奥羽仕置の帰路、支給された米の返却)／一通(二紙)／天正一八年一月一日／二六・四×一八・五／豎切紙 楮紙／大滝(黒印) ↓田中将監殿参／帰し申候八木の事：渡可申候以上／166

1065-27 田中宛 はしつめ・蔵田請取状(奥羽仕置の帰路、早川殿に支給する米・大豆)／一通(二紙)／天正一八年一月一日／二八・三×一九・一／豎切紙 楮紙／蔵田(黒印)・はしつめ(黒印) ↓田中殿参／早川殿御まかない：夫馬共二如件／166

1065-28 田中宛 西方・大滝請取状(奥羽仕置の帰路、寺西殿に支給する米・大豆)／一通(二紙)／天正一八年一月一日／二七・七×三一・三／豎切紙 楮紙／大滝(黒印)・西方(花押) ↓□□□村 田中殿参／寺西殿御まかない：まめ右請取者也／166

1065-29 田中左近宛 山田・戸狩請取状(奥羽仕置の帰路、小貫殿に支給する米・大豆)／一通(二紙)／天正一八年一月二日／三〇・六×一九・八／豎切紙 楮紙／山田・戸狩(黒印) ↓田中左近殿参／小貫殿御控之事：所実也仍如件／166

1065-30 田中将監宛 横田新三・椎野左京助請取状(奥羽仕置の帰路、片桐殿に支給する米・大豆)／一通(二紙)／天正一八年一月二日／二九・一×一九・二／豎切紙 楮紙／横田新三(黒印)・椎野左京助 ↓田中将監殿参／片桐市正殿御ま：所実也仍如件／166

1065-31 出羽横手領太閤蔵入地年貢請取注文(豊臣政権直轄地横手領馬寺からの収納年貢額)／一通(一紙)／桃山時代(年月日未詳)／二四・八×二三・六／堅切紙 楮紙／横手領 馬寺よりの：三十一俵二升 右京亮／166

1065-32 出羽太閤蔵入地年貢請取注文(豊臣政権直轄地稲庭他からの収納年貢状況)／一通(一紙)／桃山時代(年月日未詳)／二四・一×四四・九／堅切紙 楮紙／仙北於大森二：申候借用申候／166

1065-33 色部宛 黒沢二郎兵衛年貢請取状(山田からの指出代物二貫)／一通(一紙)／天正一九年三月一日／二七・七×二八・三／折紙 楮紙／黒沢二郎兵衛色部殿参／自山田指出代物：十二貫請取申也／166

1065-34 米銭請取状写(大森御蔵で受け取った米銭、原本は天正一九年三月一日)／一通(一紙)／桃山時代(年月日未詳)／三三・〇×二九・七／堅紙 楮紙／大森御蔵におおて：百九俵同御借用／端裏書「黒沢殿より請取之写」／166

1065-35 長谷部新兵衛・阿彦孫四郎宛 興聖寺乗憲書状(段銭免除の申請)／一通(一紙)／室町時代(年月未詳) 一二月二日／二九・七×三六・五／堅紙 楮紙／乗憲(花押) ↓長谷部新兵衛尉殿・阿彦孫四郎殿御宿所／今度段銭之儀：奉頼候恐々謹言／端裏書「長谷川新兵衛丞殿・阿彦孫四郎殿参 興聖寺乗憲」／166

1065-36 上杉弾正大弼宛 定量書状(一二月一日にあった火災の報告)／一通(一紙)／江戸前期(年月未詳) 一二月一日／一五・七×四四・〇／切紙 楮紙／定量 ↓上杉弾正大弼殿／御懇書不残覽候：可及候恐々謹言／奥裏書あり、判読できず／166

1065-37 円頓章写(円頓章の部分)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／四四・一×二七・八／堅紙 楮紙／円頓者初縁実相：是名円頓止観／「上杉景勝公」の付箋あり／166

1065-38 丸田能次他一六名血判起請文(藩主へ後ろ暗きことをせず他一ヶ条)／一通(三紙)／慶長一三年六月六日／二六・八×三九・七／堅紙 楮紙／丸太小七能次(血判・花押) 他一六名／敬白天罰起請文：也仍起請文如件／柱題「敬白天罰起請文」、前書と牛王宝印二枚(二一・八×二八・四、二一・八×二九・五cm)の計三紙／166

1065-39 大坂陣陣立覚書(大坂陣の上杉勢の軍事編成と元和元年の経緯他)／一枚(二紙)／江戸前期(年月日未詳)／一五・五×八七・七／切紙紙 楮紙／慶長十九年大坂：五月御下着／元和二年の記事の「大御所様」は秀忠カ／166

1065-40 久左衛門宛 三嶋御使町五兵衛請取証文(木銭の受取につき)／一通

(一紙)／元和九年九月二七日／二五・〇×一九・五／堅切紙 楮紙／三嶋御使町五兵衛(花押) ↓嶋津玄播様御使久左衛門殿参／請申木銭事：為後日一札如件／次文書の請取／166

1065-41 三嶋宿引衆宛 嶋津利忠書状(上洛時の宿泊費につき)／一通(一紙)／(元和九年) 九月八日／二九・七×四七・七／折紙 楮紙／嶋津玄播利忠(花押) ↓三嶋御宿引衆／先度罷登之時：可申候恐々謹言／前文書関連、文書の下にはほぼ同じ大きさの材木の種類・数を記したと思われる文書が裏打紙として用いられている／166

1065-42 丸田与八郎宛 不吉岐守書状(某の調整をめぐるやりとり)／一通(一紙)／江戸前期(年月未詳) 五月一日／二九・四×四五・四／折紙 楮紙／不吉岐守□□(花押) ↓丸田与八郎様／被仰越候□□：承度候恐々謹言／裏打ちあり／前文書関連／166

1065-43 覚書断簡(小田原攻めにつき諸勢出陣の動き)／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／一一・三×二一・二／切紙 斐紙／前欠：後欠／166

1065-44 拓本(嘉応三年、若宮太□他)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二四・八×三三・〇／堅紙／166

1065-45 萩生村吉祥寺古碑拓本(開基撰室妙全禪定尼□位)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳) 一二月一日／二六・四×三七・八／堅紙 楮紙／吉祥寺の過去帳から萩生村地頭国分源三と注記／166

1065-46 拓本(開基撰室妙全禪定尼□位)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二六・五×三八・〇／堅紙 楮紙／吉祥寺の過去帳から萩生村地頭国分源三妻と注記／166

1065-47 富所俊重宛 安田俊房一字状(実名に「俊」の字の使用を許す)／一通(一紙)／江戸前期(年月未詳) 一月一日／三一・五×四一・六／折紙裁断 楮紙／安田上総介俊房(花押) ↓富所庄次郎殿参／一字就御所望：御悦嘉候以上／袖・地裁断、法量の横は見える部分のみ／166

1065-48 武田信玄家臣由緒(信玄家臣の駿河・三河等での動向)／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／三一・九×三八・七／堅紙 楮紙／次年未ノ春：たくしやう仕候也／166

1065-49 山吉豊守宛 北条高広書状(五日の上杉謙信出陣を確認し、武田信玄の岩村田着陣を報告)／一通(一紙)／(元亀元年) 九月七日／三六・一×四六・四／堅紙 斐紙／北条丹後守高広(花押) ↓山吉殿／去月廿九日之御：披露候恐々謹言／写カ

／166

1065-50 三森村手繰舟役銀請書(酉年一月一日から翌年三月三日までの手繰舟一艘二両の弥助ら四名の納付)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二八・九×四一・五／豎紙 楮紙／三森村手くり船：此御役十二両(黒印)／166

1065-51 直江兼統書状(武田信清の江戸到着、千坂伊豆の景勝の鷹狩の書状到着報告)／五枚(五紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・五×八・七／折紙裁断 楮紙／唯今江戸より：此由御披露／後欠、元は折紙か、五枚に分断、台紙からは欠落、冊子装の台紙に「直江兼統」の貼紙あり、筆跡は兼統である可能性が高い／166

1065-52 香料覚書(龍涎香を調合する際の香料及びその値段、調合法)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二六・四×三九・八／切紙 斐紙／龍涎香 一ちんかう：かため申候／綴じ穴あり／166

1065-53 香料覚書(龍涎香を調合する際の香料及びその値段、調合法)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二六・五×四〇・五／切紙 斐紙／龍涎香 一ちんかう：かため申候／綴じ穴あり／166

1065-54 清水新三宛 祐信砲術免許状(鉄砲秘術の免許)／一通(一紙)／承応元年二月／一八・七×三九・四／切紙 斐紙／祐信(花押・朱印) ↓清水新三殿参／今度鉄砲秘術：知識状仍如件／166

1065-55 拓本(不明)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／一五・九×二八・四／豎紙 楮紙／166

1065-56 拓本(不明)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／一五・六×二八・三／豎紙 楮紙／166

1065-57 燕沢碑拓本(宮城郡燕沢にある「蒙古の碑」と称される古碑の拓本の縮小複製)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／二五・〇×三三・五／豎紙 楮紙／166

1065-58 伊佐早謙筆 写本(妙心寺景勝夫人の墓所のスケッチ)／一枚(一紙)／明治三十五年五月三〇日／二四・三×二六・七／豎紙 楮紙／謙誌(印)／作者印は「謙」の認印／166

諸家文書—貼継・貼込—古筆題

1458 「古筆題」(1458全体の表紙)／一帖(九紙)／近代(年月日未詳)／三一・四×二三・二／折帖 縹地原表紙 楮紙／重コ〇本／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／裏表紙なし、後欠カ、表裏に貼込あり、挟込文書の一部は何かから剥がした跡あり／189

1458-01 昌次書「寿 不老門前日月速」／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二八・三×三六・八／豎紙 竹紙／九十翁昌次(落款)／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／189

1458-02 斎宮女御和歌色紙「ことのねに：」(「ことのねに 峰の松風かよふらし」いつれの緒より しらへそめけむ)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二〇・三×一七・八／切紙 彩箋／ことのねに：しらへそめけむ／端裏書「口泉為明卿」／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／料紙は茶地布目型押松下絵金小切箔雲／189

1458-03 書「咳気却而健口」／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×五・八／小切紙 楮紙／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／189

1458-04 和歌色紙「東路の：」／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／一七・七×一五・一／小切紙 彩箋／(判読不能)／東路の：(判読不能)の／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／全体かすれては判読不能、料紙は亀甲文地に金泥草花図、雁皮／189

1458-05 源氏物語和歌拔書(「なくなくも はねうちきする 君なく」、橋姫より)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／一五・二×一一・〇／小切紙 楮紙／なくなくも：君なく／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／189

1458-06 壬生忠見和歌色紙断簡「さ夜ふけて：」(「さ夜ふけて寝ざめさりせばほととぎす ひとつてにこそ聞べかりけれ」)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・五×一三・七／小切紙 雁皮／さ夜ふけて：聞へかりけれ／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／裏面墨書「わか」の／189

1458-07 源真弓長歌詠草(島田良齋君の篆刻の技を寿ぐ)／一枚(一紙)／近代(年月日未詳)／一五・〇×二〇・三／切紙 雁皮／源真弓／島田良齋君の：たふとかりけれ／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／料紙は茶染紙／189

1458-08 和漢朗詠集抜書断簡(「誰人隴外…」他漢詩五首、「あまのはらぶりさけみれば…」の和歌一首)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二五・三×一九・二／切紙 楮紙／誰人隴外:いてし月かも／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／紙背に「久信」「夜口」の印あり／189

1458-09 文書断簡(文章の一節、「しらぬやは あらしをとても…」)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・三×九・三／小切紙 楮紙／しらぬやは…のやうにゆ／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／後欠、打紙／189

1458-10 色紙(「太平天子 朝元日」)／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／二一・九×一六・二／切紙 楮紙(落款二題)／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／落款のうち一題は壺形、裏面に茶色の紙の残闕あり／189

1458-11 書付「夢想」(「第一句 時盛所収永世治得和多」)／一枚(二紙)／江戸中期(年月日未詳)／一六・二×二〇・七／切紙 楮紙／三印／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／作者は矢尾板三印カ／189

1458-12 漢詩色紙「氷封水面無浪」(七言、和漢朗詠集の歌)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／一八・六×一六・〇／切紙 茶染紙／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／連歌師宋周の作とする旨の後代の付箋あり、料紙は金泥かすみと草、裏面に台紙の残闕あり／189

1458-13 連歌断簡「しのめの…」(四首)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・一×一二・二／切紙 楮紙／しのめの…霜の山かせ 景／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／参加者の一人は「景」、紙背に鷹の受領に関する書状記載あり、料紙は茶染紙／189

1458-14 俳句色紙「さけ口の…」(雷神と男性の彩色俳画あり)／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／二〇・六×一五・八／切紙 雁皮／直哉／さけ口の…(判読不能)／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／全体擦れて判読困難、料紙は雲母引雷神人物下絵／189

1458-15 和漢朗詠集抜書(漢詩「笙歌夜月家々思…」)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二三・四×二八・二／切紙 雁皮／笙歌夜月…処々情／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／189

1458-16 道因法師和歌集断簡(「おもひ侘 さても命ハある物を…」、『千載集』所収)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二二・二×六・二／小切紙 楮紙／おもひ侘…侘てかひなき／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／料紙は交ぜ紙／189

1458-17 書状手本断簡(「面拝慮外此事候」)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二一・五×三・五／小切紙 楮紙／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／二六と一連／189

1458-18 断簡(「よろしうおもはんことにて…」、歌等の心得カ)／一枚(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／二三・〇×三・八／小切紙 鳥の子／一 よろしうおもはんことにてだに…これハと云心也／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／表裏に記載あり、元は冊子カ／189

1458-19 書状手本断簡(「贈給快然之至候」)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二〇・二×三・五／小切紙 楮紙／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／料紙は交ぜ紙／189

1458-20 源貞世「題しらす」(本文は「題しらす」のみで和歌記載なし)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二七・九×四・四／小切紙 鳥の子／源貞世／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／料紙は茶染紙／189

1458-21 和歌懷紙断簡「こなたより…」／一枚(一紙)／室町時代(年月日未詳)／三三・〇×一〇・五／切紙 楮紙／こなたより…とおりて／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／料紙は内曇り(漉き返し紙)、交ぜ紙／189

1458-22 源雅光和歌断簡「むかしにも あらぬすかたに なりゆけと…」／一枚(一紙)／室町時代(年月日未詳)／二五・〇×七・一／小切紙 楮紙／むかしにも…長といつを／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／台紙貼り、台紙裏面墨書「寛家カ」、元は冊子カ／189

1458-23 書状(珍しき古書披見の御礼、手形二枚差し越す)／一通(一紙)／江戸中期(年月未詳) 神無月一三日／一五・五×二九・〇／切紙 楮紙／遂日寒風相成…恐々謹言／端裏書「佐藤善内」／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／189

1458-24 書状断簡(礼状カ)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二八・五×一・九／小切紙 楮紙／一筆申入候…過□□給／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／後欠、帳面の断簡に貼込、茶染紙／189

1458-25 文書断簡「つる御■つらひよろつの…」／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／一五・八×四・九／小切紙 楮紙／つる御■…御心も／台紙からほぼ剥離／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／台紙貼り、打紙／189

1458-26 書状手本断簡「如恩章良久不能」／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)

未詳)／二一・三×四・四／小切紙 楮紙／裏打ちあり／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／1458-17と一連／189

1458-27 書状断簡(「重候必々重而可申達候恐惶謹言」)／一通(二紙)／江戸前期(年月日未詳)／二七・五×九・四／切紙 鳥の子／重候必々：恐惶謹言／1458-01-27は冒頭に挟込、28以降は貼込／後代の極札「富田助之進嘗文 重候必々」、黒文方印一顆「飛鳥」あり、台紙に貼込、紙背に文書写あり／189

1458-28 和漢連句断簡(「疎約為嗟咨」)「無まなくも 又むなしおも ならひかな」／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二九・七×六・二／切紙 楮紙／疎約為：ならひかな 盛朝／1458-28以降は貼込／「涯・盛朝の名あり」189

1458-29 古今集・新古今集等抜書(「うきくさの 上はしけれぬ淵なれや」他三首)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二四・〇×一四・五／切紙 楮紙／うきくさの：すま□半／1458-28以降は貼込／189

1458-30 漢詩和歌断簡／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／一三・二×一七・二／切紙 楮紙／致□子：ころのミ／1458-28以降は貼込／189

1458-31 漢詩「閨怨 長安遊子」(「連珠詩格」)初秋の葉苔磯の七言絶句)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二七・四×一六・三／切紙 楮紙／閨怨 葉苔磯：風前之□斎／1458-28以降は貼込／料紙は雲母ひき、□斎は1458-43と同名だが読めず、筆写者カ／189

1458-32 漢詩短冊「薄暮芦山雲繞」／一枚(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二三・〇×五・二／切紙 楮紙／薄暮芦山：僧頭如雪／1458-28以降は貼込／189

1458-33 書「紅葉嶺」(「秋の景色を詠んだ歌」)／一枚(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二五・一×一七・〇／切紙 楮紙／紅葉嶺：かけはし／1458-28以降は貼込／189

1458-34 書状(御物語申し上げたき儀あるにつき)／一通(二紙)／江戸中期(年未詳) 四月六日／二八・六×三七・四／切紙 楮紙／花押あり／貴毫致拝見候：恐惶謹言／1458-28以降は貼込／189

1458-35 漢詩「遠寺晚鐘」(「雲遮不見梵玉宮」)、「玉潤作の「瀟湘八景」中の一句)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二四・二×二〇・三／切紙 楮紙／雲遮不見梵玉宮：為言唯在此山中／1458-28以降は貼込／1458-34が添付されている丁に挟み込み、35は台紙に貼り込まれていない／189

1458-36 連歌懷紙断簡「菊に霜」(「里村昌叱、方信、昌琢、了俱らが参加)／一枚(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・六×四二・五／切紙 楮紙／昌叱菊に霜：さむしろ 信／1458-28以降は貼込／189

1458-37 漢詩断簡「潤月照霜中」(漢詩の一部か)／一枚(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二三・七×二一・六／切紙 竹紙／1458-28以降は貼込／三六が添付されている丁に挟み込み、37は台紙に貼り込まれていない／189

1458-38 和歌詠草「しら露もしくれも」(「紀貫之の和歌」)／一枚(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・五×四五・八／切紙 楮紙／紀貫之 しら露も：色つきにけり／1458-28以降は貼込／料紙は染紙／189

1458-39 書状(二七日の能興行に御父子と善衆を誘う)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三〇・一×三六・九／豎紙 楮紙／其後は不申通無音：御同道口□候恐々謹言／1458-28以降は貼込／料紙は染紙／189

1458-40 連歌懷紙「虫の音の」(「内方、於口、口代、来次氏秀が参加)／一通(三紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・四×六一・二／切紙 楮紙／衣かつる：ゆうしね 十四／1458-28以降は貼込／前欠／189

1458-41 連歌懷紙「夢想之連歌」(「喜信、内女、十左衛門、百丸、於黒、彦六、太郎、二郎、来次氏秀が参加)／一通(二紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・七×八二・六／切紙 楮紙／さらしなの：田のすゑ 十四／1458-28以降は貼込／189

1458-42 連歌懷紙「夢想之連歌」(「喜信、内方、於口、尉左衛門、百丸、於黒、彦六、玄好、吉秀が参加)／一通(二紙)／江戸前期(年月日未詳)／一六・三×八一・七／切紙 楮紙／たつねよる：そとく春雨 吉秀／1458-28以降は貼込／189

1458-43 □斎漢詩「試毫」(七言絶句、新春を祝う内容)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二七・六×二五・五／切紙 楮紙／萬福新年祝夏口：喬木移来 幽谷鶯／1458-28以降は貼込／189

1458-44 連歌懷紙断簡「兼て知る」(「能口、利光、安秀、伊守、山城守が参加)／一通(一紙)／江戸前期(年月日未詳)／二八・一×一五・三／切紙 楮紙／兼て知る：ないき添らん／1458-28以降は貼込／料紙は染紙／189

1458-45 和漢詠草(和漢朗詠集の慶滋保胤の詩の一節と、君が代の和歌)／一通(一紙)／江戸後期(年月日未詳)／二三・九×一六・七／切紙 楮紙／長生殿裏春

秋富：苔のむすまで／1458—28以降は貼込／189

1458—46 和歌詠草「あはち嶋…」(百人一首のうち源兼昌と寂蓮法師の作二首)／一通(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／三一・一×四六・二／切継紙 楮紙／あはち嶋 かよふちとりの：秋の夕暮／1458—28以降は貼込／台紙に直接書いている、法量は台紙の大きさ／189

諸家文書—貼継・貼込—諸名家真蹟集帖

1640 「諸名家真蹟集帖」(漢詩集)／一冊(七一丁)／江戸後期(年月日未詳)／二九・〇×一七・〇／折帖 焦茶地流水模様原表紙 楮紙／文 林泉文庫・兼印・□□□□／1640は貼込帳、1640—01—06一括り／ラベルは剥離し「文」のみ判読可能、全体の紙数は枝番の紙数に継紙分を合算／229

1640—01 林羅山漢詩「七里灘」(七言絶句、太公一たび起たば鬢霜侵し、三顧頻繁 諸葛の心云々)／一点(二紙)／江戸前期(年月日未詳)／二六・三×一五・五／楮紙／林道春(朱印)／太公一起鬢霜侵：芦花風月釣台深／1640に貼付、1640—01—06一括り／落款あり／229

1640—02 古処原震平漢詩「癸亥歲抄雜詩九首次韻禪月榮所」(七言絶句九首、昇平二百年の浮沈について、天孫闢国の件、新井白石の国王復号の件、封建制の件他)／一点(四紙)／(享和三年カ)秋月／二七・九×五六・四／楮紙／古処原震平拜□(朱印)／(朱印)／天孫闢国大洋東：遊戯鮮狂之味／1640に貼付、1640—01—06一括り／横の長さは四枚の横幅を足したものの、落款あり、名前の下に「秋月」とあり／229

1640—03 朝川善庵漢詩「雨中山水」(七言絶句、雨飛雲走 江関を過ぎ、飄覆すること方に頃刻の間に見る云々)／一点(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二六・二×二〇・二／竹紙／善庵(朱印)／雨飛雲走過江関：無端掃出米家山／1640に貼付、1640—01—06一括り／横の長さは二枚の横幅を足したものの、落款あり／229

1640—04 鶴峯漢詩(七言絶句、書生いかでか海防の籌を献ぜん、筆を揮ひて千言猶ほ未だ休まず云々)／一点(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二七・八×二二・三／未詳／鶴峯(朱印)／書生□献海防籌：皇州祇令守金瓶／1640に貼付、1640—01—06一括り／横の長さは二枚の横幅を足したものの、落款あり／229

1640—05 古賀精里宛 神保蘭室書状(香坂昌直の江戸再遊の期日延期が叶い、

先生の帳下に侍することができ、安堵すること泰山に坐するが如し)／一通(三紙)／江戸後期(年月未詳)八月三日／二八・四×三六・五／豎紙 楮紙／神行簡再拜敬具(朱印)／(朱印)↓奉呈 精里先生降帳下／香生寿母氏之病：白露為霜千万保齋／1640に貼付、1640—01—06一括り／横の長さは三枚の横幅を足したものの、落款あり、江戸時代中期／後期／229

1640—06 神保蘭室宛 古賀精里返書(香坂昌直、思う所を書及び詩にして下す、その旨意懇切、命を奉じて弊塾に入塾す、叱咤激励を尽くす、詩一首を呈上す)／一通(四紙)／文化五年八月四日カ／二八・三×四四・五／豎紙 楮紙／古賀精里再拜復(朱印)／(朱印)↓米沢教授神保君楮下／樸從明日間妻聞其談：秋涼千万為道珍愛／1640に貼付、1640—01—06一括り／横の長さは四枚の横幅を足したものの、落款あり／229

1640—07 神保蘭室漢詩「歲晚銀台狂簡見惠瓊瑤」(七言律詩四首にて老成君子が詩を賦す効用を説く、藤松樋山四君、一府中の鑑なるも、詩賦は兎戯とす、よって詩をもつて四君に贈る)／一点(五紙)／江戸後期(年月日未詳)／二七・八×七四・二／楮紙／神行簡謹具(朱印)／藤松樋山四君者：老成君子蓋裁詩／未〇本／1640に貼付、1640—07—21一括り／横の長さは五枚の横幅を足したものの、落款あり／229

1640—08 神保蘭室漢詩「和答松文雍見実」(七言絶句、藻情 誰か陽春に暢べざらん、況や会して為に花月の辰を待つを云々)／一点(二紙)／江戸後期(年月日未詳)／二八・七×一七・七／楮紙／七十五翁蘭室簡(朱印)／藻情誰不暢陽春：知能推誠慈佳人／1640に貼付、1640—07—21一括り／横の長さは二枚の横幅を足したものの、落款あり、松文雍は松木魯堂／229

1640—09 神保蘭室漢詩「臘月初三草堂集探天字」(七言律詩、登臨せば雪後一明鮮、岸樹蒼蒼として半ば烟を帯び、白日漂揺す云々)／一点(二紙)／江戸後期(年月未詳)一月／二七・九×一八・七／楮紙／蘭室(朱印)／(朱印)／登臨雪後一明鮮：吟□及処且起然／1640に貼付、1640—07—21一括り／横の長さは二枚の横幅を足したものの、落款あり／229

1640—10 神保蘭室漢詩「辛未初春和答松世美見贈」(七言絶句、翹々として筆を賦して来春を報ず、摘みて雲霞を贈れば四壁新なり云々)／一点(二紙)／文化八年カ／二七・九×二一・〇／楮紙／神行簡拜(朱印)／翹々賦筆報来春：与君□是神游人／1640に貼付、1640—07—21一括り／横の長さは二枚の横幅を足したものの、落款あり／229

1640—11 神保蘭室漢詩「入日草堂集寄懷」(松翁・仲翼・及び文雍伯、太仲に和す、七言律詩、客子江東に共に春を占ひ、詩筒もて幾処芳辰に酔はん云々)／一点(三

紙)／江戸後期(年月日未詳)／二七・六×三一・九／楮紙／七十四翁行簡(朱印)(朱印)／客子江東共占春：寧有漁翁臥水滨／1640に貼付、1640-07-21一括り／前の紙と継いでいた部分に二か所の割印(朱)あり、横の長さは三枚の横幅を足したものの、落款あり／229

1640-112 神保蘭室漢詩「松文雍見惠蜜柑掛以一絶襲其礎布謝」(松木魯堂から蜜柑に添えて贈られた詩に和韻したもの、七言律詩、南方の美色 字は柑と為す云々)／一点(三紙)江戸後期(年月日未詳)／二七・七×三三・一／楮紙／神行簡拜(朱印)(朱印)／南方美色字為柑：一口襲其口布謝／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは三枚の横幅を足したもの、落款あり／229

1640-113 神保蘭室漢詩「人日草堂集一席上懷」(七言絶句、旧友相携ふ 隠士の家、晚来酒を挙げて鶯花に挑む云々)／一点(二紙)江戸後期(年月日未詳)／二七・七×一七・五／楮紙／蘭室行簡(朱印)／旧友相携隠士家：信馬草郊□□客／1640に貼付、1640-07-21一括り／松木魯堂を偲ぶ酒宴で賦したものか、一枚目の紙は1640-112の最後の紙と継いである、横の長さは二枚の横幅を足したもの／229

1640-114 咄齋漢詩「頼朝」(七言律詩、大庭景義の語を賦したもの、叔父の行家、弟の義経を撃ち云々)／一点(二紙)江戸後期(年月日未詳)／二七・八×二一・八／楮紙／咄齋(朱印)／叔父交兵弟□□：七八用大庭景義語／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは二枚の横幅を足したもの、落款あり、咄齋は千宗巨カ／229

1640-115 漢詩「千秋觀奉留別座生松木君」(七言絶句、西帰に際しての詩、何ぞ必ずしも天涯客衣を嘆かん云々)／一点(四紙)江戸後期(年月日未詳)／二七・九×四三・五／楮紙／宜□□何必天涯嘆客衣：□□東海却西帰／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは四枚の横幅を足したもの／229

1640-116 公礼漢詩「次韻」(七言律詩、颯々として西風客衣を払い、梧桐の葉々脱するや争ひて飛びたり云々)／一点(四紙)江戸後期(年月日未詳)／二七・八×四七・〇／楮紙／公礼／次韻 颯々西風私客衣：此際王□□不帰／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは四枚の横幅を足したもの、作者は樺島公礼カ／229

1640-117 花車漢詩(五言律詩、天外風霜の氣、凜然故家に備ふ云々)／一点(二紙)江戸後期(年月日未詳)／二四・二×二五・二／未詳／花車公子／天外風霜氣：予亦次以答／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは二枚の横幅を足したもの／229

1640-118 古賀侗庵漢詩(七言律詩、幕府の罷熊 紛々として雄を競ふも、文武を兼備するは独り公を推す、群臣倭ねるを恥じて教を言はず云々)／一点(三紙)江戸後期(年月日未詳)／二七・三×三四・六／楮紙／侗菴 鉄屈子(朱印)(朱印)／幕府罷熊紛競雄：猶□□蠅滿室中／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは三枚の横幅を足したもの、落款あり／229

1640-119 古賀侗庵「追慕偶記」(広く典籍を讀み、財を郷里の窮乏者に賑恤して、子孫に財を遺さなかつた古賀精里の遺訓)／一点(八紙)文政四年三月五日／二三・九×九二・五／楮紙／汝然／先君子晚年□德兩尊：追思遺訓汝以記／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは八枚の横幅を足したもの／229

1640-120 古賀侗庵漢詩(七言絶句、古賀精里の清貧を称える内容、其翁清白たること前賢を継ぎ、年深くして只経籍を留めて伝ふ云々)／一点(二紙)江戸後期(年月日未詳)／二七・七×九九・五／楮紙／侗菴 焯(朱印)／其翁清白繼前賢：何□敬時雲烟／1640に貼付、1640-07-21一括り／1640-119に添えたものか、横の長さは一枚の横幅を足したもの、落款あり／229

1640-121 漢詩「丁酉中元月下与井上生对酌同賦」(古詩、井上氏と月を眺め酒を酌み交わして賦す、迫りくる西洋への危機感、人心を正し邪説をやませ、月光とともに万世を照らさんとの思い)／一点(二紙)丁酉(天保八年カ)中元月／二二・七×二六・六／楮紙／皎々白玉盤飛上蒼々上：早已起千村日／1640に貼付、1640-07-21一括り／横の長さは二枚の横幅を足したもの、末尾に「兼印」、「樞軒」の朱印あり／229

諸家文書—貼継・貼込—参考断片

0466 算用状断簡(計一六兩余、0466-01-09の表紙に転用)／一通／江戸中期(年月日未詳)／一六・四×四四・〇／切紙 楮紙／一三兩↓八百九十文／0466-01-09貼継／「参考断片」の墨書貼紙あり／067

0466-01 達書写(評定所の勤務等につき、原本は正徳二年九月付)／一通(五紙)江戸中期(年月日未詳)／一五・〇×一八・八・九／切紙 楮紙／一 寛永以後御代々：可有之由被仰出者也／0466-01-09貼継／柱題「評定所之面々へ被仰出候御書付」／067

0466-02 岩間勘三郎宛 三橋伊兵衛口上書(検断直支配、帯刀御免につき御祝下されたく)／一通(一紙)江戸後期(年未詳)一〇月一八日／一五・一×一九・一／切紙 楮紙／岩間勘三郎様／今日於御町奉行所：被下置度必々奉待候／端裏書「岩間

勘三郎継」／0466-01-09貼継／宛所表記は封の表書より、柱題「口上 三橋伊兵衛」／067

0466-03 江戸城西丸普請衆書付（江戸城西丸の手伝い普請を命じられた大名八名の書上江戸時代後期のものか）／一通（二紙）／江戸後期（年月日未詳）／一四・六×六七・一／切継紙 楮紙／式拾五万七千九百石：松平陸奥守様 メ／0466-01-09貼継／柱題「西丸炎上二付御普請被蒙仰下候面々左之通」／067

0466-04 島津玄蕃宛 畠山飛騨守書状（来訪への礼）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）九月二日／一五・二×二五・八／切継紙 楮紙／畠山飛騨守↓島津玄蕃一昨日者御来儀：以面上可申承候已上／0466-01-09貼継／封の表書き「島津玄蕃様 島飛騨守」、差出宛所表記は封の表書より、島津玄蕃は島津通忠カ、畠山飛騨守は畠山義里カ／067

0466-05 達書（御為存寄申出につき）／一通（四紙）／江戸後期（年未詳）七月／一五・六×一二四・七／切継紙 楮紙／公儀御統道之儀：可被申達候已上／0466-01-09貼継／柱題「覚」／067

0466-06 安部豊光覚書（寛永年間の会津城受取時の軍役、役人人事他）／一通（六紙）／安永三年正月一日／一五・五×一八三・六／切継紙 楮紙／安部宗栄豊光（花押）／一定勝公様御代：一人被遣候事／端裏書「□□□□山□□□存候ハ、□度者也」／0466-01-09貼継／柱題「寛永式年五月」／067

0466-07 竹俣兵庫・竹俣勘解由達書（幕府大目付からの書付の趣旨に従い、藩内での儉約につき）／一通（二紙）／江戸中期（年未詳）西二月／一五・五×七八・八／切継紙 楮紙／竹俣兵庫・竹俣勘解由／今後於江戸従大御目付：可存其旨候以上／0466-01-09貼継／兵庫は充綱、勘解由は森秀カ／067

0466-08 北条金十郎宛 竹俣美作書状（来る二日夕に面談につき）／一通（三紙）／江戸中期（年未詳）二月九日／一六・〇×八一・〇／切継紙 楮紙／竹俣美作↓北条金十郎様／以手紙申入候：如是御座候以上／端裏書「北条金十郎様 竹俣美作」／0466-01-09貼継／067

0466-09 達書（三ヶ年格外儉約につき）／一通（六紙）／江戸後期（年月日未詳）／一五・二×一五五・五／切継紙 楮紙↓不明／一年始歳暮御祝儀物：御酒不被或下（後欠）／0466-01-09貼継／柱題「来来卯年迄三ヶ年格外御大俵之大旨」、後欠／067

諸家文書—貼継・貼込—古証文

0024 大名書上（二七ノ日）「三八ノ日」として各一二藩分、0024-01-03の表紙に転用）／一通／江戸後期（年月日未詳）／三五・三×四七・五／折紙 素紙後補表紙 楮紙／二七ノ日 土方智千代：合拾式藩／0024-01-03貼継／裏面に「古証文 元禄二年高島御陣屋悉皆目録 同十年羽州米沢御料村々高辻之覚」とあり／002

0024-01 小沢名兵衛他五名高島陣屋間数建具目録／一卷（一〇紙）／元禄二年八月／三二・〇×一七二・二／継紙 楮紙／小沢名兵衛他五名／一五間 式間半：一四間 扉 メ／0024-01-03貼継／柱題「高畑御陣屋間数戸障子并長屋櫓土蔵之目録」／002

0024-02 岩瀬小右衛門宛 新松五郎・酒巻幸右衛門証文（諸国絵図改につき幕領の高島村以下屋代郷の三ヶ村高書上）／一卷（四紙）／元禄一〇年八月／三一・三×四一・〇／継紙 楮紙／窪田長五郎代 新松八五郎（花押）、酒巻幸右衛門（花押）↓上杉弾正大弼様御内 岩瀬小右衛門殿／一高式千：為証依如此／0024-01-03貼継／明和四年の付箋復数あり、柱題「羽州米沢御料村々高辻之覚」／002

0024-03 岩瀬小右衛門宛 窪田長五郎書状（0024-02に対する米沢領村高書付案文送り状）／一通（一紙）／（元禄一〇年）八月八日／一七・一×三二・〇／切紙 楮紙／窪田長五郎↓岩瀬小右衛門様／今朝被仰聞候：可被仰候以上／0024-01-03貼継／窪田は屋代郷の幕府代官／002

0478 表紙（0478-01、02の表紙）／一卷／近代（年月日未詳）／三五・五×二四・一／切紙 素紙原表紙 楮紙／0478-01-02貼継一括／「古証文 正徳四年松原村百姓訴状・寛保三年赤湯村外駅伝答書」と記載／067

0478-01 松原村百姓五三郎他三二名願書控（二郎右衛門の所業により両組頭圖取にても選定できず、問屋は肝煎に兼帯させたく他）／一通（七紙）／正徳四年二月二日／二九・五×三二・二／継紙 楮紙／初 五三郎他三二名／一当春両組頭役儀：御考可被下候以上／0478-01-02貼継一括／柱題「松原村惣百姓願書を以申上候事」／067

0478-02 小嶋承助他二名宛 赤湯村問屋宇津木与一他七名答書控（赤湯川樋小荒沢三ヶ宿荷送、中山より宮内まで薪輸送の詳細）／一通（三紙）／寛保三年五月二八日／三一・五×九六・〇／継紙 楮紙／小荒沢孫右衛門他六名↓小嶋承助殿他二名／一赤湯川樋小荒沢：難有奉存候以上／端裏書「寛保三年五年：御答書留控」／0478-01-02貼継一括／柱題「御尋二付申上候事」、赤湯村、川樋村、小荒沢村の村役人・

問屋が連名で提出、末尾に提出時の経緯を記載／067

0535 表紙(0535101106の表紙に転用)／一通／江戸後期(年月日未詳)／三五・五×二四・二／折紙 楮紙／0535101106貼継一括／「古証文 享保七年河井村外口々番人勤方書上 七通 林泉文庫」と記載／078

0535101 山下伊右衛門役所宛 川井村太左衛門勤方上書写(川井村口留番人が勤めている他領からの馬や米穀等の管理等の職務内容八か条、口留番人の経緯一か条)／一通(三紙)／享保七年七月／三〇・四×八四・九／継紙 楮紙／羽州置賜郡川井村口留番人太左衛門印↓山下伊右衛門様御役所／一他領より入馬之儀：右之通相違無御座候以上／端裏書「川井村口留番人勤方」／0535101106貼継一括／奥に川井村名主儀左衛門他三名が、前記の内容を承伝する旨を記す、柱題「川井村御口留番人相勤申品々書上申事」、山下は幕府の屋代郷代官／078

0535102 山下伊右衛門役所宛 露藤村孫兵衛勤方上書(露藤村口留番人が勤めている他領からの馬や米穀等の管理等の職務内容七か条、口留番人の経緯一か条)／一通(二紙)／享保七年七月／二九・七×七〇・三／継紙 楮紙／露藤村口留番人孫兵衛(黒印)↓山下伊右衛門様御役所／一他領より入馬之儀：右之通相違無御座候以上／0535101106貼継一括／奥に露藤村名主喜右衛門他三名が、前記の内容を承伝する旨を記す、柱題「露藤村御口留番人相勤申品々書上申候事」／078

0535103 山下伊右衛門役所宛 上和田村権六郎他三名勤方上書写(上和田村口留番所本宮口・稲子口二か所が勤める職務内容、口留番人の経緯)／一通(二紙)／享保七年七月／三〇・三×四六・五／継紙 楮紙／上和田村名主権六郎印外三名↓山下伊右衛門様御役所／一上和田村本宮口：右書上申所相違無御座候以上／端裏書「上和田村口留番人勤方」／0535101106貼継一括／口留番人の任命の経緯を記した付札一枚あり、柱題「覚」／078

0535104 山下伊右衛門役所宛 露藤村孫兵衛勤方上書写(幕領露藤村口留番人が勤める幕領から諸藩領への馬・米穀他の管理等の職務内容、口留番人の経緯)／一通(二紙)／享保七年七月／三〇・三×五九・一／継紙 楮紙／露藤村口留番人孫兵衛印↓山下伊右衛門様御役所／一御口留番所御料者：右之通書上申所相違無御座候以上／端裏書「露藤村口留番人勤方」／0535101106貼継一括／口留番人の任命の経緯を記した付札一枚あり、奥に露藤村名兵衛他三名が、前記の内容を承伝する旨を記す、柱題「差上申一札之事」／078

0535105 川井御役所・高昌役所宛 新宿村安左衛門六名証文(新宿村他四か村の口留番人が他領と売買される牛馬は名主手形を持たせて通行管理すること約す)／一通(二紙)／享保八年六月／三〇・六×六〇・一／継紙 楮紙／羽州置賜郡新宿村口留番人安左衛門(黒印)他六名↓川井御役所・高畑御役所／当御料中牛馬売買：為後日

連判一冊差上申所如件／端裏書「口留番人証文」／0533101106貼継一括／継目裏の下部に割印あり、柱題「指上申一札之事」／078

0535106 山下伊右衛門宛 上和田村勤右衛門・与左衛門勤方上書(上和田村口留番人が勤め勤める幕領から諸藩領への馬・米穀他の管理等の職務内容、本宮口・稲子口の口留番人の経緯)／一通(二紙)／享保七年七月／二九・七×一〇九・三／継紙 楮紙／羽州米沢領上和田村本宮口番人勤右衛門(黒印)、同稲子口番人与左衛門(黒印)↓山下伊右衛門様御役所／一他領より入馬之儀：相違無御座候以上／0533101106貼継一括／奥に上和田村名主権六郎他二名が、前記の内容を承伝する旨を記す、継目裏の下部二か所に割印あり、柱題「上和田村御口留番人相勤申品々書上申候事」／078

0691 浦井新五右衛門年貢割付状(巳の御年貢書面の通り、0691101108の表紙に転用)／一通／江戸中期(年月日未詳)／三三・五×二二・一／堅紙 楮紙／浦井新五右衛門(黒印)／前欠：急度御可皆済者也／0691101108貼継／前後欠、浦井新五右衛門は延享四、九年、御預所郡奉行、紙背に「古証文 寛文二年御買米割符之事」と目録を記載／114

0691101 上川井村三右衛門宛 池田兵右衛門御買米割付状(本買米と増買米分、計一貫九一六文余)／一通(一紙)／寛文二年一月七日／三三・五×二二・五／堅切紙 楮紙／池田兵右衛門(黒印)↓上川井村三右衛門殿／一 式石八拾表：急度御蔵納可被申候以上／0691101108貼継／柱題「寛文二年分上河井村御買米割符之事」／114

0691102 仁太夫宛 川井村肝煎三右衛門役銀皆済状(昨年分の江戸米沢御買夫身代遣銀本剪代)／一通(二紙)／寛文二年一月七日／三三・五×八〇・三／継紙 楮紙／上川合村きも入 三右衛門(黒印)↓仁太夫殿／一 九拾壹匁七分九リシ：知行可仕候依如件／0691101108貼継／柱題「寛文元年分上川井村へ懸ル江戸口御売夫身代遣銀本剪代懸役銀皆済之事」／114

0691103 上川井村肝煎・百姓中宛 年貢減免状(当村早損につき)／一通(一紙)／寛文三年一月七日／三三・五×四三・七／堅紙 楮紙／小嶋(黒印)↓上川井村肝煎百姓中／一 高四式石四斗一升：可差上者也／0691101108貼継／柱題「寛文三年川合村早損二付御容捨石口事」、紙背に「上川井村」、「北村屋久三郎願書」付箋貼付／114

0691104 村山三郎右衛門・古畑三右衛門宛 預所代官年貢減免状(屋代郷預所の諸貢租減免につき)／一通(一紙)／延宝二年二月二四日／三三・四×四六・七／堅紙 楮紙／岩瀬小右衛門他二名↓村山三郎右衛門殿・古畑三右衛門殿／一 物也百拾式石：可被下候依如件／0691101108貼継／柱題「金屋村木和田村河井村露藤村下和田村高免悪所二公平足前御用捨年季以引間之覚」、岩瀬らは預所代官／114

0691-05 七郎兵衛他二名宛 二左兵衛他村中三〇名連判状(禿跡の田地、新田村にて請取下されたく) / 一通(二紙) / 延宝四年三月一日 / 三三・〇×八四・一 / 継紙 / 楮紙 / 左兵衛(黒印) 他三〇名 / 七郎兵衛殿他二名 / 一 今度新田村ニ: 為後日依如件 / 0691-01-08 貼継 / 柱題「村中連判之事」、差出人の一番奥は二郎右衛門だが書き出しの位置が最も高い人物が左兵衛のため差出人とした / 114

0691-06 岡役所宛 庭坂村名主源左衛門他八五名請状(江戸廻米差支えにつき) / 一通(九紙) / 延享元年六月 / 三一・〇×三二・八・三 / 継紙 / 楮紙 / 名主 源左衛門(黒印) 他八五名 / 岡御役所 / 一上杉民部太輔様: 一札差上申候以上 / 端裏書「庭坂村」 / 0691-01-08 貼継 / 柱題「差上申一札之事」、紙の裏継ぎ目に名主源左衛門他五名の印あり / 114

0691-07 中村友八郎他二名宛 願書下書(置賜郡三五箇村年貢未進年賦、里漆木は有木改め減少分は免除他) / 一通(九紙) / 宝曆一年四月 / 三〇・四×二六三・三 / 継紙 / 楮紙 / 羽州置賜郡何村名主・与頭・百姓代 / 中村友八郎様他二名御用人中 / 一金三千四拾八両: 難有奉存候以上 / 0691-01-08 貼継 / 柱題「米沢御預り所置賜郡惣百姓乍恐以書付奉願上候御事」、加筆訂正多数 / 114

0691-08 高島村荒町惣百姓願書下書(高畑村市場を横町から本町へ戻したく) / 一通(四紙) / 宝曆一年四月 / 二九・九×二九・二 / 継紙 / 楮紙 / 往古土杉播磨守様: 難有奉存候以上 / 0691-01-08 貼継 / 柱題「米沢御預所高畑村荒町惣百姓乍恐以書付奉願候御事」、発給は記載なし / 114

0792 年貢関係文書断簡(取米の高他、0792-01-09の表紙に転用) / 一卷 / 江戸後期(年月日未詳) / 三三・五×二二・四 / 切紙 / 楮紙 / 高四斗巻升: 一畑巻反式畝拾九歩同断 / 0792-01-09 貼継 / 前後欠、「古証文 元禄二年慶福寺口上書」と目録を記載 / 123

0792-01 宝山五郎兵衛他五名宛 慶福寺口上書(慶福寺の由緒、安田氏との関係、田畑等つき) / 一通(二紙) / 元禄二年七月一日 / 三二・八×五五・〇 / 継紙 / 楮紙 / 慶福寺(黒印) / 宝山五郎兵衛殿他五名 / 一当寺之儀: 仕来候以上 / 端裏書「河井村慶福寺」 / 0792-01-09 貼継 / 柱題「口上書之事」、紙継裏に慶福寺の押印 / 123

0792-02 御奉行所宛 慶福寺他四名地替証文(慶福寺屋敷地と普賢院・庄兵衛他の畑地交換の経緯) / 一通(二紙) / 元禄三年一〇月二六日 / 三一・七×五五・〇 / 継紙 / 楮紙 / 慶福寺他四名 / 御奉行所 / 一屋敷麦六畝: 指上申候以上 / 端裏書「さし上申留」 / 0792-01-09 貼継 / 柱題「覚」 / 123

0792-03 川井村百姓庄兵衛他五名口上書(慶福寺屋敷御年貢につき) / 一通

(二紙) / 元禄三年六月二三日 / 三二・一×八四・六 / 継紙 / 楮紙 / 川井村百姓庄兵衛(印) 他五名 / 一屋敷麦六畝: 無御座候以上 / 0792-01-09 貼継 / 柱題「口上之覚」、紙継裏に堤三右衛門の押印 / 123

0792-04 堤三右衛門宛 川井村名主甚兵衛他一五名口上書案(亀岡村文珠神領田地につき) / 一通(三紙) / 元禄九年一〇月 / 三二・二×一〇一・七 / 継紙 / 楮紙 / 川井村名主甚兵衛印他一五名 / 堤三右衛門殿 / 一亀岡村文殊: 後日仍如件 / 端裏書「亀岡文殊寺衆徒中平兵衛願二付村之名主へ相对叶書付留」 / 0792-01-09 貼継 / 柱題「覚」 / 123

0792-05 真言新義寺院中宛 護持院僧録条目(色衣御免他の遵守事項) / 一通(三紙) / 元禄八年一月二日 / 三二・三×九六・八 / 継紙 / 楮紙 / 護持院僧録大僧正隆光(花押) / 真言新義諸寺院中 / 一元和元年以来: 可相守者也 / 0792-01-09 貼継 / 柱題「相触條々」 / 123

0792-06 林泉寺御衆寮門中宛 常慶院高尊他三名訴状(瑞龍院住職他につき) / 一通(五紙) / 寛文一三年二月三日 / 三四・一×二〇八・四 / 継紙 / 楮紙 / 常慶院高尊(黒印) 他三名 / 林泉寺御衆寮 / (冒頭不読) 仁瑞龍院度: 仍訴状如件 / 冒頭破損、継目剥離 / 0792-01-09 貼継 / 紙継裏に常慶院と東源寺の押印 / 123

0792-07 御奉行所宛 川井村たけ夫勘七覚書(類族のたけは二色根村にあり、親与右衛門の病死より四六年経過) / 一通(一紙) / 元禄四年六月二九日 / 三一・四×二六・五 / 切紙 / 楮紙 / 川井村たけ夫勘七(黒印) / 御奉行所 / 川井村類族: 覚申候以上 / 虫損あり / 0792-01-09 貼継 / 柱題「覚」 / 123

0792-08 川井村勘七口上書(キリシタン類族の四郎兵衛孫たけ他四名につき) / 一通(二紙) / 元禄三年二月 / 三一・九×八七・五 / 継紙 / 楮紙 / 切死丹四郎兵衛孫 響川井村勘七 / 切死丹四郎: 印致指上ケ申候以上 / 0792-01-09 貼継 / 柱題「切死丹類族川井村二居申者とも口書」 / 123

0792-09 川井村他三ヶ村宛 青木伴右衛門・鳥居又次右衛門達書案(南都大仏堂建立のため勧進につき) / 一通(四紙) / (元禄元年カ) 一〇月八日 / 三〇・一×一四一・〇 / 継紙 / 楮紙 / 青木伴右衛門・鳥居又次右衛門 / 川井村他三ヶ村 / 南都大仏堂: 可相届候已上 / 0792-01-09 貼継 / 123

0793-01 堤三右衛門・結城次郎右衛門宛 安久津村八幡別当金蔵院願書(安久津村八幡の諸役免除等につき、寺社奉行所宛の訴訟は成り難く、屋代郷三四ヶ村にて才覚下されたく) / 一通(三紙) / 元禄九年九月 / 三一・四×一二五・八 / 継紙 / 楮紙 / 金蔵院(黒印) / 堤三右衛門殿・結城次郎右衛門 / 一当社之儀者: 頼入申候已上 / 端裏書「安久津八幡」 / 0793-01-04 貼継 / 柱題「安久津村八幡別当以願書を申上

候事」／123

0793-02 堤三右衛門宛 川井村名主甚兵衛他一五名証文(安久津村八幡別当金藏院願いの趣につき)／一通(二紙)／元禄九年一月／三一・三×八六・〇／継紙楮紙／御領川井村名主甚兵衛他一五名↓堤三右衛門殿／一安久津村八幡：相渡申候仍如件／端裏書「安久津村八幡別当平兵衛願触下、申渡相對之留」／0793-01-04 貼継／柱題「覚」、前半は二ヶ村名主宛の堤三右衛門の口上書／123

0793-03 安久津村八幡別当金藏院宛 堤三右衛門口上書(願いの通り八幡御神領田の貢租は御領中百姓勤めにつき書付進上す)／一通(一紙)／元禄九年一月／三〇・六×四〇・四／豎紙 楮紙／右庄屋堤三右衛門↓安久津村八幡御別当金藏院／八幡御神領：致進上申候以上／端裏書「安久津村八幡御別当へ出し候御書付留」／0793-01-04 貼継／123

0793-04 米沢御預所郡御奉行所宛 高畠村名主長兵衛・組頭半兵衛答書(阿久津村神明宮他諸社の概要、西宮の職他へ譲渡につき高畠村小池要人答書を伝達)／一通(二紙)／明和二年一月／二九・八×七五・三／継紙 楮紙／同郡高畑村組頭半兵衛、同名主長兵衛↓米沢御預所郡御奉行所／一其方御状：奉願上候仍而如件／端裏書「要人半兵衛、長兵衛」／0793-01-04 貼継／123

0803 大名人名書(秋月長門守、相良遠江守他五名、0803-01-03の表紙に転用)／一通／江戸後期(年月日未詳)／三五・三×二四・〇／豎紙 楮紙／五十日：小笠原近江守／0803-01-03 貼継／元豎紙を切断し反故紙の包紙で後筆のウワ書「古証文 宝曆五年高畠村御年貢皆済目録：」と目録を記載／123

0803-01 高畠村宛 福島平兵衛・安部久七年貢皆済目録(米三四五石余、金九七貫余皆済、永四一四貫余)／一通(五紙)／宝曆五年一月／三一・六×一七二・三／継紙 楮紙／福島平兵衛(黒印)・安部久七(黒印) ↓高畑村 名主・組頭・姓代／高式千五百八：引替遣之者也／端裏書「宝曆五年亥米沢御預所」「高畑村」／0803-01-03 貼継／柱題「当亥御年貢米金皆済目録」、紙継目に福島平兵衛、安部久七の押印／123

0803-02 高畠村宛 福島平兵衛・樋口九十郎年貢皆済目録(米二四二石余、粗五六四石、永一四四貫余)／一通(三紙)／宝曆一年二月／三二・〇×一二三・八／継紙 楮紙／福島平兵衛(黒印)・樋口九十郎(黒印) ↓高畑村 名主・組頭・百姓代／一米五百五拾：引替遣之者也／端裏書「高畑村」／0803-01-03 貼継／柱題「当巳御年貢米金皆済目録」、紙継目に福島平兵衛と樋口九十郎の押印、上部に預所郡奉行の割印／123

0803-03 高畠村宛 樋口九十郎・福島平兵衛年貢割付状(宝曆二年分、九月

二〇日まで他、三回に分納のこと)／一通(二紙)／宝曆二年九月／三〇・九×七八・九／継紙 楮紙／樋口九十郎・福島平兵衛↓高畑村 名主・組頭・百姓代／一田取米九百：可致上納者也／端裏書「宝曆十二年御仮免簡」「大町江」／0803-01-03 貼継／柱題「当午御年貢米永仮割付之事」／123

0816 年貢皆済目録断簡(六尺給、御伝馬入用他、0816-01-06の表紙に転用)／一通／江戸後期(年月日未詳)／三三・四×二二・五／切紙 素紙後補表紙楮紙／此取永九文八分：定納 山銭／赤ラベル表記無／0816-01-06 貼継／前後欠、割付状の可能性もあり、村名は未詳、後筆で包紙ウワ書「古証文 貞享二年細原馬草場争論 二通」と目録を記載／123

0816-01 舟田善右衛門宛 川井村惣百姓訴状(川井村のうち細原領分の草場利用相論)／一通(九紙)／貞享二年四月五日／三一・五×三六三・九／継紙 楮紙／きもいり三右衛門他五三名↓舟田善右衛門殿／川井村之内細原：可被下置候已上／0816-01-06 貼継／補修あり、書き直しがあること・署名に印がないことから案文と推測／123

0811-02 舟田善右衛門宛 松浦久左衛門他七名訴状(川井村のうちの細原領分の草場利用相論につき、細原方からの事情説明)／一通(三紙)／貞享二年四月二日／三一・〇×一一八・五／継紙 楮紙／袋町松浦久左衛門他七名↓舟田善右衛門殿／川井村之内細原領分：此度申上候以上／0816-01-06 貼継／補修あり、書き直しがあること・署名に印がないことから案文と推測／123

0816-03 丹羽家検地奉行宛 大名主堤三右衛門他七名入会山証文(上和田村他二四カ村の入会山に関する議定)／一通(六紙)／元禄四年一月九日／三一・五×二三四・六／継紙 楮紙／大名主堤三右衛門七名↓丹羽若狭守様御内御検地御奉行様／一上和田村之内：指上申候仍如件／裏打あり／0816-01-06 貼継／柱題「指上申入相山証文之事」名主・組頭七七名が連署押印した証文を大名主の堤が確認し検地奉行へ差出す、堤は(黒印)なし／123

0816-04 上和田村山林覚書(上和田村のうち元の山主に返却される山の面積・生産高・持主の内訳)／一通(一紙)／江戸中期(年月日未詳)／二八・〇×三四・〇／豎紙 楮紙／一ひちか岩 熊りまこ山 田ノいわ：御帳面写如此被下／端裏書「主ニ返り山覚書」／0816-01-06 貼継／柱題「御当山本主江御返し被成候覚」／123

0816-05 堤三右衛門宛 中和田村名主勘五郎山林覚書(杉なミ山・三御山・今泉山の所有者・面積・役高の内訳)／一通(一紙)／元禄五年四月二日／三〇・五×二二・一／豎切紙 楮紙／中和田名主勘五郎(黒印) ↓堤三右衛門殿／一杉なミ山：此永廿八文八歩七厘七毛／0816-01-06 貼継／柱題「元山主ニ被下置山書上反歩

1024-06 後藤清兵衛他三名血書起請文(梵天、帝釈他に誓う、内容は不明)／一通(一紙)／享保一〇年四月一日／二四・五×三二・〇／継紙・切紙 楮紙／後藤清兵衛□□(花押) 他三名／上者梵天帝釈四大天王：仍起請文如件／1024-01、16貼継／牛王宝印カ、差出の最初に「御作事屋小奉行」とあることから工事祈願カ、1024-05と一連カ／163

1024-07 塩井宗八郎他四名宛 銅屋町検断長谷川万助他三名請状(切支丹宗門改めに不審がないこと他五カ条)／一通(四紙)／享保二一年三月二日／三一・二×一三七・六／切継紙 楮紙／銅屋町組頭 銅屋町検断長谷川万助(黒印) 他三名／塩井宗八郎殿他四名／一切支丹宗門：可被仰付為後日仍如件／1024-01、16貼継／宛先に貼り継いだ栗林亦八郎他一名は別紙、別筆、その他横書の二名に尊称無し、柱題「御請状之事」／163

1024-08 遠藤権兵衛宛 加藤弥七郎衛門他七名金子受領書(御借上金一五両)／一通(一紙)／宝曆四年七月五日／三一・五×四〇・〇／縦紙 楮紙／加藤弥七郎衛門(黒印) 他七名／大町遠藤権兵衛殿／金拾五両者：右請取申所実正也仍如件／1024-01、16貼継／柱題「欠損 御借上金上納之事」、裏書あり／163

1024-09 遠藤権兵衛宛 津田甚衛門他九名金子受領書(御借上金一六両)／一通(一紙)／宝曆一一年二月四日／三一・八×四〇・六／縦紙 楮紙／津田甚衛門(黒印) 他九名／大町 遠藤権兵衛殿／合式拾両者：右請取申所実正也仍如件／1024-01、16貼継／裏書あり、柱題「御借上金上納之事」／163

1024-10 遠藤権兵衛宛 御金蔵金子受領書(上納金一六両)／一通(一紙)／天明三年七月二日／三一・〇×三三・六／縦紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓大町 遠藤権兵衛殿／合拾六両者：右請取申所実正也仍如件／1024-01、16貼継／柱題「先年御借上金分上納之事」／163

1024-11 遠藤権兵衛宛 御金蔵金子受領書(凶作につき御借上金二〇両)／一通(一紙)／天明三年二月八日／三一・二×三四・四／縦紙 楮紙／御金蔵(黒印) ↓大町 遠藤権兵衛殿／合拾両者：右請取申所実正也仍如件／1024-01、16貼継／柱題「当年凶作ニ付御借上金上納之事」／163

1024-12 安江佐内宛 軽部小右衛門請書(猿鳴茶、焙茶他の茶葉三六貫三〇〇匁、代金二両一分錢七二匁余購入他)／一通(四紙)／宝曆四年五月／三一・四×一八・八／継紙 楮紙／常陸下妻町軽部小右衛門(黒印) ↓米沢立町安江佐内殿／両替四貫三百文：重テ指引可錢候以上／端裏書「一×」／1024-01、16貼継／裏貼り継ぎに黒印あり、柱題「茶仕□□之事」／163

1024-13 藤屋源兵衛宛 法橋安清注文請書(寸法や材、像容等、釈迦如来座像

の仕様他)／一通(三紙)／江戸中期(年未詳) 四月一日／三一・四×一〇三・九／継紙 楮紙／法橋安清(黒印) ↓藤屋源兵衛様／一 宝冠之釈迦如来：金三両□に割候／1024-01、16貼継／柱題「註文之覚事」、法橋安清は江戸中期の仏師／163

1024-14 遠藤五右衛門・小嶋弥左衛門宛 清野四右衛門他四名願書(質屋の御役金の先納命令に対し当年より二カ年の上納を願う)／一通(四紙)／宝曆九年二月／三一・五×一三五・三／継紙 楮紙／清野四右衛門(黒印) 他四名 ↓御横目御衆中 遠藤五右衛門殿・小嶋弥左衛門殿／此度質屋御役金：宜御取成奉頼上存候以上／1024-01、16貼継／柱題「以書付奉願上候事」、二五名はいずれも米沢城下の質屋と推定／163

1024-15 高橋九兵衛宛 成海久左衛門金子借用証文(安田家困窮につき二〇〇両借入)／一通(一紙)／天保九年五月／三一・五×四一・八／縦紙 楮紙／安田友弥内 成海久左衛門(黒印) ↓高橋九兵衛殿／二百両：御返し可成候為後証仍件／端裏書「落切ニ付返済」／1024-01、16貼継／柱題「証文之事」、安田友弥の奥書あり／163

1024-16 町会所宛 鈴木伝右衛門他三名金子借用証文(拝借人面附をもって九人の借受人を組頭と検断にて取りまとめ)／一通(四紙)／安政六年六月／三一・四×一五四・八／継紙 楮紙／組頭 鈴木伝右衛門(黒印) ↓町会所／一 先年賑商：為後々証文仍如件／1024-01、16貼継／柱題「賑商錢拝借証文之事」／163

1671-01 代官所宛 松内宗三郎由緒書写(原本は文化一〇年八月付、慶長三年春日右衛門に取立他)／一通(二紙)／近代(年月日未詳)／二五・一×六〇・〇／縦紙 楮紙／在郷馬上 松内宗三郎 ↓御代官所／從越後御打入：御申候事／1671-01、08合綴／原稿用紙に記載、1671-02の表紙と本紙の間に合綴／232

1671-02 梅津政右衛門「免許由緒書上申帳」(免許分の貢租、元龜元年大立目氏より知行他)／一冊(六丁)／明治五年二月／三〇・七×一九・〇／縦紙 紙綴綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／萩生村永免許 梅津政右衛門・同欠代 木村利七 ↓置賜県御役所／×〇本／1671-01、08合綴／梅津祐次は在郷馬上、寄合給人／232

1671-03 「先祖書」(野呂小田嶋両家、天文年間から慶長年間頃、旗図他)／一冊(二二丁)／江戸後期(年月日未詳)／一六・五×二一・〇／横帳 長帳綴 共紙原表紙 楮紙／1671-01、08合綴／墨付一四丁／232

1671-04 「少参事支配面附」(荘田総五郎、片山仁一郎他支配下の人名、陪臣の階級処遇につき)／一冊(二六丁)／明治三年四月／一六・九×一〇・二／横半帳長帳綴 共紙原表紙 楮紙／1671-01、08合綴／232

- 1671-05 小田嶋倫右衛門日記抄（明治三年三月～明治四年二月頃、軍制と俸給改革、復祿嘆願他）／一冊（五丁）／近代（年月日未詳）／二四・七×一五・八／豎帳紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／1671-01-08合綴／冒頭に「出願人小田嶋藤吾亡父倫右衛門存命中ノ日記明治三年之部ヨリ抽写」とあり、原稿用紙使用／232
- 1671-06 「牛森開作大将之事」（牛森を開作した小倉の功罪に関する書状写）／一冊（四丁）／近代（年月日未詳）／二四・七×一五・八／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1671-01-08合綴／「上杉編纂所」の原稿用紙使用／232
- 1671-07 齊藤篤信意見書草稿（土佐藩の藩政改革につき所感、做すべき点）／一冊（六丁）／明治四年頃／二七・二×一九・五／豎帳 紙縫綴冊子装 表紙無し 楮紙／齊藤篤信拝草／1671-01-08合綴／232
- 1671-08 「雲龍帖」（雲井龍雄作の漢詩、討薩檄他の書写）／一冊（二四丁）／近代（年月日未詳）／三〇・七×二〇・五／豎帳 紙縫綴冊子装 共紙原表紙 楮紙／1671-01-08合綴／雲井の筆か否かは検討を要する／232

米沢市文化財調査報告書

上杉文書調査報告書

― 第三分冊 文書編 三 ―

令和八年三月三十一日 発行

発行 米沢市教育委員会

〒九九二-〇〇二二

山形県米沢市金池三丁目一番一四号

電話 (〇三三八) 二二一五二一一

印刷 株式会社 川島印刷

山形県米沢市大字花沢三二一―二

